

在学中保存

2021年度入学生 履修要覧

文学部

Faculty of Letters

◆ 第1部

- ◇ 哲学科
- ◇ 東洋思想文化学科
- ◇ 日本文学文化学科
- ◇ 英米文学科
- ◇ 史学科
- ◇ 教育学科人間発達専攻
- ◇ 教育学科初等教育専攻
- ◇ 国際文化コミュニケーション学科

◆ 第2部

- ◇ 東洋思想文化学科
- ◇ 日本文学文化学科
- ◇ 教育学科



東洋大学



建学の理念と教育方針

建学の理念

◆◆建学の精神◆◆

「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」

◆◆東洋大学の教育理念◆◆

【自分の哲学を持つ】

多様な価値観を学習し理解するとともに、自己の哲学（人生観・世界観）を持つ人間を育成する。

【本質に迫って深く考える】

先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方で、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。

【主体的に社会の課題に取り組む】

社会の課題に自主的・主体的に取組み、よき人間関係を築いていける人間を育成する。

◆◆東洋大学の心◆◆

【他者のために自己を磨く】

自分を磨くのは、人々のためにはたらくことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むのが東洋大学の心である。

【活動の中で奮闘する】

現実社会における活動の中にどこまでも前進してやまないのが、東洋大学の心である。

◆◆創立者 井上円了と東洋大学◆◆

東洋大学は、1887（明治20）年、哲学者・井上円了が創立した「私立哲学館」によってその歴史が始まりました。円了は幕末の1858（安政5）年、越後国三島郡浦村（現在の新潟県長岡市浦）のお寺の長男として生まれ、1881（明治14）年、設立間もない東京大学文学部哲学科にただひとりの1年生として入学しました。勉学を通して、「洋の東西を問わず、真理は哲学にあり」と確信します。ここでいう哲学とは、「万物の原理を探り、その原理を定める学問」であり、それは概念的、演繹的な哲学ではなく、事実と実証に基づく哲学であるという点が強調されました。哲学することによって、日本人の心、ものの見方・考え方の近代化を目指したのです。

円了は創立前に「哲学はあらゆる事物の原理を定める学問であります。政治、法律はもとより科学や芸術まで、その根底には哲学がなくてはなりません」と述べています。この考えから1887（明治20）年「私立哲学館」という哲学専修の私立学校を創立しました。これが現在の東洋大学の前身にあたります。

円了が教育で目指した哲学は、いわゆる「哲学者」の養成ではなく、思想や精神を錬磨する術（すべ）であり、他に応用する能力も身につけなければならないものであると説いています。

教育の機会の開放を願い、円了は、哲学館の設立趣旨の一つに「余資なく、優暇なき者」でも誰でも学問が学べることを掲げています。そうしたことから、学校開設の翌年から『哲学館講義録』を発行して、通学できない者にも勉学の機会を与えました。

さらに、円了は30歳代から、生涯続けることになる全国巡回講演を始めています。特に、学校経営の現場を離れた1906（明治39）年からの13年間で、全国60市、2196町村において5291回の講演を行うなど、「社会教育」に力を入れました。日本に、新しい教育の扉を開こうとした円了の情熱が伺えます。この心を引き継いで現在の東洋大学では「開かれた大学」を目指し、講師派遣事業や公開講演会など、地域のみならず全国の人々に生涯学習の場を提供しています。

目次

学部長挨拶	2	第1部史学科	99
文学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） ...	3	第1部教育学科	108
文学部教育研究上の目的	3	第1部国際文化コミュニケーション学科 ...	119
はじめに	5	外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件について ...	127
本書の見方	6	第1部他学部他学科開放科目（専門開放科目） ...	128
掲示板案内	7	履修についての全学科共通注意事項（第2部） ...	133
ToyoNet-G / ToyoNet-ACE / ToyoNet メール ...	8	文学部第2部基盤教育教育課程表	134
		文学部第2部文学部基盤科目教育課程表 ...	137
各種手続	11	第2部東洋思想文化学科	139
各種の相談や事務取扱窓口について	12	第2部日本文学文化学科	157
学籍情報	13	第2部教育学科	165
休学および復学	16	第2部他学部他学科開放科目	172
退学	19	諸資格	175
除籍	20	図書館司書	176
再入学	21	学校図書館司書教諭	178
その他の学籍異動	21	博物館学芸員〈第1部学生のみ対象〉	180
各種証明書	23	社会福祉主事	182
納付金	25	日本語教員養成プログラム	184
		社会教育主事になるための資格及び「社会教育士（養成課程）」の呼称 ...	186
学修にあたって	29	教育職員免許状	188
カリキュラムの概要	30	国際交流・国際教育プログラム	213
卒業・学位	32	Toyo Global Leader (TGL) プログラム	214
授業について	33	海外留学・研修プログラム	216
試験・レポート	42	本学を休学して外国の大学等へ留学した場合の単位認定について ...	220
成績	46	英語特別教育科目LEAPプログラム	221
その他	48	外部検定試験による単位認定制度	222
		文学研究科先行履修について	224
教育課程及び履修に際しての注意	49	東洋大学と東京外国語大学の単位互換制度について ...	225
履修についての全学科共通注意事項（第1部）	50	学則	226
文学部第1部基盤教育教育課程表	51	東洋大学文学部規程	228
文学部第1部文学部基盤科目教育課程表	54		
第1部哲学科	58		
第1部東洋思想文化学科	65		
第1部日本文学文化学科	83		
第1部英米文学科	91		

学部長挨拶

文学部長 山口 しのぶ

東洋大学文学部へのご入学おめでとうございます。東洋大学は1887（明治20）年「私立哲学館」として創設され、その後いくつかの変革を経て現在にいたります。「諸学の基礎は哲学にあり」という理念のもと創設された本学において、文学部は創立当初の教育内容を受け継ぐ歴史ある学部です。現在文学部には哲学科、東洋思想文化学科、日本文学文化学科、英米文学科、史学科、教育学科、国際文化コミュニケーション学科があります。いずれの学科も文学部の教育目的である「ものの見方、考え方」や「読む力、書く力、考える力」を養い、「国際社会に適応できる十分な力を備えた人財の育成」のため、それぞれの学科の特性を生かしながら教育を行っています。

近年、日本をふくめた世界全体が大きく変わってきています。政治、経済、社会、文化の変化のみならず災害や病気の世界的流行などの状況下、私たちは好むと好まざるとに関わらず、自分たちを取り巻く状況に対し自分自身で考え、判断し、対応しなければならない時代が来ています。そのような中で文学部に入学された皆さんには、今後本学部でどのように学んでいくかが将来のための重要な鍵となると思います。

文学部では哲学、歴史、文学、文化、教育など人間に関わる学問の基礎を学びます。これらの教育カリキュラムには、「教養」や「思考方法」を身につけるための科目が多く設置されています。これらの科目は時には抽象的な知識や論議を基礎としており、もしかすると「こんなことを学んで将来何の役に立つのか」「無駄なんじゃないのか」と思うこともあるかもしれません。しかしそれらは決して無駄な勉強ではありません。それらの学習は、今後皆さんが直面するさまざまな状況に対してどのように対応すべきかを考え、行動に移すための重要な訓練となるからです。文学部では本の中の知識だけを教えるのではなく、「深く考え積極的に行動する」ための手立てを、教育を通じ皆さんに伝えたいと思っています。

大学での学びは、皆さんがこれまでに学校で学んできた勉強とは異なっています。文学部では、大学全体で学生の教育に必要と考える「基盤教育」、文学部の学生が共通して学ぶべき「文学部基盤科目」、各学科の学問内容を反映した「専門科目」の科目群から、学生が主体的に科目を選択し履修します。それらの科目には、講義のほかに学生が中心となり発表、議論する演習もあります。科目を履修し所定の単位を取得すると「学士（Bachelor）」の学位が授与されます。学位は「ディプロマ（Diploma）」と呼ばれますが、このディプロマ授与のための文学部の方針が次ページに示される「文学部のディプロマポリシー」（卒業認定・学位授与の方針）です。また各学科においても学科の教育目標や「ディプロマポリシー」「カリキュラム・ポリシー」（教育課程編成・実施の方針）が設定されていますので、皆さんの所属する学科の教育目標やポリシーも合わせて参照してください。

私たち文学部教員も自身の研究領域と連動した基盤教育、専門教育を行いながら、皆さんの主体的な学びをサポートしていきたいと思っています。卒業時に皆さんが「東洋大学文学部で学生生活を送れて良かった！」と思えるように、これから一緒に学んでいきましょう。

文学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

全学および文学部基盤科目を幅広く履修することを通じて、豊かな教養を身につけ、人格形成の基礎となる学力を養うとともに、哲学・思想・語学・文学文化・歴史等多方面にわたり、高度で緻密な専門的教育研究を通して、広く深い思索力・分析力・表現力・実行力と論理性とを備えた人材の育成を目指す。「演習」等専門科目の主体的履修と、4年間の学修の集大成としての卒業論文作成においてこれが図られ、所定の評価を得たものが学士（Bachelor）と認定される。

文学部教育研究上の目的

1. 人材の養成に関する目的
「ものの見方・考え方」についての基礎的な力と応用する力を教授して、自ら自己の思想・精神を練磨し、権威・権力にとらわれず、「独立自活」と「知徳兼全」とを実現した、社会にとって有為の人材を養成することを目的とする。
2. 学生に修得させるべき能力等の目標
「読む力・書く力・考える力」の養成を教育目標として掲げ、基盤教育（一般教養科目）・文学部基盤科目・専門科目からなるカリキュラムのもとに、広汎な教養と深い専門知識の涵養をはかる。
3. その他教育研究上の目的
上記人材養成の目的、学生に修得させるべき能力等の目標の具体的目的としては、日本・日本人を知り、外国語能力にもすぐれたグローバル人材の育成・学生のキャリア就職支援（教職も含む）・考える力を持ち社会を支える力となる人材を育成する等を挙げ得る。

はじめに

- ・履修要覧は学生生活を送るうえで、重要な事項を記載しています。
- ・履修要覧は、卒業時まで使用します。万一紛失した場合でも、再配付はしませんので、大切に保管してください。なお、履修要覧は本学Webサイトからダウンロードできます。
- ・履修要覧の記載事項に修正が生じた場合は、学部掲示板・ToyoNet-G等でお知らせします。

はじめに 本書の見方

用語解説

本文内で記載された用語の解説、補足説明です。

はじめに 掲示板案内

◆◆ 掲示板 ◆◆

大学あるいは学部からの通達、連絡および学生に対する伝達はすべて掲示板または ToyoNet-G、ToyoNet-ACE、ToyoNet メールを通して行われます。

大学への登下校時に、毎回必ず確認する習慣をつけましょう。

●● 関連 URL <https://www.toyo.ac.jp/toyonet/top> ●●

! 掲示板については、掲示内容により掲示場所が異なりますので、注意してください。

◎補講
授業を休講したことにより、定められた授業計画(週)を補うために行われる授業のこと。

ToyoNet-Gの学生トップページで、学生個人宛のお知らせや休講・補講情報を確認することができます。

◎ ToyoNet-G p.8
ToyoNet-ACE p.8
ToyoNet メール p.9

◎ 休講・補講 p.34
試験 p.42

◎ 緊急時の情報掲載について p.35

掲示内容	対象学部	掲示板設置場所	問い合わせ	
大学公示	全学部	キャンパスプラザ		
授業・試験・補講 ・レポート	文・社会	5号館地下2階エレベーター前	所属学部教務課 担当窓口	
	経済・経営 ・法・国際 ・国際観光	(第1部) 1号館1階エレベーターホール (第2部) 1号館1階1101教室前		
学部からの お知らせや 学生呼び出し など	文	5号館地下2階エレベーター横		
	経済	1号館2階エレベーターホール		
	経営	1号館2階1203教室前		
	法	1号館2階1203教室前		
	社会	5号館地下2階エレベーター横		
	国際	1号館3階1305教室前		
教職 (実習・授業関係)	全学部	1号館1階1102教室横 6号館地下1階6B12教室前 (掲示内容は同じです)		教職支援課
教職 (採用・ボランティア 関係)	全学部	3号館1階ナレッジスクエア前		
キャリア形成支援・ 就職活動支援		1号館3階・4階 6号館地下1階・1階 各門入口 8号館2階・4階	就職・キャリア 支援課	
ボランティア募集		雨水館1階	ボランティア支援室	
遺失物				
セミナーハウス・ イベント情報	全学部	1号館1・5・6・7階 3号館ナレッジスクエア入口脇 4号館1階 6号館1階 6号館地下1階	学生支援課	
保健管理室				
学生サポート室				
ピアサポートルーム				

参照ページ案内

紹介項目に関連する参照ページを紹介します。

ToyoNet-G 活用例

ToyoNet-G (学務システム) で利用できる機能を紹介します。

注意事項

紹介項目のうち、特に注意すべきことを紹介します。

Column 具体的な説明やアドバイスなどを記載しています。

Notice 注意事項の補足説明などを記載しています。

はじめに 掲示板案内

◆◆ 掲示板 ◆◆

大学あるいは学部からの通達、連絡および学生に対する伝達はすべて掲示板または ToyoNet-G、ToyoNet-ACE、ToyoNet メールを通して行われます。

大学への登下校時に、毎回必ず確認する習慣をつけましょう。

●● 関連 URL <https://www.toyo.ac.jp/toyonet/top> ●●

！ 掲示板については、掲示内容により掲示場所が異なりますので、注意してください。

◎補講
授業を休講したことにより、定められた授業計画（週）を補うために行われる授業のこと。



ToyoNet-Gの学生トップページで、学生個人宛のお知らせや休講・補講情報を確認することができます。

- ☉ ToyoNet-G p.8
- ☉ ToyoNet-ACE p.8
- ☉ ToyoNet メール p.9
- ☉ 休講・補講 p.34
- ☉ 試験 p.42
- ☉ 緊急時の情報掲載について p.35

掲示内容	対象学部	掲示板設置場所	問い合わせ
大学公示	全学部	キャンパスプラザ	
授業・試験・補講 ・レポート	文・社会	5号館地下2階エレベーター前	所属学部教務課 担当窓口
	経済・経営 ・法・国際 ・国際観光	(第1部) 1号館1階エレベーターホール (第2部) 1号館1階1101教室前	
学部からの お知らせや 学生呼び出し など	文	5号館地下2階エレベーター横	
	経済	1号館2階エレベーターホール	
	経営	1号館2階1203教室前	
	法	1号館2階1203教室前	
	社会	5号館地下2階エレベーター横	
	国際	1号館3階1305教室前	
教職 (実習・授業関係)	全学部	1号館1階1102教室横 6号館地下1階6B12教室前 (掲示内容は同じです)	教職支援課
	全学部	3号館1階ナレッジスクエア前	
キャリア形成支援・ 就職活動支援		1号館3階・4階 6号館地下1階・1階 各門入口 8号館2階・4階	就職・キャリア 支援課
ボランティア募集		雨水館1階	ボランティア支援室
遺失物	全学部	1号館1・5・6・7階 3号館ナレッジスクエア入口脇 4号館1階 6号館1階 6号館地下1階	学生支援課
セミナーハウス・ イベント情報			
保健管理室			
学生サポート室			
ピアサポートルーム			
留学生奨学金等			
奨学金・学生呼出			
運動部活動			

※掲示板の設置場所が変更された場合は別途お知らせします。

はじめに

◆◆◆ ToyoNet-G / ToyoNet-ACE / ToyoNet メール ◆◆◆

学生生活を過ごすにあたって、大学のさまざまな Web システムを使用する機会があります。

授業や各種手続、お知らせを確認するための主な Web システムについて紹介します。

◆◆◆ ToyoNet-G ◆◆◆

大学での生活・学修上で必要となる手続き・登録を行うシステムです。大学生活に関する情報の発信も行っています。

特に大学からのお知らせはこまめに確認してください。

< ToyoNet-G を使う一例 >

- ・各種登録（履修登録など）
- ・各種照会（成績、学期末試験時間割など）
- ・各種申請の手続（住所変更、成績調査など）
- ・各種書類の印刷（履修登録確認表、成績表など）
- ・アンケート回答・申込
- ・大学からのお知らせ確認（個人宛／休講・補講情報・授業に関するお知らせなど）
- ・シラバス／教員プロフィールの閲覧

詳しい利用方法については、ToyoNet-G の各種資料にある「ToyoNet-G 利用ガイドブック」を参照してください。

◎ログイン方法

東洋大学 Web サイトの下段にある、ToyoNet-G のバナーをクリックしてください。

ログインに必要な ID とパスワードは、入学手続を完了した際に、大学から届くメールに記載された手順に従って確認・登録してください。

パスワードを忘れてしまった場合は下記 URL から再登録することが可能です。

<https://gainfo.toyo.ac.jp/reminder/resetrequest>



●● 関連 URL <https://g-sys.toyo.ac.jp/portal/> ●●



◆◆◆ ToyoNet-ACE ◆◆◆

授業時間以外でも授業への理解を深めるため、講義内容の補完として使用されることがあります。

また授業時間内において、出席の管理や課題の提出などに使用されることもあります。

< ToyoNet-ACE を使った一例 >

- ・授業の出席
- ・配布資料の確認
- ・授業担当教員からのお知らせ
- ・小テスト、レポートの提出

詳しい利用方法については、ToyoNet-ACE の手引き・申請書等にある「情報システム利用ガイド」を参照してください。

●● 関連 URL <https://www.ace.toyo.ac.jp/ct/login> ●●



◆◆ ToyoNet メール ◆◆

本学の学生一人ひとりに付与されるメールアドレスです。無料で使用できます。メールアドレスを活用して、授業担当教員への連絡等が可能です。また、大学側から ToyoNet メールアドレスへ連絡することがありますので、定期的に確認するように心がけてください。

< ToyoNet メールを使う一例 >

- ・ 授業担当教員との連絡
- ・ 就職活動での連絡先として

詳しい利用方法については、ToyoNet-ACE の手引き・申請書等にある「情報システム利用ガイド」を参照してください。

◎ログイン方法

東洋大学 Web サイトの下段にある、ToyoNet 学内情報システムポータルの特典をクリックしてください。

「ホーム／提供サービス」の「ToyoNet-ACE ログイン」または、「ToyoNet メール ログイン」をクリックしてください。

ログインに必要な ID とパスワードは、入学手続きを完了した際に、大学から届くメールに記載された手順に従って確認・登録してください。

●● 関連 URL <http://mail.toyo.jp/> ●●



Column

～学内の PC 教室・自習用 PC 教室について～
大学内には自由に使うことができる PC 教室があります。

< 学内の常設 PC 教室 >

- ・ 3 号館 1 階ナレッジスクエア
- ・ 1 号館地下 1 階 ラーニング・commons (図書館内)

また、自習用として開放されている教室もあります。自習用 PC 教室は、正規の授業などで使用できない時間帯もありますので、注意してください。

< 自習用 PC 教室 >

- ・ 3 号館 2 階

各種手続

学生生活を過ごすうえで重要な各種手続について説明します。
誤った判断をして、自らの学修活動に支障をきたすことがないように、不明な点があれば各種相談窓口へ問い合わせるようにしてください。
履修要覧を熟読し、学生生活を実りあるものにしましょう。

各種の相談や事務取扱窓口について

大学では、皆さんがいつでも学修や大学生活について相談できる体制が整えられています。授業に関することや学生生活に関すること、その他悩みごとなどの相談、休学などの学籍異動に関する手続等については、以下の窓口にて相談してください。

窓口時間は学生の長期休暇期間、大学祭などにより変更となる場合があります。

長期休暇期間、大学祭などの窓口時間は、掲示や大学ホームページなどでお知らせします。

◆各種相談窓口◆

相談内容	担当	場所	窓口時間	参照ページ
授業に関する相談	教員	研究室等	オフィスアワー	p.41 「教員との連絡」を参照してください。
履修登録 成績 休学/復学/退学/転部転科/再入学 各種証明書 その他教務全般	各学部教務課	6号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～20:00	
奨学金に関する事 サークル等課外活動に関する事	学生支援課	6号館1階	土 9:30～12:45	
学生生活における悩みごとの相談	学生サポート室	6号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～19:45 土 9:30～12:45	
学習方法などに関する相談・支援	ラーニングサポートセンター	3号館1階 ナレッジスクエア	詳細は Web サイト、 掲示板で確認してください。	p.45
教員採用に関する支援	教職支援室	3号館1階 ナレッジスクエア		p.211
教職課程全般に関わる支援	教職支援課	5号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～18:45 土 9:30～12:45	
病気・ケガなどの身体に関わる事 健康診断等	保健管理室	6号館1階	月～金 9:30～19:45 土 9:30～12:45 ※医師診療時間については 「学生生活ハンドブック」 にて確認してください。	
就職に関する相談	就職・キャリア支援課	6号館1階	月 9:30～17:45 火～金 9:30～19:45	
障がい学生支援に関する事	ピアサポートルーム	6号館1階	月～金 10:00～13:00 14:00～18:30 土 9:30～12:45	
海外留学に関する相談	国際教育センター	8号館1階	月～金 9:30～18:00 土 9:30～13:00	p.216～
図書館資料に関する事	附属図書館	2号館1階	Web サイトにて 確認してください。	
納付金に関する事	財務課	9号館1階	Web サイトにて確認してください。 問い合わせはメールにてお願いします。 Email:mlgakuhi@toyo.jp	p.25

◆学籍番号◆

学籍番号は、10桁の固有番号で構成されています。原則卒業まで変わりません。番号は、以下のとおり所属の学部・学科、入学年度などの意味があります。履修登録や試験の解答用紙の提出、各種届け出、証明書の申請にあたっては、学生本人を特定する番号となりますので正確に記入してください。

【学籍番号の例】

1	1	1	0	2	1	0	9	9	9
学部・学科コード				入学年度 (西暦下2桁)		学生 区分	番号(001~)		

【学部・学科コード】

1110	文学部第1部哲学科
1190	文学部第1部東洋思想文化学科
1140	文学部第1部日本文学文化学科
1150	文学部第1部英米文学科
1160	文学部第1部史学科
1171	文学部第1部教育学科人間発達専攻
1172	文学部第1部教育学科初等教育専攻
11A0	文学部第1部国際文化コミュニケーション学科
2190	文学部第2部東洋思想文化学科
2140	文学部第2部日本文学文化学科
2170	文学部第2部教育学科

【学生区分】

0	通学課程
9	科目等履修生

◆学生証◆

本学の就学手続が完了した学生に学生証を交付します。学生証は本学学生としての身分を証明するものですので、常に携帯してください。また学長印、学生本人の写真、裏面シールの貼付が無いものは無効となります。学生証は他人に貸与、または譲渡することはできません。

◎学生証裏面シール
通学定期乗車券発行用証明書のこと。現住所等を記入し貼付してください。

Point

～学生証の携帯義務～

学生証は本学学生としての身分を証明するものであるため、常に携帯し、次の場合これを提示しなければなりません。

- 1) 本学の教職員の請求がある場合
- 2) 試験を受験する場合
- 3) 各種証明書や学生旅客運賃割引証明書(学割)等の交付を受ける場合
- 4) 通学定期乗車券や学生割引乗車券を購入する際と、それを利用して乗車船した際に係員の請求があった場合、等

学生証がないと各種証明書の発行が受けられません。また、図書館の利用、試験の受験、通学定期券の購入等ができませんので、紛失・汚損・破損のないよう十分注意してください。

<有効期限と更新手続>

学生証の有効期限は4月1日から次年度の4月15日までの約1年間です。入学時に交付を受けた学生証は卒業するまで使用します。毎年4月初旬の進級手続期間内に、学生証の裏面シールを貼りかえ、学生証の有効期限の更新を受けなければなりません。

※進級手続の日時等は、ToyoNet-Gでお知らせします。

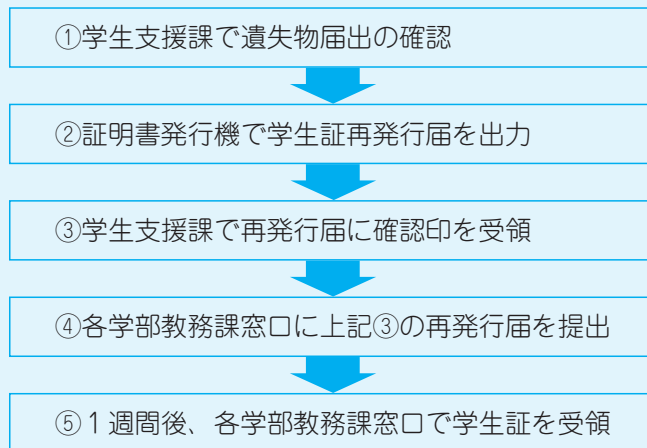
<返還>

卒業または退学・除籍等の理由で、本学に籍が無くなった場合は、学生証を本学に返還しなければなりません。

<再発行>

学生証を紛失もしくは破損・著しく汚損した場合は、直ちに本学へ届け出し、以下の手続に従って学生証の再発行をしなければなりません。

●手続きの流れ●



- ・ 学生証の再発行には1週間かかります。
- ・ 再発行手数料として2,000円がかかります。
- ・ 申込キャンセルによる手数料の返金はできません。
- ・ 郵送による再発行手続も可能です。詳細は大学Webサイトを確認ください。

<証明書発行機で使用する暗証番号>

第三者に不正使用されないために、4桁の数字の暗証番号が登録されています。入学手続時に届け出た暗証番号は、証明書発行機で証明書を発行する際に必要です。メモなどを取り、必ず覚えておいてください。

◆学籍情報の変更◆

本学の入学手続き時に届出した情報に変更が発生した場合は、各学部教務課窓口で所定の用紙に変更箇所を記入し、すみやかに届け出てください。なお、変更内容によっては、「ToyoNet-G」の「学生メニュー」＞「個人情報管理」＞「学生情報申請」を利用して変更が可能です。

変更内容	変更方法		注意事項 (提出書類など)
	教務課窓口	ToyoNet-G	
本人氏名変更 (改姓・改名)	○	×	戸籍抄本または住民票を提出してください。
本人住所、連絡先変更	○	日本国籍学生…○ 外国籍学生…住所変更は×	外国籍学生は在留カードの両面コピーを提出してください。
最寄駅変更	○	○	
保証人変更	○	×	変更届・誓約書(新しい保証人の署名が必要です。)
保証人住所、連絡先、勤務先変更	○	○	
緊急時連絡人変更	○	×	
緊急時連絡人住所、連絡先変更	○	○	
本籍地変更	○	×	住民票(ただし本籍の記載があるもの)、または戸籍抄本の提出が必要です。
在留資格・在留期間等変更(外国籍学生対象)	×	×	TUGS社(8号館2階)にて所定の手続を行ってください。

◎在留期間の更新
在留期間の更新の際は、学生支援課でも手続きが必要です。住民票のコピーと在留カードを持参してください。

◆修業年限・在学年限・休学期間◆

<修業年限>

卒業するために最低限在学しなければならない期間を指します。その期間は4年間です。

<在学年限>

大学に在学できる期間のことを指します。その期間は8年間です。8年を超えての在学はできません。ただし、休学期間は在学年限に含まれません。

<休学期間>

休学期間は通算して8学期(4年間)を超えることができません。

通常の在学年限	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目	
	第1 セメスタ	第2 セメスタ	第3 セメスタ	第4 セメスタ	第5 セメスタ	第6 セメスタ	第7 セメスタ	第8 セメスタ	第9 セメスタ	第10 セメスタ	第11 セメスタ	第12 セメスタ	第13 セメスタ	第14 セメスタ	第15 セメスタ	第16 セメスタ

1年間休学した場合	1年目		2年目		1年休学	3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目	
	第1 セメスタ	第2 セメスタ	第3 セメスタ	第4 セメスタ		第5 セメスタ	第6 セメスタ	第7 セメスタ	第8 セメスタ	第9 セメスタ	第10 セメスタ	第11 セメスタ	第12 セメスタ	第13 セメスタ	第14 セメスタ	第15 セメスタ	第16 セメスタ

④セメスタ p.33



各種手続

休学および復学

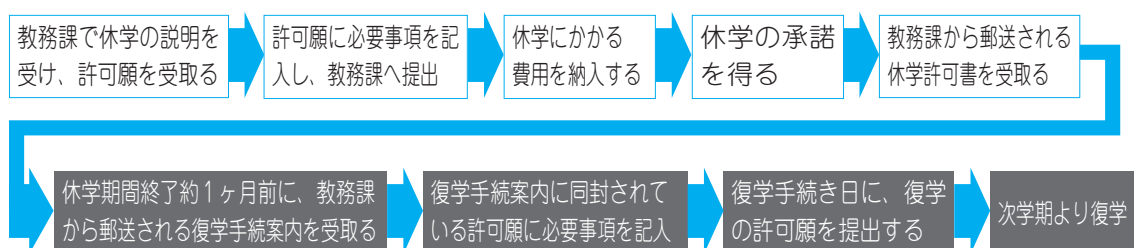
◆◆休学について◆◆

病気・家庭の事情・留学等の理由で3ヶ月以上本学に修学できない場合は、大学の許可を得て休学することができます。

休学希望者は、教務課で休学についての説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し、教務課に提出してください。なお、病気・怪我の場合には、医師の診断書も併せて提出が必要となります。

休学中に留学する場合の単位認定に係る手続については、P.220を確認してください。

◆◆休学および復学手続の流れ◆◆



手続については、学生本人が行ってください。やむを得ず本人が手続できない場合は、事前に教務課へ相談してください。

◆◆休学の期間と許可願の提出期限◆◆

休学希望者は、定められた期限までに許可願を教務課に提出しなければなりません。

学期	休学期間	提出期限
春学期	4月1日～9月30日	5月31日(※)
秋学期	10月1日～3月31日	11月10日(※)

※大学の営業日にあわせて前後することがあります。

原則として連続する2セメスタを超えて休学することはできません。ただし特別な事情がある場合は大学の許可を得て休学することができます。休学の期間は通算して、8セメスタを超えることはできません。



次セメスタの休学希望者は試験・補講調整期間を目安に教務課窓口にご相談してください。
2セメスタ連続休学を希望する場合は、各セメスタごとに手続が必要です。

◆各学期の休学にかかる費用◆

許可願提出後、各学期の納付金納入期限末日までに以下の納付金を納入することで、休学許可願申請が完了します。

学費	+	その他の費用	
各学期の一般施設設備資金 の1/2		雨水会費	学生課外活動 育成会費

※秋学期休学の場合、「その他の費用」については春学期に徴収済のため、納付の必要はありません。

納付金の詳細一覧がP.25にありますので、確認してください。

④学籍異動に必要な納付金
p.25

! 学期によって異なる部分があります。休学するためにかかる費用については教務課に必ず確認してください。

Notice

～学期途中の休学について～

春学期途中に休学する場合、春学期最終日3ヶ月前にあたる6月末日まで、秋学期途中に休学する場合、秋学期最終日3ヶ月前にあたる12月末日まで受付をします。ただし、学期途中での休学の場合、納付金の返還はできませんので注意してください。

◆◆休学（復学）許可願の書き方◆◆

東洋大学長 殿

以下の事由により 年 月 日をもって
休学（年 月 日まで）
○休学 ○退学 ○再入学 いたしました。
(※該当する事項を○で囲むこと)
許可いたしますよう、保証人連署のうえお願いいたします。

【休学・退学事由】(次から一つ選択し、○で囲むこと)

①進学意欲の低下 ②進路変更(就職) ③進路変更(他機関への入学・転学・編入学)
④進路再考 ⑤経済的困難 ⑥学力不足
⑦身体疾患 ⑧精神的理由 ⑨海外留学
⑩その他

(事由)

国外への留学等による休学・退学の場合は、以下に所在を記入すること。

国・地域および都道府県名:

留学等を行う施設名:

(注意)
1. 学年は高専で記入すること。
2. 退学者は学生証を返付すること。
3. 専攻(専攻)による休学・退学の場合は医師の診断書を添付すること。
4. 休学期間が終了し復学する場合、後日郵送の手続き案内に限り、指定された期間中に復学願を提出し手続きすること。
5. 休学に際し、在留資格が「留学」の留学生は、その有効期限にのっとり教務課の対象となります。
休学中も日本に留まる必要がある場合は、必ず休学前に入国管理課に相談してください。

二大学採用欄一 ※本欄には、学生および保証人は記入しないこと。

所見欄	(記入日) 年 月 日
	(記入者氏名)

事務課受付	学費課	学務課	学務課	学務課	学務課
/	/	/	承・否	/	/

許可願 (提出日) 年 月 日

学部	第 部	学科	年
学籍番号			番
住所	TEL ()		
氏名	年 月 日生(漢 姓)		
住所	TEL ()		
氏名	年 月 日生(漢 姓)		

※ 保証人欄は、大学に届け出ている者が構内で署名すること。

【奨学金の受給状況の確認】(「はい/いいえ」を○で囲むこと)

(1) 提出日時点で、奨学金を受給していますか。 (はい・いいえ)
(2) 受給している奨学金は日本学生支援機構(JASSO)の奨学金ですか。 (はい・いいえ)
(3) その他の学内外の奨学金を受給している方は、奨学金名・受給期間を記載してください。

奨学金名

受給期間 年 月 日 ~ 年 月 日

上記の確認事項に「はい」と回答された方は、所属キャンパスの学生生活担当窓口で説明を受けてください。

奨学金説明

春学期	休学	20●●年4月1日
秋学期	休学	20●●年10月1日

春学期	休学	20●●年9月30日
秋学期	休学	20●●年3月31日

復学の場合は、復学を○で囲んでください。

学生本人が自筆すること。

保証人本人が自筆すること。

奨学金の受給状況等を確認のうえ、記入すること。

休学理由を詳しく記入すること。
※復学理由は「休学期間終了のため」と記入すること。
※フォーマットが変更となる可能性があります。

◆◆許可書の発送について◆◆

大学から許可されると第1部学生は保証人宛に、第2部学生および外国人留学生は本人宛に休学許可書が郵送されます。

◆◆許可願の受け取りについて◆◆

許可願は、原則として教務課窓口で説明を受けた後、受け取ってください。直接教務課に行くことが困難な場合は、ToyoNet-G からダウンロードすることもできます。

◆◆復学◆◆

休学期間を満了し、在学することを復学といいます。春学期休学の場合は10月1日付、秋学期休学の場合は次年度4月1日付で復学しなければなりません(授業開始日は学生ハンドブックで確認してください)。

◆◆復学手続の流れ◆◆

復学日約1ヶ月前に大学から郵送される**復学手続案内**を確認のうえ、同封の許可願に必要な事項を記入し、指定の復学手続き日に大学で手続きを行ってください。その際、**許可願を必ず提出してください。**

ただし、外国籍の方は在留資格等の手続に日数がかかることから、通常の復学手続とは異なります。教務課から連絡しますので、その指示に従ってください。

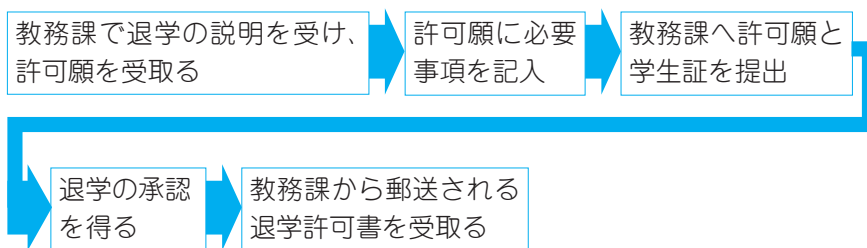
復学手続(在留資格等)については本学 Web サイトで事前に必ず確認してください。

各種手続 退学

事情により本学での修学が困難な場合は、大学の許可を得て退学することができます。

退学希望者は、各学部教務課で退学についての説明を受け、必要事項を記入した許可願に学生証を添えて、各学部教務課窓口へ提出してください。なお、病気・怪我の場合には、医師の診断書も併わせて提出が必要となります。

◆退学手続の流れ◆



手続については、学生本人が行ってください。やむを得ず本人が手続きできない場合は、事前に各学部教務課窓口へ相談してください。

◆退学許可願の書き方◆

東洋大学長 殿
以下の事由により 年 月 日をもって
(休学(年 月 日まで))
(復学・退学・再入学) いたしました。
(※該当する事項を○で囲むこと)
許可いたしますよう、保証人連署のうえお願いいたします。

【休学・退学事由】(次から一つ選択し、○で囲むこと)
 ①就学意欲の低下 ②進路変更(就職) ③進路変更(他機関への入学・転学・編入学)
 ④進路再考 ⑤経済的困難 ⑥学力不足
 ⑦身体疾患 ⑧精神的理由 ⑨海外留学
 ⑩その他
 (事由)
 国外への留学等による休学・退学の場合は、以下に所在先を記入すること。
 国・地域および郵便番号:
 留学等を行う施設名:
 (注意)
 1. 番号は四桁で記入すること。
 2. 退学者は学生証を添付すること。
 3. 病気・怪我による休学・退学の場合は医師の診断書を添付すること。
 4. 休学期間が終了し復学する場合は、後日郵送の手続を案内に従い、指定された期間中に復学願を提出し手続すること。
 5. 休学に際し、在籍資格が留学の留学生は、その有効期限にかかわらず取消の対象となります。
 休学中も日本に滞在する必要がある場合は、必ず休学前に入国管理局に相談してください。

許可願 (提出日) 年 月 日

学 籍 番 号	学 部	第 部	学 科	年 次	年 次	年 次	年 次	年 次	年 次
本 人	住 所	TEL ()		氏 名	年 月 日 生(満 歳)	住 所	TEL ()		氏 名
保 証 人	住 所	TEL ()		氏 名	年 月 日 生(満 歳)	住 所	TEL ()		氏 名

※ 保証人は、大学に届け出ている者が直筆で署名すること。

【奨学金の受給状況の確認】(「はい」もしくは「いいえ」を○で囲むこと)
 (1) 提出日時点で、奨学金を受給していますか。 (はい・いいえ)
 (2) 受給している奨学金は日本学生支援機構(JASSO)の奨学金ですか。 (はい・いいえ)
 (3) その他の学内外の奨学金を受給している方は、奨学金名・受給期間を記載してください。
 奨学金名 _____
 受給期間 _____年 月 日 ~ _____年 月 日
 上記の確認事項に「はい」と回答された方は、所属キャンパスの学生生活担当窓口で説明を受けてください。

退学理由を詳しく記入すること。

奨学金の受給状況等を確認のうえ、記入すること。

学生本人が自筆すること。

保証人本人が自筆すること。

学期末日で退学する場合
 春学期：20●●年9月30日
 秋学期：20●●年3月31日
 退学を○で囲んでください。

退学理由を詳しく記入すること。

退学理由を詳しく記入すること。

奨学金の受給状況等を確認のうえ、記入すること。

学生本人が自筆すること。

保証人本人が自筆すること。

学期末日で退学する場合
春学期：20●●年9月30日
秋学期：20●●年3月31日
退学を○で囲んでください。

◆◆学費の取り扱い◆◆

①春学期途中で退学する場合

- ・春学期の途中で退学する場合は、第1期（春学期）分の納付金は払い戻しません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻します。払い戻しは、原則許可書を送付した翌月に銀行振込で行います。

②秋学期途中で退学する場合

- ・秋学期の途中で退学する場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しません。

新学期の納付金納入期限末日までに退学許可願の提出手続が完了した場合、退学日を前学期の末日付として扱うため、当該学年・学期の納付金を納入する必要はありません。

◆◆許可書の発送◆◆

大学から許可されると第1部学生は保証人宛に、第2部学生および外国人留学生は本人宛に退学許可書が郵送されます。

◆◆許可願の受け取りについて◆◆

許可願は、原則として教務課窓口で説明を受けた後、受け取ってください。直接教務課に行くことが困難な場合は、ToyoNet-G からダウンロードすることもできます。

各種手続 除籍

除籍とは、本学の学則およびその施行のために定められた規則に基づく権利の一切を失うことです。

次に該当する場合は、除籍の対象となります。

- ①指定された期間内に納付金を納入しなかった学生
- ②在学年限を超えた学生
- ③休学期間を超えた学生
- ④新入生で指定された期間内に履修登録をしなかった学生
- ⑤その他本学において修学の意思がないと認められる学生
- ⑥外国人留学生で「留学」の在留資格の発給を拒否された学生

◆◆除籍日◆◆

在校生の除籍日は原則として9月30日又は3月31日となり、新入生で指定された期間内に履修登録をしなかった学生の除籍日は4月30日となります。

◆◆除籍となった場合◆◆

除籍となった場合、速やかに学生証を返却しなければなりません。なお、除籍通知書は保証人宛に郵送します。

各種手続 再入学

本学を退学した者、または除籍となった者が、再入学を希望する場合、大学の許可を得て再入学することができます。

再入学を希望する者は、下記の日程までに在籍していた教務課窓口で再入学の説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し、学生本人・保証人自筆の連署の上、教務課窓口へ提出してください。

許可願提出後、大学の許可を得て、再入学することができます。

	国籍	許可願提出期限	再入学日
春学期(4月)から再入学を希望する者	日本国籍	前年度 1 月末まで	翌年度 4月1日付
	外国籍	前年度 10 月末まで	
秋学期(10月)から再入学を希望する者	日本国籍	当該年度 7 月末まで	当該年度 10月1日付
	外国籍	当該年度 4 月末まで	

※再入学手続(在留資格等)についての詳細は教務課窓口にお問い合わせください。

※東洋大学に再入学するにあたっての再入学手続(在留資格等)については本学 WEB サイトで説明していますので、必ず事前に確認してください。その内容(許可願提出期限ほか)は変更する場合がありますので、必要に応じて本学 WEB サイトで必ず確認してください。



●● 関連 URL

<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/request/certificate03/> ●●

下記の条件により退学・除籍した者は再入学を希望することはできません。

退学者：在学年限が満期となる学期に退学した者

懲戒により退学となった者

除籍者：在学年限を超えて除籍となった者

休学期間を超えて除籍となった者

Notice

再入学する学年およびセメスタは、本学での最終学籍状況によって異なります。単位の修得状況によっては学年を繰り下げる場合があります。また、学科教育課程表は入学年度のものを用いますが、学科教育課程表が大きく変わっている場合には、再入学する学年の学科教育課程表を適用することがあります。履修方法は、再入学手続き時に教務課窓口で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へお問い合わせください。

各種手続

その他の学籍異動

◆◆ 転部・転科 ◆◆

本学内で他の学部・学科への転部・転科を希望する学生に対し選考を実施します。転部・転科先の学年は2年次または3年次となります。

11月配布予定の試験要項に基づいて手続をし、1月実施予定の試験を受験してく

ださい。また、合格発表は翌年3月下旬に行う予定です。手続案内は学内に掲示されます。詳細は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。



スケジュール（予定）は、年度により時期が前後する場合があります。当該年度の掲示案内で確認してください。

◆懲戒による退学◆

本学の規則に反し、または学生の本分に反する行為があった学生は、大学の決定を受けて懲戒による退学となる場合があります。

◆4年原級◆

本学に学生として最低4年間在学し、所定の単位を修得しなければ卒業はできません。

4年次終了までに所定の単位数を修得できず、卒業できないことを4年原級といいます。卒業に必要な単位を修得するために通算して在学できる年数（在学年限）は、最長で8年間ですので、その年限までは4年生ということになります。

④ 修業年限
在学年限
p.15・32



卒業できなかった学生は、教務課より郵送される要領に従って、各学部教務課で手続きをしてください。

◆編入学◆

本学または他大学を卒業後に編入学を希望する者に対して、編入学試験を実施しています。試験要項は、9月頃入試情報サイトに掲載予定です。

編入学する学年は、原則として3年次となります。また、学科教育課程表も編入学する学年のものを適用します。既修単位の取り扱いについては試験要項を確認してください。履修方法については、編入学の手続時に教務課で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。



本学を卒業した者は卒業した学部・学科への編入学はできません。

◆科目等履修生◆

特定の授業科目を履修しようとする場合、科目等履修生として当該授業科目の履修をすることができます。

本学に在籍中は科目等履修生として授業科目を履修することはできません。

詳細は、各学部教務課窓口にお問い合わせください。

◆転入学◆

他の大学の学生が、その大学の許可を得て本学に転入学を願い出る場合、本学の実施する転入学試験を受験していただきます。試験要項は、9月頃入試情報サイトに掲載予定です。

転入学する学年は、原則として2年次または3年次となります。また、学科教育課程表も転入学する学年のものを適用します。既修単位の取り扱いについては試験要項を確認してください。履修方法については、転入学の手続時に教務課で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。



各種手続

各種証明書

2021年4月1日より一部の証明書を全国のコンビニエンスストアで発行することができます。詳細は東洋大学 WEB サイトをご確認ください。

◆◆在籍時に発行できる証明書の種類◆◆

以下の証明書が発行できます。

証明書の種類	金額	発行方法	発行期間	備考
・ 在学証明書 ・ 成績証明書 ・ 健康診断証明書 ・ 履修科目証明書 ・ 卒業見込証明書	200 円	証明書発行機から直接	即日	・ 健康診断証明書は大学が実施する定期健康診断を受診した学生のみ発行可能です ・ 卒業見込証明書は4年生になった4月1日以降に発行可能となります
・ 教育職員免許状取得見込証明書	200 円	窓口でお問い合わせください	窓口でお問い合わせください	・ 4年生になった10月1日以降に発行可能となります
・ 学割 ・ 情報システム利用通知書	無料	証明書発行機から直接	即日	・ 発行枚数に上限があります
・ 兄弟等の授業料減免に係わる証明書	200 円	証明書発行機で申込書を購入(学生支援課窓口へ提出)	1 週間	
・ 奨学金受給証明書 ・ 奨学生推薦書	200 円	証明書発行機で申込書を購入(学生支援課窓口へ提出)	1 週間	・ 英文を希望する場合は国際課へ提出してください
・ 人物証明書	200 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	窓口でお問い合わせください	・ 原則として大学所定用紙に卒業担当教員が必要事項を記入後、証明手続きを行います ・ 記入済み所定用紙を所属学部教務課窓口を持参してください
・ 在籍証明書	200 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	即日	・ 休学者のみ発行可能です
・ 諸資格単位修得証明書(見込み)	200 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	1 週間	・ 4年生になった10月1日以降に発行可能となります
・ 英文在学証明書 ・ 英文卒業見込証明書 ・ 英文在籍証明書	500 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	1 週間	・ 英文卒業見込証明書は4年生になった4月1日以降に発行可能となります ・ 英文在籍証明書は休学者のみ発行可能です
・ 英文成績証明書 ・ 英文履修科目証明書	1,000 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	1 週間	
・ 学生証再発行(通学定期乗車券発行用証明書含む)	2,000 円	証明書発行機で申込書を購入(学生支援課窓口→所属学部教務課窓口の順に提出)	1 週間	・ 申込キャンセルによる手数料の返金はいたしません
・ 本学書式以外の証明書(指定書式での証明書発行を含む)	200 円	証明書発行機で申込書を購入	1 週間	・ 必要な証明書については所属学部教務課または学生支援課に相談してください

※休暇中の発行期間は変更になることがあります。

※余裕をもってお申し込みください。

◆卒業後に発行できる証明書の種類◆

以下の証明書が発行できます。証明書の申し込み方法は郵送と窓口受取のどちらでも受け付けています。電話・FAXでの申し込みはできません。

詳細は大学ホームページを確認してください。

2021年4月1日より一部の証明書を全国のコンビニエンスストアで発行することができます。詳細は東洋大学WEBサイトをご確認ください。

●● 関連 URL <https://www.toyo.ac.jp/alumni/syomeisyo/> ●●

証明書の種類	金額	発行方法	発行期間	備考
・卒業証明書 ・成績証明書	500円	<窓口> 証明書発行機で申込書 を購入 (担当窓口へ提出) <郵送> ホームページで確認し てください。	即日	
・単位修得証明書 ・学力に関する証明書 ・学芸員単位修得証明書 ・司書単位修得証明書 ・司書教諭単位修得証明書 ・社会教育主事単位修得証明書 ・社会福祉主事単位修得証明書	500円		1週間	
・人物証明書	500円		即日	・在籍時に人物調査書を 提出した者のみ発行可 能です ・卒業後3年以内まで発 行可能です
・英文卒業証明書	500円		1週間	
・英文成績証明書 ・英文履修科目証明書	1,000円		1週間	
・本学書式以外の証明書 (指定書式での証明書発 行を含む)	500円		1週間	・必要な証明書につい ては各学部教務課または 学生支援課に相談して ください

※休暇中の発行期間は変更になることがあります。

◆証明書発行機◆

在学証明書や成績証明書、学割など、一部の証明書は証明書発行機より直接発行することができます。証明書発行機を使用する際には、学生証と、予め登録した暗証番号が必要です。

④ 学生証の暗証番号
p.14



- ・稼働時間は学生の長期休暇期間、大学祭などにより変更となる場合があります。
- ・長期休暇期間、大学祭期間などの稼働時間は掲示や大学ホームページなどでお知らせします。

証明書発行機設置場所	稼働時間
2号館1階 6号館1階 8号館4階	月～金 9:00～20:00 土 9:00～12:45

各種手続 納付金

定められた期間に納付金を納入しなければ、本学の学生として、在籍することはできません。納入期間がありますので、期日までに納入をすることを忘れないようにしてください。

◆◆納付金額◆◆

◎学費とその他の費用
「学費」とは授業料等の大学徴収分を指し、「その他の費用」とは各団体からの受託徴収分を指します。

「学費」と「その他の費用」を合わせて「納付金」と称します。2年次以降は、入学金を除く納付金の納入が毎年度必要になります。納付金の内訳は以下のとおりです。

【2021年度入学生】

(単位：円)

学 部		第1部						第2部・ イブニングコース
		文・経済・経営・ 法・社会学部	文学部	社会学部			国際・ 国際観光 学部	全学部
		(右記学科を 除く)	教育学科 初等教育専攻	社会福祉学科	メディアコミュニ ケーション学科	社会心理学科 国際社会学科		
納 付 金	入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	180,000
	授 業 料	710,000	820,000	710,000	710,000	710,000	780,000	430,000
	一 般 施 設 設 備 資 金	220,000	250,000	220,000	220,000	220,000	220,000	100,000
	教 育 充 実 料	—	—	25,000	10,000	15,000	—	—
	雨 水 会 費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	—
そ の 他 の 費 用	学 生 課 外 活 動 育 成 会 費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
合 計		1,190,000	1,330,000	1,215,000	1,200,000	1,205,000	1,260,000	715,000

◆◆納入期間◆◆

納付金は、第1期に1年間分を全額一括納入する方法と、授業料・一般施設設備資金・教育充実料を二期に分けて納入する方法を選択することができます。

第1期（春学期）納入期間 4月20日～5月31日
第2期（秋学期）納入期間 10月1日～11月10日

金融機関の営業日にあわせて前後することがあります。

◎休学／復学／退学
除籍／再入学
p.16～p.21



各年度の曜日の関係により、納入期間が短縮される場合があります。

◆◆学籍異動における納付金の取扱◆◆

【休学】

修学の意思がありながら学期始めに休学する場合は、納付金の納入期間内に休学許可願を教務課に提出してください。

<第1期（春学期）の納入期限までに休学を願い出た場合>

- ・休学日を4月1日付として扱い、納付金のうち、第1期（春学期）分の一般施設設備資金の半額とその他の費用を納入する必要があります。
- ・全額一括納入した場合は、第1期（春学期）分の授業料と一般施設設備資金の半額および第2期（秋学期）分の納付金を払い戻しいたします。

＜春学期中に休学する場合＞

- ・春学期の途中で休学する場合、第1期（春学期）の納付金は払い戻しをいたしません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金を払い戻しいたします。

＜第2期（秋学期）の納入期限までに休学を願い出た場合＞

- ・休学日を10月1日付として扱い、納付金のうち、第2期（秋学期）分の一般施設設備資金の半額を納入する必要があります。
- ・第2期（秋学期）分の納付金を納入した場合は、第2期（秋学期）分の授業料と一般施設設備資金の半額を払い戻しいたします。

＜秋学期中に休学する場合＞

秋学期の途中で休学する場合、第2期（秋学期）の納付金は払い戻しをいたしません。

＜2セメスタ連続して休学する場合＞

連続休学する場合、次学期分の納付金のうち、一般施設設備資金の半額とその他の費用は納入しなければなりません。

【復学】

- ・休学者が復学する場合の納付金は、入学年度の額が適用されます。
- ・第2期（秋学期）に復学する場合は、復学時に1セメスタ（半期）分の納付金を納入することになります。
- ・1セメスタ（半期）休学する場合、全額一括納入・分割納入の選択が可能な納入期は、第1期（春学期）とします。

④ 休学／復学 p.16

【除籍】

所定の納期までに納付金を納入しない学生は、学則第38条1項により、除籍となります。

【退学】

修学の意思がない場合は、納入期間内に退学許可願を教務課に提出してください。

＜新学期の納入期限の末日までに退学を願い出た場合＞

退学日を前学期の末日付として扱い、当該年度・学期の納付金を納入する必要はありません。

＜春学期中に退学する場合＞

- ・春学期の途中で退学する場合は、第1期（春学期）分の納付金は払い戻しをいたしません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しいたします。

＜秋学期中に退学する場合＞

秋学期の途中で退学する場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しをいたしません。

【再入学】

再入学する場合の納付金は、再入学する学年次の納付金を適用します。ただし、入学金は、再入学する年度の新生の半額となります。

④ 休退学・除籍／再入学 p.16～21

【原級】

4年次生で原級する場合の納付金は、当該年度正規4年次生の納付金を適用します。

【転部・転科】

納付金は転部・転科先の学年の納付金を適用します。ただし、入学金は、転部・転科先との不足分を納入することになります。

【編入学】

編入学する場合の納付金は、編入学する年度の新入生の納付金を適用します。ただし、本学出身者が編入学する場合、入学金は、編入学する年度の新入生の額の半額となります。

◆◆振込用紙の送付先◆◆

- ・ 振込用紙の送付先は、第1部学生…保証人宛て／第2部学生…入学時に選択した宛先／留学生…本人宛て、となります。
- ・ 振込用紙の送付先を変更したい場合は、財務課にて手続きをしてください。

④ 住所変更の手続窓
□ p.15



振込用紙送付先の住所に変更があった場合は、所定の手続により、住所変更の手続を行ってください。

◆◆納入方法◆◆

- ・ 本学所定の納入方法で、国内の金融機関から振り込んでください。大学窓口での受付および海外からの送金はできません。
- ・ 振込用紙を紛失した場合は、至急、財務課で再発行の手続きをとってください。
- ・ 納付金に関する証明書の発行が必要な方は、財務課にて申請してください。
- ・ 納入された納付金は、超過納入が明らかな場合または学籍異動に伴い徴収の対象とならない場合を除き返還いたしません。

◆◆納入期間内に納入ができない場合◆◆

④ 学生支援課窓口
p.12

やむを得ない事情で納入期限までに納付金を納入できない場合は、**必ず納入期間内に**学生支援課に相談してください。

学修にあたって

A decorative graphic on the right side of the page, consisting of a solid light blue triangle pointing downwards and a series of thin, parallel light blue lines that fan out from a point at the top right towards the center of the page.



学修にあたって カリキュラムの概要

◎カリキュラム

大学の目的、学部学科の人材養成の目的を達成するために、開設する授業科目を配列し、どのような知識・能力を身につけることになるのかを体系的に示したものを、教育課程。

◎学士課程教育

学部教育に加え、国際的通用性のある大学教育の課程の修了に関わる知識・能力を修得した者に学位を与える教育課程（プログラム）。

東洋大学は、全学的な教育目標「東洋大学スタンダード2021」をふまえ、哲学教育・グローバル教育・キャリア教育を軸として学力と人間力をともに養成し、グローバル人材の育成を実現するカリキュラムを編成しています。

◆◆東洋大学スタンダード2021◆◆

東洋大学は、建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」に基づき、学生に以下の力を身につけさせることを宣言します。

1. 「諸学の基礎は哲学にあり」の精神に基づき、生涯にわたり本質に迫って深く考え抜く力
2. 「独立自活」の精神に基づき、社会的に自立した人間として、主体的に判断し、行動できる力
3. 「知徳兼全」の精神に基づき、人間としての価値の実現を目指し、地球環境と人類社会に貢献できる人間力
4. 変わりゆく社会のなかで、自ら問いを立て諸課題を解決できる想像力とイノベーション力
5. グローバル社会において、多様な伝統と文化を尊重し、対話や議論を通じて他者と協働していく力

◆◆基盤教育科目・文学部共通科目・学科専門科目◆◆

◎教育課程表

- 第1部哲学科 p.60
- 第1部東洋思想文化学科 p.69
- 第1部日本文学文化学科 p.86
- 第1部英米文学科 p.94
- 第1部史学科 p.102
- 第1部教育学科 p.111
- 第1部国際文化コミュニケーション学科 p.122
- 第2部東洋思想文化学科 p.143
- 第2部日本文学文化学科 p.160
- 第2部教育学科 p.167

本学部、各学科の人材養成の目的とその他教育研究上の目的を実現するために必要なカリキュラムが構成されています。

基盤教育科目において、幅広い知識・教養を身につけ、学部共通科目および学科専門科目において学問領域を深く体系的に学ぶことができるよう、本学の学士課程教育が構成されています。

詳しくは、各学科の教育課程表のページを参照してください。

基盤教育科目	
哲学・思想	<p>「諸学の基礎は哲学にあり」の精神に基づき、生涯にわたり本質に迫って深く考え抜く力</p> <p>理論哲学や実践哲学、倫理観を確立するとともに、自ら考え、判断し、行動する能力、総合的視野に立ち、他分野の人々と協働できる能力を身につける。そのために古今東西の賢人たちが残した哲学・思想に耳を傾け、それらについて深く考えることで思考を錬磨し、自らのものの見方・考え方の基盤を築くとともに、多角的なものの見方・考え方を受容する力の獲得を目指す。</p>
学問の基礎	<p>「知徳兼全」の精神に基づき、人間としての価値の実現を目指し、地球環境と人類社会に貢献できる人間力</p> <p>変化の激しい現代社会を生きるための教養とは、幅広い知識の修得のみならず、グローバルな視野を持ち、歴史的かつ多角的な視点で物事を深く考え、自然やものの成り立ち、科学と社会との関係を正しく理解したうえで適切な判断ができる能力を意味する。人文・社会・自然科学の諸分野における先人の知恵に学び、それらを横断する学際的な探求活動を通じて、教養を身につける。</p>
国際人の形成	<p>グローバル社会において、多様な伝統と文化を尊重し、対話や議論を通じて他者と協働していく力</p> <p>地球とともに生きる市民のひとりであることを自覚し、多様な伝統や文化を越えて、個を尊重しながら共生、協働していくための素養を身につける。そのために複数の言語を使う力を伸ばすとともに、柔軟で論理的な思考力、異なる価値観を認めあうための受容力と発信力を高め、自らの考えを的確に伝えられる、そして相手の考えを多角的、多面的に理解できるコミュニケーション能力の伸長を目指す。</p>
キャリア・市民形成	<p>「独立自活」の精神に基づき、社会的に自立した人間として、主体的に判断し、行動できる力</p> <p>人生100年時代を迎え、さまざまに多様化が進む現代社会で「よく生きる」ためには、社会的・職業的な課題の理解力、判断力、行動力が必要である。これらの養成のために、法律、会計、IT、情報、環境など、社会や組織を理解するための基本を学ぶとともに、他者と協働し、自ら行動するためのコミュニケーション力、調整力、キャリア開発力を身につける。</p>
総合・学際	<p>変わりゆく社会のなかで、自ら問いを立て諸課題を解決できる想像力とイノベーション力</p> <p>グローバル化と技術革新の進展がもたらす現代社会の課題について、複数の学問視点や複合・学際領域など多様な視点から、さまざまなひとや組織と協働して、柔軟で斬新な解を見いだす力を身につける。そのために、分野を超えて最新の技術動向や研究成果を学ぶ授業を展開し、対話をとおして、その知識や技能を応用して発展的・創造的に思考・発想する力を養成する。</p>
健康・スポーツ科学	<p>多様化するグローバル社会に対して、知徳体のバランスの取れた健康的な人材を育成することを目指し、スポーツの価値の中核である「楽しさ」「喜び」を享受し、スポーツの持つ価値を最大化させる「人」「社会」「世界」を様々に結びつける人間力となるコミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性、課題発見・解決能力等を身につける。</p>
専門教育科目・学科専門科目等	
学部共通科目	<p>本学部の学科共通で開設されている科目群です。 本学部に所属する学生であれば全学生が履修することが可能です。</p>
学科専門科目	<p>カリキュラムの中心となる最も多く履修・修得する必要がある学科専門科目群です。 必修・選択必修・選択科目等に分かれています。</p>
教職科目	<p>教育職員免許状を取得するために開設されています。</p>



学修にあたって 卒業・学位

④ 修業年限 p.15

◆◆卒業要件、修業年限／在学年限◆◆

卒業するには、修業年限4年以上在学し、各学科が定めている卒業要件をすべて充足することが必要です。

在学できる年数は最長で8年（休学期間を除く）と定められています。

卒業要件

- 1) 修業年限を満たしていること。
- 2) 各学科の卒業要件を満たしていること。
- 3) 卒業要件に含まれる科目の修得単位数が124単位以上であること。

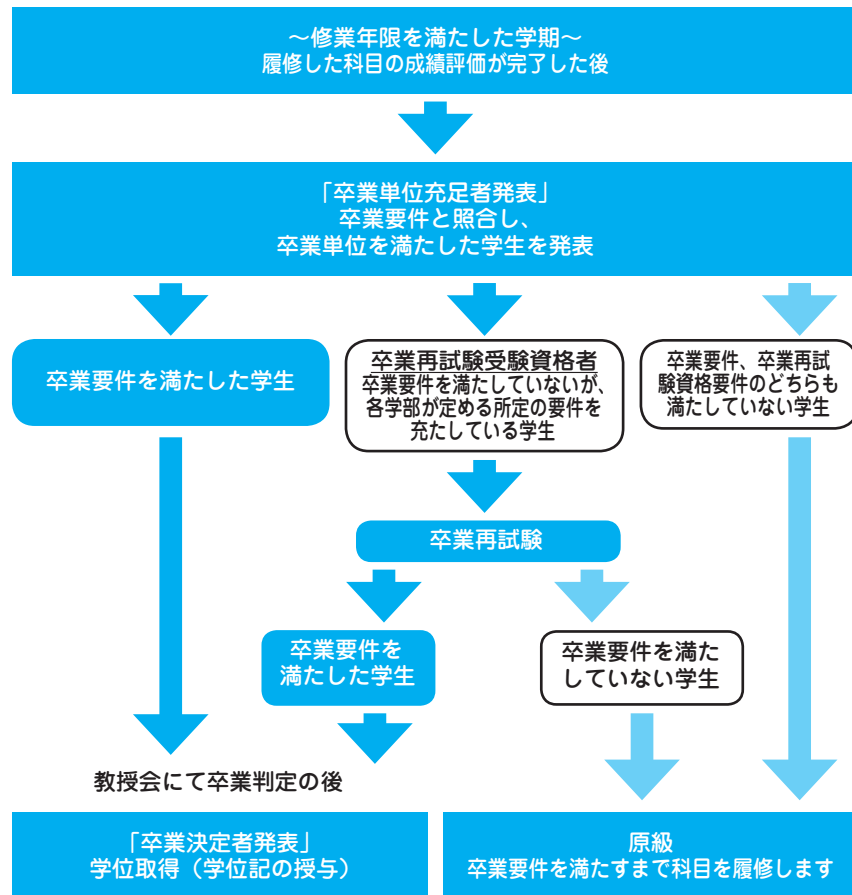
◆◆卒業決定の通知◆◆

教授会にて学部・学科の卒業要件と照合し、卒業可能かどうかを判定した後、卒業決定者が発表されます。

卒業単位充足者、卒業決定者の発表は、ToyoNet-G等にて通知されます。

卒業決定の通知の流れ

④ 卒業再試験 p.44



学位の授与

修業年限を満たし、学科ごとに定められている卒業要件をすべて充足することで、学位が授与されます。

教育学科以外……学士（文学）／教育学科……学士（教育学）

学修にあたって 授業について

◎セメスタ制
セメスタ制とは、1年を2つの学期(セメスタ)に分け、4年間で8つのセメスタを段階的に積み上げて学修し、卒業する制度です。年に2回(4月・9月)履修登録を行います。学期単位で授業が完結し、試験やレポート等の成績評価に基づいて単位が認定されます。

◆◆授業の期間◆◆

本学で行われる授業には、1年間を春学期・秋学期の2学期(セメスタ)に分割し、15週間単位で授業を行うセメスタ授業と、各セメスタを2分割し、8週間単位で授業を行うクォーター授業があります。また、夏季・春季休暇期間に、集中講義や実習等の授業が行われる場合があります。これをセッション授業といいます。

春学期 (4月1日～9月30日)					秋学期 (10月1日～3月31日)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春セメスタ授業期間				夏セッション	秋セメスタ授業期間				春セッション		
第1クォーター		第2クォーター			第3クォーター		第4クォーター				
				夏季休暇						春季休暇	

- ※学則上の学期日程と実際の学年暦(授業カレンダー)は異なることがあります。学籍異動等の取り扱いは、学則上の学期日程(春:4月1日～9月30日、秋:10月1日～3月31日)で取り扱います。
- ※学年暦(授業カレンダー)の詳細は、年度ごとに発行される『学生生活ハンドブック』の「年度行事予定」で確認してください。
- ※各年度の授業時間割・開講形態・履修登録期間等は『履修登録のしおり』・『授業時間割表』(4月初旬に配信)で確認してください。また、追加の周知事項がある場合、ToyoNet-G や学内掲示板で随時お知らせします。

◆◆授業時間◆◆

白山キャンパス・総合スポーツセンター(板橋区清水町)の授業時間帯は以下のとおりです。授業時間は90分です。
なお、授業時間帯は変更することがあります。

	時限	時間帯
第1部	1時限	9:00～10:30
	2時限	10:40～12:10
	3時限	13:00～14:30
	4時限	14:45～16:15
	5時限	16:30～18:00
第2部	6時限	18:15～19:45
	7時限	19:55～21:25

◆◆白山キャンパス・総合スポーツセンター(板橋区清水町)間をまたがり履修する場合◆◆

キャンパス間の移動に30分以上を要するため、昼休みを除き連続している時限では、白山キャンパスと総合スポーツセンター間をまたぐ履修はできません。

下表を参照のうえ、履修可能な時間割を作成し履修登録を行ってください。

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限
●	履修不可				
履修不可	●				
			●	履修不可	
			履修不可	●	履修不可
				履修不可	●

●・・・総合スポーツセンター(板橋区清水町)で履修をする場合

◆◆休講・補講／授業の欠席◆◆

◎休講

授業科目の担当教員の都合や緊急事態等により、当日の授業を行わないこと。

休講の決定・お知らせ

担当教員のやむを得ない理由により、授業が休講になることがあります。

予め休講とする場合には、ToyoNet-Gの「休講・補講情報」にて通知されます。

緊急の場合には、教職員が直接教室にて連絡することがあります。

※授業開始時刻から30分経っても教員が教室に来ない場合は、各学部教務課窓口まで連絡のうえ、職員の指示に従ってください。

休講の確認方法

・ToyoNet-G

ToyoNet-G ログイン後、トップページにて確認することができます。

The screenshot shows the ToyoNet-G student portal interface. At the top, there are navigation links: HOME, 学生メニュー/Menu, 相談予約/Consultation, アンケート/Questionnaire, 各種資料/Archives, リンク/Link. Below the navigation is a 'HOME' header and a 'バックナンバー' button. The main content area is divided into '未読 お知らせ' (unread notices) and '既読 お知らせ' (read notices). On the right side, there is a 'My Profile' section with fields for '学部第1部' (Faculty 1st Dept), '学' (School), '科' (Course), '1年' (1st Year), and '学籍番号' (Student ID), with a 'CHECK' button. Below the profile is a calendar for the current month. At the bottom right, there are two tabs: '休講情報' (Lecture Information) and '補講情報' (Supplementary Lecture Information). The '休講情報' tab is selected and shows '休講情報はありません。' (No lecture information). The '補講情報' tab shows '補講情報はありません。' (No supplementary lecture information).

休講情報はここで確認できます。

補講情報はここで確認できます。

◎緊急時の授業の取扱い
 下記①～③の場合、授業の取扱いについて、大学 Web サイト・ToyoNet-G にてお知らせしますので、大学の指示に従ってください。

①台風の接近等により交通機関の混乱が予想される場合
 ②台風・地震の災害等により交通機関が運行停止となった場合（人身事故等一般的な運行停止を除く）
 ③大規模地震の警戒宣言が発令された場合

※授業中に上記①、③の状況となった場合は、学内掲示、学内緊急放送にてお知らせします。
 ※学内で実施される講演会・講座等についても、上記措置に準ずるものとしてします。
 ※履修登録が完了するまでは、休講・補講の確認はできません。

◎補講
 授業を休講したことにより、定められた授業計画（週）を補うために行われる授業のこと。

補講実施のお知らせ

休講になった場合、補講実施情報は、学内掲示板、ToyoNet-G の「休講・補講情報」にてお知らせします。
 ※補講は補講調整期間内に行う場合と、期間外に行う場合があります。

授業の欠席について

やむを得ない理由により、授業を欠席する場合は、事前に担当教員に直接連絡をしてください。教員の連絡先は、ToyoNet-G の「シラバス・教員プロフィール」にて確認してください。

窓口・電話等での取り次ぎは一切行いません。

ただし、病気・ケガ等により長期欠席することが予想される場合には、教務課に相談してください。なお、教育実習、介護等体験、博物館実習により授業を欠席する場合には、指定用紙に記入し、検印を受けたうえで担当教員に予め届け出てください。

◎教員への連絡 p.41

◎休学 p.16

欠席の理由	提出書類	連絡方法	備考
体調不良ほか自己都合	教員の指示に従う	教員に直接連絡（次回授業出席時・メール）	忌引きの場合でも原則出席扱いにはなりません。
指定感染症による出席停止（インフルエンザ、はしか等）	感染症治癒証明書	保健管理室に電話連絡の後、教員に直接連絡（次回授業出席時・メール）	出席停止の場合でも原則出席扱いにはなりません。
3ヶ月以上の欠席を要する病気・怪我	許可願（休学する場合）	教務課に連絡	病気・怪我等やむを得ない事情等の理由により、3ヶ月以上本学に修学できない場合は、大学の許可を得て、休学することができます。

※メールのみの連絡は一方的かつ行き違いの原因となります。必ず次回出席時に担当教員に申し出てください。
 ※交通機関の影響等による遅刻の場合は、遅延証明書を担当教員に提出してください。

◆◆単位のしくみ◆◆

授業科目には学修時間に応じた単位数が定められており、卒業要件等の基準は修得すべき単位数として規定されています。1単位は、授業や自習（予習・復習）を含めた45時間の学修に対応しており、45時間の学修のうち授業の占める時間は、講義・演習科目は15時間、外国語科目は30時間、実験・実技・実習科目は45時間と設定されています。

標準的な授業実施形態は、週1回1学期15週にわたって授業が実施されます。授業時間はどの科目も90分間です。

学修時間の考え方

$$\boxed{\text{単位}} = \boxed{\text{授業}} + \boxed{\text{自習 (予習・復習)}}$$

授業科目の区分と1単位における学修時間

授業科目等	単位数	授業実施	学修時間		
			授業時間	予習・復習時間	合計
講義・演習	1単位	15週	15時間	30時間	45時間
外国語科目	1単位	15週	30時間	15時間	45時間
実験・実技・実習	1単位	15週	45時間	0時間	45時間

◆履修計画・履修登録◆

各学科の教育課程表に沿って、計画的な履修をするようにしてください。また履修計画を立てるにあたっては、教職員の履修指導を受けるほか、カリキュラムマップを参考にしてください。

なお、授業を受け、単位を修得するためには、事前に履修を希望する授業科目の登録が必要になります。これを「履修登録」といいます。

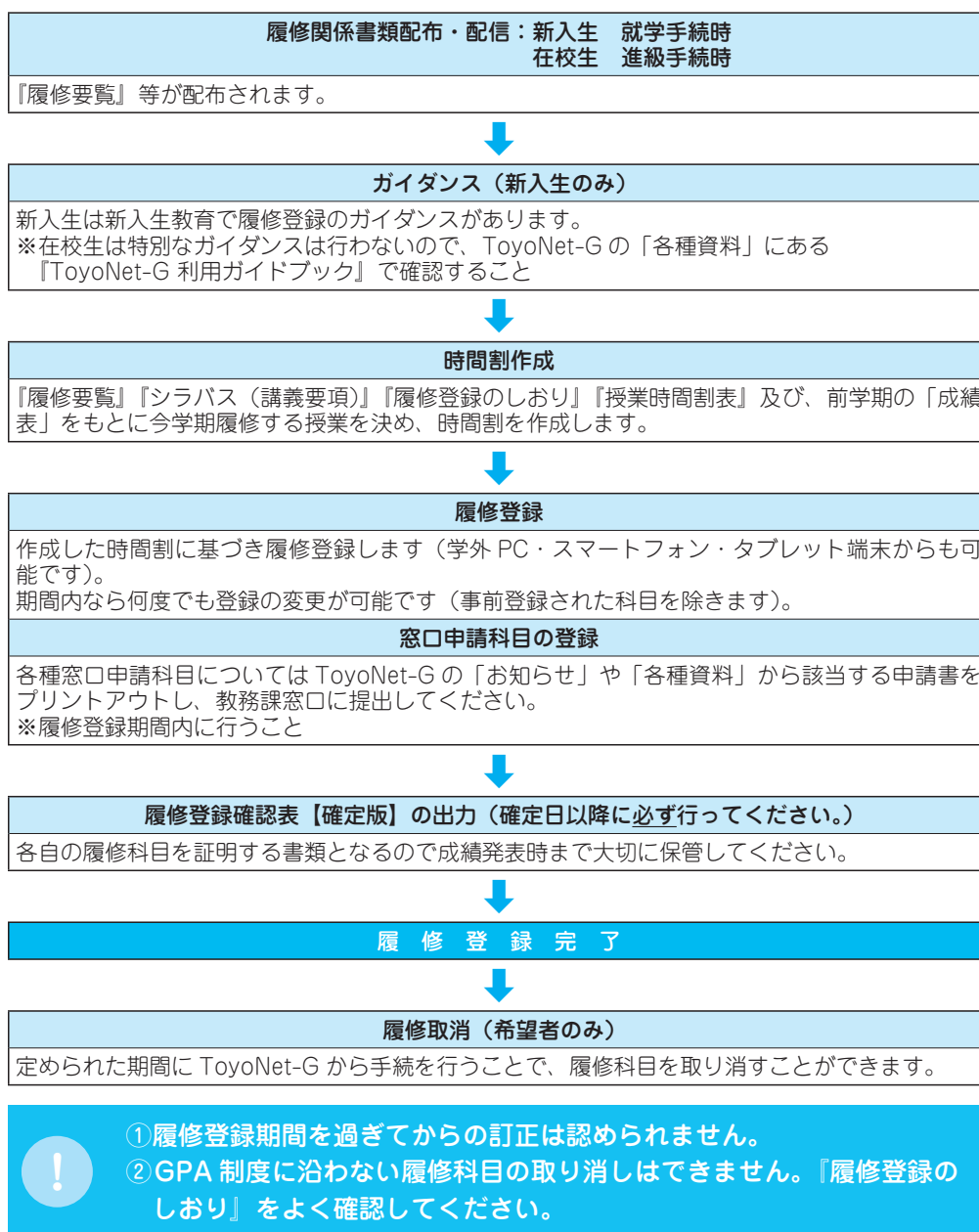
履修計画のポイント

- ①所属学科の卒業要件をよく理解すること。
- ②所属学部の『履修登録のしおり・授業時間割表』を良く読み、当該年度の履修上のルールなどについて、きちんと把握すること。
- ③必修科目や選択必修科目など、卒業要件のうち優先度の高い科目については、配当学年（履修可能年次）において早めに履修すること。
- ④『履修登録のしおり・授業時間割表』を良く読み、履修希望する科目同士の時間割の重複（曜日・時限・開講学期）がないか確認すること。重複があった際には、上記③の優先度を考慮して履修すること。
- ⑤進級する際や成績発表後は、これまで履修し、単位修得した科目を振り返り、残りの必要単位数や修得が必要な科目を確認すること。
また各学科のページに記載されている『カリキュラムマップ』を参考に、これまで履修した科目やこれから履修する科目の関係性を理解するとともに、卒業までに必要な知識・能力などを踏まえ、選択科目などの必要な履修の参考にすること。
- ⑥必要に応じて、教員に相談するほか、履修ガイダンスに参加し、必要な科目をチェックすること。



定められた期間に「履修登録」をしないと、履修希望する科目の受講、試験の受験ができず、単位の修得もできなくなります。

◆履修登録の流れ◆



● ToyoNet-G p.8

● GPA p.46

◆履修上限単位数（CAP 制）と履修科目の制限◆

各学期（セメスタ）に履修登録することのできる単位数に制限があります。

履修上限単位数

年次	春学期 (第1・第2クォーター)	秋学期 (第3・第4クォーター)
1～4	24 単位	24 単位

なお、履修上限単位数に含まれる科目は以下のとおりです。

履修上限単位数	区分	卒業要件
履修上限単位数に 含む	基盤教育	卒業要件に 含む
	文学部基盤科目	
	専門科目	
	他学部他学科開放科目	
履修上限単位数に 含まない	教職科目	卒業要件に 含まない
	自由科目	
	教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等」および「大学が独自に設定する科目」で、所属の学科教育課程表にない科目	

履修科目の制限・注意

- (1) 既に修得した科目は履修できません（学科によっては重複履修可能な科目もあります）。
- (2) 上級学年に配当されている科目は履修できません。
- (3) キャンパス間をまたがる履修においては、履修ができない時限帯があります。（p.34 参照）
- (4) 科目によっては、隔年開講の科目、第1・2部いずれかでのみ開講する科目があります。
- (5) 同一科目を同一学期に2科目以上履修することは原則できません（学科によっては重複履修可能な科目もあります）。ただし、履修した科目を修得できなかった場合は、次学期以降に再度履修することができます。
- (6) 科目により学部・学科・学年・クラス等指定されている科目がありますので、『履修登録のしおり』『授業時間割表』を確認の上、登録してください。
- (7) 自分の所属する学科の教育課程表にない科目を自由科目として履修する場合は、担当教員の許可を得て履修してください。
- (8) 科目によっては、定員制を設けている科目があります。第1回目の授業に出席し、担当教員の許可を得る必要があります。詳細は、『履修登録のしおり』を確認してください。
- (9) 科目によっては、履修希望者が集中し、教室の収容定員を超えた場合は、抽選等により履修者を決定します。詳細は、『履修登録のしおり』を確認してください。
- (10) 履修登録期間終了後、授業教室が変更される場合があります。

◆シラバス◆

シラバス（講義要項）には、授業の内容（概要）や到達目標など、科目の履修を通じて身につけることのできる知識、能力、また各回の授業の進め方や内容、成績評価方法・基準、使用テキストや予習・復習の指示などが、予め学生に示されています。

履修する科目を決めるにあたって、シラバスを熟読することはもちろん、次回の授業の準備学習や復習の際の振り返りに用いるなど、シラバスを活用することによって学習効果を高めるよう努めてください。

シラバスは「ToyoNet-G」にて公開しています。

● ToyoNet-G p.8

シラバスの記載項目

主な記載項目	記載内容
科目名	履修要覧・時間割表に記載されている科目名が示されています。
担当者	担当教員名が示されています。
サブタイトル	科目のサブタイトル、サブテーマが示されています。
講義の目的・内容	科目の目的として、どのような内容を学ぶのか、またどのように教授していくかについて示されています。
学修到達目標	履修を通じて身につけることのできる知識・能力などが具体的に示されています。
講義スケジュール	各回の授業内容・テーマをもとにしたスケジュールが示されています。
指導方法	担当教員がどのように授業内容を進めていくのかについて示されています。
事前・事後学習	授業を受講するにあたって、必要な予習・復習の指示が示されています。
成績評価の方法・基準	どのような評価方法で成績評価をするのか、また評価方法ごとにどれくらいの割合で成績に反映するのかについて示されています。
受講要件	履修にあたって予め必要な条件について示されています。
テキスト	授業で使用する教科書やテキストについて示されています。
参考書	授業に関連する参考書が紹介されています。

シラバスの検索方法

シラバスは ToyoNet-G にて検索することができます。

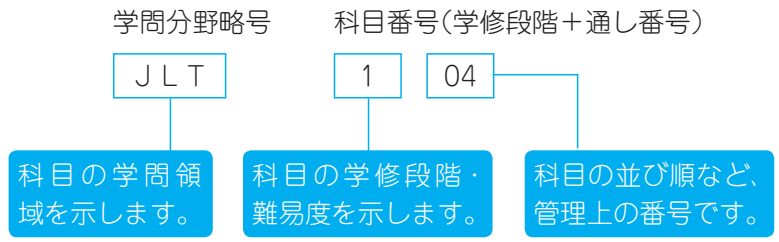
The image displays the ToyoNet-G interface for searching syllabi. It includes a user profile section, a search criteria form, and a search results page. Blue arrows point to the search criteria fields and the search button.

調べたい科目名や教員名を入力

◆◆ 科目の記号と番号 (科目ナンバリング) ◆◆

科目ナンバリングとは、授業科目の学問分野と学修段階(難易度)がわかるように各授業科目に番号を付して分類したものです。授業の難易度や専門性に応じて順次的に授業を選ぶことができます。

科目ナンバリングの体系



各授業科目には、記号と番号が付いています(各学科教育課程表を参照)。

- ④ 教育課程表
- 第1部哲学科 p.60
 - 第1部東洋思想文化学科 p.69
 - 第1部日本文学文化学科 p.86
 - 第1部英米文学科 p.94
 - 第1部史学科 p.102
 - 第1部教育学科 p.111
 - 第1部国際文化コミュニケーション学科 p.122
 - 第2部東洋思想文化学科 p.143
 - 第2部日本文学文化学科 p.160
 - 第2部教育学科 p.167

学問分野略号

教育課程表上の各科目に付されている学問分野略号は次のとおりです。

ABE	建築学	ENV	環境保全学	LIH	図書館情報学・人文社会情報学
ACC	会計学	EPS	環境政策・環境社会システム	LIN	言語学
AHS	応用健康科学	ESS	教科教育学	LIP	公認心理師
ARC	考古学	EUL	ヨーロッパ文学	MAN	経営学
ARL	芸術一般	EXP	実験心理学	MAT	数学
ARS	地域研究	FAH	美術史	MOF	金融・ファイナンス
ASA	美学・芸術諸学	FLE	外国語教育	MUD	マルチメディア・データベース
AST	天文学	FRA	語学(フランス語)	NDD	自然災害科学・防災学
BAB	基礎生物学	FUL	基礎法学	NFL	新領域法学
BSC	基礎化学	GBC	GBC セミナー	PFP	財政・公共経済
CAS	文化財科学・博物館学	GDE	ジェンダー	PHE	哲学・倫理学
CEE	土木環境システム	GER	語学(ドイツ語)	PHY	物理学
CEP	土木計画学・交通工学	GGR	地理学	POL	政治学
CHI	語学(中国語)	GLE	グローバル・アントレプレナーシップ	PSY	心理学
CHL	中国文学	HAA	アジア史・アフリカ史	PUL	公法学
CIB	中国哲学・印度哲学・仏教学	HEA	ヨーロッパ史・アメリカ史	RES	宗教学
CIL	民事法学	HIS	史学	SCE	科学教育
CIV	キャリア/インターシップ/ボランティア系組	HIT	思想史	SEM	ゼミナール/基礎演習
CLI	臨床心理学	HPH	衛生学・公衆衛生学	SHS	科学社会学・科学技術史
CME	商学	HSG	史学一般	SNE	特別支援教育
COT	計算基盤	HSS	健康・スポーツ科学	SOC	社会学
CRL	刑事法学	HUG	人文地理学	SOE	教育社会学
CUA	文化人類学・民俗学	HYE	水工学	SOF	ソフトウェア
DEV	持続可能システム	IDN	語学(インドネシア語)	SOL	社会法学
EAP	地球惑星科学	IHR	国際人の形成	SOP	社会心理学
ECD	キャリア・市民形成	ILA	国際法学	SPA	語学(スペイン語)
ECH	経済史	INN	情報ネットワーク	SPS	スポーツ科学
ECO	経済学	INR	国際関係論	SSS	社会・安全システム科学
ECP	経済政策	ITS	総合・学際	STS	統計科学
ECS	経済統計	JLE	日本語教育	SUS	留学支援
ECT	理論経済学	JLN	日本語学	SWS	社会福祉学
EDE	経済学説・経済思想	JLT	日本文学	THA	語学(タイ語)
EDP	教育心理学	JPH	日本史	THE	卒業論文/卒業制作
EDU	教育学	JPN	語学(日本語)	THI	情報学基礎理論
ENE	エネルギー学	KOR	語学(韓国語)	TOS	観光学
ENG	語学(英語)	LAW	法学	TPA	都市計画・建築計画
ENL	英語学	LIE	英米・英語圏文学	TYS	自校教育科目
		LIG	文学一般	WIS	ウェブ情報学・サービス情報学

科目番号（学修段階+通し番号）

100 番台	主に大学1年生を対象とした授業(1年次レベル)
200 番台	主に大学2年生を対象とした授業(2年次レベル)
300 番台	主に大学3年生を対象とした授業(3年次レベル)
400 番台	主に大学4年生を対象とした授業(4年次レベル)
500 番台	大学院レベル

※上記の科目番号(○年次レベル)は授業の難易度を示すものとして付されています。教育課程表に記載されている配当学年(履修可能年次)と異なる場合があります。

※通し番号は以下のルールで付番されています。

01～99→a1～a9→b1～b9→c1～c9…(以降アルファベット順に従います。)

◆◆教員との連絡◆◆

教員と連絡を取りたい場合は、次のような方法があります。

研究室を訪ねる

◎オフィスアワー
正課の授業とは別に学生と教員のコミュニケーションを密接にする場として設けた時間帯のこと。

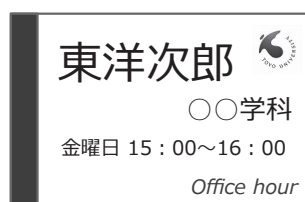
専任教員(教授、准教授、講師、助教)にはそれぞれ研究室があります。学生からの相談や質問を受けるために「オフィスアワー」を設けています。

オフィスアワーでは、授業内容に関する質問や、学修の進め方、履修登録のプランなどの相談のほか、レポート指導なども行っています。その他、卒業後の進路や休学、転部・転科、留学、大学院進学などの進路に関する相談、学生生活全般の相談など、幅広い相談に対応しています。

非常勤講師の教員は、研究室を持たないため、オフィスアワーはありません。連絡を取りたい場合は、ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されている連絡先を参照してください。

◆オフィスアワーの確認方法◆

- ① ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されている「オフィスアワー」の時間帯、研究室を確認し、訪問してください。予約が必要な場合もありますので、予め確認することをお勧めします。
- ② 研究室ドアに貼られている「オフィスアワー時間帯」を確認し訪問してください。研究室には、以下のような掲示がされています。



(オフィスアワーの掲示例)

メールを送る

ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されているメールアドレスを確認し、メールをしてください。



メールで連絡をする際には、必ず学籍番号・氏名を明記し、授業科目名を書くなど、何について質問・相談するか、簡潔にまとめること。



学修にあたって 試験・レポート

◆試験について◆

- 履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の3分の2以上出席し、所定の試験に合格しなければなりません。
- 試験には平常試験と学期末試験があります。科目によっては、レポートまたは平常点によって評価します。

試験には次の種類があります。

平常試験	各授業科目の担当教員が授業時間内で行うテスト等を指します。
学期末試験	各学期(春学期：7～8月、秋学期1～2月)の試験・補講調整期間に行われる試験 ※試験実施の2週間前に学期末試験時間割表をToyoNet-Gで発表します。
レポート	試験のうち、担当教員の判断により筆記試験に代えて課す課題
卒業再試験	卒業単位充足者発表後、所定の要件を満たした卒業を希望する4年生を対象として行われる特別試験

※授業ごとの成績評価方法については、シラバスの「成績評価の方法・基準」を確認してください。また授業中に担当教員から指示される場合があります。

平常・学期末試験受験上の注意

- 履修登録確認表に記載されていない科目を受験しても無効です。
- 学期末試験、平常試験ともに通常授業実施時間帯で試験が行われます。
- 試験会場は平常授業時と異なる場合があるので、ToyoNet-Gの情報を確認してください。
- 1科目で試験会場が2カ所以上になる場合、学籍番号で試験会場を指定するので、必ず指定された試験会場を受験してください。
- 試験に際しては、すべて監督者の指示に従ってください。
- 学期末試験では学生証がないと受験できないので必ず携帯し、試験会場では机上の指示された場所に提示してください（平常試験でも求められる場合がありますので、必ず携帯すること）。
- 試験会場に持ち込みできるものは、筆記用具・時計機能だけの時計・持ち込みが許可されたもののみです。携帯電話、スマートフォン等の通信機能が付いた機器は机上に置けません。試験の妨げにならないよう電源を必ず切って、かばんにしまってください。なお、上記の機器、音楽プレイヤーを時計代わりに使用することはできません。
- 筆記用具（ボールペン、鉛筆、消しゴム）を必ず持参してください。貸出は一切行いません。
- 試験中の飲食は禁止します。
- 答案用紙の、学部・学科・学年・学籍番号・氏名欄には必ず黒のペンまたはボールペンで記入してください（ただし、インクが消しゴム等で消せないものに限る）。
- 学籍番号欄は学生証に記載されている学籍番号の10ケタすべてを記入してください。学籍番号、氏名のない答案用紙は無効です。
- 学期末試験は試験開始後20分までに入室しないと受験資格を失います。また退室は開始後30分を経過し、監督者の指示があった後にのみ許可します。途中退室した場合、再入場は認めません。
- 天災、病気、その他やむを得ない理由によって、試験を受験できなかった場合は速やかに証明書または診断書（コピー可）等を添えて担当教員に届け出て、具体的な指示を受けてください。
- 不正行為を行った場合は、学則（第57条）に基づき処分されます。不正行為についての規程と処分内容はP.43を参照してください。平常試験でも不正行為があった場合には処分されます。担当教員の指示・説明をよく確認してください。
- 交通機関の運行や天候の乱れ等に留意し、試験会場へは時間に余裕をもって入場してください。

平常・学期末試験における不正行為

不正行為（本学の規則に反する行為、または学生の本分に反する行為）を平常・学期末試験において行った場合は、学則第 57 条に則り処分されます。

1. 処分の種類
処分は、譴責、停学又は無期停学とする。
2. 処分とその対象となる不正行為
 - (1) 譴責の対象となる行為
 - ア 持ち込みが認められているものの貸借。
 - イ 他人の答案の覗き見、答案を故意に他人に見せ又はそれを見る行為。
 - ウ 試験監督者又は監督補助者からの注意を無視した行為。
 - エ その他アからウに準ずる行為。
 - (2) 停学 1 ヶ月の対象となる行為
 - ア 解答用紙を交換する行為。
 - イ 許可されていないものの持込み。
 - ウ 書込みを許可されていない持込許可教材、机上、手掌等へ書込みをしておいた受験、又は、これに類似する行為。
 - エ 試験監督者又は監督補助者からの注意に対する暴言。
 - オ その他アからエに準ずる行為。
 - (3) 無期停学の対象となる行為
 - ア 替え玉受験。
 - イ 在学中における再度の不正行為。
 - ウ 試験監督者又は監督補助者からの注意に対する暴力行為。
 - エ その他、極めて悪質な行為。
3. 処分に伴う措置
 - (1) 処分の種別にかかわらず、不正行為のあった試験科目の単位は、当該年度（学期）において認定しない。また、上記「2. (2)」および「2. (3)」の停学の対象となる行為については、当該学期の試験期間において実施される全ての試験科目の単位を認定しない。
 - (2) 停学期間は当該学部教授会で処分に関する意見を決定した日から起算することを原則とする。
 - (3) 決定した処分内容については、不正行為者が所属する学部の学部長が、本人及び保証人と面接のうえ、通達する。
 - (4) 停学期間中は、不正行為者に対してその所属学部が教育的指導を行う。「譴責の対象となる行為アおよびイ」、「停学 1 ヶ月の対象となる行為ア」、「無期停学の対象となる行為ア」の不正行為は、その当事者すべてが上記（1）～（4）の措置の対象となる。
4. 不服申立て
不正行為の指摘を受けた学生は、不服申立てをすることができる。

卒業再試験

4 年次生で卒業当該学期に卒業要件を満たしていない者について、以下の要領で「卒業再試験」を実施します。

(受験資格)

卒業再試験は 4 年次生で卒業を希望する者であり、卒業当該学期に卒業に必要な単位数で不足している単位数が 8 単位以内の者に対して所定の手続きを経て行なわれます。

(対象科目)

卒業再試験の対象となる科目は以下のすべてに該当する科目とします。

- (1) 卒業当該学期に履修登録を行っている科目
- (2) 卒業単位充足者発表時の評価で「D」の評価を得た科目

(対象除外科目)

以下の科目は卒業再試験対象科目から除外されます。

- (1) 演習、実習、実験、実技、語学、ゼミナール関係科目
- (2) 卒業研究、卒業論文、卒業制作
- (3) 教職科目の内、教育の基礎的理解に関する科目等
- (4) 不正行為等により無効となった科目
- (5) 通常の評価において「E」「*（評価対象外）」と判定された科目
- (6) 科目の性質上、担当教員と開講責任学部の学部長が協議して卒業再試験にふさわしくないと判断した科目。ただし、その科目にあっては学生の履修登録以前に卒業再試験を実施しないことを学生に対して明示するものとします。

(再試験手続)

再試験は、卒業当該学期で発表される卒業単位充足者発表時に、定められた期間内に面接を受けた上で所定の手続を行うものとします。

- (1) 再試験手続を行わなかった場合は、自動的に受験する権利は消滅します。
- (2) 受験しようとする者は、卒業再試験対象科目であり、かつ卒業再試験を行う科目の中から、卒業に不足する単位数分の科目数のみ受験することができます。
- (3) 代理人による手続は認められません。

(再試験受験料)

再試験受験料は以下のとおりです。

1 科目 5,000 円

(再試験の評価)

卒業再試験の成績評価は以下のとおりです。

- (1) 成績評価基準は、それぞれの科目において学期末試験または平常試験で実施した基準と同等とします。
- (2) 再試験の結果、合格した者の成績評価は「C」評価とします。

◆レポートについて◆

レポート提出方法、日時、提出先を授業時及び掲示板で確認してください。



教務課窓口では、レポート郵送先・教員の連絡先の照会に応じることはできません。

レポートボックス設置場所

担当教員の指定するボックス番号、提出物の回収締め切り日時等を確認してください。

設置場所 2号館3階 3号館連絡通路脇 (No.1～50)
6号館2階 6210 教室横 (No.51～80)

Column

～ラーニングサポートセンターを活用しよう～

ラーニングサポートセンターでは、次のような学修相談・各種講座等の支援を行っています。大学での学修をより良くするためにも、ラーニングサポートセンターを利用しましょう。

- (1) 学習上の諸問題に係る相談
- (2) レポート・論文の書き方相談、文献・資料の調べ方相談
- (3) 高校までの基礎学力向上に係る支援
- (4) 資格等の学習に係る支援
- (5) 情報リテラシーに係る支援
- (6) 留学生を対象とした日本語ライティング支援、論文の書き方相談

～開室時間～

月～金 10:00～18:00 3号館1階 ナレッジスクエア内

※開室日時は変更になることがあります。利用の際は、ホームページにて確認してください。



学修にあたって 成績

◆ 単位の認定 ◆

単位の認定は、履修登録した科目に対して、出席状況、試験（レポート含む）等によって評価されます。

シラバス p.39



授業科目ごとの成績評価方法は、シラバスに記載された「成績評価の方法・基準」を確認してください。

◆ 成績評価基準 ◆

本学の成績評価基準は以下のとおりです。

合否	成績表示	評価点の範囲	基準
合格	S	100～90	到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。
	A	89～80	到達目標を十分に達成している。
	B	79～70	到達目標を達成している。
	C	69～60	到達目標を最低限達成している。
不合格	D	59～40	到達目標を達成していない項目があるが、学修行動を改めることにより達成する可能性がある。
	E	39以下	到達目標の項目の全てまたはほとんどを達成していない。
	*	評価対象外	出席・試験・レポート提出等の評価要件を欠格。

※ 上記の到達目標とは授業科目のシラバスに明記された到達目標を指します。

※ 「評価対象外」とは、授業期間を通じ出席不良（3分の2以上の出席をしていない）、またはレポート未提出、試験の不受験のために成績評価の判断ができないものを指します。

※ 上表のほか、留学や他大学での学修成果などを単位認定する場合、「T（Transferの略）」を合格の評価として使用します。



履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の3分の2以上出席し、所定の試験（レポート、平常試験等含む）に合格しなければなりません。

◆ GPA 制度 ◆

GPA（Grade Point Average）とは、授業科目ごとの成績に対して、4.3～0.0のグレード・ポイントを付与し、この1単位あたりの平均を算出したもので、学生の学習到達度をはかる指標として、国内外の大学で広く使われています。

【GPAの算出方法】

$$\text{GPA} = \frac{(S \text{ の修得単位数} \times 4.3) + (A \text{ の修得単位数} \times 4.0) + (B \text{ の修得単位数} \times 3.0) + (C \text{ の修得単位数} \times 2.0) + (D \text{ の修得単位数} \times 1.0) + (E \text{ の修得単位数} \times 0.0) + (* \text{ の修得単位数} \times 0.0)}{\text{総履修登録単位数}}$$

※ 対象とする科目は、卒業要件の科目とし、卒業要件以外の資格科目・自由科目は対象となりません。

※ 対象とする評価は、「S、A、B、C、D、E、*」とし、認定の評価「T」は対象となりません。

※ 再履修で評価を受けた成績については、最新の成績が反映されます（GPA算出の分母にあたる「総履修登録単位数」にはカウントされません）。

※ GPAは計算結果の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示します。文学部では、GPA2.0以上を卒業時の成績の目安としています（卒業要件ではありません）。

◆◆成績の通知◆◆

- (1) 成績は学期ごとに ToyoNet-G で通知します。成績発表日については掲示等でお知らせします。
- (2) 成績表は毎学期、保証人へ送付します（留学生を除く）。



保証人への送付を希望しない学生は、定められた期間に教務課窓口で手続を行ってください。

◆◆成績調査◆◆

成績発表後、以下に該当する場合において、定められた日時に成績調査を行い、成績評価を確認することができます。

履修登録し、シラバスに記載された成績評価基準を満たしているが、自身の成績評価に誤りがある十分な理由があり、科目担当教員に成績評価に誤りがないか確認を求める場合。

ToyoNet-G で成績調査の申請および申請結果の確認ができます。



成績調査は成績の再考を求めたり、個別の得点の開示を求めたりするものではありません。成績調査の趣旨に沿わない調査申請については、申請を取り消されるので十分に注意してください。

◆◆単位僅少者に対する学修指導について◆◆

④ ラーニングサポートセンター
p.45

各セメスタもしくは学年の終了後、修得単位が僅少の学生に対しては、学修計画について見直すなどの学修指導（面談）を行う場合があります。学部・学科からの連絡・指示に従って、学修指導を受けてください。

学修にあたって その他

◆◆学生アンケートについて◆◆

本学では、教育の改革・改善を目的として、各授業の改善を図るために毎学期ごとに行う授業評価アンケートや、各学年のカリキュラムや教育方法、学習支援の検証を行うための学生アンケートを実施しています。

アンケートの実施は別途周知されますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

◆◆学外での学習活動について◆◆

学外実習・フィールドワーク等は、必ず担当教員の指示のもと実施するようにしてください。また周囲への配慮はもちろんのこと、本学学生として自覚をもった行動をするよう心がけてください。

またすべての学生は、「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」に加入しています。傷害を被った場合は、所定の手続きにより保険の請求をすることができます。

詳しくは、『学生生活ハンドブック』、もしくは学生支援課窓口まで問合せください。

◆◆4年間の主な流れ・スケジュール◆◆

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	入学式 新入生オリエンテーション	進級手続		
	春学期履修登録／春学期・第1クォーター授業開始			
5月～6月	第1クォーター授業終了／第2クォーター授業開始			
	第1クォーター成績発表・成績調査			
	春学期（第2クォーター）授業終了／春学期試験・補講調整期間			
	夏季休暇／夏セッション			
7月～9月	春学期・第2クォーター成績発表・成績調査			
				※第8セメスタ以降学生対象 卒業単位充足者発表 卒業再試験 卒業決定者発表 卒業式
	秋学期履修登録／秋学期・第3クォーター授業開始			
	大学祭			
10月～12月	第3クォーター授業終了／第4クォーター授業開始			
	第3クォーター成績発表・成績調査			
	冬季休暇			
1月	秋学期（第4クォーター）授業終了／秋学期試験・補講調整期間			
	春季休暇／春セッション			
2月	秋学期・第4クォーター成績発表・成績調査			
3月				卒業単位充足者発表 卒業再試験 卒業決定者発表 卒業式

※年度によって変更されることもあるので、『学生生活ハンドブック』の「年度行事予定表」を参照すること。

教育課程及び履修に際しての注意

学科教育課程表には以下の内容が記載されています。

①カリキュラムマップ

1年次から4年次までの科目体系をモデル化した図です。必ずカリキュラムマップの通りに単位を修得しなければならないものではありません。将来の自分を見据えて、学びたい科目体系の指標としてください。

②教育課程表

教育課程表に記載されている科目の一覧表です。図表化されたものと、リスト化されたものとの、2種類あります。表記の形態は異なりますが、単位数、配当学年などは同じ内容です。

【教育課程表（リスト形式）の見方】

卒業要件	区分	必修／選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意／備考
基盤教育							
基盤教育 12単位以上	哲学・思想 2単位以上	選択	PHE101	哲学A	1～4	2	
		選択	PHE102	哲学B	1～4	2	
		選択	PHE103	哲学史A	1～4	2	
		選択	PHE104	哲学史B	1～4	2	
		選択	PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2	
		選択	PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2	
		選択	PHE107	応用倫理学A	1～4	2	
		選択	PHE108	応用倫理学B	1～4	2	
		選択	HIT101	科学思想史A	1～4	2	

- ・卒業要件 : 卒業に必要な要件を表しています。
- ・区分 : 科目の種類区分と卒業するために必要な条件を表しています。
- ・科目ナンバリング : 科目の科目ナンバリングを表しています。(p.40 参照)
- ・科目名 : 科目の名称です。
- ・配当学年 : その科目が履修することができる配当学年を表しています。
- ・単位数 : その科目を履修、修得した場合の単位数を表しています。
- ・履修上の注意／備考 : その科目を履修するうえでの注意事項や補足説明を表しています。

③卒業要件

各学科に定められている卒業要件を記載しています。各要件を満たし、学科教育課程を卒業することで、学位（学士）が授与されます。

履修についての全学科共通注意事項（第1部）

基盤教育について

- スポーツ・健康科目の授業は、東洋大学総合スポーツセンター（板橋区清水町）で開講されます。
- 「自然科学演習A・B」は、2年次以上でかつ基盤教育「学問の基礎」内の「自然の数理A」以下の科目を合計8単位以上修得していなければ、履修することができません。

文学部基盤科目

セット履修科目

教育課程表に「セット」とある科目は、同一名称の科目Aと科目Bをセットで履修することを原則とします。

従って、春学期に科目Aを履修した場合は秋学期に同コースの科目Bを履修してください。

隔年開講科目

教育課程表に「隔年開講」とある科目は、隔年にて開講となります。

履修を希望する場合は、開講年度に注意してください。

第1部・第2部いずれかで開講する科目

教育課程表に「いずれか」とある科目は、第1部・第2部いずれかでの開講となります。

履修を希望する場合は、開講曜日時限を確認して履修してください。

第2部時間帯のみで開講する科目

教育課程表に「2部開講」とある科目は、第2部時間帯のみでの開講となります。履修を希望する場合は、第2部時間帯（6時限・7時限）の時間割を参照してください。

教職科目

教職科目は、各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）を超えて履修することができます。

他学部他学科開放科目（専門開放科目）

- 別（p.128）に定める他学部他学科開放科目（専門開放科目）を履修かつ修得した場合、その科目の単位数は、卒業単位として算入されます。
- 所属する学科の教育課程表にある科目と同一名称の科目は履修できません。

自由科目

所属学科教育課程表にない科目で、なおかつ、前項の他学部他学科開放科目（専門開放科目）として提示されていない科目の履修を希望する場合は、履修する学部学科の配当学年に従い、担当教員の許可を得て、卒業単位にならない自由科目として履修することができます。

ただし、以下の科目については、履修できないので注意してください。

1. カリキュラム年度の異なる科目
2. 第2部開講の科目（第1部の教育課程表に掲載されていない科目）
3. 所属する学部学科の科目と同一名称の科目

文学部第1部基盤教育 教育課程表

◆◆基盤教育について◆◆

基盤教育の卒業要件は下記のとおり学科によって異なります。詳細は各学科教育課程ページ（卒業要件および教育課程表）を各自で確認してください。

基盤教育 卒業要件単位数（抜粋）

学科名	要件	必要単位数
哲学科	「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位修得すること。	12単位以上
東洋思想文化学科		16単位以上
日本文学文化学科		16単位以上
英米文学科		14単位以上
史学科		16単位以上
教育学科		16単位以上
国際文化コミュニケーション学科		12単位以上

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/ 備考
基盤教育						
哲学・思想 2単位以上	選択	PHE101	哲学A	1～4	2	
	選択	PHE102	哲学B	1～4	2	
	選択	PHE103	哲学史A	1～4	2	
	選択	PHE104	哲学史B	1～4	2	
	選択	PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2	
	選択	PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2	
	選択	PHE107	応用倫理学A	1～4	2	
	選択	PHE108	応用倫理学B	1～4	2	
	選択	HIT101	科学思想史A	1～4	2	
	選択	HIT102	科学思想史B	1～4	2	
	選択	RES101	宗教学ⅠA	1～4	2	
	選択	RES102	宗教学ⅠB	1～4	2	
	選択	RES103	宗教学ⅡA	1～4	2	
	選択	RES104	宗教学ⅡB	1～4	2	
	選択	INR101	地球倫理A	1～4	2	
	選択	INR102	地球倫理B	1～4	2	
	選択	PHE109	論理学A	1～4	2	
	選択	PHE110	論理学B	1～4	2	
	選択	CIB101	東洋思想	1～4	2	
人文科学	選択	FAH101	美術史A	1～4	2	
	選択	FAH102	美術史B	1～4	2	
	選択	ASA101	音楽学A	1～4	2	
	選択	ASA102	音楽学B	1～4	2	
	選択	HSG101	歴史の諸問題A	1～4	2	
	選択	HSG102	歴史の諸問題B	1～4	2	
	選択	EUL101	西欧文学A	1～4	2	
	選択	EUL102	西欧文学B	1～4	2	
	選択	JLT109	現代日本文学A	1～4	2	
	選択	JLT110	現代日本文学B	1～4	2	
	選択	LIG101	アジアの文学	1～4	2	
学問の基礎 社会科学	選択	LIG102	アジアの古典	1～4	2	
	選択	ECT101	経済学A	1～4	2	
	選択	ECT102	経済学B	1～4	2	
	選択	ECS101	統計学A	1～4	2	
	選択	ECS102	統計学B	1～4	2	
	選択	MAN101	経営学A	1～4	2	
	選択	MAN102	経営学B	1～4	2	
	選択	LAW101	法学A	1～4	2	
	選択	LAW102	法学B	1～4	2	
	選択	POL101	政治学A	1～4	2	
	選択	POL102	政治学B	1～4	2	
	選択	SOC103	社会学A	1～4	2	
	選択	SOC104	社会学B	1～4	2	
	選択	CUA101	人類学A	1～4	2	
	選択	CUA102	人類学B	1～4	2	
	選択	GGR101	地理学A	1～4	2	

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/ 備考	
社会科学	選択	GGR102	地理学B	1~4	2		
	選択	PSY101	心理学A	1~4	2		
	選択	PSY102	心理学B	1~4	2		
学問の基礎	選択	MAT101	自然の数理A	1~4	2		
	選択	MAT102	自然の数理B	1~4	2		
	選択	PHY101	生活と物理A	1~4	2		
	選択	PHY102	生活と物理B	1~4	2		
	選択	ENE101	エネルギーの科学A	1~4	2		
	選択	ENE102	エネルギーの科学B	1~4	2		
	選択	BSC101	物質の科学A	1~4	2		
	選択	BSC102	物質の科学B	1~4	2		
	選択	ENV101	環境の科学A	1~4	2		
	選択	ENV102	環境の科学B	1~4	2		
	選択	EAP101	地球の科学A	1~4	2		
	選択	EAP102	地球の科学B	1~4	2		
	選択	BAB101	生物学A	1~4	2		
	選択	BAB102	生物学B	1~4	2		
	選択	AST101	天文学A	1~4	2		
	選択	AST102	天文学B	1~4	2		
	選択	SCE101	自然科学概論A	1~4	2		
	選択	SCE102	自然科学概論B	1~4	2		
	選択	CAS101	自然誌A	1~4	2		
	選択	CAS102	自然誌B	1~4	2		
	選択	PHY103	物理学実験講義A	1~4	2		
	選択	PHY104	物理学実験講義B	1~4	2		
	選択	BAB103	生物学実験講義A	1~4	2		
	選択	BAB104	生物学実験講義B	1~4	2		
	選択	BSC103	化学実験講義A	1~4	2		
	選択	BSC104	化学実験講義B	1~4	2		
	選択	EAP103	地球科学実験講義A	1~4	2		
	選択	EAP104	地球科学実験講義B	1~4	2		
	選択	SOF101	数理・情報実習講義A	1~4	2		
	選択	SOF102	数理・情報実習講義B	1~4	2		
	選択	AST103	天文学実習講義A	1~4	2		
	選択	AST104	天文学実習講義B	1~4	2		
	世界の伝統と文化	選択	ARS101	地域文化研究ⅠA	1~4	2	
選択		ARS102	地域文化研究ⅠB	1~4	2		
選択		ARS103	地域文化研究ⅡA	1~4	2		
選択		ARS104	地域文化研究ⅡB	1~4	2		
選択		ARS105	地域文化研究ⅢA	1~4	2		
選択		ARS106	地域文化研究ⅢB	1~4	2		
選択		INR103	国際教育論A	1~4	2		
選択		INR104	国際教育論B	1~4	2		
選択		INR105	多文化共生論A	1~4	2		
選択		INR106	多文化共生論B	1~4	2		
選択		JLT101	百人一首の文化史A	1~4	2		
選択		JLT102	百人一首の文化史B	1~4	2		
選択		JLT103	日本の昔話A	1~4	2		
選択		JLT104	日本の昔話B	1~4	2		
選択		JLT105	日本文学文化と風土A	1~4	2		
選択		JLT106	日本文学文化と風土B	1~4	2		
選択		JLT107	日本の詩歌A	1~4	2		
選択		JLT108	日本の詩歌B	1~4	2		
選択		JPH101	地域史(日本)A	1~4	2		
選択		JPH102	地域史(日本)B	1~4	2		
選択		HAA101	地域史(東洋)A	1~4	2		
選択		HAA102	地域史(東洋)B	1~4	2		
選択		HEA101	地域史(西洋)A	1~4	2		
選択		HEA102	地域史(西洋)B	1~4	2		
選択		GGR301	国際比較論A	1~4	2		
選択		GGR302	国際比較論B	1~4	2		
選択		IHR117	国際関係入門	1~4	2		
選択		TOS101	地域と生活	1~4	2		
グローバル社会の実際		選択	IHR116	異文化理解概論	1~4	2	
		選択	IHR103	留学のすすめ	1~4	2	
		選択	IHR104	海外研修Ⅰ	1~4	2	
		選択	IHR105	海外研修Ⅱ	1~4	2	
		選択	IHR106	海外実習Ⅰ	1~4	2	
	選択	IHR107	海外実習Ⅱ	1~4	2		
	選択	IHR108	短期海外研修Ⅰ	1~4	1		
	選択	IHR109	短期海外研修Ⅱ	1~4	1		
選択	IHR110	短期海外研修Ⅲ	1~4	1			
選択	IHR111	短期海外研修Ⅳ	1~4	1			

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/ 備考	
国際人の形成	グローバル 英語	選択	IHR112	短期海外実習Ⅰ	1～4	1	
		選択	IHR113	短期海外実習Ⅱ	1～4	1	
		選択	IHR114	短期海外実習Ⅲ	1～4	1	
		選択	IHR115	短期海外実習Ⅳ	1～4	1	
	語学	選択	ENG147	Business English Communication	1～4	2	
		選択	ENG145	テクニカルライティング	1～4	2	
		選択	ENG146	アカデミックライティング	1～4	2	
		選択	ENG139	IELTS for Study Abroad Ⅰ Listening/Speaking	1～4	2	
		選択	ENG140	IELTS for Study Abroad Ⅰ Reading/Writing	1～4	2	
		選択	ENG141	IELTS for Study Abroad Ⅱ Listening/Speaking	1～4	2	LEAPプログラム 詳細は221ページ 参照
		選択	ENG142	IELTS for Study Abroad Ⅱ Reading/Writing	1～4	2	
		選択	ENG143	Pre-Study Abroad : Listening/Speaking	1～4	2	
		選択	ENG144	Pre-Study Abroad : Writing	1～4	1	
		選択	HUG101	日本事情ⅠA	1～4	2	
		選択	HUG102	日本事情ⅠB	1～4	2	
		選択	JLN101	日本事情ⅡA	1～4	2	外国人留学生 のみ履修可
		選択	JLN102	日本事情ⅡB	1～4	2	
		選択	SOC101	日本事情ⅢA	1～4	2	
選択	SOC102	日本事情ⅢB	1～4	2			
選択	IHR118	日本の文化と社会	1～4	2			
キャリア・市民形成 2単位以上	選択	PUL101	日本国憲法	1～4	2		
	選択	CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2		
	選択	CME102	流通入門	1～4	2		
	選択	ACC101	基礎会計学	1～4	2		
	選択	ACC102	企業会計	1～4	2		
	選択	THI101	情報化社会と人間	1～4	2		
	選択	THI102	情報倫理	1～4	2		
	選択	THI103	コンピュータ・リテラシー	1～4	2		
	選択	CIV102	インターンシップ入門	1～4	2		
	選択	CIV103	社会貢献活動入門	1～4	2		
	選択	CIV201	公務員論	1～4	2		
	選択	EPS101	地球環境論	1～4	2		
	選択	PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2		
	選択	PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2		
	選択	CIV101	キャリアデザイン入門	1～4	2		
	選択	CIV202	キャリアデザイン実践	2～4	2		
	選択	CIV304	キャリアデベロップメント	3～4	2		
	選択	CIV104	コミュニケーション& マナー入門	1～4	2		
選択	CIV203	コミュニケーション& マナー実践	2～4	2			
選択	CIV238	ファシリテーション概論	2～4	2			
健康・スポーツ科学	選択	HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1		
	選択	HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1		
	選択	HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1		
	選択	HSS104	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1		
	選択	HSS105	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1		
	選択	HSS106	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1		
	選択	HSS111	スポーツ健康科学実技ⅣA	1～4	1		
	選択	HSS112	スポーツ健康科学実技ⅣB	1～4	1		
	選択	HSS107	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2		
	選択	HSS108	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2		
	選択	HSS109	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2		
選択	HSS110	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2			
総合・学際	選択	TYS107	全学総合A	1～4	2		
	選択	TYS108	全学総合B	1～4	2		
	選択	TYS109	全学総合C	1～4	2		
	選択	ITS112	全学総合F	1～4	2		
	選択	ITS113	全学総合G	1～4	2		
	選択	ITS114	全学総合H	1～4	2		
	選択	ITS115	全学総合I	1～4	2		
	選択	ITS116	全学総合J	1～4	2		
	選択	ITS117	全学総合K	1～4	2		
	選択	ITS118	全学総合L	1～4	2		
	選択	ITS119	全学総合M	1～4	2		
	選択	TYS105	総合A	1～4	2		
	選択	TYS106	総合B	1～4	2		
	選択	ITS101	総合C	1～4	2		
	選択	ITS102	総合D	1～4	2		
	選択	ITS103	総合E	1～4	2		
	選択	ITS104	総合F	1～4	2		
	選択	ITS105	総合G	1～4	2		
	選択	ITS106	総合H	1～4	2		
	選択	ITS107	総合I	1～4	2		
	選択	ITS108	総合J	1～4	2		
選択	ITS109	総合K	1～4	2			
選択	ITS110	総合L	1～4	2			
選択	ITS111	総合M	1～4	2			

文学部第1部文学部基盤科目 教育課程表

◆文学部基盤科目について◆

文学部基盤科目の卒業要件は学科によって異なります。詳細は各学科教育課程ページ（卒業要件、教育課程表）を各自で確認してください。

相互聴講制度による第2部提供科目について、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。東洋思想文化学科、日本文学文化学科、教育学科の専門科目の相互聴講制度による単位数も30単位に含みます。

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意/備考	
文学部教育	TYS101	東洋大学・井上円了研究	1～4	2			
	CUA103	伝統文化講座	1～4	2			
文学部基礎専門科目	PHE113	論理学概論A	1	2	哲学科は除く		
	PHE114	論理学概論B	1	2			
	PHE117	西洋哲学史基礎概説A	1	2			
	PHE118	西洋哲学史基礎概説B	1	2			
	PHE213	比較思想A	2～4	2			
	PHE214	比較思想B	2～4	2			
	PHE215	哲学と科学A	2～4	2			
	PHE216	哲学と科学B	2～4	2			
	PHE221	現代倫理学A	2～4	2			
	PHE222	現代倫理学B	2～4	2			
	PHE123	哲学とキリスト教A	1～4	2			
	PHE124	哲学とキリスト教B	1～4	2			
	PHE301	哲学概論A	3	2		哲学科、東洋思想文化学科は除く	
	PHE302	哲学概論B	3	2			
	PHE303	倫理学概論A	3～4	2	哲学科は除く		
	PHE304	倫理学概論B	3～4	2			
	CIB108	インド文化概論A	1～4	2	東洋思想文化学科は除く		
	CIB109	インド文化概論B	1～4	2			
	ASA103	インド・仏教の美術A	1～4	2			
	ASA104	インド・仏教の美術B	1～4	2			
	CIB203	インド仏教史A	2～4	2			
	CIB204	インド仏教史B	2～4	2			
	LIN101	サンスクリット語ⅠA	1～4	1			
	LIN102	サンスクリット語ⅠB	1～4	1			
	LIN103	ヒンディー語A	1～4	1			
	LIN104	ヒンディー語B	1～4	1			
	LIN205	サンスクリット語ⅡA	2～4	1			
	LIN206	サンスクリット語ⅡB	2～4	1			
	LIN207	パーリ語A	2～4	1			
	LIN208	パーリ語B	2～4	1			
	LIN209	チベット語A	2～4	1			
	LIN210	チベット語B	2～4	1			
	CIB115	インド現代思想	1～4	2			
	CIB116	現代のインド	1～4	2			
CIB117	中国学概論A	1	2				
CIB118	中国学概論B	1	2				
CIB303	中国哲学史A	3～4	2				
CIB304	中国哲学史B	3～4	2				
CHL303	中国現代文学史A	3～4	2				
CHL304	中国現代文学史B	3～4	2				
JLT315	日本漢学A	3～4	2				
JLT316	日本漢学B	3～4	2				
CIB212	チベット仏教史	2～4	2				
CHL301	中国文学史A	3～4	2	東洋思想文化学科、日本文学文化学科は除く			
CHL302	中国文学史B	3～4	2				
CIB209	中国仏教史A	2～4	2	東洋思想文化学科は除く			
CIB210	中国仏教史B	2～4	2				

セット…セット履修科目、隔年開講…隔年開講科目、いずれか…第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講…第2部時間帯のみで開講する科目、相互聴講…第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意 / 備考	
文学部 基礎専門 科目	CIB213	日本仏教史A	2~4	2	東洋思想文化学科、 日本文学文化学科は除く		
	CIB214	日本仏教史B	2~4	2			
	CIB223	海外文化研修Ⅰ	1~4	2			
	CIB224	海外文化研修Ⅱ	1~4	2			
	LIG103	比較文学Ⅰ	1~2	2	東洋思想文化学科、 日本文学文化学科 は除く		
	LIG104	比較文学Ⅱ	1~2	2			
	CHL201	世界の文学文化と日本Ⅲ	1~4	2			
	CHL202	世界の文学文化と日本Ⅳ	1~4	2			
	FAH103	日本美術の世界	1~4	2			
	ARS107	韓国の文化と社会	1~4	2			いずれか
	LIE201	世界の文学文化と日本Ⅰ	1~4	2		日本文学文化学科 は除く	
	LIE202	世界の文学文化と日本Ⅱ	1~4	2			
	CUA104	伝統行事を学ぶ	1~4	2			
	JLT121	伝統芸能を学ぶ	1~4	2			いずれか
	JLT218	日本の児童文学	2~4	2	英米文学学科は除く		
	LIE207	英文学特講ⅠA	2~3	2			
	LIE208	英文学特講ⅠB	2~3	2			
	LIE209	英文学特講ⅡA	2~3	2			
	LIE210	英文学特講ⅡB	2~3	2			
	LIE211	英文学特講ⅢA	2~3	2			
	LIE212	英文学特講ⅢB	2~3	2			
	LIE213	米文学特講ⅠA	2~3	2			
	LIE214	米文学特講ⅠB	2~3	2			
	LIE215	米文学特講ⅡA	2~3	2			
	LIE216	米文学特講ⅡB	2~3	2			
	LIE103	英語圏の社会と文化ⅠA	1~2	2		史学科は除く	
	LIE104	英語圏の社会と文化ⅠB	1~2	2			
	LIE105	英語圏の社会と文化ⅡA	1~2	2			
	LIE106	英語圏の社会と文化ⅡB	1~2	2			
	JPH103	日本史概説A	1	2			
	JPH104	日本史概説B	1	2			
	HEA103	西洋史概説A	1	2	教育学科は除く		
	HEA104	西洋史概説B	1	2			
	HAA103	東洋史概説A	1	2			
	HAA104	東洋史概説B	1	2			
	EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1~2	2			
	SNE102	特別支援教育概論Ⅰ	1~2	2			
	EDP104	家族心理学	1~4	2	国際文化コミュニ ケーション学科 は除く		
	EDU119	児童文化研究	1~4	2			
	SNE104	特別支援教育概論Ⅱ	1~4	2			
	PSY103	心理学の研究と理論	1~4	2			
	ESS102	初等英語特講	1~3	2			
	JLT145	日本文化表象ⅠA	1~4	2			
JLT146	日本文化表象ⅠB	1~4	2				
EUL105	ドイツ文化・文学研究A	1~4	2				
EUL106	ドイツ文化・文学研究B	1~4	2				
EUL107	フランス文化・文学研究A	1~4	2				
EUL108	フランス文化・文学研究B	1~4	2				
LIG113	国際文化理解A	1~4	2				
LIG114	国際文化理解B	1~4	2				
LIG202	異文化交流論ⅠA	2~4	2				
LIG203	異文化交流論ⅠB	2~4	2				
GER221	ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅰ	2~4	2				
GER222	ドイツ語リーディングⅠ	2~4	2				
FRA219	フランス語で学ぶ異文化交流Ⅰ	2~4	2				
FRA220	フランス語リーディングⅠ	2~4	2				
GER309	ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅱ	3~4	2				
GER310	ドイツ語リーディングⅡ	3~4	2				
FRA309	フランス語で学ぶ異文化交流Ⅱ	3~4	2				
FRA310	フランス語リーディングⅡ	3~4	2				
国際 コミュニ ケーション 科目	英語	ENG101	英語ⅠA A	1	1		
		ENG102	英語ⅠA B	1	1		
		ENG103	英語ⅠB A	1	1		
		ENG104	英語ⅠB B	1	1		
		ENG201	検定英語A	1~4	2		
		ENG202	検定英語B	1~4	2		
		ENG203	Practical Writing A	1~4	2		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目、相互聴講・・・第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意/備考	
国際コミュニケーション科目	英語	ENG204	Practical Writing B	1～4	2	国際文化コミュニケーション学科は除く	
		ENG205	英語Ⅱ A A	2	1		
		ENG206	英語Ⅱ A B	2	1		
		ENG207	英語Ⅱ B A	2	1		
		ENG208	英語Ⅱ B B	2	1		
		ENG301	Business English A	3～4	1		
		ENG302	Business English B	3～4	1		
		ENG303	Media English A	3～4	1		
		ENG304	Media English B	3～4	1		
		ENG148	Oral Communication AA	1	1		国際文化コミュニケーション学科のみ履修可
		ENG149	Oral Communication AB	1	1		
		ENG150	Oral Communication BA	1	1		
		ENG151	Oral Communication BB	1	1		
		ENG239	Global Communication AA	2	1		
		ENG240	Global Communication AB	2	1		
		ENG241	Global Communication BA	2	1		
		ENG242	Global Communication BB	2	1		
		ENG328	Speech Communication A	3	1		
		ENG329	Speech Communication B	3	1		
		ドイツ語	GER101	ドイツ語Ⅰ A A	1	1	
	GER102		ドイツ語Ⅰ A B	1	1		
	GER103		ドイツ語Ⅰ B A	1	1		
	GER104		ドイツ語Ⅰ B B	1	1		
	GER201		ドイツ語Ⅱ A A	2	1		
	GER202		ドイツ語Ⅱ A B	2	1		
	GER203		ドイツ語Ⅱ B A	2	1		
	GER204		ドイツ語Ⅱ B B	2	1		
	GER301		ドイツ語講読と文化A	3～4	1		
	GER302		ドイツ語講読と文化B	3～4	1		
	フランス語	FRA101	フランス語Ⅰ A A	1	1		
		FRA102	フランス語Ⅰ A B	1	1		
		FRA103	フランス語Ⅰ B A	1	1		
		FRA104	フランス語Ⅰ B B	1	1		
		FRA201	フランス語Ⅱ A A	2	1		
		FRA202	フランス語Ⅱ A B	2	1		
		FRA203	フランス語Ⅱ B A	2	1		
		FRA204	フランス語Ⅱ B B	2	1		
		FRA301	フランス語講読と文化A	3～4	1		
		FRA302	フランス語講読と文化B	3～4	1		
	中国語	CHI101	中国語Ⅰ A A	1	1	哲学科、英米文学科は除く	
		CHI102	中国語Ⅰ A B	1	1		
		CHI103	中国語Ⅰ B A	1	1		
CHI104		中国語Ⅰ B B	1	1			
CHI201		中国語Ⅱ A A	2	1			
CHI202		中国語Ⅱ A B	2	1			
CHI203		中国語Ⅱ B A	2	1			
CHI204		中国語Ⅱ B B	2	1			
CHI301		中国語講読と文化A	3～4	1			
CHI302		中国語講読と文化B	3～4	1			
日本語(留学生用)	JPN125	日本語Ⅰ A	1～4	1	外国人留学生のみ履修可 留学生は127ページ参照		
	JPN126	日本語Ⅰ B	1～4	1			
	JPN127	日本語Ⅱ A	1～4	1			
	JPN128	日本語Ⅱ B	1～4	1			
	JPN210	日本語Ⅲ A	2～4	1			
	JPN211	日本語Ⅲ B	2～4	1			
	JPN212	応用日本語	2～4	1			
	JPN207	日本語と日本社会A	2～4	2			
	JPN208	日本語と日本社会B	2～4	2			
	JPN129	ビジネス日本語と日本文化Ⅰ	1～4	2			
	JPN130	ビジネス日本語と日本文化Ⅱ	1～4	2			
	JPN131	ビジネス日本語と日本文化Ⅲ	1～4	2			
JPN132	日本語アカデミックライティングⅠ	1～4	1				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目、相互聴講・・・第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意/備考		
ケン ニ 三 留 生 用 日 本 語	JPN133	日本語アカデミックライティングⅡ	1～4	1	外国人留学生 のみ履修可 留学生は127ページ参照			
	JPN134	日本語アカデミックライティングⅢ	1～4	1				
	JPN135	日本語アカデミックライティングⅣ	1～4	1				
諸資格 関連科目	EDU110	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	教育学科は除く	相互聴講		
	EDU203	生涯学習支援論Ⅰ	1～4	2				
	EDU204	生涯学習支援論Ⅱ	1～4	2				
	EDU201	社会教育経営論Ⅰ	1～4	2				
	EDU202	社会教育経営論Ⅱ	1～4	2				
	EDU111	女性問題と学習	1～4	2				
	EDU114	グローバル化と学習	1～4	2				
	EDU115	家庭教育論	1～4	2				
	EDU116	視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)	1～4	2				
	EDU205	社会教育実習	2～4	1				
	EDU112	社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2				
	EDU113	社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2				
	EDU101	教育基礎論	1	2				
	EDU102	教育制度論	1	2				
	LIH101	図書館概論	1～2	2				相互聴講
	LIH102	情報サービス論	1～4	2				
	LIH103	児童サービス論	1～4	2				
	LIH104	図書・図書館史	1～4	2				
	LIH105	図書館制度・経営論	1～4	2				
	LIH106	図書館サービス概論	1～2	2				
	LIH201	情報サービス演習A	2～4	1				
	LIH202	情報サービス演習B	2～4	1				
	LIH107	図書館情報資源概論	1～4	2				
	LIH108	図書館情報資源特論	1～4	2				
	LIH109	情報資源組織論	1～4	2				
	LIH203	情報資源組織演習A	2～4	1				
	LIH204	情報資源組織演習B	2～4	1				
	LIH110	図書館情報技術論	1～4	2				
	LIH113	学校経営と学校図書館	1～4	2				
	LIH112	読書と豊かな人間性	1～4	2				
	LIH111	学習指導と学校図書館	1～4	2				
	LIH114	情報メディアの活用	1～4	2				
	LIH115	学校図書館メディアの構成	1～4	2				
	CAS203	博物館経営論	2	2	史学科は除く			
	CAS301	博物館資料保存論	3～4	2				
	CAS204	博物館教育論	2～4	2				
	CAS104	博物館情報・メディア論	1～4	2				
	CAS103	博物館概論	1～2	2				
	CAS201	博物館資料論	2～4	2				
	CAS202	博物館展示論	2	2				
	CAS302	博物館実習ⅠA	3	1				
	CAS303	博物館実習ⅠB	3	1				
	CAS401	博物館実習Ⅱ	4	1				
	JLE105	日本語教育論A	1～4	2	国際文化コミュニ ケーション学科 は除く			
	JLE106	日本語教育論B	1～4	2				
	JLN109	現代日本語概説	1～4	2				
	JLN110	日本語史概説	1～4	2				
	JLE107	日本語教育文法	1～4	2				
	JLE108	日本語教育政策	1～4	2				
	LIN115	認知と言語	1～4	2				
	LIN116	対照言語学	1～4	2				
JLE109	日本の言語行動	1～4	2					
JLN111	日本語音声学	1～4	2					
JLT151	文学と社会	1～4	2					
JLE203	日本語教育実践指導A	2～4	2					
JLE204	日本語教育実践指導B	2～4	2					
JLE201	日本語教授法A	2～4	2					
JLE202	日本語教授法B	2～4	2					
JLE301	日本語教育実習	3～4	2					
キャリア 教育	CIV107	キャリア支援Ⅰ	1～4	2				
	CIV108	キャリア支援Ⅱ	1～4	2				
	CIV109	教員養成講座Ⅰ	1～4	2				
	CIV110	教員養成講座Ⅱ	1～4	2				
	THI104	情報処理演習A	1～4	1				
THI105	情報処理演習B	1～4	1					

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目、相互聴講・・・第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

第1部 哲学科

◆◆ 哲学科における勉強の指針 ◆◆

- I. 明治という時代は短期間の内に西欧近代の諸思想が姿を見せた時代であり、それらの実証主義的、合理主義的な諸思想と日本伝統の多元的な思想とが激しく衝突しながら、日本の近代化に向けて苦悶した時代でもある。その明治半ば、東洋大学は「哲学館」として設立された（明治20年）。西欧の思想を日本の伝統的思想にも触れながら、諸学の基礎である哲学に正面から取り組んで来たところに、東洋大学哲学科の特色がある。しかし、21世紀を迎えた現在、日本の置かれている状況は大きく変わり、我々はいまやパラダイムなしに、世界と共時的に、あるいは世界に先んじて、進まなければならぬところにいるといえる。このような状況にあって、我々は新たな仕方でも哲学を学ぼうとするのである。「哲学」が諸学の基礎にあるということは、哲学は諸学から独立しているということではない。諸学から切りはなされて学ぶというような哲学は「机上の空論」でしかない。多様に変化・発展する諸学に学びつつ、諸学と対話することによって、哲学は自身自身を反省し、自ら変わりつつ、諸学を基礎づけ直すのでなければならないだろう。
- II. 哲学科には、古代から現代までの哲学をカバーできるように教員が配置されているが、さらに特殊な研究分野に関しては他から講師を招いて、欠けるところがないように努力している。しかし何れにしても、哲学は客観的な知識の習得に終わるのではなく、主体的に哲学し、学ぶ主体そのものの変様を要求するところが大きい。教師と学生という枠組みの中でだけでなく、人格と人格の出会いと互いに切磋琢磨することにおいて、哲学は学ばなければならないだろう。

◆◆ 哲学科教育研究上の目的 ◆◆

1. 人材の養成に関する目的

哲学科における人材養成は、諸科学の成果を踏まえながら社会の中で総合的な展望を開く能力とともに、人間存在としてよりよく生きる道を自律的に希求するための能力を培うことに存する。こうした能力は、1. 諸学の基層的知識を哲学的に学ぶ 2. 自然や人間や歴史や文化や芸術や宗教など幅広い視野を摂取する 3. 合理的かつ自律的思考を訓練する 4. 情操を陶冶して価値や尊厳をめぐる受容性を高め人間形成に配慮することで養われる。また、5. 西欧の学問伝統を踏まえて教育をおこなうが、日本文化についても配慮する。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

- (1) 人文領域の基層的原理的知識と総合科学としての哲学の基礎知識を、伝統的側面と現代的側面から教授し、幅広いジェネラリストとして指導的役割を果たす社会人を養成する。
- (2) 英語・ドイツ語・フランス語のうち2カ国語の論文読解能力を涵養し、国際的教養人を養成する。

◆◆ 哲学科 3つのポリシー ◆◆

◎ 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

哲学科における人材養成は、諸科学の成果を踏まえながら社会の中で総合的な展望を開く能力とともに、人間存在としてよりよく生きる道を自律的に希求するための能力を培うことに存する。こうした能力は、諸学の基層的知識を哲学的に学ぶこと、合理的かつ自律的思考を訓練すること、情操を陶冶して価値や尊厳をめぐる受容性を高め人間形成に配慮することで養われる。以上の要件にしたがってカリキュラム・ポリシーに準拠して所定の単位を修得した者に対して、学士(文学)を授与する。

◎ 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

伝統ある文学部の気風を踏まえつつ、哲学を専門的に深く広く、基本的知識や能力の育成を主眼と

しながら、創造的な思考能力を養い、文化的諸事象を総合的観点から考察させ、人間としての教養を身につけさせつつ、人間・歴史・社会・文化を体系的に学べるようにカリキュラム配置する。より詳細には、人文領域の基層的原理的知識と総合科学としての哲学の基礎知識を、伝統的側面と現代的側面から教授し、幅広いジェネラリストとして指導的役割を果たす社会人を養成する。また、英語・ドイツ語・フランス語のうち2カ国語の論文読解能力を涵養し、国際的教養人を養成する。哲学に関する一般教育を土台として重視しつつ、専門教育を高度かつ濃密に学べるように工夫する。すなわち1・2年次において語学、および諸学の成果を一般教育として深く学ぶことが不可欠であり、学ぶことの奥深さと楽しさを見いだせるようにカリキュラムを配置する。専門教育も1・2年次から本格的に始められ、3・4年次で深められていく。哲学演習と概説・特殊講義という2つの形態でカリキュラムは構成され、それぞれの専門領域ごとに、またそれぞれの専門領域を貫く仕方で、教育がおこなわれる。こうしたインテンシブ教育の成果が、4年次に全員に課せられる卒業論文執筆として結実する。

◎「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

人間とは何か、自己とは何かを、思想・文化・芸術伝統・歴史等から謙虚に学ぶとともに、基本的には、語学を楽しみ、読書等に親しみ、吸収した知識をもとにそれらを活用すべく深く考えてみたい人を望む。言い換えれば、広く旺盛な好奇心を抱いて、基礎学力や専門知識とその応用を学ぼうという意欲のある人を望む。さらに、堅実に日々学問の研鑽に励み、21世紀の日本社会の礎となる自律的な人間となるよう克己と人格的自己研鑽に努め、来たるべき世界に積極的に貢献しようとする人を望む。要するに、人間の心情や思考・社会・文化・言語・文学・芸術・宗教について論理的思考の基礎を身につけたい人を望む。入学までに、とりわけ真善美をめぐる教養書を丹念に読書して、自分の考えや意見や感想をノートなどに書き出して、自ら思索する習慣を身につけていることを望む。

◆第1部 哲学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る(卒業する)には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。

各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は合計124単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類	必要単位
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際	12単位以上 「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位を修得すること。
	留学支援科目 英語特別教育科目	
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育	16単位以上 国際コミュニケーション科目は、「ドイツ語ⅠAA」～「ドイツ語ⅡBB」、「フランス語ⅠAA」～「フランス語ⅡBB」、「英語ⅠAA」～「英語ⅡBB」の3カ国語のうち 2カ国語16単位選択必修 。
専門科目	必修科目	34単位
	選択必修科目	34単位以上 選択必修科目の34単位のうち、「思想史群」から2科目以上、「哲学演習Ⅱ(独)A」～「哲学演習Ⅱ(仏)B」から2科目以上、「問題群演習ⅠA」～「問題群演習ⅣB」を2科目以上、「哲学演習群」から6科目以上、「哲学特殊講義群」から4科目以上いずれもセット履修で修得すること。
	選択科目	20単位以上
	教職科目	卒業単位に含めない科目
	他学部他学科開放科目	
	卒業必要単位数合計	上記要件を満たし、 合計124単位以上

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については127ページを必ず確認してください。

◆◆ 2021 年度第 1 部哲学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目								
第1部 哲学科	必修科目 34 単位	必修	PHE113	論理学概論 A	1	2		
		必修	PHE114	論理学概論 B	1	2		
		必修	PHE117	西洋哲学史基礎概説 A	1	2		
		必修	PHE118	西洋哲学史基礎概説 B	1	2		
		必修	PHE115	哲学演習 I A	1	1		
		必修	PHE116	哲学演習 I B	1	1		
		必修	PHE119	古代中世哲学史概説 A	1	2		
		必修	PHE120	古代中世哲学史概説 B	1	2		
		必修	PHE217	近世近代哲学史概説 A	2	2		
		必修	PHE218	近世近代哲学史概説 B	2	2		
		必修	PHE301	哲学概論 A	3	2		
		必修	PHE302	哲学概論 B	3	2		
		必修	PHE303	倫理学概論 A	3～4	2		
		必修	PHE304	倫理学概論 B	3～4	2		
		必修	THE401	卒論指導 I	4	2		
	必修	THE402	卒論指導 II	4	2			
	必修	THE403	卒業論文	4	4			
	専門科目 88 単位以上	選択必修科目 34 単位以上	選択	HIT103	日本思想史基礎概説 A	1	2	6 科目のうち 2 科目 選択必修
			選択	HIT104	日本思想史基礎概説 B	1	2	
			選択	PHE121	倫理思想史 A	1	2	
			選択	PHE122	倫理思想史 B	1	2	
			選択	HIT105	社会思想史 A	1	2	
			選択	HIT106	社会思想史 B	1	2	
			選択	PHE201	哲学演習 II (独)A	2	1	4 科目のうち 2 科目 選択必修
			選択	PHE202	哲学演習 II (独)B	2	1	
			選択	PHE203	哲学演習 II (仏)A	2	1	セット 8 科目のうち 2 科目 選択必修
			選択	PHE204	哲学演習 II (仏)B	2	1	
			選択	PHE205	問題群演習 I A	2	1	
			選択	PHE206	問題群演習 I B	2	1	
		選択	PHE207	問題群演習 II A	2	1		
		選択	PHE208	問題群演習 II B	2	1		
		選択	PHE209	問題群演習 III A	2	1		
		選択	PHE210	問題群演習 III B	2	1		
		選択	PHE219	問題群演習 IV A	2	1		
		選択	PHE220	問題群演習 IV B	2	1		
		選択	PHE305	古代哲学演習 A	3～4	1		
選択		PHE306	古代哲学演習 B	3～4	1			
選択		PHE331	中世哲学演習 A	3～4	1			
選択		PHE332	中世哲学演習 B	3～4	1			
選択		PHE307	近世哲学演習 I A	3～4	1			
選択		PHE308	近世哲学演習 I B	3～4	1			
選択		PHE309	近世哲学演習 II A	3～4	1			
選択		PHE310	近世哲学演習 II B	3～4	1			
選択		PHE311	現代哲学演習 I A	3～4	1			
選択	PHE312	現代哲学演習 I B	3～4	1				
選択	PHE313	現代哲学演習 II A	3～4	1				
選択	PHE314	現代哲学演習 II B	3～4	1				
選択	PHE315	現代哲学演習 III A	3～4	1				
選択	PHE316	現代哲学演習 III B	3～4	1				
選択	PHE317	現代思想演習 A	3～4	1				
選択	PHE318	現代思想演習 B	3～4	1				
選択	FAH301	美学美術史演習 A	3～4	1				
選択	FAH302	美学美術史演習 B	3～4	1				
選択	PHE319	古代哲学特講 A	3～4	2				
選択	PHE320	古代哲学特講 B	3～4	2				
選択	PHE333	中世哲学特講 A	3～4	2				
選択	PHE334	中世哲学特講 B	3～4	2				
選択	PHE321	近世哲学特講 I A	3～4	2				
選択	PHE322	近世哲学特講 I B	3～4	2				
							18 科目のうち 6 科目 以上 選択必修	
							18 科目のうち 4 科目 以上 選択必修	

セット…セット履修科目、隔年開講…隔年開講科目、いずれか…第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講…第2部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考
専門科目 88単位以上	選択必修科目 34単位以上	選択	PHE323	近世哲学特講Ⅱ A	3～4	2	セット 18科目のうち 4科目以上 選択必修
		選択	PHE324	近世哲学特講Ⅱ B	3～4	2	
		選択	PHE325	現代哲学特講Ⅰ A	3～4	2	
		選択	PHE326	現代哲学特講Ⅰ B	3～4	2	
		選択	PHE327	現代哲学特講Ⅱ A	3～4	2	
		選択	PHE328	現代哲学特講Ⅱ B	3～4	2	
		選択	PHE329	日本哲学特講 A	3～4	2	
		選択	PHE330	日本哲学特講 B	3～4	2	
		選択	RES301	宗教哲学特講 A	3～4	2	
		選択	RES302	宗教哲学特講 B	3～4	2	
	選択科目 20単位以上	選択	PHE335	心の哲学特講 A	3～4	2	セット
		選択	PHE336	心の哲学特講 B	3～4	2	
		選択	PHE123	哲学とキリスト教 A	1～4	2	
		選択	PHE124	哲学とキリスト教 B	1～4	2	
		選択	POL103	政治哲学概論	1～4	2	
		選択	LAW103	法哲学概論	1～4	2	
		選択	LIN201	ラテン語 A	2～4	1	
		選択	LIN202	ラテン語 B	2～4	1	
		選択	LIN203	ギリシア語 A	2～4	1	
		選択	LIN204	ギリシア語 B	2～4	1	
		選択	PHE211	現代思想論 A	2～4	2	
		選択	PHE212	現代思想論 B	2～4	2	
		選択	PHE213	比較思想 A	2～4	2	
		選択	PHE214	比較思想 B	2～4	2	
		選択	PHE215	哲学と科学 A	2～4	2	
		選択	PHE216	哲学と科学 B	2～4	2	
		選択	PHE221	現代倫理学 A	2～4	2	
		選択	PHE222	現代倫理学 B	2～4	2	
		選択	PHE223	精神病理学 A	2～4	2	
		選択	PHE224	精神病理学 B	2～4	2	
		選択	ASA201	芸術論 A	2～4	2	
		選択	ASA202	芸術論 B	2～4	2	
		選択	PHE225	英米哲学 A	2～4	2	
		選択	PHE226	英米哲学 B	2～4	2	
選択	PHE227	生の哲学 A	2～4	2			
選択	PHE228	生の哲学 B	2～4	2			
選択	PHE401	哲学特別研究 A	4	1			
選択	PHE402	哲学特別研究 B	4	1			
教職科目							
教職科目	選択	GGR103	自然地理学 A	1～2	2	卒業単位に 含めない科目	
	選択	GGR104	自然地理学 B	1～2	2		
	選択	GGR105	人文地理学 A	1～2	2		
	選択	GGR106	人文地理学 B	1～2	2		
	選択	GGR107	地誌学 A	1～2	2		
	選択	GGR108	地誌学 B	1～2	2		
	選択	ESS308	社会・地歴指導法Ⅰ	3	2		
	選択	ESS308	社会・地歴指導法Ⅱ	3	2		
	選択	ESS308	社会・公民指導法Ⅰ	3	2		
	選択	ESS308	社会・公民指導法Ⅱ	3	2		
選択	ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

2021年度第1部哲学科 教育課程表

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
	文学部教育	東洋大学・井上田研究(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 英語圏の社会と文化ⅠA(2) 英語圏の社会と文化ⅠB(2) 英語圏の社会と文化ⅡA(2) 英語圏の社会と文化ⅡB(2)	伝説文学概論Ⅰ(2) 生涯学習概論Ⅰ(2) 特別支援教育概論Ⅰ(2) 英語圏の社会と文化ⅡA(2) 英語圏の社会と文化ⅡB(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国思想史A(2) 中国思想史B(2) ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅱ(2) フランス語で学ぶ異文化交流Ⅱ(2)
文 学 部 基 礎 専 門 科 目	インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド現代思想(2) 現代のインド(2) 日本美術の世界(2) 伝説文学を学ぶ(2) 家族心理学(2) インド文化概論ⅠA(2) インド文化概論ⅠB(2) 日本文化概論A(2) 日本文化概論B(2) 国際文化の理論(2) 心理學の研究と理論(2)	インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2) 伝説文学を学ぶ(2) 家族心理学(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2) フランス文化・文学研究A(2) フランス文化・文学研究B(2) 国際文化の理論(2) 日本歴史(2)	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅲ(2) 世界史の文化と社会Ⅱ(2) 世界史の文化と社会Ⅲ(2) 国際文化研究(2) 特別支援教育概論Ⅰ(2) フランス文化・文学研究A(2) フランス文化・文学研究B(2) 日本歴史(2)	ハンズオンⅠ(1) ハンズオンⅡ(1) 世界史の文化と社会Ⅱ(2) 世界史の文化と社会Ⅲ(2) 現代日本歴史(2)
	中国文学概論A(2) 中国文学概論B(2) 日本史概論A(2) 日本史概論B(2) 東洋史概論A(2) 東洋史概論B(2) 西洋史概論A(2) 西洋史概論B(2)	ハリーポッターⅠ(1) ハリーポッターⅡ(1) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) チベット仏教史A(2) チベット仏教史B(2) フランス語リーディングⅠ(2) フランス語リーディングⅡ(2) 英文学特講ⅠA(2) 英文学特講ⅠB(2) 英文学特講ⅡA(2) 英文学特講ⅡB(2) 英文学特講ⅢA(2) 英文学特講ⅢB(2)	ハリーポッターⅠ(1) ハリーポッターⅡ(1) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) チベット仏教史A(2) チベット仏教史B(2) フランス語リーディングⅠ(2) フランス語リーディングⅡ(2) 英文学特講ⅠA(2) 英文学特講ⅠB(2) 英文学特講ⅡA(2) 英文学特講ⅡB(2) 英文学特講ⅢA(2) 英文学特講ⅢB(2)	チベット語A(1) チベット語B(1) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅰ(2) フランス語で学ぶ異文化交流Ⅰ(2)
	ドイツ語ⅠA(1) ドイツ語ⅠB(1) ドイツ語ⅡA(1) ドイツ語ⅡB(1) フランス語ⅠA(1) フランス語ⅠB(1) フランス語ⅡA(1) フランス語ⅡB(1) 英語ⅠA(1) 英語ⅠB(1) 英語ⅡA(1) 英語ⅡB(1) 検定英語A(2) 検定英語B(2)	ドイツ語ⅡⅠA(1) ドイツ語ⅡⅠB(1) ドイツ語ⅡⅡA(1) ドイツ語ⅡⅡB(1) フランス語ⅡⅠA(1) フランス語ⅡⅠB(1) フランス語ⅡⅡA(1) フランス語ⅡⅡB(1) 英語ⅠA(1) 英語ⅠB(1) 英語ⅡA(1) 英語ⅡB(1) 検定英語A(2) 検定英語B(2)	ドイツ語ⅡⅠA(1) ドイツ語ⅡⅠB(1) ドイツ語ⅡⅡA(1) ドイツ語ⅡⅡB(1) フランス語ⅡⅠA(1) フランス語ⅡⅠB(1) フランス語ⅡⅡA(1) フランス語ⅡⅡB(1) 英語ⅠA(1) 英語ⅠB(1) 英語ⅡA(1) 英語ⅡB(1) 検定英語A(2) 検定英語B(2)	ドイツ語ⅡⅠA(1) ドイツ語ⅡⅠB(1) ドイツ語ⅡⅡA(1) ドイツ語ⅡⅡB(1) フランス語ⅡⅠA(1) フランス語ⅡⅠB(1) フランス語ⅡⅡA(1) フランス語ⅡⅡB(1) 英語ⅠA(1) 英語ⅠB(1) 英語ⅡA(1) 英語ⅡB(1) 検定英語A(2) 検定英語B(2)
国際コミュニケーション科目10単位以上	3カ国語のうち2カ国語以上を選択必修			
日本語 (留学生用)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	ビジネス日本語と日本文化Ⅰ(2) ビジネス日本語と日本文化Ⅱ(2) ビジネス日本語と日本文化Ⅲ(2) ビジネス日本語と日本文化Ⅳ(1) 日本語アカデミックライティングⅠ(1) 日本語アカデミックライティングⅡ(1) 社会教育実習(1)	ビジネス日本語と日本文化Ⅰ(2) ビジネス日本語と日本文化Ⅱ(2) ビジネス日本語と日本文化Ⅲ(2) ビジネス日本語と日本文化Ⅳ(1) 日本語アカデミックライティングⅠ(1) 日本語アカデミックライティングⅡ(1) 社会教育実習(1)
英語	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)
国際文化	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)
国際文化	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)
国際文化	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)
国際文化	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)
国際文化	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)
国際文化	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	検定英語A(2) 検定英語B(2) 日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 34単位	論理学概論A(2) 論理学概論B(2) 西洋哲学史基礎概論A(2) 西洋哲学史基礎概論B(2) 古代中世哲学史概論A(2) 古代中世哲学史概論B(2) 哲学演習ⅠA(1) 哲学演習ⅠB(1)	近世近代哲学史概論A(2) 近世近代哲学史概論B(2) 西洋哲学史基礎概論A(2) 西洋哲学史基礎概論B(2) 古代中世哲学史概論A(2) 古代中世哲学史概論B(2) 哲学演習ⅠA(1) 哲学演習ⅠB(1)	哲学概論A(2) 哲学概論B(2) 倫理学概論A(2) 倫理学概論B(2)	空論指導Ⅰ(2) 空論指導Ⅱ(2) 卒業論文(4)
選択必修 34単位 8科目のうち2科目以上	＜哲学史＞ 日本思想史基礎概論A(2) 日本思想史基礎概論B(2) 倫理思想史A(2) 倫理思想史B(2) 社会思想史A(2) 社会思想史B(2)	＜哲学演習Ⅱ＞ 哲学演習Ⅱ(独)A(1) 哲学演習Ⅱ(独)B(1) 哲学演習Ⅱ(仏)A(1) 哲学演習Ⅱ(仏)B(1) 哲学演習Ⅱ(英)A(1) 哲学演習Ⅱ(英)B(1) 現代哲学演習ⅠA(1) 現代哲学演習ⅠB(1) 現代哲学演習ⅡA(1) 現代哲学演習ⅡB(1) 美学美術史演習A(1) 美学美術史演習B(1)	＜哲学演習Ⅲ＞ 古代哲学演習A(1) 古代哲学演習B(1) 近世哲学演習ⅠA(1) 近世哲学演習ⅠB(1) 近世哲学演習ⅡA(1) 近世哲学演習ⅡB(1) 現代哲学演習ⅠA(1) 現代哲学演習ⅠB(1) 現代哲学演習ⅡA(1) 現代哲学演習ⅡB(1) 美学美術史演習A(1) 美学美術史演習B(1)	中世哲学演習A(1) 中世哲学演習B(1) 近世哲学演習ⅠA(1) 近世哲学演習ⅠB(1) 近世哲学演習ⅡA(1) 近世哲学演習ⅡB(1) 現代哲学演習ⅠA(1) 現代哲学演習ⅠB(1) 現代哲学演習ⅡA(1) 現代哲学演習ⅡB(1)
選択必修 34単位 8科目のうち2科目以上	＜国際語演習＞ 国際語演習ⅠA(1) 国際語演習ⅠB(1) 国際語演習ⅡA(1) 国際語演習ⅡB(1) 国際語演習ⅢA(1) 国際語演習ⅢB(1)	＜国際語演習＞ 国際語演習ⅠA(1) 国際語演習ⅠB(1) 国際語演習ⅡA(1) 国際語演習ⅡB(1) 国際語演習ⅢA(1) 国際語演習ⅢB(1)	＜国際語演習＞ 国際語演習ⅠA(1) 国際語演習ⅠB(1) 国際語演習ⅡA(1) 国際語演習ⅡB(1) 国際語演習ⅢA(1) 国際語演習ⅢB(1)	18科目のうち6科目以上選択必修
選択必修 34単位 8科目のうち2科目以上	＜国際語演習＞ 国際語演習ⅠA(1) 国際語演習ⅠB(1) 国際語演習ⅡA(1) 国際語演習ⅡB(1) 国際語演習ⅢA(1) 国際語演習ⅢB(1)	＜国際語演習＞ 国際語演習ⅠA(1) 国際語演習ⅠB(1) 国際語演習ⅡA(1) 国際語演習ⅡB(1) 国際語演習ⅢA(1) 国際語演習ⅢB(1)	＜国際語演習＞ 国際語演習ⅠA(1) 国際語演習ⅠB(1) 国際語演習ⅡA(1) 国際語演習ⅡB(1) 国際語演習ⅢA(1) 国際語演習ⅢB(1)	18科目のうち4科目以上選択必修
選択必修 20単位 以上	ラテン語A(1) ラテン語B(1) ギリシア語A(1) ギリシア語B(1) 現代思想論A(2) 現代思想論B(2) 比較思想A(2) 比較思想B(2)	政治哲学概論(2) ラテン語A(1) ラテン語B(1) ギリシア語A(1) ギリシア語B(1) 現代思想論A(2) 現代思想論B(2) 比較思想A(2) 比較思想B(2)	政治哲学概論(2) ラテン語A(1) ラテン語B(1) ギリシア語A(1) ギリシア語B(1) 現代思想論A(2) 現代思想論B(2) 比較思想A(2) 比較思想B(2)	英米哲学A(2) 英米哲学B(2) 生の哲学A(2) 生の哲学B(2)
教 師 科 目	自然地理学A(2) 自然地理学B(2) 人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 地誌学A(2) 地誌学B(2)	自然地理学A(2) 自然地理学B(2) 人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 地誌学A(2) 地誌学B(2)	社会・地理指導演法Ⅰ(2) 社会・地理指導演法Ⅱ(2) 社会・公民指導演法Ⅰ(2) 社会・公民指導演法Ⅱ(2)	哲学特別研究A(1) 哲学特別研究B(1)
他学部他学科 開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載			

◆◆科目の履修上の注意◆◆

国際コミュニケーション科目（セット履修）

同一名称の科目Aと科目Bを同一年度にセットで履修することを原則とします。
ドイツ語、フランス語、英語の3カ国語から2カ国語を選択し、16単位以上を履修かつ修得してください。

必修科目（セット履修）

同一名称の科目Aと科目Bを同一年度にセットで履修することを原則とします。

選択必修科目（セット履修）

同一名称の科目Aと科目Bを同一年度にセットで履修することを原則とします。

3・4年配当の「哲学演習群」、「哲学特殊講義群」については、同一科目を2回まで履修可能。また、2回目に修得した同一科目の単位数も卒業単位として認定します。

卒業論文

- ・必修科目の卒業論文を履修登録することができるのは、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限ります。**
- ・必修科目の「卒論指導Ⅰ」は第7セメスタ以降、「卒論指導Ⅱ」は第8セメスタ以降に履修可能になりますが、教員や学科からの指示をしっかりと確認した上で履修するようにして下さい。

哲学特別研究

科目の性格： 本学大学院文学研究科哲学専攻（博士前期課程）に設置されている科目と同一科目であり、主として大学院進学を希望する4年生や高度な専門性のある教育を望む4年生が対象です。

聴講許可制： 大学院進学後の単位取得を前提とした聴講が許可されるのは、専任教員担当の科目であり、学部生は、当該専任教員に申し出て、聴講許可書類を提出してください。

科目の範囲： 学部生が大学院進学後の単位取得を前提に聴講希望できる大学院科目は、専任教員担当の博士前期課程の演習科目・講義科目であり、同一名称の科目Aと科目Bを1セットでかつ1回のみ聴講可とします。

付 帯 条 件： 聴講を希望しても、状況によっては履修できない場合もあります。

◆◆学習指導について◆◆

I. 哲学科では、下記の通り、コース制による学習指導を行っています。

1	哲学基礎専門コース	4	芸術哲学コース
2	自然環境哲学コース	5	宗教・歴史哲学コース
3	身体表現哲学コース	6	死生学コース

1. 上記6コースは専任教員を中心に配置されており、1年次から4年次まで一貫してきめ細かく学習指導を行って、最終的には卒業論文に結実します。
2. 詳細は1年次のガイダンスで説明します。

II. 学習の記録ノートについて

学習の記録ノートを通して、下記の通り指導を行います。

1. 学習の記録ノートは学科学生全員に配付されます。これに基づいて自己評価・履修状況・中間点検等を自ら行って、学習に役立ててください。
2. 専任教員の指導の下、TAの補助を通して、個別に学習指導を行っています。そのために、定期的に学習の記録ノートを提出してもらいます。初年度に配付される学習の記録ノートは4年間使用しますので、**決して紛失等をしないでください。**

◆第1部哲学科 カリキュラムマップ◆

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
<p>論理学概論 A B 西洋哲学史基礎概説 A B 古代中世哲学史概説 I A B 哲学演習 I A B</p> <p>日本思想史基礎概説 A B 倫理思想史 A B 社会思想史 A B</p>	<p>近世近代哲学史概説 A B</p> <p>哲学演習 II (独) A B 哲学演習 II (仏) A B</p> <p>問題群演習 I A B 問題群演習 II A B 問題群演習 III A B 問題群演習 IV A B</p>	<p>哲学概論 A B 倫理学概論 A B</p> <p>古代哲学演習 A B 中世近世哲学演習 A B 近世哲学演習 I A B 現代哲学演習 I A B 現代哲学演習 II A B 現代哲学演習 III A B 現代思想演習 A B</p> <p>古代哲学特講 A B 中世哲学特講 A B 近世哲学特講 I A B 現代哲学特講 I A B 日本哲学特講 A B 宗教哲学特講 A B 心の哲学特講 A B</p>	<p>卒業論文 卒論指導 I 卒論指導 II</p> <p>近世哲学演習 I A B 現代哲学演習 II A B 美学美術史演習 A B</p> <p>近世哲学特講 I A B 現代哲学特講 II A B</p>
	<p>ギリシア語 A B 比較思想 A B</p> <p>ラテン語 A B 現代倫理学 A B</p>	<p>精神病理学 A B 現代思想論 A B</p> <p>芸術論 A B 英米哲学 A B</p>	<p>哲学と科学 A B 生の哲学 A B</p> <p>哲学特別研究 A B</p>
	政治哲学概論 法哲学概論 哲学とキリスト教 A B		
	語学科目：英語・ドイツ語・フランス語から二カ国語選択		
<p>語学教養中心の1年次</p> <p>英語・フランス語・ドイツ語等の複数の外国語を学習することで、異なる歴史・文化に属する諸思想を深く理解する能力を身に付け、宗教・歴史・科学・芸術などの諸思想の基層に徹底する広範な知的領域に関心をもつことができるようになる。</p>	<p>合理的・自律的・総合的思想を育む2年次</p> <p>自らを取り巻く諸問題を分析・解明する合理的な思考力、自らが生きる世界に対して問いを深し、それを深く追求する自律的思考力、さらには、国際的教養人にならなければならない観点からの総合的な思考力を身に付け、哲学的知恵を生きている現場において使いこなすことができるようになる。</p>	<p>情操を陶冶する3年次</p> <p>豊かな教養を身に付けることによって自らの情操を陶冶し、日々自己を研鑽する姿勢を身に付け、成熟した人格を形成するのみならず、日常の他者に対する配慮、気遣いに始まり、価値や尊厳の領域に深く思いを至らせ、絶えず自己の生きる意味を自ら問いたたすことができるようになる。</p>	<p>創造性と社会的貢献の4年次</p> <p>伝統的・現代的側面から広く深い教養に裏打ちされた想像的な思考によって、既存の枠組みにとらわれない自らの着想や構想を適切な方法で表現し、他の人々に広く発信し、成熟した人間として社会に貢献していくことができるようになる。</p>

第1部 東洋思想文化学科

◆東洋思想文化の深い理解と、現代への確かな視点を◆

明治20年、哲学者井上円了は東洋大学の前身となる「哲学館」を創設した。明治維新後間もない当時の日本は、西洋文明に懸命に追いつこうとしていた。しかし円了は西洋化に踊らされる日本を憂い、日本人として東洋の精神を重んじるべきと考え、実践に基づいた哲学教育を行った。東洋思想文化学科は、このような創立者の教育精神を受け継ぐ学科である。

21世紀のいま、中国やインドを中心とするアジア世界は大きく変貌を遂げつつある。政治、経済、社会など、あらゆる分野でアジアの成長は著しく、またアジアの伝統思想や文化が、西洋社会には見られないある種の力を持って現代人に受け入れられつつある。東洋思想文化学科は、このようなアジア社会の底流にある「東洋の叡智の心髄」である思想や文化を広く、そして深く理解し、その理解を基礎に現代社会において、自ら考え行動する人材を育てることを教育目標とする。本学科に入学したならば、このような目標を見据えて学習に取り組んでもらいたい。

<東洋思想文化学科の教育内容>

東洋思想文化学科は中国、インドを中心にアジアの思想、文化を広く学ぶカリキュラムを設置している。漢文やサンスクリット語などで記された文献を読み、そこにある思想、文化をじっくりと考える科目がある一方、今日の国際社会で有力な武器となる中国語やヒンディー語、あるいはアジアの文化事情についての授業も重視しており、古典をバックグラウンドとしながら現代にも即応できるようなカリキュラムを提供している。また、体験型の実技講義科目も本学科の特色である。

本学科の学生は、まず1年次において、必修外国語としての英語・中国語や一般的な教養科目を学習する。また、初年次教育として、「レポート・論文制作の技法」を、受講する。また、2年次に選択する4コースの学習内容の導入として概論的科目が、コース毎に用意されている。コース選択の判断材料として、また専門への入り口として、有効に学習してほしい。

2年次から、学生は本学科に設置されている4つのコース、すなわち「インド思想コース」「中国語・中国哲学文学コース」「仏教思想コース」「東洋芸術文化コース」のうち一つを選択し、所属する。これらのコースはそれ以降の学習の軸となり、また卒業論文とも深く関わるものである。1年次から十分に考えて選択してほしい。

2年次から3年次にかけては、コース共通の必修科目「東洋思想文化演習Ⅰ」（2年次）、「東洋思想文化演習Ⅱ」（3年次）を履修するとともに、コース別必修科目や選択必修科目を合わせて履修する。これらの科目はコースごとに決められているので、詳しくは教育課程表を参照してほしい。4年次には、演習科目「卒論指導」を履修しながら卒業論文に取り組む。卒業論文は4年間の学習の集大成である。就職活動などと並行しての卒論作成はあわただしく、また苦労もあるが、論文が出来上がった時の達成感には格別のものがある。

本学科において以上のような4年間の学びで得た思想や文化の理解を通じ、アジア世界について深く考え、また国際社会において他文化と協調しながら、自らの人生を切り開いていく十分な力を養ってほしい。

◆東洋思想文化学科教育研究上の目的◆

1. 人材の養成に関する目的

本学の創立者井上円了は、東洋の哲学・思想の中に普遍的意義を見出し、これを教育によって広く当時の社会に普及しようとした。同時に、彼は単なる知識としてではなく、人々が生きるための知恵として活用しうる哲学＝実践哲学を構想した。東洋思想文化学科では、このような創立者の精神を受け継ぎ、中国やインドを中心とする東洋の思想・文化を広く教授することで、

人間や社会の本質を見据えるとともに、東洋に特有の価値観や思考方法に基づき、現代社会が直面する諸問題に対し、確に対応できる人材の養成を目指す。また異文化や異なる価値観への深い理解を持ち、世界の人々と協調して未来を切り開こうとする姿勢に富む有為な人材の育成を目的とする。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
 - (1) 「講義科目」「語学科目」等により東洋の思想と文化、ならびにそれを理解するのに役立つ語学、文学、哲学、宗教学等に関する豊富な知識を修得させる。
 - (2) 「演習科目」「実技講義科目」等により、東洋に特有の価値観や思考方法を身につけさせる。
 - (3) 多様な科目を通じて東洋思想・文化を総合的に学習することにより、社会や自らが直面するさまざまな問題に対し、独自の視点から分析と考察を行う能力を身につける。さらに自身の見解を論理的に表現し、それに基づいて実践することのできる能力を養成する。

◆東洋思想文化学科 3つのポリシー◆

◎「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

本学科では、卒業に必要な単位を履修し、以下に掲げる能力を修得したと判断される者に対して学位を授与し卒業を認める。

1. 幅広い教養を有している。
2. 東洋のある特定の思想や宗教などについて、またその背景となる文化について、十分な知識を有している。
3. 自身が専門とする分野において、一次資料を正確に読解することが可能な語学力を有している。
4. 可能な限り正確な情報を独自に収集し、それに基づいて独自に分析と考察を行い、その結果を論理的かつ創造的に発信できる。

◎「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

東洋思想文化学科では、以下の方針のもとに教育課程を編成し、実施する。

1. 1年次に配当、または、1年次から履修できる科目は、スタディースキル（読み、書き、発信する能力）を身につけるための科目（「レポート・論文制作の技法」）のほか、2年次以降のコース選択に資する導入的な各コースの専門科目（「インド思想史 AB」「中国学概論 AB」「仏教思想概論 AB」「インド・仏教の美術」など）、ならびに基礎的な語学科目である。
2. 2年時以降、分野別により専門的に学べるように、学生は以下の4つのコースのいずれか一つに属して、それぞれに定められた課程表に基づいて科目群を履修する。
 - (a) インド思想コース：(仏教ではない) インド（または南アジア）の思想、歴史、文化を包括する多彩な科目群を設置する。特に必要となる語学科目は「サンスクリット語Ⅰ・Ⅱ AB」、「ヒンディー語 AB」である。
 - (b) 中国語・中国哲学文学コース：中国の哲学・文学・語学を三位一体のものとして学び、文献や資料に基づきながら、学生が中国文化についての総合的な見識を得られるよう、とりわけ中国語に関しては、検定試験の中級レベルに合格する語学力を身につけられるよう科目群を設置する。
 - (c) 仏教思想コース：諸地域に伝播したそれぞれの仏教とその文化を学べるように科目群を設置する。インドにおける仏教の成立から、アジア各地の仏教、そして現代日本の仏教にいたるまでを包括する科目群である。特に必要となる語学科目は、「仏教漢文 AB」「サンスクリット語Ⅰ・Ⅱ AB」「パーリ語 AB」「チベット語」となる。
 - (d) 東洋芸術文化コース：学生がインドや中国を中心としたアジアに広がる美術・芸術と多様な文化を学べるよう科目群を設置する。他の3コースと共通の科目がインド、中国の歴史や思想・文学を学ぶ基礎的教養となり、それを基礎として東洋の芸術・文化を理解するための科目群である。
3. コース別に科目群を設置しているが、学生が他コースの科目をもある程度履修できるようにして、学生のニーズに対応する柔軟性を確保する。

4. 2年次と3年次の「東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ AB」、4年次の「卒論指導 AB」を通して学生の主体性、独自性を育て、学生生活の総決算としての「卒業論文」によって学科の教育目標の達成度を測る。

◎「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

東洋思想文化学科が求める学生は以下の素質をそなえていることが期待される。

1. 東洋の思想や文化に対して強い関心を持ち、異文化への関心や異なる価値観を理解しようとする意欲をそなえている。
2. 外国語を習得しようとする意欲を持つ。
3. 物事を判断・主張するにあたって、確かな根拠に基づくことの重要性和、論理的に説明することの必要性を理解している。

◆第1部 東洋思想文化学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位		
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16 単位以上 「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位を修得すること。		
	留学支援科目	英語特別教育科目			
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		16 単位以上 国際コミュニケーション科目は1年次配当の英語・中国語と2年次配当の英語・中国語の16科目16単位必修。		
インド思想コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 20 単位	必修科目合計 34 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 実技講義科目	12 単位以上		
中国語・ 中国哲学文学コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 32 単位	必修科目合計 46 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 実技講義科目	6 単位以上		
仏教思想コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 22 単位	必修科目合計 36 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 実技講義科目	12 単位以上		
東洋芸術文化コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 16 単位	必修科目合計 30 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	講義科目 実技講義科目	12 単位以上		
教職科目			※仏教思想コースのみ。卒業単位に含めない科目。		
他学部他学科開放科目					
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上		

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については127ページを必ず確認してください。

◆◆ 2021 年度第 1 部東洋思想文化学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
東洋思想文化学科 インド思想コース								
専門科目								
専門科目 74 単位以上	必修科目 34 単位	各コース共通必修 14 単位	必修	SEM107	レポート・論文制作の技法	1	2	
			必修	CIB201	東洋思想文化演習Ⅰ A	2	1	
			必修	CIB202	東洋思想文化演習Ⅰ B	2	1	
			必修	CIB301	東洋思想文化演習Ⅱ A	3	1	
			必修	CIB302	東洋思想文化演習Ⅱ B	3	1	
			必修	THE432	卒論指導 A	4	1	
			必修	THE433	卒論指導 B	4	1	
		必修	THE434	卒業論文	4	6		
		コース別必修 20 単位	必修	CIB106	インド思想史 A	1～4	2	相互聴講
			必修	CIB107	インド思想史 B	1～4	2	
			必修	CIB108	インド文化概論 A	1～4	2	
			必修	CIB109	インド文化概論 B	1～4	2	
			必修	CIB110	仏教思想概論 A	1～4	2	
			必修	CIB111	仏教思想概論 B	1～4	2	
	必修		ASA103	インド・仏教の美術 A	1～4	2		
	必修	ASA104	インド・仏教の美術 B	1～4	2			
	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	語学科目 4 単位以上	選択	LIN101	サンスクリット語Ⅰ A	1～4	1	いずれか
			選択	LIN102	サンスクリット語Ⅰ B	1～4	1	
			選択	LIN103	ヒンディー語 A	1～4	1	
			選択	LIN104	ヒンディー語 B	1～4	1	
			選択	LIN207	パーリ語 A	2～4	1	
			選択	LIN208	パーリ語 B	2～4	1	
			選択	LIN205	サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1	
		選択	LIN206	サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1		
		8 単元以上 講義科目	選択	CIB205	インド思想特講Ⅰ A	2～4	2	
			選択	CIB206	インド思想特講Ⅰ B	2～4	2	
			選択	CIB207	インド思想特講Ⅱ A	2～4	2	
			選択	CIB208	インド思想特講Ⅱ B	2～4	2	
			選択	CIB115	インド現代思想	1～4	2	
			選択	CIB116	現代のインド	1～4	2	
	選択		CHI105	基礎中国語 A	1	1		
	選択必修科目Ⅱ 12 単位以上	語学科目	選択	CHI106	基礎中国語 B	1	1	いずれか
			選択	CHI305	中国語学演習 A	3～4	1	
			選択	CHI306	中国語学演習 B	3～4	1	
選択			LIN209	チベット語 A	2～4	1		
選択			LIN210	チベット語 B	2～4	1		
選択			CHI205	中級中国語 A	2～4	1		
選択			CHI206	中級中国語 B	2～4	1		
選択		CHI207	上級中国語 A	2～4	1			
選択		CHI208	上級中国語 B	2～4	1			
選択		CHL101	仏教漢文 A	1～4	1			
選択		CHL102	仏教漢文 B	1～4	1			
選択		KOR101	韓国語 A	1～4	1			
選択		KOR102	韓国語 B	1～4	1			
講義科目		選択	RES105	宗教学概論 A	1～4	2	いずれか	
	選択	RES106	宗教学概論 B	1～4	2			
	選択	CIB112	東洋の身体論	1～4	2			
	選択	CIB113	近代化と東洋	1～4	2			
	選択	ARS107	韓国の文化と社会	1～4	2			
	選択	CHL201	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2			
	選択	CHL202	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2			
	選択	LIG103	比較文学Ⅰ	1～4	2			
	選択	LIG104	比較文学Ⅱ	1～4	2			
	選択	JLT111	日本文学文化概説 A	1～4	2			
選択	JLT112	日本文学文化概説 B	1～4	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目
 2 部開講・・・第 2 部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	CIB114	イスラーム概論	1～4	2	
			選択	SOC106	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択	SOC107	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択	RES107	キリスト教概論	1～4	2	
			選択	ASA105	中国の美術A	1～4	2	相互聴講
			選択	ASA106	中国の美術B	1～4	2	
			選択	FAH103	日本美術の世界	1～4	2	
			選択	CIB117	中国学概論A	1	2	
			選択	CIB118	中国学概論B	1	2	
			選択	CIB119	中国史概説A	1～2	2	相互聴講
			選択	CIB120	中国史概説B	1～2	2	
			選択	CIB121	中国学研究法A	1	2	
			選択	CIB122	中国学研究法B	1	2	
			選択	CHL103	漢文訓読法	1	2	
			選択	CIB303	中国哲学史A	3～4	2	
			選択	CIB304	中国哲学史B	3～4	2	
			選択	CHL301	中国文学史A	3～4	2	
			選択	CHL302	中国文学史B	3～4	2	
			選択	CHL303	中国現代文学史A	3～4	2	いずれか
			選択	CHL304	中国現代文学史B	3～4	2	
			選択	JLT315	日本漢学A	3～4	2	相互聴講
			選択	JLT316	日本漢学B	3～4	2	
			選択	CIB305	中国哲学特講A	3～4	2	
			選択	CIB306	中国哲学特講B	3～4	2	
			選択	CHL305	中国文学特講A	3～4	2	
			選択	CHL306	中国文学特講B	3～4	2	
			選択	RES201	宗教社会学A	2～4	2	2部開講
			選択	RES202	宗教社会学B	2～4	2	
			選択	HSG201	東西交渉史A	2～4	2	
			選択	HSG202	東西交渉史B	2～4	2	
			選択	CIB209	中国仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択	CIB210	中国仏教史B	2～4	2	
			選択	CIB211	韓国仏教史	2～4	2	いずれか
			選択	CIB212	チベット仏教史	2～4	2	相互聴講
			選択	CUA201	日本民俗学の諸問題	2～4	2	いずれか
			選択	HIT203	日本思想史概説A	2～4	2	
			選択	HIT204	日本思想史概説B	2～4	2	
			選択	CIB213	日本仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択	CIB214	日本仏教史B	2～4	2	
			選択	CIB215	仏教思想特講ⅠA	2～4	2	いずれか
			選択	CIB216	仏教思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB217	仏教思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB218	仏教思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	CIB219	仏教思想特講ⅢA	2～4	2	
			選択	CIB220	仏教思想特講ⅢB	2～4	2	
			選択	ASA203	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択	ASA204	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択	ASA205	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択	ASA206	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
			選択	CIB221	中国哲学講読A	2～4	1	相互聴講
選択	CIB222	中国哲学講読B	2～4	1				
選択	CHL203	中国文学講読A	2～4	1				
選択	CHL204	中国文学講読B	2～4	1				
選択	PHE301	哲学概論A	3～4	2				
選択	PHE302	哲学概論B	3～4	2				
選択	CIB123	写経	1～4	2	2部開講			
選択	CIB124	ヨーガ	1～4	2				
選択	CIB125	坐禅	1～4	2				
選択	CIB126	仏教の芸能	1～4	2				
選択	ASA107	インド舞踊	1～4	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
東洋思想文化学科 中国語・中国哲学文学コース								
専門科目								
専門科目 74単位以上	必修科目 46単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM107	レポート・論文制作の技法	1	2	
			必修	CIB201	東洋思想文化演習ⅠA	2	1	
			必修	CIB202	東洋思想文化演習ⅠB	2	1	
			必修	CIB301	東洋思想文化演習ⅡA	3	1	
			必修	CIB302	東洋思想文化演習ⅡB	3	1	
			必修	THE432	卒論指導A	4	1	
			必修	THE433	卒論指導B	4	1	
		必修	THE434	卒業論文	4	6		
		コース別必修 32単位	必修	CHI105	基礎中国語A	1	1	
			必修	CHI106	基礎中国語B	1	1	
			必修	CIB221	中国哲学講読A	2～4	1	相互聴講
			必修	CIB222	中国哲学講読B	2～4	1	
			必修	CHL203	中国文学講読A	2～4	1	
			必修	CHL204	中国文学講読B	2～4	1	
	必修		CHL103	漢文訓読法	1	2		
	必修		CIB121	中国学研究法A	1	2		
	必修		CIB122	中国学研究法B	1	2		
	必修		CIB117	中国学概論A	1	2		
	必修		CIB118	中国学概論B	1	2		
	必修		CIB303	中国哲学史A	3～4	2		
	必修		CIB304	中国哲学史B	3～4	2		
	必修		CHL301	中国文学史A	3～4	2		
	必修		CHL302	中国文学史B	3～4	2		
	必修		CIB305	中国哲学特講A	3～4	2	相互聴講	
	必修		CIB306	中国哲学特講B	3～4	2		
	必修		CHL305	中国文学特講A	3～4	2		
	必修		CHL306	中国文学特講B	3～4	2		
	必修	CHI205	中級中国語A	2～4	1			
	選択必修科目Ⅰ 12単位以上	4単位以上 語学科目	選択	CHI206	中級中国語B	2～4	1	
			選択	CHI207	上級中国語A	2～4	1	
			選択	CHI208	上級中国語B	2～4	1	
			選択	CHI305	中国語学演習A	3～4	1	いずれか
			選択	CHI306	中国語学演習B	3～4	1	
			8単位以上 講義科目	選択	CIB119	中国史概説A	1～2	2
		選択		CIB120	中国史概説B	1～2	2	
		選択		CHL303	中国現代文学史A	3～4	2	いずれか
		選択		CHL304	中国現代文学史B	3～4	2	
		選択		JLT315	日本漢学A	3～4	2	相互聴講
		選択		JLT316	日本漢学B	3～4	2	
		選択必修科目Ⅱ 6単位以上	語学科目	選択	LIN101	サンスクリット語ⅠA	1～4	1
	選択			LIN102	サンスクリット語ⅠB	1～4	1	
	選択			LIN103	ヒンディー語A	1～4	1	
	選択			LIN104	ヒンディー語B	1～4	1	
	選択			CHL101	仏教漢文A	1～4	1	
	選択			CHL102	仏教漢文B	1～4	1	
	選択			KOR101	韓国語A	1～4	1	
選択	KOR102			韓国語B	1～4	1		
選択	LIN205			サンスクリット語ⅡA	2～4	1		
選択	LIN206			サンスクリット語ⅡB	2～4	1		
選択	LIN207			パーリ語A	2～4	1		
選択	LIN208			パーリ語B	2～4	1		
選択	LIN209			チベット語A	2～4	1		
選択	LIN210			チベット語B	2～4	1		
講義科目	選択		RES105	宗教学概論A	1～4	2	いずれか	
	選択		RES106	宗教学概論B	1～4	2		
	選択		CIB112	東洋の身体論	1～4	2		
	選択		CIB113	近代化と東洋	1～4	2		
	選択		ARS107	韓国の文化と社会	1～4	2		
	選択		CHL201	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2		
選択	CHL202	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2				

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講 … 第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講 … 第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考		
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 6単位以上	講義科目	選択	LIG103	比較文学Ⅰ	1～4	2		
			選択	LIG104	比較文学Ⅱ	1～4	2		
			選択	JLT111	日本文学文化概説A	1～4	2		
			選択	JLT112	日本文学文化概説B	1～4	2		
			選択	CIB114	イスラーム概論	1～4	2		
			選択	RES107	キリスト教概論	1～4	2		
			選択	SOC106	現代社会に生きる仏教A	1～4	2		
			選択	SOC107	現代社会に生きる仏教B	1～4	2		
			選択	CIB108	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講	
			選択	CIB109	インド文化概論B	1～4	2		
			選択	CIB106	インド思想史A	1～4	2		
			選択	CIB107	インド思想史B	1～4	2		
			選択	CIB110	仏教思想概論A	1～4	2		
			選択	CIB111	仏教思想概論B	1～4	2		
			選択	ASA103	インド・仏教の美術A	1～4	2		
			選択	ASA104	インド・仏教の美術B	1～4	2		
			選択	ASA105	中国の美術A	1～4	2		
			選択	ASA106	中国の美術B	1～4	2		
			選択	FAH103	日本美術の世界	1～4	2		
			選択	CIB115	インド現代思想	1～4	2		いずれか
			選択	CIB116	現代のインド	1～4	2		
			選択	RES201	宗教社会学A	2～4	2		2部開講
			選択	RES202	宗教社会学B	2～4	2		
			選択	HSG201	東西交渉史A	2～4	2		
			選択	HSG202	東西交渉史B	2～4	2		
			選択	CIB203	インド仏教史A	2～4	2	相互聴講	
			選択	CIB204	インド仏教史B	2～4	2		
			選択	CIB212	チベット仏教史	2～4	2		
			選択	CIB211	韓国仏教史	2～4	2	いずれか	
			選択	CUA201	日本民俗学の諸問題	2～4	2		
			選択	CIB209	中国仏教史A	2～4	2	相互聴講	
			選択	CIB210	中国仏教史B	2～4	2		
			選択	HIT203	日本思想史概説A	2～4	2		
			選択	HIT204	日本思想史概説B	2～4	2		
			選択	CIB213	日本仏教史A	2～4	2	相互聴講	
			選択	CIB214	日本仏教史B	2～4	2		
			選択	CIB205	インド思想特講ⅠA	2～4	2	いずれか	
			選択	CIB206	インド思想特講ⅠB	2～4	2		
			選択	CIB207	インド思想特講ⅡA	2～4	2		
			選択	CIB208	インド思想特講ⅡB	2～4	2		
			選択	CIB215	仏教思想特講ⅠA	2～4	2		
			選択	CIB216	仏教思想特講ⅠB	2～4	2		
選択	CIB217	仏教思想特講ⅡA	2～4	2					
選択	CIB218	仏教思想特講ⅡB	2～4	2					
選択	CIB219	仏教思想特講ⅢA	2～4	2					
選択	CIB220	仏教思想特講ⅢB	2～4	2					
選択	ASA203	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2					
選択	ASA204	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2					
選択	ASA205	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2					
選択	ASA206	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2					
選択	PHE301	哲学概論A	3～4	2					
選択	PHE302	哲学概論B	3～4	2					
実技講義科目	選択	CIB123	写経	1～4	2	2部開講			
	選択	CIB124	ヨーガ	1～4	2				
	選択	CIB125	坐禅	1～4	2				
	選択	CIB126	仏教の芸能	1～4	2				
	選択	ASA107	インド舞踊	1～4	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考		
東洋思想文化学科 仏教思想コース									
専門科目									
必修科目 36単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM107	レポート・論文制作の技法	1	2			
		必修	CIB201	東洋思想文化演習ⅠA	2	1			
		必修	CIB202	東洋思想文化演習ⅠB	2	1			
		必修	CIB301	東洋思想文化演習ⅡA	3	1			
		必修	CIB302	東洋思想文化演習ⅡB	3	1			
		必修	THE432	卒論指導A	4	1			
		必修	THE433	卒論指導B	4	1			
		必修	THE434	卒業論文	4	6			
		必修	CIB106	インド思想史A	1～4	2	相互聴講		
		必修	CIB107	インド思想史B	1～4	2			
		必修	CIB110	仏教思想概論A	1～4	2			
		必修	CIB111	仏教思想概論B	1～4	2			
		必修	CIB203	インド仏教史A	2～4	2			
		必修	CIB204	インド仏教史B	2～4	2			
	必修	CIB209	中国仏教史A	2～4	2				
	必修	CIB210	中国仏教史B	2～4	2				
	必修	CIB213	日本仏教史A	2～4	2				
	必修	CIB214	日本仏教史B	2～4	2				
	必修	CIB212	チベット仏教史	2～4	2				
	選択必修科目Ⅰ 12単位以上	語学科目 4単位以上	選択	LIN101	サンスクリット語ⅠA	1～4	1		
			選択	LIN102	サンスクリット語ⅠB	1～4	1		
			選択	CHL101	仏教漢文A	1～4	1		
			選択	CHL102	仏教漢文B	1～4	1		
			選択	LIN205	サンスクリット語ⅡA	2～4	1		
			選択	LIN206	サンスクリット語ⅡB	2～4	1		
			選択	LIN207	パーリ語A	2～4	1		
			選択	LIN208	パーリ語B	2～4	1		
			選択	LIN209	チベット語A	2～4	1		
			選択	LIN210	チベット語B	2～4	1		
		選択	CIB215	仏教思想特講ⅠA	2～4	2	いずれか		
		選択	CIB216	仏教思想特講ⅠB	2～4	2			
		選択	CIB217	仏教思想特講ⅡA	2～4	2			
		選択	CIB218	仏教思想特講ⅡB	2～4	2			
		選択	CIB219	仏教思想特講ⅢA	2～4	2			
		選択	CIB220	仏教思想特講ⅢB	2～4	2			
		選択	HSG201	東西交渉史A	2～4	2			
選択		HSG202	東西交渉史B	2～4	2				
選択必修科目Ⅱ 12単位以上		語学科目	選択	CHI105	基礎中国語A	1		1	
			選択	CHI106	基礎中国語B	1		1	
	選択		CHI205	中級中国語A	2～4	1			
	選択		CHI206	中級中国語B	2～4	1			
	選択		CHI207	上級中国語A	2～4	1			
	選択		CHI208	上級中国語B	2～4	1			
	選択		LIN103	ヒンディー語A	1～4	1			
	選択		LIN104	ヒンディー語B	1～4	1			
	選択		KOR101	韓国語A	1～4	1			
	選択		KOR102	韓国語B	1～4	1			
	選択	CHI305	中国語学演習A	3～4	1	いずれか			
	選択	CHI306	中国語学演習B	3～4	1				
	選択	RES105	宗教学概論A	1～4	2	いずれか			
	選択	RES106	宗教学概論B	1～4	2				
	選択	CIB112	東洋の身体論	1～4	2				
	選択	CIB113	近代化と東洋	1～4	2				
	選択	CHL201	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2				
	選択	CHL202	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2				
	選択	LIG103	比較文学Ⅰ	1～4	2				
	選択	LIG104	比較文学Ⅱ	1～4	2				
選択	JLT111	日本文学文化概説A	1～4	2					
選択	JLT112	日本文学文化概説B	1～4	2					

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	ARS107	韓国の文化と社会	1～4	2	いずれか
			選択	CIB114	イスラーム概論	1～4	2	
			選択	CIB115	インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択	RES107	キリスト教概論	1～4	2	
			選択	CIB116	現代のインド	1～4	2	いずれか
			選択	SOC106	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択	SOC107	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択	CIB108	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講
			選択	CIB109	インド文化概論B	1～4	2	
			選択	ASA103	インド・仏教の美術A	1～4	2	
			選択	ASA104	インド・仏教の美術B	1～4	2	
			選択	ASA105	中国の美術A	1～4	2	
			選択	ASA106	中国の美術B	1～4	2	
			選択	FAH103	日本美術の世界	1～4	2	
			選択	RES201	宗教社会学A	2～4	2	2部開講
			選択	RES202	宗教社会学B	2～4	2	
			選択	CIB211	韓国仏教史	2～4	2	いずれか
			選択	CUA201	日本民俗学の諸問題	2～4	2	
			選択	HIT203	日本思想史概説A	2～4	2	いずれか
			選択	HIT204	日本思想史概説B	2～4	2	
			選択	CIB205	インド思想特講ⅠA	2～4	2	
			選択	CIB206	インド思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB207	インド思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB208	インド思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	ASA203	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択	ASA204	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択	ASA205	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	相互聴講
			選択	ASA206	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
			選択	CIB221	中国哲学講読A	2～4	1	
			選択	CIB222	中国哲学講読B	2～4	1	
			選択	CHL203	中国文学講読A	2～4	1	相互聴講
			選択	CHL204	中国文学講読B	2～4	1	
			選択	CIB117	中国学概論A	1	2	相互聴講
			選択	CIB118	中国学概論B	1	2	
			選択	CIB119	中国史概説A	1～2	2	
			選択	CIB120	中国史概説B	1～2	2	
			選択	CIB121	中国学研究法A	1	2	
			選択	CIB122	中国学研究法B	1	2	
			選択	CHL103	漢文訓読法	1	2	
			選択	CIB303	中国哲学史A	3～4	2	
			選択	CIB304	中国哲学史B	3～4	2	
			選択	CHL301	中国文学史A	3～4	2	
			選択	CHL302	中国文学史B	3～4	2	
			選択	CHL303	中国現代文学史A	3～4	2	いずれか
			選択	CHL304	中国現代文学史B	3～4	2	
			選択	JLT315	日本漢学A	3～4	2	
			選択	JLT316	日本漢学B	3～4	2	
選択	CIB305	中国哲学特講A	3～4	2	相互聴講			
選択	CIB306	中国哲学特講B	3～4	2				
選択	CHL305	中国文学特講A	3～4	2				
選択	CHL306	中国文学特講B	3～4	2				
選択	PHE301	哲学概論A	3～4	2				
選択	PHE302	哲学概論B	3～4	2				
選択	CIB123	写経	1～4	2	2部開講			
選択	CIB124	ヨーガ	1～4	2				
選択	CIB125	坐禅	1～4	2				
選択	CIB126	仏教の芸能	1～4	2				
選択	ASA107	インド舞踊	1～4	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
教職科目								
教職科目	選択		GGR103	地誌学A	1~4	2	卒業単位に含めない科目	
	選択		GGR104	地誌学B	1~4	2		
	選択		GGR205	自然地理学A	1~4	2		
	選択		GGR206	自然地理学B	1~4	2		
	選択		GGR105	人文地理学A	1~4	2		
	選択		GGR106	人文地理学B	1~4	2		
	選択		ILA201	国際法I A	2	2		
	選択		ILA202	国際法I B	2	2		
	選択		POL201	政治学原論A	2	2		
	選択		POL202	政治学原論B	2	2		
	選択		ESS308	社会・地歴指導法I	3	2		
	選択		ESS309	社会・地歴指導法II	3	2		
	選択		ESS310	社会・公民指導法I	3	2		
選択		ESS311	社会・公民指導法II	3	2			
選択		ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2			
東洋思想文化学科 東洋芸術文化コース								
専門科目								
専門科目 74単位以上	必修科目 30単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM107	レポート・論文制作の技法	1	2	相互聴講
			必修	CIB201	東洋思想文化演習I A	2	1	
			必修	CIB202	東洋思想文化演習I B	2	1	
			必修	CIB301	東洋思想文化演習II A	3	1	
			必修	CIB302	東洋思想文化演習II B	3	1	
			必修	THE432	卒論指導A	4	1	
			必修	THE433	卒論指導B	4	1	
			必修	THE434	卒業論文	4	6	
		コース別必修 16単位	必修	ASA103	インド・仏教の美術A	1~4	2	
			必修	ASA104	インド・仏教の美術B	1~4	2	
			必修	ASA105	中国の美術A	1~4	2	
			必修	ASA106	中国の美術B	1~4	2	
			必修	CIB106	インド思想史A	1~4	2	
			必修	CIB107	インド思想史B	1~4	2	
	選択必修科目I 12単位以上	語学科目 4単位以上	選択	CHI105	基礎中国語A	1	1	いずれか
			選択	CHI106	基礎中国語B	1	1	
			選択	CHI305	中国語学演習A	3~4	1	
			選択	CHI306	中国語学演習B	3~4	1	
			選択	LIN101	サンスクリット語I A	1~4	1	
			選択	LIN102	サンスクリット語I B	1~4	1	
			選択	LIN103	ヒンディー語A	1~4	1	
			選択	LIN104	ヒンディー語B	1~4	1	
			選択	CHL101	仏教漢文A	1~4	1	
			選択	CHL102	仏教漢文B	1~4	1	
		講義科目 8単位以上	選択	KOR101	韓国語A	1~4	1	相互聴講
			選択	KOR102	韓国語B	1~4	1	
			選択	LIN205	サンスクリット語II A	2~4	1	
			選択	LIN206	サンスクリット語II B	2~4	1	
			選択	LIN207	パーリ語A	2~4	1	
			選択	LIN208	パーリ語B	2~4	1	
選択			LIN209	チベット語A	2~4	1		
選択			LIN210	チベット語B	2~4	1		
選択			CHI205	中級中国語A	2~4	1		
選択			CHI206	中級中国語B	2~4	1		
講義科目 8単位以上	選択	CIB108	インド文化概論A	1~4	2	相互聴講		
	選択	CIB109	インド文化概論B	1~4	2			
	選択	CIB203	インド仏教史A	2~4	2			
	選択	CIB204	インド仏教史B	2~4	2			
	選択	ASA203	東洋芸術文化特講I A	2~4	2			
	選択	ASA204	東洋芸術文化特講I B	2~4	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考		
12科目以上 12単位以上	選択必修 8単位以上	選択	ASA205	東洋芸術文化特講Ⅱ A	2～4	2	いずれか		
		選択	ASA206	東洋芸術文化特講Ⅱ B	2～4	2			
		選択	CIB303	中国哲学史A	3～4	2			
		選択	CIB304	中国哲学史B	3～4	2			
	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	RES105	宗教学概論A	1～4	2	いずれか	
			選択	RES106	宗教学概論B	1～4	2		
			選択	CIB112	東洋の身体論	1～4	2		
			選択	CIB113	近代化と東洋	1～4	2		
			選択	CHL201	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2		
			選択	CHL202	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2		
			選択	LIG103	比較文学Ⅰ	1～4	2		
			選択	LIG104	比較文学Ⅱ	1～4	2		
			選択	JLT111	日本文学文化概説A	1～4	2		
			選択	JLT112	日本文学文化概説B	1～4	2		
			選択	ARS107	韓国の文化と社会	1～4	2		いずれか
			選択	CIB114	イスラーム概論	1～4	2		いずれか
			選択	CIB115	インド現代思想	1～4	2		
			選択	CIB116	現代のインド	1～4	2		
			選択	SOC106	現代社会に生きる仏教A	1～4	2		
			選択	SOC107	現代社会に生きる仏教B	1～4	2		
			選択	RES107	キリスト教概論	1～4	2		
			選択	FAH103	日本美術の世界	1～4	2		
			選択	RES201	宗教社会学A	2～4	2		2部開講
			選択	RES202	宗教社会学B	2～4	2		
			選択	HSG201	東西交渉史A	2～4	2		
			選択	HSG202	東西交渉史B	2～4	2		相互聴講
			選択	CIB209	中国仏教史A	2～4	2		
			選択	CIB210	中国仏教史B	2～4	2		
			選択	CIB211	韓国仏教史	2～4	2		いずれか
			選択	CUA201	日本民俗学の諸問題	2～4	2		
			選択	HIT203	日本思想史概説A	2～4	2		
			選択	HIT204	日本思想史概説B	2～4	2		相互聴講
			選択	CIB213	日本仏教史A	2～4	2		
			選択	CIB214	日本仏教史B	2～4	2		
			選択	CIB205	インド思想特講ⅠA	2～4	2		いずれか
			選択	CIB206	インド思想特講ⅠB	2～4	2		
			選択	CIB207	インド思想特講ⅡA	2～4	2		
			選択	CIB208	インド思想特講ⅡB	2～4	2		
			選択	CIB212	チベット仏教史	2～4	2		相互聴講
			選択	CIB215	仏教思想特講ⅠA	2～4	2		
			選択	CIB216	仏教思想特講ⅠB	2～4	2		
			選択	CIB217	仏教思想特講ⅡA	2～4	2		いずれか
			選択	CIB218	仏教思想特講ⅡB	2～4	2		
			選択	CIB219	仏教思想特講ⅢA	2～4	2		
			選択	CIB220	仏教思想特講ⅢB	2～4	2		
			選択	CIB221	中国哲学講読A	2～4	1		相互聴講
選択	CIB222	中国哲学講読B	2～4	1					
選択	CHL203	中国文学講読A	2～4	1					
選択	CHL204	中国文学講読B	2～4	1					
選択	CIB117	中国学概論A	1	2	相互聴講				
選択	CIB118	中国学概論B	1	2					
選択	CIB119	中国史概説A	1～2	2					
選択	CIB120	中国史概説B	1～2	2					
選択	CIB121	中国学研究法A	1	2	いずれか				
選択	CIB122	中国学研究法B	1	2					
選択	CHL103	漢文訓読法	1	2					
選択	CHL301	中国文学史A	3～4	2					
選択	CHL302	中国文学史B	3～4	2	いずれか				
選択	CHL303	中国現代文学史A	3～4	2					
選択	CHL304	中国現代文学史B	3～4	2					

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	JLT315	日本漢学A	3～4	2	相互聴講
			選択	JLT316	日本漢学B	3～4	2	
			選択	CIB305	中国哲学特講A	3～4	2	
			選択	CIB306	中国哲学特講B	3～4	2	
			選択	CHL305	中国文学特講A	3～4	2	
			選択	CHL306	中国文学特講B	3～4	2	
			選択	PHE301	哲学概論A	3～4	2	
			選択	PHE302	哲学概論B	3～4	2	
		実技講義科目	選択	CIB123	写経	1～4	2	2部開講
			選択	CIB124	ヨーガ	1～4	2	
			選択	CIB125	坐禅	1～4	2	
			選択	CIB126	仏教の芸能	1～4	2	
			選択	ASA107	インド舞踊	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

中国語・中国哲学文学コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 各コース共通 必修14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(6)
	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1)	中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1)	中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2)
必修科目 コース別 必修22単位 以上	中国文学概論A(2) 中国文学概論B(2)	中国文学研究法A(2) 中国文学研究法B(2)	漢文訓詁法(2)	
	中級中国語A(1) 中級中国語B(1)	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
講義科目 8単位以上	中国史概説A(2) 中国史概説B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)	中国現代文学史A(1) 中国現代文学史B(1)	日本漢学A(2) 日本漢学B(2) 仏教源流A(1) 仏教源流B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)
	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	イデオロギイ概論(2) 近代化と東洋(2)	イデオロギイ概論(2) イデオロギイ概論A(2) イデオロギイ概論B(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2)
専門科目 74単位以上	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
選択必修科目 16単位以上	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
他学部他学科開放科目 (専門開放科目)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)

仏教思想コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 各コース共通 必修14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(6)
	仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2)	インド思想史A(2) インド思想史B(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2)	日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2)
必修科目 コース別 必修22単位 以上	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1)	サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)	サンスクリット語ⅢA(1) サンスクリット語ⅢB(1)	
	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1)	サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)	サンスクリット語ⅢA(1) サンスクリット語ⅢB(1)	
講義科目 8単位以上	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中級中国語A(1) 中級中国語B(1)	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	
	ヒンディー語A(1) ヒンディー語B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
専門科目 74単位以上	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
選択必修科目 16単位以上	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
他学部他学科開放科目 (専門開放科目)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)

東洋芸術文化コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 単位12以上	レポート・論文制作の技法(2) 東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1) 東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	東洋思想文化演習ⅢA(1) 東洋思想文化演習ⅢB(1) 卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(6)	卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(6)
選択必修科目 単位12以上	インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1) サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) ヒンディー語A(1) ヒンディー語B(1) サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1) パーリ語A(1) パーリ語B(1) 中級中国語A(1) 中級中国語B(1)	中国の美術A(2) 中国の美術B(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) 中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1) 仏教漢文A(1) 仏教漢文B(1) サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) パーリ語A(1) パーリ語B(1) 上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	インド思想史A(2) インド思想史B(2) 中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1) 仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2) 韓国語A(1) 韓国語B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)	仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2) 韓国語A(1) 韓国語B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)
講義科目 単位8以上	インド文化概論A(2) インド文化概論B(2)	インド仏教史A(2) インド仏教史B(2)	東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2)	東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2)
専門科目 単位12以上	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) インド現代思想(2) 現代のインド(2) 日本美術の世界(2) 韓国の文化と社会(2) 中国社会学A(2) 中国社会学B(2) 中国宗教学研究A(2) 中国宗教学研究B(2) 漢文訓読法(2)	東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) 日本文学文化概説A(2) 日本文学文化概説B(2) 宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2) 仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2) 中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1) 中国史概説A(2) 中国史概説B(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) 世界の文学文化と日本Ⅲ(2) 世界の文学文化と日本Ⅳ(2) 東西交流史A(2) 東西交流史B(2) 韓国仏教史(2) 日本民俗学の諸問題(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 中国文学講義A(1) 中国文学講義B(1) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2) 中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2)	日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) 仏教思想特講ⅡA(2) 仏教思想特講ⅡB(2) チベット仏教史(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2) 初学概論A(2) 初学概論B(2) 仏教の芸能(2)
専攻講義科目 単位12以上	写経(2) インド舞(2)	ヨーガ(2)	坐禅(2)	坐禅(2)
他学部他学科開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載			

◆◆東洋思想文化学科のコース分けについて◆◆

1. 各コースの概要とコース分けの年次

東洋思想文化学科には主たる学習内容別に4つのコースが設置されています。4コースの概要は以下の通りです。

コース	概要
(1)インド思想コース	古代から現代までのインドの思想・宗教を中心に学ぶコースであり、文献講読に必要なインド古典語のサンスクリット語や現代語のヒンディー語なども合わせて学習する。
(2)中国語・中国哲学文学コース	中国の古典から現代までの思想・文学あるいは文化事象を学ぶコースである。合わせて文献講読に必要な漢文読解力や中国語の語学力を養成する。
(3)仏教思想コース	インド、中国、日本を中心とした仏教の歴史的展開や思想内容を詳しく学ぶコースであり、仏教の理解に必要なサンスクリット語、パーリ語、チベット語、仏教漢文などの語学も学習する。
(4)東洋芸術文化コース	インド、中国、日本などの美術を中心に建築、芸能、音楽などアジアの芸術、文化を総合的に学ぶコースである。合わせてサンスクリット語、漢文、ヒンディー語などアジアの外国語も学習する。

1年次に開講される、各コースの概論科目を受講することを通して、2年次からのコース選択の参考としてください。**コース選択の希望聴取は12月に行います**ので、それまでに自分の進みたいコースを決めておいてください。2年次からは、自分の選択した各コースのカリキュラムにしたがって、コース別の専門科目の履修が本格的に始まります。ただし、希望者が各コースの学生定員を超過した場合は、1年次秋学期時点のGPAにもとづいて選考します。

2. コースに関連した履修上の注意

1年次から履修できる専門科目のうち、選択した2年次からのコースの教育課程表に記載されていない科目は卒業単位になりません（自由科目として単位認定されます）。

◆◆科目の履修上の注意◆◆

必修科目

卒業論文は必修であるため、1年次から計画を立て研究室等の指示に注意してください。ただし、4年次の「卒業論文」の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の学生に限ります**。

原級した場合の卒論指導の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「卒論指導A」「卒論指導B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論指導A」を秋学期に、「卒論指導B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

実技講義科目および海外研修

科目によっては集中講義となる場合や第2部時間帯のみ開講する場合、また別途費用が必要となる場合があるので、「シラバス（講義要項）」等で十分に確認したうえで履修してください。

東洋思想文化学科第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

東洋思想文化学科第1部・第2部間でのみ相互聴講を認めます。

履修条件は、以下の通りです。

- (1) 第2部東洋思想文化学科提供科目のうち、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 科目提供主体（第2部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法
第2部提供科目の履修を希望する場合は、第1部の科目と同様に履修登録をしてください。
- (6) 対象科目（第2部東洋思想文化学科提供科目群）
教育課程表「履修上の注意／備考欄」に「相互聴講」とある科目。

◆◆ 第1部 東洋思想文化学科 カリキュラムマップ ◆◆

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ	第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ
入門							
サンスクリット語Ⅰ AB / ヒンディー語 AB 基礎中国語 AB / 漢文訓読法 仏教漢文 AB		サンスクリット語Ⅱ AB パーリ語 AB / チベット語 AB 中級中国語 AB / 上級中国語 AB / 中国語学演習 AB 韓国語 AB / 日本語文法 AB / 日本語概説 AB					
中国史概説 AB 中国学概論 AB / 中国学研究法 AB / インド思想史 AB / インド文化概論 AB 仏教思想概論 AB		中国哲学史 A B / 中国文学史 A B / 中国現代文学史 A B / 日本漢学 A B / インド仏教史 AB / 中国仏教史 A B / 日本仏教史 A B / チベット仏教史 / 韓国仏教史 中国の美術 AB 宗教学概論 AB / 宗教学Ⅱ A B / 東洋思想 / アジアの文学 / アジアの古典 / キリスト教概論 / イスラム概論 / 神道史 A B / 古文書学Ⅰ AB / 心理学概論 AB / 日本美術の世界 / 書道史 / 書論 / 日本民俗学の諸問題 / 日本語史 AB / 古典籍に親しむ / 哲学概論 AB / 倫理学概論 AB / 日本文学の歴史(上代・中古・中世・近世・近代・現代)					
		中国哲学講読 A B / 中国文学講読 A B インド現代思想 / 現代のインド ヨーガ / インド舞踊 仏教と社会福祉 / 現代に生きる仏教 写経 / 坐禅 / 仏教の芸能 インド・仏教の美術 A B / 世界の文学文化と日本Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ / 海外文化研修Ⅰ・Ⅱ 東洋の身体論 / 近代化と東洋 / 宗教社会学 A B / 総合Ⅶ A B / 韓国の文化と社会 / 比較文学Ⅰ・Ⅱ / 日本文学文化概説 AB					
レポート・論文制作の技法		卒業論文 インド思想特講Ⅰ A B / インド思想特講Ⅱ A B 中国哲学特講 A B / 中国文学特講 A B 仏教思想特講Ⅰ A B / 仏教思想特講Ⅱ A B / 仏教思想特講Ⅲ A B 東洋芸術文化特講Ⅰ A B / 東洋芸術文化特講Ⅱ A B 東洋思想文化演習Ⅱ AB 卒論指導 A B					

語学

東洋の思想と文化を理解する
のに役立つ語学

知識

東洋の思想と文化に対する
豊富な知識

理解

東洋に特有の価値観や
思考法への理解

分析・考察・表現

独自の視点からの分析と考察
自分の見解を論理的に表現

教育課程及び履修に際しての注意

第1部 日本文学文化学科

◆◆日本を知ろう！ 日本人を知ろう！◆◆

日本文学文化学科は、新しい時代に適合した研究と教育を目標としている。学祖、井上円了は、明治前半期の西洋第一主義の風潮への反省として「東洋を本とし日本を主」とする哲学館・東洋大学を開設した。

しかし、それは単なる狭い東洋主義ではなく、「東洋の学を主とし、西洋の学を客とし、彼我、主客を合わせて研究する主義」の提唱であり、教育であった。この主張は現代でも光を失わないものである。

現代日本社会が今後ますます国際化していく状況の中で、いずれの国家・民族にとっても、それぞれの固有の文化（アイデンティティ）をいかに確立継承し、創造するかということは、これからの新しい世紀に必須の課題となるに違いない。日本及び日本人を正しく知るとともに、伝統的な学問・日本文化を正しく継承し、新たに世界から日本を見るという視点を導入した日本文学文化学科の教育内容は、国際化時代にふさわしいものと言える。

◇教育課程（カリキュラム）の特色

日本文学文化学科のカリキュラムには、基盤教育科目と文学部基盤科目、専門科目、それに開放科目がある。基盤教育科目は、各分野に応じて広く文化を学び、考察するものである。文学部基盤科目には、図書館司書・学校図書館司書教諭、学芸員資格に関する科目が用意されており、各自の目的によって選択できるようになっている。

専門科目は1年次の「初年次ゼミナール」「実践基礎ゼミナール」と、1・2年次の「日本文学文化概説A・B」「日本語概説A・B」が必修科目であり、2年次以降の専門的なゼミナールと「卒業論文」への足がかりとなる。

選択必修科目には、専攻分野別のゼミナールや多彩な講義等多くの科目群が用意されている。各科目群の指定がなされているものもあるが、学年に応じて選択できる。科目群と指定単位数に注意して選択すること。

ゼミナールは「ゼミナールⅠA・B」「ゼミナールⅡA・B」「ゼミナールⅢA・B」と専門性を深めて展開し、4年次の「卒論指導A・B」「卒業論文」へと結実していくことになる。ゼミナールの目的は、みずから考え、みずから課題を発見することにある。

これらのゼミナール科目は、日本文学文化学科のカリキュラムの中心である。2年次の「ゼミナールⅠ」の選択から、「日本語学」「古典文学文化」「近現代文学文化」「比較文学文化」という4つの専攻分野が設置されているので、各自の学習計画に即して選択すること。なお「ゼミナールⅢ」については3年次履修の専攻分野から選択することが望ましい。

選択科目には、国語科、書道科各教員免許状取得のための科目（教職科目）が用意されている。各自の目的に応じて選択できる。

選択必修科目にかかわる専攻分野間は自由に横断的な学習ができるようになっているので、専門性を深めながら、日本文学文化を総合的、包括的に学習できる。いわばフレキシブルな履修システムであるから、各自がそれぞれの明確な学習目標に応じた科目を履修することにより、主体的で個性あふれるカリキュラムを作成することが可能である。

開放科目は、他学部・他学科の開放科目であり、日本文学文化学科では、各自の考えにより広範囲な学問分野の学習ができるようになっている。

◆◆日本文学文化学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の養成に関する目的

国際化していく現代社会において、アイデンティティを確立することは重要な課題である。

日本文学文化学科では、日本・日本人を知り、伝統的な学問・日本文化を継承すると同時に、

世界から日本を見るという視点を導入することで、新しい時代を切り拓く人材の育成を目標としている。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
カリキュラムの中心となるゼミナール科目では「日本語学分野」「古典文学文化分野」「近現代文学文化分野」「比較文学文化分野」という4つの専攻分野を設置し、専門的な探究を行っている。選択必修科目では専攻分野間の横断的な学習が可能で、日本文学文化を総合的・包括的に視野に収めていく。
3. その他の教育研究上の目的
国語科・書道科各教員免許状の取得や、図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員の資格を取得する。

◆◆日本文学文化学科 3つのポリシー◆◆

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学科が求める学生像は、日本の文学作品や文化事象に広い興味を持つ人、日本語に対する高い意識を持つ人、歴史や社会と文学・文化との連環に深い関心を持つ人、世界の文学・文化と日本の文学・文化との比較に強い意欲を持つ人などである。あわせて、文系の学問に偏ることなく、次のような幅広い学力を有する多様で優秀な学生を求めている。

1. 日本古典文学と日本近現代文学の知識と読解力、それらの根幹となる日本語の理解と表現力。
2. 日本の文学・文化を国際的な視点から理解するために欠かすことができない外国語（英語）の基本的な運用力。
3. 日本や世界の歴史、政治、経済、慣習・風土などへの探究力と現代社会の諸問題への解決力。
4. 学術的な文章を作り上げるための論理的な思考力とその基となる様々な情報の収集・分析力。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、教育課程を通して、思考力と実践力を養い、日本語、日本文学、日本文化の専門的かつ総合的な知識と理解力を身に付けることを目指す。また、グローバルな現代社会の一員として活躍するための礎を築く。

1. 高い教養と豊かな創造力を養うため、「日本語学」「古典文学文化」「近現代文学文化」「比較文学文化」の4分野を設け、専門的かつ横断的な学習に取り組む。
2. 必要な知識と思考力を着実に獲得するため、1・2年次の基礎的、概説的な授業科目から、3・4年次の高度で専門的な授業科目へと、段階的かつ有機的に学習を進める。
3. 学問の探究をとおして総合的な力を身につけるため、1年次から4年次まで少人数のゼミナールに参加し、他者との協働をはじめとする多様な学びを実践する。
4. 各自の興味・関心を伸ばし、その可能性を引き出すため、多彩な内容の専門科目を置くほか、諸資格（中学校国語科教諭、高等学校国語科・書道科教諭、図書館司書、司書教諭、学芸員）の取得に関連する科目を設置している。
5. 各自の研究テーマに即した卒業論文の作成を必修とし、大学で培った知識、能力を応用しながら、研究の成果を主体的にまとめる。

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学科では、卒業に必要な単位を修得し、以下に掲げる能力を修得した者に対して卒業を認め学位を授与する。

1. 主体的に獲得した日本の文学・文化に関する知見と論理的な考察をもとに、他者との協働をとおして様々な課題を解決できる。
2. 日本語、日本の文学・文化についての確かな知識と、日本語表現の適切なあり方を習得し、専門的な視点から探究することができる。
3. 日本の文学・文化を多面的かつ総合的に検証し、新たな日本文化像を創造することができる。
4. 世界から見た日本の文学・文化のあり方を理解し、グローバルな文脈における豊かな可能性を見出すことができる。

◆◆ 4つの専攻分野について ◆◆

専攻分野	概要
日本語学分野	日本語の過去から現在までの姿や仕組みなどについて根幹となる理論を習得する。その上で、言語学一般の学習や他言語との比較も行いながら、総合的多角的に分析、考察する。あわせて、日本語に対して深く適切な理解をもとにした実証的な研究姿勢を養う。
古典文学文化分野	古代から近世に至る古典文学を実証的な観点から考察し、そこに表れた日本人の心や文化のかたちを、より深くより豊かに理解していく。そして、日本の文化遺産である古典文学の価値を正しく継承し、さらに次代へ伝えていくことを使命とする。
近現代文学文化分野	明治期から今日に至るさまざまな文学作品について、多種多様な方法論による分析と考察を試み、その文学の特質や作家の本質を究明する。その過程で、近現代文学文化の問題点や思想性を汲み取り、これからの日本文学や日本人の可能性を模索していく。
比較文学文化分野	比較文学文化の概念や理念を学ぶとともに、「世界から日本を見る」という視点で、日本を相対化する姿勢を確立する。そして、既成の学問の枠にとらわれることなく、多様な「日本文学文化論」を展開し、国際社会における日本文学文化の意義や可能性を探る。

◆◆ 第1部 日本文学文化学科 卒業要件 ◆◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は合計 124 単位です。その内訳は次のとおりです。

科目区分	分類	必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際	16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を修得すること。	
	留学支援科目 英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育	18 単位以上 国際コミュニケーション科目は、1 年次に英語 I を 4 単位必修。ドイツ語 I ・フランス語 I ・中国語 I から 1 カ国語 4 単位選択必修。2 年次に 1 年次に履修した外国語から 1 カ国語 4 単位選択必修。 上記あわせて 12 単位修得すること。	
専門科目	必修科目	18 単位	専門科目合計 74 単位以上
	選択必修科目 I	34 単位以上	
	選択必修科目 II	16 単位以上	
	選択科目		
教職科目		卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目			
卒業必要単位数合計		上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については 127 ページを必ず確認してください。

◆ 2021 年度第 1 部日本文学文化学科教育課程表 ◆

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目 74 単位以上	必修科目 18 単位	必修	JLT111	日本文学文化概説 A	1～2	2	相互聴講	
		必修	JLT112	日本文学文化概説 B	1～2	2		
		必修	JLN103	日本語概説 A	1～2	2		
		必修	JLN104	日本語概説 B	1～2	2		
		必修	SEM101	初年次ゼミナール	1	2		
		必修	SEM102	実践基礎ゼミナール	1	2		
		必修	THE404	卒論指導 A	4	1		
		必修	THE405	卒論指導 B	4	1		
			必修	THE406	卒業論文	4	4	
	選択必修科目 I 34 単位以上	選択	JLN201	日本語学ゼミナール I A	2	2	2 科目 4 単位 選択必修	
		選択	JLN202	日本語学ゼミナール I B	2	2		
		選択	JLT201	古典文学文化ゼミナール I A	2	2		
		選択	JLT202	古典文学文化ゼミナール I B	2	2		
		選択	JLT203	近現代文学文化ゼミナール I A	2	2		
		選択	JLT204	近現代文学文化ゼミナール I B	2	2		
		選択	JLT205	比較文学文化ゼミナール I A	2	2	2 科目 4 単位 選択必修	
		選択	JLT206	比較文学文化ゼミナール I B	2	2		
		選択	JLN301	日本語学ゼミナール II A	3	2		
		選択	JLN302	日本語学ゼミナール II B	3	2		
		選択	JLT301	古典文学文化ゼミナール II A	3	2		
		選択	JLT302	古典文学文化ゼミナール II B	3	2		
		選択	JLT303	近現代文学文化ゼミナール II A	3	2	2 科目 4 単位 選択必修	
		選択	JLT304	近現代文学文化ゼミナール II B	3	2		
		選択	JLT305	比較文学文化ゼミナール II A	3	2		
		選択	JLT306	比較文学文化ゼミナール II B	3	2		
		選択	JLN401	日本語学ゼミナール III A	4	2		
		選択	JLN402	日本語学ゼミナール III B	4	2		
		選択	JLT401	古典文学文化ゼミナール III A	4	2	2 科目 4 単位 選択必修	
		選択	JLT402	古典文学文化ゼミナール III B	4	2		
		選択	JLT403	近現代文学文化ゼミナール III A	4	2		
		選択	JLT404	近現代文学文化ゼミナール III B	4	2		
		選択	JLT405	比較文学文化ゼミナール III A	4	2		
		選択	JLT406	比較文学文化ゼミナール III B	4	2		
		選択	JLN203	日本語史 A	2～4	2	2 科目 4 単位以上 選択必修	相互聴講
		選択	JLN204	日本語史 B	2～4	2		
		選択	JLN205	日本語文法 A	2～4	2		
		選択	JLN206	日本語文法 B	2～4	2		
		選択	JLT115	日本文学の歴史(上代)	1～3	2		
		選択	JLT116	日本文学の歴史(中古)	1～3	2		
		選択	JLT117	日本文学の歴史(中世)	1～3	2	3 科目 6 単位以上 選択必修	
		選択	JLT118	日本文学の歴史(近世)	1～3	2		
		選択	JLT119	日本文学の歴史(近代)	1～3	2		
		選択	JLT120	日本文学の歴史(現代)	1～3	2		
	選択	JLN303	日本語学研究 I	3～4	2	2 科目 4 単位以上 選択必修	いずれか 相互聴講	
	選択	JLN304	日本語学研究 II	3～4	2			
	選択	JLT307	古典文学文化研究 I	3～4	2			
選択	JLT308	古典文学文化研究 II	3～4	2				
選択	JLT309	古典文学文化研究 III	3～4	2				
選択	JLT310	古典文学文化研究 IV	3～4	2				
選択	JLT311	近現代文学文化研究 I	3～4	2				
選択	JLT312	近現代文学文化研究 II	3～4	2				
選択	JLT313	比較文学文化研究 I	3～4	2				
選択	JLT314	比較文学文化研究 II	3～4	2				
選択	JLT207	上代文学の探究	1～3	2	2 科目 4 単位以上 選択必修	相互聴講		
選択	JLT208	中古文学の探究	1～3	2				
選択	JLT209	中世文学の探究	1～3	2				
選択	JLT210	近世文学の探究	1～3	2				
選択	JLT211	近現代文学の探究	1～3	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目
 2 部開講・・・第 2 部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目(詳細は 89 ページ参照)

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考		
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅰ 34単位以上	選択	LIG103	比較文学Ⅰ	1～2	2	2科目4 単位以上 選択必修	相互聴講	
		選択	LIG104	比較文学Ⅱ	1～2	2			
		選択	LIE201	世界の文学文化と日本Ⅰ	1～4	2			
		選択	LIE202	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2			
		選択	CHL201	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2			
		選択	CHL202	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2			
		選択	LIG201	世界の文学文化と日本Ⅴ	1～4	2			
	選択必修科目Ⅱ 16単位以上	選択	CUA104	伝統行事を学ぶ	1～4	2		いずれか	
		選択	JLT121	伝統芸能を学ぶ	1～4	2			
		選択	JLN105	方言と文化	1～4	2			
		選択	FAH103	日本美術の世界	1～4	2			相互聴講
		選択	ARL104	日本映画の世界	1～4	2			いずれか
		選択	ARL105	マンガ文化研究	1～4	2			相互聴講
		選択	LIG105	アニメーション文化研究	1～4	2			
		選択	ARL103	翻訳と日本文学文化	1～4	2			
		選択	ARS107	韓国の文化と社会	1～4	2			いずれか
		選択	SOC105	日本の出版メディア	1～4	2			
		選択	CIB102	中国の古典(文学)	1～4	2			相互聴講
		選択	CIB103	中国の古典(思想)	1～4	2			
		選択	CIB105	中国の古典(哲学)	1～4	2			
		選択	CIB104	中国の古典(歴史)	1～4	2			
		選択	JLT212	万葉文化の世界	2～4	2			いずれか
		選択	JLT213	平安朝文化の世界	2～4	2			
		選択	JLT214	室町・戦国文化の世界	2～4	2			
		選択	JLT215	江戸文化の世界	2～4	2			
		選択	JLT216	近現代文化の諸問題	2～4	2			
		選択	JLT217	古典籍に親しむ	2～4	2			
	選択	CUA201	日本民俗学の諸問題	2～4	2		相互聴講		
	選択	JLT218	日本の児童文学	2～4	2				
	選択科目	選択	CHL103	漢文訓読法	1～2	2			
		選択	CHL301	中国文学史A	3～4	2			
		選択	CHL302	中国文学史B	3～4	2			
		選択	CIB213	日本仏教史A	2～4	2			
		選択	CIB214	日本仏教史B	2～4	2			
		選択	JPH105	古文書学ⅠA	1～4	2			
		選択	JPH106	古文書学ⅠB	1～4	2			
		選択	JPH107	古文書学ⅡA	1～4	2			
		選択	JPH108	古文書学ⅡB	1～4	2			
		選択	ARL101	書道ⅠA	1	1		いずれか	
		選択	ARL102	書道ⅠB	1	1			
		選択	ARL201	書道ⅡA	2～4	1			
		選択	ARL202	書道ⅡB	2～4	1			
		選択	ARL203	書道ⅢA	2～4	1			
		選択	ARL204	書道ⅢB	2～4	1			
		選択	ARL106	書道史	1	2			
		選択	ARL205	書論	2～4	2			
	選択	JLT113	教職国語(古典)	1～3	2				
選択	JLT114	教職国語(現代文)	1～3	2					
教職科目									
教職科目	選択	ESS202	国語科教育論Ⅰ		2	2	卒業単位に 含めない科目		
	選択	ESS203	国語科教育論Ⅱ		2	2			
	選択	ESS302	国語科指導法Ⅰ		3	2			
	選択	ESS303	国語科指導法Ⅱ		3	2			
	選択	ESS304	書道科指導法Ⅰ		3	2			
	選択	ESS305	書道科指導法Ⅱ		3	2			
	選択	ESS401	教職実践演習(中・高)		4	2			

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講 … 第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講 … 第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目(詳細は89ページ参照)

2021年度第1部日本文学文化学科 教育課程表

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
文学部教育	専攻学履修・科目研究(2) 生涯学習概論Ⅰ(2) 特別支援教育概論Ⅰ(2)	英語圏の社会と文化ⅠA(2) 英語圏の社会と文化ⅠB(2) 英語圏の社会と文化ⅡA(2) 英語圏の社会と文化ⅡB(2)	中国歴史A(2) 中国歴史B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)
文学部	西学とキリスト教A(2) 西学とキリスト教B(2) ヒンデンブルク(1) シンナー(1) 家族心理学(2) 国際文化概論A(2) 国際文化概論B(2)	インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド文化概論C(2) インド文化概論D(2) 現代のインド(2) 日本文化概論ⅠA(2) 日本文化概論ⅠB(2) 日本文化概論ⅡA(2) 日本文化概論ⅡB(2)	中国美術史A(2) 中国美術史B(2) 西洋美術史基礎概論A(2) 西洋美術史基礎概論B(2) 西洋美術史基礎概論C(2) 西洋美術史基礎概論D(2) 論理学概論A(2) 論理学概論B(2)	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1) パーリ語A(1) パーリ語B(1) チベット語A(1) チベット語B(1) 異文化交渉ⅠA(2) 異文化交渉ⅠB(2)
文学部基礎専門科目	中国史概論A(2) 中国史概論B(2) 西洋史概論A(2) 西洋史概論B(2)	サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 現代倫理学A(2) 現代倫理学B(2) フランス語で学ぶ異文化交流Ⅰ(2) フランス語で学ぶ異文化交流Ⅱ(2)	英訳専修講義ⅠA(2) 英訳専修講義ⅠB(2) 英訳専修講義ⅡA(2) 英訳専修講義ⅡB(2) 英訳専修講義ⅢA(2) 英訳専修講義ⅢB(2)	英訳専修講義ⅠA(2) 英訳専修講義ⅠB(2) 英訳専修講義ⅡA(2) 英訳専修講義ⅡB(2) 英訳専修講義ⅢA(2) 英訳専修講義ⅢB(2)
国際コミュニケーション科目(2単位以上)	検定英語A(2) 検定英語B(2)	Practical Writing A(2) Practical Writing B(2)	英語ⅠAA(1) 英語ⅠAB(1) 英語ⅠBA(1) 英語ⅠBB(1)	Business English A(1) Business English B(1) Media English A(1) Media English B(1)
英語	4単位必修 ドイツ語ⅠAA(1) ドイツ語ⅠAB(1) ドイツ語ⅠBA(1) ドイツ語ⅠBB(1)	ドイツ語ⅡAA(1) ドイツ語ⅡAB(1) ドイツ語ⅡBA(1) ドイツ語ⅡBB(1)	フランス語ⅠAA(1) フランス語ⅠAB(1) フランス語ⅠBA(1) フランス語ⅠBB(1)	フランス語ⅡAA(1) フランス語ⅡAB(1) フランス語ⅡBA(1) フランス語ⅡBB(1)
フランス語	中国語ⅠAA(1) 中国語ⅠAB(1) 中国語ⅠBA(1) 中国語ⅠBB(1)	中国語ⅡAA(1) 中国語ⅡAB(1) 中国語ⅡBA(1) 中国語ⅡBB(1)	中国語ⅢAA(1) 中国語ⅢAB(1) 中国語ⅢBA(1) 中国語ⅢBB(1)	中国語ⅣAA(1) 中国語ⅣAB(1) 中国語ⅣBA(1) 中国語ⅣBB(1)
中国語	1カ国語4単位必修 1年次履修した2カ国語から 独・仏・中の中から 1カ国語4単位必修	1カ国語4単位必修 1年次履修した2カ国語から 独・仏・中の中から 1カ国語4単位必修	1カ国語4単位必修 1年次履修した2カ国語から 独・仏・中の中から 1カ国語4単位必修	1カ国語4単位必修 1年次履修した2カ国語から 独・仏・中の中から 1カ国語4単位必修
日本語(留学生用)	日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	日本語ⅢA(1) 日本語ⅢB(1)	応用日本語Ⅰ(2) 応用日本語Ⅱ(2)	応用日本語Ⅲ(2) 応用日本語Ⅳ(2)
国際文化	国際文化概論Ⅰ(2) 国際文化概論Ⅱ(2)	国際文化概論Ⅲ(2) 国際文化概論Ⅳ(2)	国際文化概論Ⅴ(2) 国際文化概論Ⅵ(2)	国際文化概論Ⅶ(2) 国際文化概論Ⅷ(2)
生涯学習	生涯学習概論Ⅰ(2) 生涯学習概論Ⅱ(2)	生涯学習概論Ⅲ(2) 生涯学習概論Ⅳ(2)	生涯学習概論Ⅴ(2) 生涯学習概論Ⅵ(2)	生涯学習概論Ⅶ(2) 生涯学習概論Ⅷ(2)
社会教育	社会教育概論Ⅰ(2) 社会教育概論Ⅱ(2)	社会教育概論Ⅲ(2) 社会教育概論Ⅳ(2)	社会教育概論Ⅴ(2) 社会教育概論Ⅵ(2)	社会教育概論Ⅶ(2) 社会教育概論Ⅷ(2)
物理学	物理学概論Ⅰ(2) 物理学概論Ⅱ(2)	物理学概論Ⅲ(2) 物理学概論Ⅳ(2)	物理学概論Ⅴ(2) 物理学概論Ⅵ(2)	物理学概論Ⅶ(2) 物理学概論Ⅷ(2)
図書情報	図書情報概論Ⅰ(2) 図書情報概論Ⅱ(2)	図書情報概論Ⅲ(2) 図書情報概論Ⅳ(2)	図書情報概論Ⅴ(2) 図書情報概論Ⅵ(2)	図書情報概論Ⅶ(2) 図書情報概論Ⅷ(2)
情報	情報概論Ⅰ(2) 情報概論Ⅱ(2)	情報概論Ⅲ(2) 情報概論Ⅳ(2)	情報概論Ⅴ(2) 情報概論Ⅵ(2)	情報概論Ⅶ(2) 情報概論Ⅷ(2)
キャリア教育	キャリア支援Ⅰ(2) キャリア支援Ⅱ(2)	キャリア支援Ⅲ(2) キャリア支援Ⅳ(2)	キャリア支援Ⅴ(2) キャリア支援Ⅵ(2)	キャリア支援Ⅶ(2) キャリア支援Ⅷ(2)

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 18単位	日本文学文化概論A(2) 日本文学文化概論B(2) 初年ガイダンス(1) 実践基礎セミナー(2)	日本語学概論A(2) 日本語学概論B(2)	日本語学セミナーⅠA(2) 日本語学セミナーⅠB(2) 日本語学セミナーⅡA(2) 日本語学セミナーⅡB(2)	日本語学セミナーⅢA(2) 日本語学セミナーⅢB(2)
選択必修 科目Ⅰ 34単位 以上	日本文学の歴史(上代)(2) 日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近世)(2)	日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 3科目6単位以上選択必修 中世文学の探求(2) 近現代文学の探求(2)	日本文学の歴史(近代)(2) 日本文学の歴史(現代)(2)	2科目4単位以上選択必修 2科目4単位以上選択必修
専門科目 74単位 以上	比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2)	2科目4単位以上選択必修 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	2科目4単位以上選択必修 世界の文学文化と日本Ⅲ(2) 世界の文学文化と日本Ⅳ(2)	2科目4単位以上選択必修 世界の文学文化と日本Ⅴ(2)
選択必修 科目Ⅱ 16単位 以上	伝説行筆名学(2) 日本映画の世界(2) 中国の古典(文学)(2) 翻訳と日本文学文化(2)	伝説行筆名学(2) マンガ文化研究(2) 中国の古典(歴史)(2) アニメーション文化研究(2) 万葉文化の世界(2) 江戸文化の世界(2) 日本民俗学の問題(2)	方言と文化(2) 韓国の文化と社会(2) 中国の古典(思想)(2) 平安朝文化の世界(2) 近現代文化の展開(2)	日本美術の世界(2) 日本の出版メディア(2) 中国の古典(哲学)(2) 室町・戦国文化の世界(2) 古典籍に親しむ(2)
選択科目	古文書学ⅠA(2) 古文書学ⅠB(2)	古文書学ⅡA(2) 古文書学ⅡB(2)	書道ⅠA(1) 書道ⅠB(1) 書道Ⅱ(2)	書道ⅡA(1) 書道ⅡB(1)
教職科目	教職国語(古典)(2)	教職国語(現代文)(2)	国語科指導法Ⅰ(2) 国語科指導法Ⅱ(2)	教職実践演習(中・高)(2)
他学部他学科 開付科目 (専門開付科目)	科目は別表に記載	科目は別表に記載	科目は別表に記載	科目は別表に記載

(注) 家職科目は、卒業単位に含まれません。

◆◆科目の履修上の注意◆◆

国際コミュニケーション科目

1年次に英語4単位を必修し、ドイツ語・フランス語・中国語の中から1カ国語4単位を選択必修します。2年次で1年次に履修した外国語から1カ国語4単位を選択必修します。

2年次に履修する国際コミュニケーション科目について、1年次秋学期に希望調査があります。

必修科目

4年次の「卒業論文」の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生を対象とします。**

原級した場合の卒論指導の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「卒論指導A」「卒論指導B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論指導A」を秋学期に、「卒論指導B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

日本文学文化学科第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

日本文学文化学科第1部・第2部間でのみ相互聴講を認めます。

履修条件は、以下の通りです。

- (1) 第2部日本文学文化学科提供科目のうち、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 科目提供主体（第2部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法
第2部提供科目の履修を希望する場合は、第1部の科目と同様に履修登録をしてください。

(6) 対象科目

教育課程表の「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目です。

○第2部日本文学文化学科提供科目群

日本文学文化概説A(2)	日本文学の歴史(現代)(2)	世界の文学文化と日本Ⅰ(2)
日本文学文化概説B(2)	日本語学研究Ⅰ(2)	世界の文学文化と日本Ⅱ(2)
日本語概説A(2)	古典文学文化研究Ⅰ(2)	世界の文学文化と日本Ⅲ(2)
日本語概説B(2)	古典文学文化研究Ⅱ(2)	日本美術の世界(2)
日本語史A(2)	近現代文学文化研究Ⅰ(2)	マンガ文化研究(2)
日本語史B(2)	比較文学文化研究Ⅰ(2)	アニメーション文化研究(2)
日本語文法A(2)	上代文学の探究(2)	中国の古典(文学)(2)
日本語文法B(2)	中古文学の探究(2)	中国の古典(思想)(2)
日本文学の歴史(上代)(2)	中世文学の探究(2)	中国の古典(哲学)(2)
日本文学の歴史(中古)(2)	近世文学の探究(2)	中国の古典(歴史)(2)
日本文学の歴史(中世)(2)	近現代文学の探究(2)	日本民俗学の諸問題(2)
日本文学の歴史(近世)(2)	比較文学Ⅰ(2)	日本の児童文学(2)
日本文学の歴史(近代)(2)	比較文学Ⅱ(2)	

◆第1部 日本文学文化学科 カリキュラムマップ◆

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ	第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ
初年次ゼミナール／実践基礎ゼミナール	基礎1	基礎2	応用	完成			
日本語概説A・B／日本文学文化概説A・B／日本文学の歴史(上代)／日本文学の歴史(中古)／ アニメーション文化研究／日本の出版メディア／韓国文化と社会(文学)／ 中国の古典(思想)／中国の古典(哲学)／漢文訓詁法／古文書学IA・B／ 古文書学II A・B／書道IA・B／書道史	日本語学ゼミナールIA・B／日本文学文化概説A・B／古典立学文化ゼミナールIA・B／ 近現代立学文化ゼミナールIA・B／比較立学文化ゼミナールIA・B	日本語学ゼミナールIA・B／古典立学文化ゼミナールIA・B／近現代立学文化ゼミナールIA・B／ 比較立学文化ゼミナールIA・B	日本語学ゼミナールII A・B／古典立学文化ゼミナールII A・B／近現代立学文化ゼミナールII A・B／ 比較立学文化ゼミナールII A・B	日本語学ゼミナールIII A・B／古典立学文化ゼミナールIII A・B／近現代立学文化ゼミナールIII A・B／ 比較立学文化ゼミナールIII A・B	卒業論文／卒論指導A・B		
日本語概説A・B／日本文学文化概説A・B／日本文学の歴史(近代)／日本文学の歴史(現代)	日本語学A・B／日本語学方法A・B／上代文学の探究／中世文学の探究／近世文学の探究／ 近現代文学の探究／万葉文化の世界／平安朝文化の世界／室町・戦国文化の世界／江戸文化の世界／近 現代文化の諸問題	日本語学研究 I・II／古典文学文化研究 I・II・III・IV／近現代文学文化研究 I・II					
伝統芸能を学ぶ／伝統行事を学ぶ／方言と文化／日本美術の世界／日本映画の世界／マンガ文化研究／ アニメーション文化研究／日本の出版メディア／韓国文化と社会(文学)／ 中国の古典(思想)／中国の古典(哲学)／漢文訓詁法／古文書学 IA・B／ 古文書学 II A・B／書道 IA・B／書道史	古典籍に親しむ／日本民俗等の諸問題／日本の児童文学／日本仏教史A・B／書道II A・B	中国文学史A・B／書道III A・B／書論					
比較文学 I・II／英語 I・II／ドイツ語 I・II／フランス語 I・II／中国語 I・II	世界の文学文化と日本 I・II・III・IV・V／翻訳と日本文学文化	比較文学文化研究 I・II					
	国語科教育論 I・II／教職国語(古典)／ 教職国語(現代文)	国語科指導法 I・II／書道科指導法 I・II					
	図書館概論／図書館サービス概論	情報サービス演習A・B／情報資源組織演習A・B					
	情報サービス論／児童サービス論／図書／図書館史／図書館制度・経営論／図書館情報資源概論／図書館情報資源特論／情報資源組織論／図書館情報技術論 学習指導と学校図書館／読書と豊かな人間性／学校図書館と情報メディアの活用／学校図書館と読書メティアの構成						
		教育実践演習(中・高)					

対応DP

DP1 思考・実践

多面的な思考力にもとづき、他者と協働して問題解決できる。

DP2 専門(知識・理解)

日本のことばや文学文化を探究し、理解できる。

DP3 総合(知識・理解)

人文科学に関する総合的な知識を身につけ、運用できる。

DP4 国際・社会

グローバルな現代社会の一員として活躍できる。

教職科目

司資格関連科目*

(図書館司書／学校図書館司書教諭)

*文学部共通科目であるが、開講主体は日本文学文化学科

教育課程及び履修に際しての注意

第1部 英米文学科

◆英語を「通して」知る、学ぶ◆

英米文学科では英文学、米文学、英語学の三分野の専門科目を開講しています。この三つはそれぞれ専門的な学問分野ですが、本学科では学生の皆さんに対して、まず英語の基礎力をしっかりと身につけ、その英語力を「使って」、それを「通して」専門の課題にアプローチして欲しいと考え、そのためのカリキュラムを組んでいます。文学作品というものは日常生活のこまごました描写から人間性の極限といえるような激烈きわまる感情の表現にいたるまで、人間のすること、感じること、考えることのすべてを含むものです。また英語という言葉の性質や特質を研究する英語学は、英語によって表現できることすべてを扱います。ですから英米文学にせよ英語学にせよ、本学科の専門科目は皆さんが身につけた英語を実際に「使い」、それを「通して」学んでいくのに本当に適した方法なのです。

このような目標のために、まず1・2年生の間はしっかりした英語力を身につけることが中心になります。少人数クラスの専門科目、また文学部基盤科目の「英語Ⅰ・Ⅱ」により、「読む」「聞く」「話す」「書く」面での高度な英語力を身につけます。これと平行して必修の講義科目「英文法概説」があり、英語力の基礎である文法の知識を学びます。また「英文学史」「米文学史」（ともに必修）、「英米文学基礎セミナー」「英語学基礎セミナー」（ともに選択必修科目）、さらに「英語圏の社会と文化Ⅰ」「英語圏の社会と文化Ⅱ」「時事英語」「英語講読演習」「英語史」（いずれも選択）があります。また英米文学、英語学の問題について詳しく論じる「英文学特講」「米文学特講」「英語学特講」も2年次から受講できるので、皆さんは必修科目と選択科目、実際に自分で英語を使うセミナー科目と英語英米文化についての広い基礎知識を与える講義科目を組み合わせて、自由に自分の関心を追求することができます。

3・4年次はこれまでに学んだ英語の力をさらに高めつつ、同時にそれを実際に活用して文学作品の研究、また英語の分析に取り組み、最後に皆さんの大学生生活の総決算である卒業論文の作成に結びつけていく時期です。必修講義科目「英語学概論」および「英語学セミナー」「英文学セミナー」「米文学セミナー」というセミナー科目、また「英文学特講」「米文学特講」「英語学特講」という講義科目があり、そのほかに自分の英語力をもっと磨きたい、英語文学をもっと知りたいという人のためには、選択科目として「ライティング」「イギリス古典文学」「英語文学」が用意されています。このような準備の上に立って、4年次になると自分の選んだ研究題目（文学、語学）によって専任の教員が開設する「卒論セミナー」のどれか一つに所属し、その先生の指導を受けて卒業論文を書き上げることとなります。

以上が英米文学科のカリキュラムです。このカリキュラムを十分に活用すれば、4年次が終わるまでには、TOEICなら700点、英検ならば準一級程度の英語力が身につくはずだと、私たちは確信しています。ただしカリキュラムというものはあくまで勉学の機会を提供するだけのものであり、ただ受動的に出席しているだけでは、英語が身につくことも、英語を活用して研究することも社会に出ていくこともできません。私たちは英米文学科の学生の皆さんに、徹底的に英語の勉強をして欲しいと望んでいますし、そのための助力を惜しみません。しかし最後には、皆さんがカリキュラムや教員の助けを自分から積極的に利用して、自分の努力によって英語を身につけていく以外にないのです。外国語の学習は集中力と持続の勝負です。どうか精一杯学習に取り組んでください。英語を「通して」学ぶことで、皆さんの学習に目的と方向ができ、学習を助けてくれるはずです。

◆学科教育研究上の目的◆

1. 人材養成に関する目的

英米の文学作品（小説、詩、戯曲など）などを味読することにより、深く感じ考える能力を身につけて、多様な人間を広い見地より深く理解できる人材を養成する。また、英語学を学ぶことによって言語に対する論理的な理解ができる人材を育てる。両者相俟って、バランスのとれた良識と分別の人となることを最終目標とする。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
英語の基礎知識を身につける。そして、確かな基礎知識に基づいて、創造的な思考が可能となるようにする。英語を通して英米の文学作品を味読して、英米の文化や思想を理解する。もっとも重要視しているのは英米文学、英語学の研究に対処可能な基本的英語力、特に読む力の養成である。
3. その他の教育研究上の目的
英語科教員免許状の取得や大学院進学を促し、各種英語検定試験スコアの向上や、海外留学、語学研修への参加を奨励する。

◆英米文学科 3つのポリシー◆

◎「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

本学科では、卒業に必要な単位を修得し、次の基準を満たす学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 主に英米圏の英語文学と英語学についての知識を体系的に身につけている。
2. 英語文学と英語学の学びの基盤となる、英語の基本的技能を身につけている。
3. 学びを通じて、他者と協働しながら深く感じ考え、その考えを論理的に他者に伝えることができる。
4. 文学や言語学と深い関わりを持つ多様な人間の活動や環境のあり方を主体的に学ぶ態度を身につけている。

◎「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

1. 英米文学や英語学という専門的な学問を学ぶ上での基盤となる英語の四技能(聞く・話す・読む・書く)を向上させる。
2. 基盤となる英語力を用い、英米の文学作品を味読し、英米の文化や思想・人間の感情や思考を理解する能力を培うと共に、英語の文法、音声学、英語史などの英語学や英語教育の知識と技能を修得できるように指導する。
3. 1年生の「フレッシュャーズ講読セミナー」から、4年生の「卒論セミナー」まで各学年に少人数制のセミナーを配し、教員との親密なコミュニケーションを通じての成長を図っていきけるようにする。
4. 勉学の集大成としての卒業論文作成の過程を通じて、物事を分析し、問題点・疑問点を見つける力、問題点・疑問点を解決する力、自分の意見を論理的で説得力あるやり方で書く・話す力を身につけさせる。
5. 卒業後の進路に応じて社会人としての能力、実力を身につけさせるために、全員必修の TOEIC の他に、英検、TOEFL 等の受験を促し、海外留学、語学研修への参加を奨励すると共に、英語科教員免許状取得や大学院進学のための指導も行う。

◎「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

英米文学科の学問は、英語で表現された文物に親しむことによって、人間とは何か、自己とは何か、そして、言葉とは何かを追求していくことであると言える。したがって、英米文学科は、人間と言葉に関心を持っている学生を多く受け入れたいと考えている。英米文学科は、英米のすぐれた文学作品を学び、味わうことで、人間に対する理解を深めるとともに、批判精神をそなえた人間に成長したいと願う学生を歓迎する。また、外国語としての英語を身につけることによって、異文化に生きる人々と心を通じ合わせるとともに、人間が人間たるためにもっとも重要な特質である、言語というものに対する理解を深めようとする学生たちにも入学を勧めたい。英米文学科を志望するにあたり、書物を読むことが好きだったり、英語が好き、あるいは英語が得意だったりしたら、それは好ましい出発点であり、英米文学科になじみやすいはずである。入学後は、書物をたくさん読み、学んだことを深く考え、自分の意見や思考を正確に、そして効果的に表現するように求められる。海外語学研修や留学の機会も数多く用意されているので、意欲的に挑戦してもらいたい。人間としての成長を目指すことに加え、英語教員免許をはじめとして各種資格取得をめざしたり、大学院進学や、大学で学んだことを活かせる職業に就いたりしたいと考えている積極的な人たちを募っている。基礎的な英語の知識・運用力が不可欠である。入学までに、可能な限り、英語力の向上に努めてもらいたい。

◆第1部 英米文学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類	必要単位
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際	14 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を修得すること。
	留学支援科目 英語特別教育科目	
文学部基盤科目	文学部教育	20 単位以上 国際コミュニケーション科目のうち、1 年次配当の英語 4 科目 4 単位と 2 年次配当の英語 4 科目 4 単位の 8 科目 8 単位必修。その他に 1 年次に 1 力国語 4 単位を選択必修とし、2 年次に 1 年次に選択した語学から AA・AB 又は BA・BB の組み合わせで 2 科目 2 単位を選択必修。 上記必修および選択必修をあわせて 14 単位を修得すること。
	文学部基礎専門科目	
	国際コミュニケーション科目	
	諸資格関連科目 キャリア教育	
専門科目	必修科目	36 単位
	選択必修科目	28 単位以上 「英米文学基礎セミナー」「英語学基礎セミナー」「英文学セミナー・米文学セミナー」「英語学セミナー」の各分野から 1 科目、「卒論セミナー」から 2 科目、「特講」から 6 科目以上選択必修
	選択科目	12 単位以上
教職科目		卒業単位に含めない科目
他学部他学科開放科目		
卒業必要単位数合計		上記要件を満たし、 合計 124 単位以上

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については 127 ページを必ず確認してください。

◆◆ 2021 年度第 1 部英米文学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目								
第1部 英米文学科	必修科目 36 単位	必修	SEM103	フレッシュヤーズ講読セミナーA	1	2		
		必修	SEM104	フレッシュヤーズ講読セミナーB	1	2		
		必修	ENG105	英会話 I A	1	2		
		必修	ENG106	英会話 I B	1	2		
		必修	ENL101	英語音声学演習A	1	2		
		必修	ENL102	英語音声学演習B	1	2		
		必修	ENL103	英文法概説A	1	2		
		必修	ENL104	英文法概説B	1	2		
		必修	LIE203	英文学史A	2	2		
		必修	LIE204	英文学史B	2	2		
		必修	LIE205	米文学史A	2	2		
		必修	LIE206	米文学史B	2	2		
		必修	ENG209	英会話 II A	2	2		
		必修	ENG210	英会話 II B	2	2		
		必修	ENL301	英語学概論A	3	2		
	必修	ENL302	英語学概論B	3	2			
	必修	THE407	卒業論文	4	4			
	専門科目 76 単位以上	選択必修科目 28 単位以上	選択	LIE217	英米文学基礎セミナー I A	2	2	2 単位選択必修
			選択	LIE218	英米文学基礎セミナー I B	2	2	
			選択	LIE219	英米文学基礎セミナー II A	2	2	
			選択	LIE220	英米文学基礎セミナー II B	2	2	
			選択	LIE221	英米文学基礎セミナー III A	2	2	
			選択	LIE222	英米文学基礎セミナー III B	2	2	
			選択	ENL205	英語学基礎セミナー I A	2	2	2 単位選択必修
			選択	ENL206	英語学基礎セミナー I B	2	2	
			選択	ENL207	英語学基礎セミナー II A	2	2	
			選択	ENL208	英語学基礎セミナー II B	2	2	
			選択	ENL209	英語学基礎セミナー III A	2	2	
			選択	ENL210	英語学基礎セミナー III B	2	2	
			選択	LIE207	英文学特講 I A	2~3	2	12 単位選択必修
			選択	LIE208	英文学特講 I B	2~3	2	
			選択	LIE209	英文学特講 II A	2~3	2	
		選択	LIE210	英文学特講 II B	2~3	2		
		選択	LIE211	英文学特講 III A	2~3	2		
		選択	LIE212	英文学特講 III B	2~3	2		
		選択	LIE213	米文学特講 I A	2~3	2		
選択		LIE214	米文学特講 I B	2~3	2			
選択		LIE215	米文学特講 II A	2~3	2			
選択		LIE216	米文学特講 II B	2~3	2			
選択		ENL201	英語学特講 I A	2~3	2			
選択		ENL202	英語学特講 I B	2~3	2			
選択		ENL203	英語学特講 II A	2~3	2			
選択		ENL204	英語学特講 II B	2~3	2			
選択		LIE305	英文学セミナー I A	3	2	2 単位選択必修		
選択		LIE306	英文学セミナー I B	3	2			
選択		LIE307	英文学セミナー II A	3	2			
選択		LIE308	英文学セミナー II B	3	2			
選択		LIE309	英文学セミナー III A	3	2			
選択		LIE310	英文学セミナー III B	3	2			
選択		LIE311	米文学セミナー I A	3	2			
選択		LIE312	米文学セミナー I B	3	2			
選択		LIE313	米文学セミナー II A	3	2			
選択		LIE314	米文学セミナー II B	3	2			
選択	LIE315	米文学セミナー III A	3	2				
選択	LIE316	米文学セミナー III B	3	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考
専門科目 76単位以上	選択必修科目 28単位以上	選択	ENL303	英語学セミナーⅠA	3	2	2単位選択必修
		選択	ENL304	英語学セミナーⅠB	3	2	
		選択	ENL305	英語学セミナーⅡA	3	2	
		選択	ENL306	英語学セミナーⅡB	3	2	
		選択	ENL307	英語学セミナーⅢA	3	2	
		選択	ENL308	英語学セミナーⅢB	3	2	
		選択	ENL309	英語学セミナーⅣA	3	2	
		選択	ENL310	英語学セミナーⅣB	3	2	同一科目名A・B セットで4単位選択 必修
		選択	THE408	卒論セミナーⅠA	4	2	
		選択	THE409	卒論セミナーⅠB	4	2	
		選択	THE410	卒論セミナーⅡA	4	2	
		選択	THE411	卒論セミナーⅡB	4	2	
		選択	THE412	卒論セミナーⅢA	4	2	
		選択	THE413	卒論セミナーⅢB	4	2	
		選択	THE414	卒論セミナーⅣA	4	2	
		選択	THE415	卒論セミナーⅣB	4	2	
		選択	THE416	卒論セミナーⅤA	4	2	
		選択	THE417	卒論セミナーⅤB	4	2	
		選択	THE418	卒論セミナーⅥA	4	2	
		選択	THE419	卒論セミナーⅥB	4	2	
		選択	THE420	卒論セミナーⅦA	4	2	
		選択	THE421	卒論セミナーⅦB	4	2	
		選択	THE422	卒論セミナーⅧA	4	2	
		選択	THE423	卒論セミナーⅧB	4	2	
		選択	THE424	卒論セミナーⅨA	4	2	
		選択	THE425	卒論セミナーⅨB	4	2	
		選択	THE426	卒論セミナーⅩA	4	2	
	選択	THE427	卒論セミナーⅩB	4	2		
	選択科目 12単位以上	選択	ENG107	時事英語A	1~2	2	
		選択	ENG108	時事英語B	1~2	2	
		選択	ENL105	英語史A	1~2	2	
		選択	ENL106	英語史B	1~2	2	
		選択	LIE101	英語講読演習A	1~2	2	
		選択	LIE102	英語講読演習B	1~2	2	
選択		ENG305	ライティングA	3~4	2		
選択		ENG306	ライティングB	3~4	2		
選択		LIE103	英語圏の社会と文化ⅠA	1~2	2		
選択		LIE104	英語圏の社会と文化ⅠB	1~2	2		
選択		LIE105	英語圏の社会と文化ⅡA	1~2	2		
選択		LIE106	英語圏の社会と文化ⅡB	1~2	2		
選択		LIE301	イギリス古典文学A	3~4	2		
選択		LIE302	イギリス古典文学B	3~4	2		
選択	LIE303	英語文学A	3~4	2			
選択	LIE304	英語文学B	3~4	2			
教職科目							
教職科目	選択	ESS204	英語科教育論Ⅰ		2	2	卒業単位に含めない 科目
	選択	ESS205	英語科教育論Ⅱ		2	2	
	選択	ESS310	英語科指導法Ⅰ		3	2	
	選択	ESS311	英語科指導法Ⅱ		3	2	
	選択	ESS401	教職実践演習(中・高)		4	2	

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講 … 第2部時間帯のみで開講する科目

◆◆科目の履修上の注意◆◆

国際コミュニケーション科目

1年次に英語を4単位、ドイツ語、フランス語の2カ国語から1カ国語を選択し4単位、2年次には英語を4単位、1年次に履修したドイツ語、フランス語の2カ国語から1カ国語を選択し2単位、合計14単位以上を履修かつ修得してください。

2年次に履修する第2外国語科目（ドイツ語・フランス語）について、1年次秋学期に希望調査があります。

必修科目

4年次の卒業論文の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限ります。**

「フレッシュアーズ講読セミナーA・B」、「英会話I A・B」、「英会話II A・B」、「英語音声学演習A・B」は、コースが指定されます。指定されたコースに従って履修してください。

選択必修科目

「卒論セミナーI A」～「卒論セミナーX A」の履修登録は第6セメスタ終了時点で未修得単位数が48単位以下の卒業見込みの学生に限ります。

◆◆第1部英米文学科 カリキュラムマップ◆◆

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	ディプロマ・ポリシー
	第1セメスタ	第2セメスタ	第1セメスタ	第2セメスタ	
基礎	基礎科目群				DP4 文学や言語学と深い関わりを持つ多様な人間性の活動や環境のあり方を主体的に学ぶ態度を身につけている。
文学部基礎	文学部基礎科目群				DP2 英語文学と英語学の学びの基礎となる、英語の基本的技能を身につけている。
第二外国語	ドイツ語・フランス語 IAA ドイツ語・フランス語 IAB ドイツ語・フランス語 IBA ドイツ語・フランス語 IBB	ドイツ語・フランス語 IAA ドイツ語・フランス語 IAB ドイツ語・フランス語 IBA ドイツ語・フランス語 IBB	ドイツ語講読と文化 A・B / フランス語講読と文化 A・B ドイツ語コミュニケーションと文化 A・B / フランス語コミュニケーションと文化 A・B		
英語技能科目群	英語 IAA 英語 IAB 英語 IBA 英語 IBB	英語 IIAA 英語 IIB 英語 IIBA 英語 IIBB	英語 IIAA 英語 IIB 英語 IIBA 英語 IIBB	Business English A・B Media English A・B	
英米文学科目群	英会話 I A 英会話 I B 時事英語 A・B	英会話 II A 英会話 II B 時事英語 A・B	ライティング A・B		
英米専門	英文学史 A 英文学史 B 米文学史 A 米文学史 B	英文学基礎ゼミナー I-A 英文学基礎ゼミナー I-B 英文学基礎ゼミナー II-A 英文学基礎ゼミナー II-B 英文学基礎ゼミナー III-A 英文学基礎ゼミナー III-B	英文学ゼミナー I-A 英文学ゼミナー I-B 英文学ゼミナー II-A 英文学ゼミナー II-B 米文学ゼミナー I-A 米文学ゼミナー I-B 米文学ゼミナー II-A 米文学ゼミナー II-B	イギリス古典文学 A・B / 英語文学 A・B	DP1 主に英米圏の英語文学と英語学についての知識を体系的に身につけている。 DP3 学びを通じて、他者と共有しながら深く感じ、考え、その論理的に他者に伝えることができる。
英米文学科目群	英語講読演習 A・B / 英語圏の社会と文化 I A・I B / 英語圏の社会と文化 II A・II B	英語講読演習 A・B / 英語圏の社会と文化 I A・I B / 英語圏の社会と文化 II A・II B	英文学特講 I A・I B / 英文学特講 II A・II B		
英語学科目群	英立法概説 A 英立法概説 B 英語音声学演習 A 英語音声学演習 B	英語基礎ゼミナー I-A 英語基礎ゼミナー I-B 英語学基礎ゼミナー II-A 英語学基礎ゼミナー II-B 英語学基礎ゼミナー III-A 英語学基礎ゼミナー III-B	英語学概論 A 英語学概論 B 英語学ゼミナー I-A 英語学ゼミナー I-B 英語学ゼミナー II-A 英語学ゼミナー II-B 英語学ゼミナー III-A 英語学ゼミナー III-B 英語学ゼミナー IV-A 英語学ゼミナー IV-B		
導入・仕上げセミナー	フレッシュマーズ 講読ゼミナー A	フレッシュマーズ 講読ゼミナー B	卒業ゼミナー I~X A	卒業ゼミナー I~X B 卒業論文	
教職科目群	英語科教育論 I 英語科教育論 II その他教職課程科目				
	必修科目	選択必修科目	選択科目	教育実習 I / II 教職実践演習	

第1部 史学科

◆◆史料・原典から事実を証明する◆◆

激動する国際情勢や日本の現状を理解するためには、過去に遡ってその歴史を学ぶことが、今まで以上に強く求められています。史学科は、1938（昭和13）年に創設された歴史と伝統を有する学科です。常に新しい歴史学の研究と教育に努力しており、勉学の意欲に燃える学生のみなさんを心から歓迎します。

本学科は各種の史料や原典をもとに歴史を実証・研究していくことを目的としています。日本史学・東洋史学・西洋史学の3専攻では、原始・古代から現代に至る政治史・法制史・対外関係史・社会史・経済史、あるいは文化史・思想史など、多方面にわたって講義・演習が行われます。しかし歴史を実証するだけでなく、その歴史的事実の中から人類の知恵を汲み取り、現代および未来に役立てることも重要な学問的使命と考えています。

史学科では、中学校社会、高等学校地理歴史・公民の教員免許が得られますが、さらに博物館概論・博物館学各論・博物館実習Ⅰ・Ⅱなどの履修によって、学芸員の資格を取得することもできます。学生は地域・時代によって、考古学・古代・中世・近世・近現代・東洋史・西洋史などいくつかの研究グループを組織し、教員の指導のもとに研究会・史跡見学・史料調査や、そのための合宿などを行っています。

本学科では各分野の権威と新進気鋭の学者を揃え、研究・教育を行っています。その研究成果は『東洋大学文学部紀要・史学科篇』として毎年公刊されています。また、学生および教員・卒業生などによって「白山史学会」が組織され、総会・大会・卒業論文発表会などが開催され、会誌『白山史学』が毎年定期発行されています。会員の投稿により掲載される論文は、学界でも高く評価され、1996年度からは日本学術会議の登録団体として認められ、学界に大いに貢献しています。

卒業生は、教員をはじめ博物館学芸員・文化財行政担当者など、歴史に関わる分野で活躍するほか、最近では公務員や民間企業などへも進出しています。

◆◆学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の育成に関する目的

本学科は歴史学を学ぶことを通じて、多様な人々の過去の営みと蓄積を理解して人類の知恵を汲み取り、現代および未来に役立てる姿勢をもつ人材を育てることを目的としている。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

歴史学は、過去の人類の歴史から現代および未来を生きる知恵を汲み取る学問であるが、その達成には過去の出来事に対する科学的で実証的な研究を必要とする。したがって科学的研究の基礎になる各種の多様な史料や原典を正確に読み解き、それを組み立てる一方、該当する問題について、これまで積み重ねられてきた研究成果を適切に学んだ上で、自分の考えを表明することのできる能力を養うことが目標である。

3. その他の教育研究上の目的

社会科教員免許状の取得、博物館学芸員や図書館司書・学校図書館司書教諭の諸資格の取得。

◆史学科 3つのポリシー◆

◎「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

本学科では、卒業に必要な単位を履修し、以下に掲げる能力を修得したと判断される者に対して学位を授与し卒業を認める。

1. 歴史を学ぶことに必要な多様な史料や原典を正確に読み解く能力
2. 史料・文献の分析を通じて論理的かつ創造的な思考を構築していく能力
3. 異なる立場の人々とも人間的なコミュニケーションのできる能力
4. 人の世のあるべき姿に向けて自律的・主体的に活動する能力
5. 過去の人類の歴史から現在を理解し、未来に生きる知恵を汲み取ることができる能力

◎「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

多様な史料や原典を正確に読み解き、それをもとに論理的かつ創造的な思考を構築していく能力を養成するために、以下のような方針で教育課程を組み立て、実施する。

1. 1年生で歴史学入門・歴史学研究法と日本史・東洋史・西洋史概説から各2単位以上を履修し、基本的知識を習得するとともに、歴史学がどのようなことを問題としどのように問題に迫るかを学び、自分の専攻を日本史・東洋史・西洋史のいずれにするかを決定する。また、英語は本学科だけでクラスを形成し、史学科にあった英語を学ぶようにする。歴史学研究法では、発表や課題提出など学生の積極的授業参加が求められる。
2. 2年生では、自分の定めた専攻の史料研究を履修し、それぞれの領域での史料のありようと読み方を学ぶ。また同時に、特講と演習を履修し、さまざまな知識とともに歴史学の勉強の仕方を学ぶ。史料研究と演習は少人数による演習形式を取り、学生は授業への積極的参加を求められる。
3. 3年生からは卒論演習を履修し、自分の関心に沿って論文を書く準備を始める。自分の関心に基づく研究成果を発表することによって、教員と仲間の学生の批判を浴び、どのように問題を設定でき、どのように論文を作成していくかを考えていくこととなる。さらに歴史学概論を履修し、歴史学という学問の意味を深く学んで行く。また、特講と演習の習得を続け、専門的知識を深めて行く。
4. 4年生では、卒論演習によって自分の卒業論文を作成する作業を進めて行く。教員との個別的面談や発表を通しての仲間からのアドバイスをよって論文作成を進め、自らの勉学の集大成としての論文を完成させる。

◎「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

本学科は科学的・実証的な歴史研究の研鑽を通じて、過去の人類の歴史から現在を理解し、未来に生きる知恵を汲み取ることができる能力の養成を目指している。人類が残した過去の政治・社会の諸制度や思想・文化・芸術などの創造活動に学び、それらをふまえて、人の世のあるべき姿に向けて自律的・主体的に活動するとともに、異なる立場の人々とも、人間的なコミュニケーションの出来る人材を養成したい。歴史に関する学習・研究を遂行していくためには、多様な史料や原典を正確に読み解き、それをもとに論理的かつ創造的な思考を構築していくことが求められる。また読書などを通じて専門的研鑽の基礎となる知識を身につける忍耐と努力も不可欠である。そうした勉強を4年間継続できる基本的力のある者を求める。具体的には、以下の通りである。

1. きちんと日本語を読みこなしかくおかない日本語を書けること：すべての基本は読み取ることであり、言っていることを正確に把握できなければならない。ついで、自分の考えていることを正確な日本語で書いて、人に知らせることが出来なければならない。そのことの重要性を理解し、そうしようとする意欲を持つ者を求める。
2. 高校段階の日本史あるいは世界史をきちんと理解していること：本学科では2年生から日本史・東洋史・西洋史の3専攻に分かれ、それぞれに詳しいテーマを追求していく。そのためには、そのテーマについての高校段階での知識をきちんと習得している必要がある。
3. 言葉に対して強い関心を持っていること：過去の人類は、われわれと同じ言葉を使っていたわけではない。彼らの言葉を理解しようと努力することが必要である。さらに、これまでの研究は、

日本語だけで書かれているわけではない。それらを吸収する力を持つことが必要である。そのためには、日本語の古文や英語をはじめ、さまざまな言葉に対する関心を持っていなければならない。高校では英語、古文、漢文を積極的に学んできて欲しい。

4. 自分の得意とする何かを持っていること：われわれの学んでいるのは過去の人間の行動であるが、人間の行動は実にさまざまで、歴史の対象は広い。数学であれ、植物の知識であれ、水泳であれ、ダンスであれ、何か得意なものを持っているとそれだけ人間についての理解は深くなる。あくまでも1～3の後であるけれど、そうした独自の視点を持てる者を求める。

◆第1部 史学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計124単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類	必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際	16単位以上 「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位を修得していること。	
	留学支援科目 英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育	18単位以上 国際コミュニケーション科目のうち、1年次配当の英語4科目4単位必修。その他に1年次に1カ国語4単位を選択必修し、2年次に英語もしくは1年次に選択した語学から4単位を選択必修。上記必修および選択必修をあわせて12単位を修得すること。	
専門科目	必修科目	12単位	専門科目合計 70単位以上
	コース別必修科目	14単位	
	選択必修科目	28単位以上	
	選択科目	16単位以上	
	教職科目	卒業単位に含めない科目	
	他学部他学科開放科目		
	卒業必要単位数合計	上記要件を満たし、合計124単位以上	

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については127ページを必ず確認してください。

◆ 2021 年度第 1 部史学科教育課程表 ◆

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目 70 単位以上	必修科目 12 単位	必修	HSG103	歴史学入門	1	2		
		必修	HSG104	歴史学研究法 A	1	1		
		必修	HSG105	歴史学研究法 B	1	1		
		必修	HSG301	歴史学概論	3	2		
		必修	THE428	卒業論文	4	6		
	コース別必修科目 14 単位	日本史学専攻コース	必修	JPH201	日本史料研究 A	2	2	セット
			必修	JPH202	日本史料研究 B	2	2	
			必修	JPH301	日本史学卒論演習 I A	3	1	
			必修	JPH302	日本史学卒論演習 I B	3	1	
			必修	JPH401	日本史学卒論演習 II A	4	1	
			必修	JPH402	日本史学卒論演習 II B	4	1	
			必修	JPH205	日本史学演習 I A	2~4	1	
			必修	JPH206	日本史学演習 I B	2~4	1	
			必修	JPH207	日本史学演習 II A	2~4	1	
			必修	JPH208	日本史学演習 II B	2~4	1	
			必修	JPH209	日本史学演習 III A	2~4	1	
		必修	JPH210	日本史学演習 III B	2~4	1		
		東洋史学専攻コース	必修	HAA201	東洋史史料研究 A	2	2	セット
			必修	HAA202	東洋史史料研究 B	2	2	
			必修	HAA301	東洋史学卒論演習 I A	3	1	
			必修	HAA302	東洋史学卒論演習 I B	3	1	
			必修	HAA401	東洋史学卒論演習 II A	4	1	
			必修	HAA402	東洋史学卒論演習 II B	4	1	
			必修	HAA205	東洋史学演習 I A	2~4	1	
			必修	HAA206	東洋史学演習 I B	2~4	1	
			必修	HAA207	東洋史学演習 II A	2~4	1	
			必修	HAA208	東洋史学演習 II B	2~4	1	
			必修	HAA209	東洋史学演習 III A	2~4	1	
		必修	HAA210	東洋史学演習 III B	2~4	1		
		西洋史学専攻コース	必修	HEA201	西洋史史料研究 A	2	2	セット
			必修	HEA202	西洋史史料研究 B	2	2	
			必修	HEA301	西洋史学卒論演習 I A	3	1	
			必修	HEA302	西洋史学卒論演習 I B	3	1	
	必修		HEA401	西洋史学卒論演習 II A	4	1		
	必修		HEA402	西洋史学卒論演習 II B	4	1		
	必修		HEA205	西洋史学演習 I A	2~4	1		
	必修		HEA206	西洋史学演習 I B	2~4	1		
	必修		HEA207	西洋史学演習 II A	2~4	1		
	必修		HEA208	西洋史学演習 II B	2~4	1		
	必修		HEA209	西洋史学演習 III A	2~4	1		
	選択必修科目 28 単位以上	選択	JPH103	日本史概説 A	1	2	日本史・東洋史・西洋史の各概説から 2 単位以上、合計 6 単位以上 選択必修	
		選択	JPH104	日本史概説 B	1	2		
選択		HAA103	東洋史概説 A	1	2			
選択		HAA104	東洋史概説 B	1	2			
選択		HEA103	西洋史概説 A	1	2			
選択		HEA104	西洋史概説 B	1	2			
選択		JPH203	日本史学特講 A	2~4	2	18 単位以上 選択必修		
選択		JPH204	日本史学特講 B	2~4	2			
選択		HAA203	東洋史学特講 A	2~4	2			
選択		HAA204	東洋史学特講 B	2~4	2			
選択		HEA203	西洋史学特講 A	2~4	2			
選択		HEA204	西洋史学特講 B	2~4	2			
選択		HIT201	東西思想史特講 A	2~4	2			
選択		HIT202	東西思想史特講 B	2~4	2			
選択		HAA211	東洋宗教史特講 A	2~4	2			
選択	HAA212	東洋宗教史特講 B	2~4	2				
選択	HEA213	西洋宗教史特講 A	2~4	2				

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目
2 部開講 … 第 2 部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考		
専門科目 70単位以上	選択必修科目 28単位以上	選択	HEA214	西洋宗教史特講B	2～4	2	18単位以上 選択必修		
		選択	ECH201	日本経済史特講A	2～4	2			
		選択	ECH202	日本経済史特講B	2～4	2			
		選択	ECH203	世界経済史特講A	2～4	2			
		選択	ECH204	世界経済史特講B	2～4	2			
		選択	JPH211	日本宗教史演習A	2～4	1			
		選択	JPH212	日本宗教史演習B	2～4	1			
		選択	HEA211	西洋思想史演習A	2～4	1			
		選択	HEA212	西洋思想史演習B	2～4	1			
		選択科目 16単位以上	日本史学専攻コース	選択	HAA205	東洋史学演習ⅠA		2～4	1
				選択	HAA206	東洋史学演習ⅠB		2～4	1
				選択	HAA207	東洋史学演習ⅡA		2～4	1
				選択	HAA208	東洋史学演習ⅡB		2～4	1
				選択	HAA209	東洋史学演習ⅢA		2～4	1
	選択			HAA210	東洋史学演習ⅢB	2～4	1		
	選択			HEA205	西洋史学演習ⅠA	2～4	1		
	選択			HEA206	西洋史学演習ⅠB	2～4	1		
	選択			HEA207	西洋史学演習ⅡA	2～4	1		
	選択			HEA208	西洋史学演習ⅡB	2～4	1		
	東洋史学専攻コース		選択	HEA209	西洋史学演習ⅢA	2～4	1		
			選択	HEA210	西洋史学演習ⅢB	2～4	1		
			選択	JPH205	日本史学演習ⅠA	2～4	1		
			選択	JPH206	日本史学演習ⅠB	2～4	1		
			選択	JPH207	日本史学演習ⅡA	2～4	1		
			選択	JPH208	日本史学演習ⅡB	2～4	1		
			選択	JPH209	日本史学演習ⅢA	2～4	1		
			選択	JPH210	日本史学演習ⅢB	2～4	1		
			選択	HEA205	西洋史学演習ⅠA	2～4	1		
			選択	HEA206	西洋史学演習ⅠB	2～4	1		
	西洋史学専攻コース		選択	HEA207	西洋史学演習ⅡA	2～4	1		
			選択	HEA208	西洋史学演習ⅡB	2～4	1		
			選択	HEA209	西洋史学演習ⅢA	2～4	1		
			選択	HEA210	西洋史学演習ⅢB	2～4	1		
			選択	JPH205	日本史学演習ⅠA	2～4	1		
			選択	JPH206	日本史学演習ⅠB	2～4	1		
			選択	JPH207	日本史学演習ⅡA	2～4	1		
			選択	JPH208	日本史学演習ⅡB	2～4	1		
			選択	JPH209	日本史学演習ⅢA	2～4	1		
			選択	JPH210	日本史学演習ⅢB	2～4	1		
	全専攻コース共通		選択	HAA205	東洋史学演習ⅠA	2～4	1		
			選択	HAA206	東洋史学演習ⅠB	2～4	1		
			選択	HAA207	東洋史学演習ⅡA	2～4	1		
		選択	HAA208	東洋史学演習ⅡB	2～4	1			
		選択	HAA209	東洋史学演習ⅢA	2～4	1			
		選択	HAA210	東洋史学演習ⅢB	2～4	1			
		選択	ARC201	考古学研究A	2～4	2			
		選択	ARC202	考古学研究B	2～4	2			
選択		CUA201	日本民俗学の諸問題	2～4	2				
選択		JLT213	平安朝文化の世界	2～4	2				
選択		JLT214	室町・戦国文化の世界	2～4	2				
選択		LIN201	ラテン語A	2～4	1				
選択		LIN202	ラテン語B	2～4	1				
選択	LIN203	ギリシア語A	2～4	1					
選択	LIN204	ギリシア語B	2～4	1					
選択	JPH105	古文書学ⅠA	1～4	2					
選択	JPH106	古文書学ⅠB	1～4	2					
選択	JPH107	古文書学ⅡA	1～4	2					
選択	JPH108	古文書学ⅡB	1～4	2					
選択	CIB106	インド思想史A	1～4	2					
選択	CIB107	インド思想史B	1～4	2					
選択	JPH109	日本史A	1～4	2					
選択	JPH110	日本史B	1～4	2					

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目 70単位以上	選択科目 16単位以上	専攻コース共通	選択	HSG106	外国史A	1～4	2	
			選択	HSG107	外国史B	1～4	2	
			選択	JLT115	日本文学の歴史(上代)	1～3	2	
			選択	JLT116	日本文学の歴史(中古)	1～3	2	
			選択	JLT117	日本文学の歴史(中世)	1～3	2	
			選択	JLT118	日本文学の歴史(近世)	1～3	2	
			選択	JLT119	日本文学の歴史(近代)	1～3	2	
			選択	JLT120	日本文学の歴史(現代)	1～3	2	
			選択	CAS103	博物館概論	1	2	
			選択	CAS201	博物館資料論	2～4	2	
			選択	CAS202	博物館展示論	2	2	
			選択	CAS302	博物館実習 I A	3	1	
			選択	CAS303	博物館実習 I B	3	1	
			選択	CAS401	博物館実習 II	4	1	
教職科目								
教職科目			選択	GGR105	人文地理学A	1～2	2	卒業単位に含めない科目
			選択	GGR106	人文地理学B	1～2	2	
			選択	GGR205	自然地理学A	1～2	2	
			選択	GGR206	自然地理学B	1～2	2	
			選択	GGR103	地誌学A	1～2	2	
			選択	GGR104	地誌学B	1～2	2	
			選択	POL201	政治学原論A	2	2	
			選択	POL202	政治学原論B	2	2	
			選択	ILA201	国際法 I A	2	2	
			選択	ILA202	国際法 I B	2	2	
			選択	ESS308	社会・地歴指導法 I	3	2	
			選択	ESS308	社会・地歴指導法 II	3	2	
			選択	ESS308	社会・公民指導法 I	3	2	
			選択	ESS308	社会・公民指導法 II	3	2	
選択	ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

2021年度第1部史学科 教育課程表

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
文学部教育	東洋文学・井上日出研究(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 生涯学習基礎Ⅰ(2) 特別支援教育概論Ⅰ(2) 中国学概論A(2) 中国学概論B(2) 英文学特講ⅠA(2) 英文学特講ⅠB(2) 英文学特講ⅡA(2) 英文学特講ⅡB(2) 初等英語特講Ⅱ(2) 哲学とキリスト教A(2) 哲学とキリスト教B(2) ヒンディー語Ⅰ(1) ヒンディー語Ⅱ(1) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2) 心理学的研究と理論(2) フランス文化・文学研究A(2) フランス文化・文学研究B(2) 初等英語特講Ⅱ(2)	伝統文化講座(2) 中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 中国思想史A(2) 中国思想史B(2) 西洋学概論A(2) 西洋学概論B(2) ドイツ語リーディングⅠ(2) ドイツ語リーディングⅡ(2) 英文学特講ⅠA(2) 英文学特講ⅠB(2) 英文学特講ⅡA(2) 英文学特講ⅡB(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2) 現代的インド(2) 日本美術の世界(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2) 国際文化理解A(2) 国際文化理解B(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 中国思想史A(2) 中国思想史B(2) 西洋学概論A(2) 西洋学概論B(2) ドイツ語リーディングⅠ(2) ドイツ語リーディングⅡ(2) 英文学特講ⅠA(2) 英文学特講ⅠB(2) 英文学特講ⅡA(2) 英文学特講ⅡB(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2) 現代的インド(2) 日本美術の世界(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2) 国際文化理解A(2) 国際文化理解B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2) 佛学概論A(2) 佛学概論B(2) 比較思想A(2) 比較思想B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) 真文化交流論ⅠA(2) 真文化交流論ⅡB(2)
文学	検定英語A(2) 検定英語B(2) 英語ⅠA(1) 英語ⅠB(1) 英語ⅡA(1) 英語ⅡB(1)	Practical Writing A(2) Practical Writing B(2) 英語ⅠA(1) 英語ⅠB(1) 英語ⅡA(1) 英語ⅡB(1)	Business English A(1) Business English B(1) Media English A(1) Media English B(1)	ドイツ語ⅠA(1) ドイツ語ⅠB(1) ドイツ語ⅡA(1) ドイツ語ⅡB(1) フランス語ⅠA(1) フランス語ⅠB(1) フランス語ⅡA(1) フランス語ⅡB(1) 中国語ⅠA(1) 中国語ⅠB(1) 中国語ⅡA(1) 中国語ⅡB(1)
英語	1カ国語4単位選択必修 1年次履修した2カ国語より	1カ国語4単位選択必修	1カ国語4単位選択必修	1カ国語4単位選択必修
ドイツ語				
フランス語				
中国語				
日本語(留学生用)				
国際コミュニケーション科目2単位以上				
18単位以上				
文学部基礎科目				
言語				
図書情報学				
児童学				
学校教育				
キャリア教育				

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 12単位以上	歴史学入門(2) 歴史学研究法A(1) 歴史学研究法B(1)			
日本史専攻 コース	日本史料研究A(2) 日本史料研究B(2) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 東洋史料研究A(2) 東洋史料研究B(2) 東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 東洋史学演習ⅡA(1) 東洋史学演習ⅡB(1) 西洋史料研究A(2) 西洋史料研究B(2) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1)	日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅡA(1) 日本史学演習ⅡB(1) 東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 東洋史学演習ⅡA(1) 東洋史学演習ⅡB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 東洋史学演習ⅡA(1) 東洋史学演習ⅡB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	東洋史学演習ⅢA(1) 東洋史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)
東洋史学専攻 コース	東洋史料研究A(2) 東洋史料研究B(2) 東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 東洋史学演習ⅡA(1) 東洋史学演習ⅡB(1) 西洋史料研究A(2) 西洋史料研究B(2) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 東洋史学演習ⅡA(1) 東洋史学演習ⅡB(1) 東洋史学演習ⅢA(1) 東洋史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 東洋史学演習ⅡA(1) 東洋史学演習ⅡB(1) 東洋史学演習ⅢA(1) 東洋史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 東洋史学演習ⅡA(1) 東洋史学演習ⅡB(1) 東洋史学演習ⅢA(1) 東洋史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)
西洋史学専攻 コース	西洋史料研究A(2) 西洋史料研究B(2) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)
選択必修科目 28単位以上	日本史概説A(2) 日本史概説B(2) 東洋史概説A(2) 東洋史概説B(2) 西洋史概説A(2) 西洋史概説B(2)	日本史学特講A(2) 日本史学特講B(2) 東洋史学特講A(2) 東洋史学特講B(2) 西洋史学特講A(2) 西洋史学特講B(2)	東洋史学特講A(2) 東洋史学特講B(2) 西洋史学特講A(2) 西洋史学特講B(2)	東洋史学特講A(2) 東洋史学特講B(2) 西洋史学特講A(2) 西洋史学特講B(2)
専門科目 70単位以上	各編第2単位以上 合計6単位以上選択必修 18単位以上選択必修			
日本史専攻 コース	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1) 日本史学演習ⅢA(1) 日本史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1) 日本史学演習ⅢA(1) 日本史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1) 日本史学演習ⅢA(1) 日本史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1) 日本史学演習ⅢA(1) 日本史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)
東洋史学専攻 コース	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1) 日本史学演習ⅢA(1) 日本史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1) 日本史学演習ⅢA(1) 日本史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1) 日本史学演習ⅢA(1) 日本史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)	東洋史学演習ⅠA(1) 東洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 日本史学演習ⅠA(1) 日本史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1) 日本史学演習ⅢA(1) 日本史学演習ⅢB(1) 東洋史学演習ⅣA(1) 東洋史学演習ⅣB(1) 東洋史学演習ⅤA(1) 東洋史学演習ⅤB(1)
西洋史学専攻 コース	西洋史料研究A(2) 西洋史料研究B(2) 西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)	西洋史学演習ⅠA(1) 西洋史学演習ⅠB(1) 西洋史学演習ⅡA(1) 西洋史学演習ⅡB(1)
16単位以上	古文書学ⅠA(2) 古文書学ⅠB(2) 日本史A(2) 日本史B(2) 博物館概論(2)	外国史A(2) 外国史B(2) 博物館概論(2)	外国史A(2) 外国史B(2) 博物館概論(2)	外国史A(2) 外国史B(2) 博物館概論(2)
全専攻コース 共通	日本文学の歴史(上代)(2) 日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 日本文学の歴史(現代)(2)	日本文学の歴史(上代)(2) 日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 日本文学の歴史(現代)(2)	日本文学の歴史(上代)(2) 日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 日本文学の歴史(現代)(2)	日本文学の歴史(上代)(2) 日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 日本文学の歴史(現代)(2)
教職科目	人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 地誌学A(2) 地誌学B(2)	自然地理学A(2) 自然地理学B(2) 社会・公民指導法Ⅰ(2) 社会・公民指導法Ⅱ(2)	自然地理学A(2) 自然地理学B(2) 社会・公民指導法Ⅰ(2) 社会・公民指導法Ⅱ(2)	自然地理学A(2) 自然地理学B(2) 社会・公民指導法Ⅰ(2) 社会・公民指導法Ⅱ(2)
他学部他学科 開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載	科目は別表に記載	科目は別表に記載	科目は別表に記載

(注)教職科目は、卒業単位に含まれません。

◆◆ 科目の履修上の注意 ◆◆

国際コミュニケーション科目

1年次に英語4単位、ドイツ語・フランス語・中国語の3カ国語から1カ国語を選択し4単位、2年次には1年次に履修した2カ国語から1カ国語を選択し4単位、合計12単位以上を履修かつ修得してください。西洋史学を専攻する場合は、ドイツ語、フランス語を選択することが望ましいです。

2年次に履修する国際コミュニケーション科目について、1年次秋学期に希望調査があります。

必修科目

4年次の卒業論文の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限り**ます。

原級した場合の卒論演習Ⅱの履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「卒論演習ⅡA」「卒論演習ⅡB」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論演習ⅡA」を秋学期に、「卒論演習ⅡB」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

選択必修科目

「日本史学特講A」「日本史学特講B」「東洋史学特講A」「東洋史学特講B」「西洋史学特講A」「西洋史学特講B」は、同年次において同一名称科目を複数履修し、単位を修得することができます。また、異なる年次において既に単位を修得した「日本史学特講A」「日本史学特講B」「東洋史学特講A」「東洋史学特講B」「西洋史学特講A」「西洋史学特講B」を履修し、修得することができます。

選択科目

他専攻コースの演習は、同年次において同一名称科目を複数履修し、単位を修得することができます。また、異なる年次において既に単位を修得した演習科目を履修し、修得することができます。

セット履修科目について

セット履修科目に指定された科目は、同一名称の科目A（春学期開講）と科目B（秋学期開講）を同一年度にセットで履修することを原則とします。もしやむを得ず年度途中で履修変更を希望する場合は、学科の定める手続きに従って申請してください。

大学院科目について

史学科では、文学研究科史学専攻博士前期課程の授業について、下記の条件のもとで聴講を認めません。

①聴講可能科目

日本史学特論Ⅰ～Ⅴ、東洋史学特論Ⅰ～Ⅲ、西洋史学特論Ⅰ～Ⅳ、

日本史学演習Ⅰ～Ⅴ、東洋史学演習Ⅰ～Ⅲ、西洋史学演習Ⅰ～Ⅳ

②聴講については、授業初回時に担当教員の許可が必要です。ただし、担当者が非常勤教員の場合には、受講学生が参加する予定の卒論演習の担当教員の許可を合わせて必要とします。

③聴講対象学生

史学科在学の3、4年生とします。

④単位の修得は認めません。

◆第1部史学科 カリキュラムマップ◆

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		対応DP
春 (第1セメスタ)	秋 (第2セメスタ)	春 (第3セメスタ)	秋 (第4セメスタ)	春 (第5セメスタ)	秋 (第6セメスタ)	春 (第7セメスタ)	秋 (第8セメスタ)	
古文書学 I A 古文書学 II A	古文書学 I B 古文書学 II B	日本史史料研究 A・B 東洋史史料研究 A・B 西洋史史料研究 A・B	日本史史料研究 A・B 東洋史史料研究 A・B 西洋史史料研究 A・B	日本史学演習 A 東洋史学演習 A 西洋史学演習 A	日本史学演習 B 東洋史学演習 B 西洋史学演習 B	日本史学演習 A 東洋史学演習 A 西洋史学演習 A	日本史学演習 B 東洋史学演習 B 西洋史学演習 B	①多様な史料や原典を読み解く能力
		ラテン語 A・B ギリシア語 A・B						
日本史概説 A 東洋史概説 A 西洋史概説 A	日本史概説 B 東洋史概説 B 西洋史概説 B	日本史学特講 A 東洋史学特講 A 西洋史学特講 A	日本史学特講 B 東洋史学特講 B 西洋史学特講 B	日本史学特講 A 東洋史学特講 A 西洋史学特講 A	日本史学特講 B 東洋史学特講 B 西洋史学特講 B	日本史学特講 A 東洋史学特講 A 西洋史学特講 A	日本史学特講 B 東洋史学特講 B 西洋史学特講 B	②論理的かつ創造的な思考を構築していく能力
歴史学入門・歴史学研究法 A	歴史学研究法 B	日本文学の歴史(上代・中古・中世・近代・現代)	日本文学の歴史(上代・中古・中世・近代・現代)	日本史学演習 A 東洋史学演習 A 西洋史学演習 A	日本史学演習 B 東洋史学演習 B 西洋史学演習 B	日本史学演習 A 東洋史学演習 A 西洋史学演習 A	日本史学演習 B 東洋史学演習 B 西洋史学演習 B	③世界のあるべき姿に向けて自律的・主体的に活動すると共に異なる立場の人々とも人間的なコミュニケーションのできる能力
		インド思想史 A・B	考古学研究 A・B 室町・戦国文化の世界	日本史学演習 A 東洋史学演習 A 西洋史学演習 A	日本史学演習 B 東洋史学演習 B 西洋史学演習 B	日本史学演習 A 東洋史学演習 A 西洋史学演習 A	日本史学演習 B 東洋史学演習 B 西洋史学演習 B	④人類が残した過去の政治・社会の諸制度や思想・文化・芸術などの創造的活動に学び、現状批判を含む適切な現状認識のできる能力
卒業論文・日本史学卒論演習 B・東洋史学卒論演習 B・西洋史学卒論演習 B								
日本史学卒論演習 A・東洋史学卒論演習 A・西洋史学卒論演習 A								
日本史学卒論演習 B・東洋史学卒論演習 B・西洋史学卒論演習 B・歴史学概論								

◆◆明日のための教育学 ―ともに学び、ともに育つ―◆◆

教育学とは、人間が学び、生涯にわたって「よりよく生きる」ことを支える学問です。学校教育や特別支援教育、社会教育などの研究領域で、「人間にとって学びとは何か」「発達とは何か」「学びや発達をどう支えるか」など、さまざまな問いが立てられ、研究が進められています。

東洋大学文学部教育学科は、これまで「人間の発達」を生涯にわたるものとしてとらえ、人々の豊かな暮らしや住みよい社会の実現に貢献する学生を育ててきました。そして、現在は現代社会が抱える諸問題の解決に他者と協働しながら創造的に取り組むことのできる21世紀のリーダーを送り出すため、「人間発達専攻」と「初等教育専攻」の2専攻体制で、より広範で充実した教育の実現を目指しています。

「人間発達専攻」では、「人間の発達」を総合的にとらえ、人間の発達と社会の発展に貢献できる力量の獲得をめざし、「生涯にわたる教育」のあり方を追究します。

「初等教育専攻」では、急激に変化する環境のなかで成長・発達する子どもについて深く理解する力と豊かな人間性を備えた小学校教員の養成を目指します。

◆◆教育学科教育研究上の目的◆◆

人間発達専攻

1. 人材の養成に関する目的

「生涯にわたる教育」の在り方を追究するなかで、「人間の発達」を総合的にとらえ、人間の発達と社会の発展に貢献できる21世紀のリーダーとなりうる人材の養成を目指す。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

生涯にわたる人間の発達を総合的にとらえ、人間の発達と学習の支援に貢献できる能力を修得させる。そのために、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域からなるカリキュラムにもとづいた専門的な力量を身につけさせる。

初等教育専攻

1. 人材の養成に関する目的

子どもを取り巻く環境を広く立体的にとらえる視野と豊かな人間性を備えた小学校教員の養成を目指す。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

深い知識と広い視野、豊かな人間性を備えた小学校教員に求められる能力を修得させる。そのために、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域と初等教育共通科目からなるカリキュラムにもとづいた専門的な力量を身につけさせる。

3. その他の教育研究上の目的

特に、「往還型教育実習（東洋大学モデル）」を運用することによって、学校現場の課題にも対応できる実践力を備えた教員の養成を目指す。

◆◆教育学科人間発達専攻 3つのポリシー◆◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

人間発達専攻では、生涯にわたる人間の発達を総合的にとらえ、人間の発達と学習の支援に貢献できる以下の能力を身につけた者に対して、卒業を認定し、学位を授与する。

1. 幅広い学問領域について基礎的な知識・技能を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明・活用できる。
2. 人間と社会の可変性を理解し、求められる教育の在り方を理論的、実践的に考察することができる。

3. 基本的な心理学的知識と研究方法について理解し、それらを多様な人々の理解と援助に役立てることができる。
4. 生涯にわたる学習に関する基礎的知識を修得し、地域で学ぶ学習者に対する支援ができる。
5. 学校教育の意義や教師の役割を理解し、学習者に対する適切な支援や多文化共生に向けた指導ができる。
6. 特別支援教育に関する基礎的知識を修得し、特別なニーズのある人の課題解決に役立てることができる。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人間発達専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、次の方針でカリキュラムを編成する。

1. 大学におけるスタディ・スキルを身に付けられるように、初年次教育として、「大学生として学ぶ」と「教育学演習Ⅰ」を必修とする。
2. 学生が主体的に学ぶ力量を育てるため、すべての学生に少人数教育の機会を保障し、2年次から4年次にわたって教育学演習を必修とする。
3. 教育という営みを総合的にとらえるため、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域を設定し、各領域の理論的・実践的課題について、基礎的知識の獲得と発展的研究をおこなう。
4. すべての学生に卒業論文執筆を課し、これをもって学士課程修了に十分な能力を獲得したかどうかの基準とする。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

人間発達専攻では、学士課程教育を行うにあたり、次のような学生を受け入れることとする。

1. 現代社会が直面する課題の解決に自ら取り組もうとする主体性と学習意欲をもつ学生。
2. 人間と社会について深い洞察力を持ち、思考力と表現力に富む学生。
3. 人間の成長・発達に深い関心を持ち、将来教え育てる実践を通して社会に貢献する意欲のある学生。

なお上記に加えて、教科の学習だけでなく、文化・芸術・スポーツ活動、社会的活動などへの参加経験があることが望ましい。

◆◆教育学科初等教育専攻 3つのポリシー◆◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

初等教育専攻では、深い知識と広い視野、豊かな人間性を備えた小学校教員に求められる、以下の能力を身につけた者に対し、卒業を認定し、学位を授与する。

1. 幅広い学問領域について基礎的な知識・技能を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明・活用できる。
2. 人間と社会の可変性を理解し、求められる教育の在り方を理論的、実践的に考察することができる。
3. 初等教育に関する専門的知識を修得し、発達段階に応じた指導ができる。
4. 地域や家庭等の多様な主体との連携・協働に関する知識を修得し、学習環境づくりに活かすことができる。
5. 学校教育の意義や教師の役割を理解し、学習者に対する適切な支援や多文化共生に向けた指導ができる。
6. 特別な教育的ニーズのある子どもの支援に関する知識を修得し、個に応じた指導ができる。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

初等教育専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、次の方針でカリキュラムを編成する。

1. 大学におけるスタディ・スキルを身に付けられるように、初年次教育として、「大学生として学ぶ」と「教育学演習Ⅰ」を必修とする。
2. 学生が主体的に学ぶ力量を育てるため、すべての学生に少人数教育の機会を保障し、2年次から4年次にわたって教育学演習を必修とする。

3. 教育という営みを総合的にとらえるため、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域を設定し、各領域の理論的・実践的課題について、基礎的知識の獲得と発展的研究をおこなう。
4. 実践的指導力を育てるため、初等教育共通科目を配置し、実習協力校での学習と大学での学習とを結びつけた「往還型教育実習」を実施する。
5. すべての学生に卒業論文執筆を課し、これをもって学士課程修了に十分な能力を獲得したかどうかの基準とする。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

初等教育専攻では、学士課程教育を行うにあたり、次のような学生を受け入れることとする。

1. 現代社会が直面する課題の解決に自ら取り組もうとする主体性と学習意欲をもつ学生。
2. 人間と社会について深い洞察力を持ち、思考力と表現力に富む学生。
3. 人間の成長・発達に深い関心を持ち、将来教える実践を通して社会に貢献する意欲のある学生。

なお上記に加えて、教科の学習だけでなく、文化・芸術・スポーツ活動、社会的活動などへの参加経験があることが望ましい。

◆第1部 教育学科人間発達専攻・初等教育専攻 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類	必要単位		
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際	16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を修得すること。		
	留学支援科目	英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育	16 単位以上 国際コミュニケーション科目のうち、1 年次配当の英語 4 科目 4 単位と 2 年次配当の英語 4 科目 4 単位の 8 科目 8 単位必修、その他 1 年次配当の 1 外国語 4 単位以上選択必修。 上記必修および選択必修を合わせて 12 単位を修得すること。		
人間発達専攻 専門科目	必修科目	32 単位		
	選択科目 教育と現代社会 心理学と発達臨床 社会教育 学校教育 特別支援教育	42 単位以上 専門科目合計 74 単位以上		
初等教育専攻 専門科目	必修科目	30 単位		
	選択科目 教育と現代社会 心理学と発達臨床 社会教育 学校教育 特別支援教育	16 単位以上 専門科目合計 82 単位以上		
	初等教育共通科目	必修科目	20 単位	
		選択必修科目	14 単位以上	
選択科目		初等教育共通科目 合計 36 単位以上		
教職科目		※人間発達専攻のみ。卒業単位に含めない科目		
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計		上記要件を満たし、合計 124 単位以上		

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については 127 ページを必ず確認してください。

◆◆ 2021 年度第 1 部教育学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考		
人間発達専攻									
専門科目									
必修科目 32 単位	必修科目 32 単位	必修	EDU105	教育学概論	1～2	2	セット		
		必修	EDP101	教育心理学概論	1～2	2			
		必修	EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1～2	2			
		必修	EDU107	教職論	1～2	2			
		必修	EDP102	生涯発達心理学	1～2	2			
		必修	SNE101	特別支援教育基礎論	1～2	2			
		必修	SEM105	大学生として学ぶ	1	2			
		必修	SEM106	教育学演習Ⅰ	1	2			
		必修	SEM203	教育学演習ⅡA	2	2			
		必修	SEM204	教育学演習ⅡB	2	2			
		必修	SEM303	教育学演習ⅢA	3	2			
		必修	SEM304	教育学演習ⅢB	3	2			
		必修	THE429	教育学卒論演習A	4	1			
		必修	THE430	教育学卒論演習B	4	1			
	必修	THE431	卒業論文	4	6				
	専門科目 74 単位以上	選択科目 42 単位以上	教育と現代社会	選択	SOE101	教育の現代的課題	1～4	2	相互聴講
				選択	SOE201	教育とシチズンシップ	1～4	2	
				選択	JPH111	社会文化史(日本)	1～4	2	
				選択	HEA105	社会文化史(西洋)	1～4	2	
				選択	HUG103	文化地誌学	1～4	2	
				選択	EDU122	教育史	1～4	2	
				選択	EDU108	教育思想	1～4	2	
				選択	EDU109	比較政策論	1～4	2	
				選択	SOE102	学校教育社会学	1～4	2	
				選択	SOE103	比較社会論	1～4	2	
				選択	HIT107	アメリカ思想史	1～4	2	
				選択	SOE104	社会学	1～4	2	
				選択	ECO101	経済学	1～4	2	
				選択	ECO201	経済と教育	1～4	2	
				選択	PHE125	哲学概説	1～4	2	
				選択	PHE126	倫理学概説	1～4	2	
				選択	JPH112	日本史A	1～4	2	
選択				JPH113	日本史B	1～4	2		
選択		HSG108	外国史A	1～4	2				
選択		HSG109	外国史B	1～4	2				
心理学と発達臨床		選択	EDP103	心理学研究の技法	1～4	2	相互聴講		
		選択	EDP203	教育相談の理論と方法	1～4	2			
		選択	EDP104	家族心理学	1～4	2			
		選択	CLI101	カウンセリングの理論と実際	1～4	2			
		選択	PSY103	心理学の研究と理論	1～4	2			
		選択	SNE103	発達障害児・者の心理	1～4	2			
		社会教育	選択	EDU110	生涯学習概論Ⅱ	1～4		2	相互聴講
			選択	EDU111	女性問題と学習	1～4		2	
			選択	EDU112	社会教育課題研究Ⅰ	1～4		2	
			選択	EDU113	社会教育課題研究Ⅱ	1～4		2	
選択			EDU114	グローバル化と学習	1～4	2			
選択			EDU115	家庭教育論	1～4	2			
選択			EDU201	社会教育経営論Ⅰ	1～4	2			
選択			EDU202	社会教育経営論Ⅱ	1～4	2			
選択			EDU116	視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)	1～4	2			
選択			EDU203	生涯学習支援論Ⅰ	1～4	2			
選択		EDU204	生涯学習支援論Ⅱ	1～4	2				
学校教育		選択	EDU205	社会教育実習	2～4	1	相互聴講		
	選択	EDU117	授業論	1～4	2				
	選択	EDU301	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	1～4	2				
	選択	ESS301	道徳教育論	1～4	2				
	選択	ESS101	生徒指導・進路指導論	1～4	2				
	選択	ESS206	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1～4	2				
選択	EDU119	児童文化研究	1～4	2					
選択	EDU121	教育課程論	1～4	2					

セット・・・A・Bセット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74単位以上	選択科目 42単位以上	特別支援教育	選択	SNE102	特別支援教育概論Ⅰ	1～3	2	
			選択	SNE104	特別支援教育概論Ⅱ	1～3	2	
			選択	SNE105	知的障害教育総論	1～3	2	
			選択	SNE106	視覚障害教育総論	1～3	2	
			選択	SNE107	聴覚障害教育総論	1～3	2	
			選択	SNE108	肢体不自由教育総論	1～3	2	
			選択	SNE109	病弱児の指導法	1～3	2	
			選択	SNE110	知的障害児・者の心理と臨床	1～3	2	
			選択	SNE111	ユニバーサルデザイン教育Ⅰ	1～3	2	隔年開講
			選択	SNE202	知的障害教育課程論	2～3	2	
			選択	SNE203	病弱児の病理と臨床	2～3	2	
			選択	SNE204	肢体不自由教育課程論	2～3	2	
			選択	SNE205	肢体不自由児・者の教育臨床	2～3	2	
			選択	SNE206	肢体不自由児の指導法	2～3	2	
			選択	SNE301	特別支援教育実践研究 A	3	1	セット
			選択	SNE302	特別支援教育実践研究 B	3	1	
			選択	SNE401	特別支援学校教育実習Ⅰ(事前指導を含む)	4	2	セット※
			選択	SNE402	特別支援学校教育実習Ⅱ(事後指導を含む)	4	2	
教職科目								
教職科目		選択	CIL203	民法 A	2～4	2	卒業単位に含めない科目	
		選択	CIL204	民法 B	2～4	2		
		選択	POL201	政治学原論 A	2	2		
		選択	POL202	政治学原論 B	2	2		
		選択	ILA201	国際法Ⅰ A	2	2		
		選択	ILA202	国際法Ⅰ B	2	2		
		選択	GGR105	人文地理学 A	1～2	2		
		選択	GGR106	人文地理学 B	1～2	2		
		選択	GGR103	地誌学 A	1～2	2		
		選択	GGR104	地誌学 B	1～2	2		
		選択	GGR205	自然地理学 A	1～2	2		
		選択	GGR206	自然地理学 B	1～2	2		
		選択	ESS402	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5		
選択	ESS403	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3				
選択	ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2				
初等教育専攻								
専門科目								
専門科目 82単位以上	必修科目 30単位	必修	EDU105	教育学概論	1～2	2	セット	
		必修	EDP101	教育心理学概論	1～2	2		
		必修	EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1～2	2		
		必修	EDU107	教職論	1～2	2		
		必修	SNE101	特別支援教育基礎論	1～2	2		
		必修	SEM105	大学生として学ぶ	1	2		
		必修	SEM106	教育学演習Ⅰ	1	2		
		必修	SEM203	教育学演習Ⅱ A	2	2		
		必修	SEM204	教育学演習Ⅱ B	2	2		
		必修	SEM303	教育学演習Ⅲ A	3	2		
		必修	SEM304	教育学演習Ⅲ B	3	2		
		必修	THE429	教育学卒論演習 A	4	1		
		必修	THE430	教育学卒論演習 B	4	1		
	必修	THE431	卒業論文	4	6			
	選択科目 16単位以上	教育と現代社会	選択	SOE101	教育の現代的課題	1～4	2	相互聴講
			選択	SOE201	教育とシチズンシップ	1～4	2	
			選択	JPH111	社会文化史(日本)	1～4	2	
			選択	HEA105	社会文化史(西洋)	1～4	2	
			選択	HUG103	文化地誌学	1～4	2	
			選択	EDU122	教育史	1～4	2	
選択			EDU108	教育思想	1～4	2		
選択	EDU109	比較政策論	1～4	2				
選択	SOE102	学校教育社会学	1～4	2				
選択	SOE103	比較社会論	1～4	2				
選択	HIT107	アメリカ思想史	1～4	2				

セット・・・A・Bセット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

※「特別支援学校教育実習Ⅰ(事前指導を含む)／Ⅱ(事後指導を含む)」(セット)は同一年度で2科目ともに履修してください。
(詳細は p.206 を参照すること)。

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 82単位以上	選択科目 16単位以上	心理学と発達臨床	選択	EDP102	生涯発達心理学	1～4	2	相互聴講
			選択	EDP103	心理学研究の技法	1～4	2	
			選択	EDP203	教育相談の理論と方法	1～4	2	
			選択	EDP104	家族心理学	1～4	2	
			選択	CLI101	カウンセリングの理論と実際	1～4	2	
		選択	PSY103	心理学の研究と理論	1～4	2		
		社会教育	選択	EDU110	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	
			選択	EDU111	女性問題と学習	1～4	2	
			選択	EDU112	社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2	
			選択	EDU113	社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2	
			選択	EDU114	グローバル化と学習	1～4	2	
			選択	EDU115	家庭教育論	1～4	2	
			選択	EDU201	社会教育経営論Ⅰ	1～4	2	
			選択	EDU202	社会教育経営論Ⅱ	1～4	2	
			選択	EDU116	視聴覚教育(視覚メディア論を含む)	1～4	2	
	選択		EDU203	生涯学習支援論Ⅰ	1～4	2		
	学校教育	選択	EDU204	生涯学習支援論Ⅱ	1～4	2		
		選択	EDU205	社会教育実習	2～4	1		
		選択	EDU117	授業論	1～4	2		
		選択	EDU301	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	1～4	2		
		選択	ESS301	道徳教育論	1～4	2		
		選択	ESS101	生徒指導・進路指導論	1～4	2		
		選択	ESS206	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1～4	2		
		選択	EDU119	児童文化研究	1～4	2		
	特別支援教育	選択	EDU120	教育評価論	1～4	2		
		選択	EDU121	教育課程論	1～4	2		
		選択	SNE111	ユニバーサルデザイン教育Ⅰ	1～4	2	隔年開講	
		選択	SNE112	ユニバーサルデザイン教育Ⅱ	1～4	2		
	初等教育共通科目 36単位以上	必修科目 20単位	必修	ESS208	初等教科教育法(国語)	2～3	2	
			必修	ESS209	初等教科教育法(社会)	2～3	2	
			必修	ESS210	初等教科教育法(算数)	2～3	2	
			必修	ESS211	初等教科教育法(理科)	2～3	2	
			必修	ESS212	初等教科教育法(生活)	2～3	2	
			必修	ESS213	初等教科教育法(家庭)	2～3	2	
			必修	ESS214	初等教科教育法(音楽)	2～3	2	
			必修	ESS215	初等教科教育法(図画工作)	2～3	2	
			必修	ESS216	初等教科教育法(体育)	2～3	2	
			必修	ESS314	初等教科教育法(英語)	2～3	2	
		選択必修科目 14単位以上	選択	ESS217	初等科国語	2～3	2	
			選択	ESS218	初等科社会	2～3	2	
			選択	ESS219	初等科算数	2～3	2	
			選択	ESS220	初等科理科	2～3	2	
			選択	ESS221	初等科生活	2～3	2	
			選択	ESS222	初等科家庭	2～3	2	
			選択	ESS223	初等科音楽	2～3	2	
選択			ESS224	初等科図画工作	2～3	2		
選択			ESS225	初等科体育	2～3	2		
選択			ESS229	初等科英語	2～3	2		
選択	選択	ESS102	初等英語特講	1～3	2			
	選択	ESS103	初等日本語特講	1～3	2			
	選択	ESS226	初等教育実践研究A A	2～4	2	セット		
	選択	ESS227	初等教育実践研究A B	2～4	2			
	選択	ESS312	初等教育実践研究B A	2～4	2			
	選択	ESS313	初等教育実践研究B B	2～4	2			
	選択	ESS404	初等教育実習(事前・事後指導を含む)	4	5			
選択	ESS405	教職実践演習(小学校)	4	2				

セット・・・A・Bセット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

初等教育専攻

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目30単位	教育学概論(2) 教育心理学概論(2) 生涯学習概論Ⅰ(2) 教職論(2) 特別支援教育基礎論(2) 大学生として学ぶ(2) 教育学演習Ⅰ(2)	教育学演習ⅡA(2) 教育学演習ⅡB(2) 教育学演習ⅡA(2) 教育学演習ⅡB(2) 社会文化史(日本)(2) 教育とサステナブル社会(2) 社会文化史(西洋)(2) 比較社会論(2) 学校教育社会学(2) アメリカ歴史(2)	教育学演習ⅡA(2) 教育学演習ⅡB(2)	教育学実論演習A(1) 教育学実論演習B(1) 卒業論文(6)
	教育の現代的問題(2) 教育とサステナブル社会(2) 比較政策論(2) 心理学の理論と実践(2) 生涯発達心理学(2) 家族心理学(2) 教育相談の理論と方法(2) 生涯学習概論Ⅰ(2) 女性問題と学習(2) グローバル化と学習(2) 家庭教育論(2) 生涯学習支援論Ⅰ(2) 生涯学習支援論Ⅱ(2)	文化地理学(2) 教育思想(2) 教育史(2) カウンセリングの理論と実践(2) 心理学研究の技法(2)		
心理学と発達臨床	心理学の理論と実践(2) 生涯発達心理学(2) 家族心理学(2) 教育相談の理論と方法(2) 生涯学習概論Ⅰ(2) 女性問題と学習(2) グローバル化と学習(2) 家庭教育論(2) 生涯学習支援論Ⅰ(2) 生涯学習支援論Ⅱ(2)			
社会教育	社会学概論(2) 社会学の理論と実践(2) 社会学演習Ⅰ(2) 社会学演習Ⅱ(2) 社会学演習Ⅲ(2) 社会学演習Ⅳ(2) 社会学演習Ⅴ(2) 社会学演習Ⅵ(2) 社会学演習Ⅶ(2) 社会学演習Ⅷ(2) 社会学演習Ⅷ(2)	社会学演習Ⅰ(2) 社会学演習Ⅱ(2) 社会学演習Ⅲ(2) 社会学演習Ⅳ(2) 社会学演習Ⅴ(2) 社会学演習Ⅵ(2) 社会学演習Ⅶ(2) 社会学演習Ⅷ(2) 社会学演習Ⅷ(2)		
学校教育	教育学概論(2) 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)(2) 生徒指導・進路指導論(2) 特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2) ユニバーサルデザイン教育Ⅰ(2) ユニバーサルデザイン教育Ⅱ(2)	児童文化研究(2) 通級指導論(2) 教育評価論(2) 教育課程論(2)		
特別支援教育	特別支援教育Ⅰ(2) 特別支援教育Ⅱ(2)	特別支援教育(補聴靴メディア論を含む)(2)		
必修科目20単位	初等教科教育法(国語)(2) 初等教科教育法(社会)(2) 初等教科教育法(算数)(2) 初等教科教育法(理科)(2) 初等教科教育法(生活)(2) 初等教科教育法(英語)(2)	初等教科教育法(国語)(2) 初等教科教育法(社会)(2) 初等教科教育法(算数)(2) 初等教科教育法(理科)(2) 初等教科教育法(生活)(2) 初等教科教育法(英語)(2)	初等教科教育法(国語)(2) 初等教科教育法(社会)(2) 初等教科教育法(算数)(2) 初等教科教育法(理科)(2) 初等教科教育法(生活)(2) 初等教科教育法(英語)(2)	
	初等教科教育法(国語)(2) 初等教科教育法(社会)(2) 初等教科教育法(算数)(2) 初等教科教育法(理科)(2) 初等教科教育法(生活)(2) 初等教科教育法(英語)(2)	初等教科教育法(国語)(2) 初等教科教育法(社会)(2) 初等教科教育法(算数)(2) 初等教科教育法(理科)(2) 初等教科教育法(生活)(2) 初等教科教育法(英語)(2)		
選択必修科目14単位以上	初等英語特講(2)	初等英語特講(2)		
選択	初等教育実践研究A(2) 初等教育実践研究B(2)	初等教育実践研究A(2) 初等教育実践研究B(2)	初等教育実習(事前・事後指導を含む)(6) 初等教育実践演習(小学校)(2)	
他学部他学科開放科目(専門開放科目)	科目は別表に記載			

選択科目16単位以上
専門科目82単位以上

◆◆ 科目の履修上の注意 ◆◆

国際コミュニケーション科目（人間発達専攻・初等教育専攻）

1・2年次に英語8単位、1年次にドイツ語・フランス語・中国語の3カ国語から1カ国語を選択し4単位、合計12単位以上を履修かつ修得しなければなりません。

セット履修科目（人間発達専攻・初等教育専攻）

教育課程表に「セット」とある科目は、同一名称の科目Aと科目Bをセットで履修することを原則とします。従って、春学期に科目Aを履修した場合は秋学期に同コースの科目Bを履修してください。

教職科目の読替（人間発達専攻）

下表の左欄の教育学科専門科目は、履修かつ修得した後、右欄の教職科目に読み替えることができ、卒業単位としても認められます。

ただし、下表の右欄の教職科目を履修かつ修得しても、左欄の教育学科専門科目に読み替えることはできません。また、卒業単位としても認められません。

教育学科の専門科目 (卒業単位に認められる)	単位数	読み替えとなる教職科目 (卒業単位に認められない)	単位数
学校教育社会学	2	教育制度論	2
生徒指導・進路指導論	2	生徒指導論(進路指導論を含む)	2
教育相談の理論と方法	2	教育相談	2

必修科目（人間発達専攻・初等教育専攻）

卒業論文は必修です。ただし、4年次の卒業論文の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限ります。**

原級した場合の教育学卒論演習の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「教育学卒論演習A」「教育学卒論演習B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「教育学卒論演習A」を秋学期に、「教育学卒論演習B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

教育学科第1部・第2部相互聴講実施要領

以下の条件を満たす場合、第2部教育学科専門科目の履修を認めます。

- (1) 卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 第2部教育学科教育課程表の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。

(5) 履修方法

第2部開講科目の履修を希望する場合は、第1部の科目と同様に、履修登録をしてください。

(6) 対象科目

教育課程表の「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目

◆第1部教育学科 人間発達専攻 カリキュラムマップ◆

	1年次		2年次		3年次		4年次		対応 DP
	春 (第1セメスタ)	秋 (第2セメスタ)	春 (第3セメスタ)	秋 (第4セメスタ)	春 (第5セメスタ)	秋 (第6セメスタ)	春 (第7セメスタ)	秋 (第8セメスタ)	
教育と現代社会	社会学, 経済学, 哲学概説, 倫理学概説, 日本史 A, 日本史 B, 外国史 A, 外国史 B	教育学概論	社会学, 経済学, 哲学概説, 倫理学概説, 日本史 A, 日本史 B, 外国史 A, 外国史 B	教育の現代的課題, 社会文化史(日本), 社会文化史(西洋), 比較政策論, アメリカ思想史, 教育思想, 教育史	経済と教育				「教育と現代社会」の領域にかかわる専門的力の獲得
		教育心理学概論, 生涯発達心理学	教育心理学概論, 生涯発達心理学	家族心理学, カウンセリングの理論と実践, 発達障害児・者の心理	教育とシチズンシップ				
		心理学研究の技法	心理学研究の技法	心理学研究の技法					
		心理学の研究と理論	心理学の研究と理論						
心理学と発達臨床		生涯学習概論 I	生涯学習概論 I, 女性問題と学習, クローバル化と学習, クローバル化と学習, 家庭教育論, 視覚覚教育(視覚覚メディア論を含む)	生涯学習概論 I, 生涯学習支援論 I, 社会教育経営論 I, 社会教育経営論 II	教育相談の理論と方法				「心理学と発達臨床」の領域にかかわる専門的力の獲得
				社会教育実習					
社会教育	大学生として学ぶ	教育学演習 I	教育学演習 I A	教育学演習 I B	教育学演習 II A	教育学演習 II B	教育学演習 III A	教育学演習 III B	「社会教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
学校教育		教職論	授業論, 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む), 児童文化研究, 教育課程論	道徳教育論	道徳教育論				「学校教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
			授業論(外国語授業)	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	生徒指導・進路指導論				
特別支援教育		特別支援教育基礎論	特別支援教育基礎論	特別支援教育実践研究 A 特別支援教育実践研究 B	特別支援教育実践研究 A 特別支援教育実践研究 B	特別支援教育実践研究 A 特別支援教育実践研究 B	特別支援教育実践研究 A 特別支援教育実践研究 B	特別支援教育実践研究 A 特別支援教育実践研究 B	「特別支援教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
教職科目	人文地理学 A, 人文地理学 B, 自然地理学 A, 自然地理学 B, 地誌学 A, 地誌学 B		政治学原論 A, 政治学原論 B 国際法 A, 国際法 B		民法 A, 民法 B				教育実習 I (事前・事後指導を含む) 教育実習 II (事前・事後指導を含む) 教職実践演習(中・高)

◆◆第1部教育学科 初等教育専攻 カリキュラムマップ◆◆

	1年次		2年次		3年次		4年次		対応 DP
	春 (第1セメスタ)	秋 (第2セメスタ)	春 (第3セメスタ)	秋 (第4セメスタ)	春 (第5セメスタ)	秋 (第6セメスタ)	春 (第7セメスタ)	秋 (第8セメスタ)	
教育と現代社会		教育学概論 教育の現代的課題, 社会文化史(日本), 社会文化史(西洋), 比較政策論, アメリカ思想史, 教育思想, 教育史 学校教育社会学, 比較社会学, 文化地誌学							
心理学と発達臨床		教育心理学概論 生涯発達心理学, 家族心理学, カウンセリングの理論と実際 心理学研究の技法 心理学の研究と理論							
社会教育		生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ, 女性問題と学習, グローバル化と学習, 家庭教育論, 視覚教育(視覚覚メディア論を含む) 生涯学習支援論Ⅰ, 生涯学習支援論Ⅱ, 社会教育経営論Ⅰ, 社会教育経営論Ⅱ 社会教育実習							子どもを取り巻く環境を広く立体的にとらえる視野と豊かな人間性を備えた, 小学校教員として求められる力量の形成
学校教育		教育学演習Ⅰ 教職論 授業論, 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む), 児童文化研究, 教育評価論, 教育課程論 道徳教育論 特別活動と総合的な学習の時間の指導法 生徒指導・進路指導論	教育学演習ⅡA 教育学演習ⅡB	教育学演習ⅡA 教育学演習ⅡB	教育学演習ⅢA 教育学演習ⅢB	教育学演習ⅣA 教育学演習ⅣB	教育学演習ⅤA 教育学演習ⅤB	卒業論文 教育学卒業演習B	
特別支援教育		特別支援教育基礎論 ユニバーサルデザイン教育Ⅰ, ユニバーサルデザイン教育Ⅱ 通常の学級における特別支援教育の実践研究							
教職科目			初等教科教育法(社会, 算数, 家庭, 体育) 初等教科教育法(理科, 生活, 音楽, 図画工作) 初等科社会, 算数, 生活, 家庭, 体育 初等科国語, 理科, 音楽, 図画工作, 英語 初等英語特講, 初等日本語特講 初等教育実践研究A, 初等教育実践研究A B 初等教育実践研究B A, 初等教育実践研究B B						初等科教育実習(事前・事後指導を含む), 教職実践演習(小学校)

◆◆国際文化コミュニケーション学科の理念◆◆

国際化あるいはグローバル化が進み、人・モノ・情報などがとてつもない速度で飛び交う現代社会において、世界中いたるところで同じものが入手可能となり、また、世界各地を訪れ異なる文化を有する人びとと実際に交流することも可能となった。しかしながらその一方で、政治・文化・宗教の対立、経済格差、環境問題といった地球規模の課題も深刻化してきている。一国のみの利益追求では立ちいかないのが、現代の国際社会なのである。未来を担う人間に求められるもの、それは、地球市民的視野を獲得し、自己を発信しながら異なる文化間コミュニケーションを創出しつつ、それらを自己の成長と世界の発展の双方につなげていくことではないだろうか。

国際文化コミュニケーション学科が教育研究の軸とするものは、まさに「言語」と「文化」である。異文化間コミュニケーションに必要とされる質の高いコミュニケーション力は、外国語のみならず自国語への深い認識と理解に基づく言語運用能力が要となる。それと同時に、国際社会における真のコミュニケーション実現のためには、世界の多様な文化に対する偏見なき理解のみならず、自分自身の文化（自文化）への客観的理解もまた不可欠であるということ、忘れてはならない。

このような認識の上に立ち、国際コミュニケーション学科は、複数の外国語および自文化を含む他文化についての学修を通じ、高度な言語運用能力と多角的視座に立った文化理解力を養い、「真のコミュニケーション力」と「流されない自分」というものに裏打ちされた、国際感覚豊かな人間の育成をめざしている。

◆◆国際文化コミュニケーション学科 教育研究上の目的◆◆

上記の学科の理念に基づき、国際文化コミュニケーション学科では、以下の教育研究上の目的を掲げている。

1. 人材の養成に関する目的

グローバル化時代の世界共通語としての英語を基礎としながら、英語以外の言語についての理解も持ち、日本及び世界の言語・文化に対する深い理解を礎として異なる文化間のコミュニケーションを推進し、多文化間の共生を図り、多角的視野で自らを発信することを通じて国際化社会の発展に貢献できる人材を養成することをめざす。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

- (1) 国際化時代に要請される共通語としての英語を学科教育の基幹として据え、読解、聴解、文章表現、コミュニケーションのすべてにわたって質の高い運用能力を身につけさせ、社会のさまざまな場面で英語を用いて活躍できるスキルを養成する。
- (2) 英語に加え、ドイツ語、フランス語など第二の外国語の習得を促し、国際化の進む世界において、英語を中心としながら多言語にわたるコミュニケーションを推進しうる力を育てる。
- (3) 英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏など世界の多様な地域の歴史や風土に根ざした文化の学修を通じ、多極化する世界を広い視野で見るための深い教養を身につけさせる。また、世界のさまざまな文化間の交流の歴史・現状・課題を理解させ、異文化理解と共生を推進する精神を涵養する。
- (4) 日本語及び日本の多様な文化表象についての意識化を図り、日本文化への理解を深めると同時に、それを新たな視点で捉えて世界に向けて発信し、国際交流と新たな文化の創造に貢献できる能力を身につけさせる。
- (5) 言語と文化に関する教育を通じて、自律的な思考力と確かな日本語表現力、探究心と協調性を養い、語学と文化の学びを活かして自らの生き方を確立し、社会に貢献する力を育てる。

3. その他の教育研究上の目的

英語科教員免許状や、図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員の資格を取得させること、また、日本語教員を養成することも教育研究上の目的の一つとする。

◆◆国際文化コミュニケーション学科 3つのポリシー◆◆

◎「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

本学科では、卒業に必要な単位を修得し、以下に掲げる能力を有するに至った者に対して学位を授与する。

- (1) 高度な英語運用能力を以て、多極化するグローバル社会の中で自ら考え、行動し、発信することができる。
- (2) 英語に加え、ドイツ語・フランス語・日本語などの多言語への理解、国際コミュニケーションを推進する意思と力を有している。
- (3) 自国の文化及び異文化についての深い理解と教養、複眼的な視点を有し、バランスのとれた国際感覚を備えている。
- (4) 資料読解・分析力、論理的思考力、表現力を修得し、自ら設定した問題を解決していくことができる。
- (5) 学科での学修を活かし、将来のキャリア形成を行う自覚と能力を身につけている。
- (6) 多様な環境の中で自己を律し、他者と協働し、社会の発展に貢献することができる。

◎「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

本学科では、グローバル社会で活躍するための高度な語学力と文化の多様性に対する深い理解を身につけた人材を養成することをめざす。その目的のため、学科のカリキュラムは、幅広い教養の涵養をめざして全学で運営される「基盤教育」、外国語（英語に加えてさらに一つの外国語を学ぶ）と文学部の基礎的な学びのための「文学部基盤科目」、学科教育の中心を形成する「専門科目」から成り立っている。専門科目の編成と運営の方針は以下のとおりである。

(1) 基礎科目（必修科目）

必修科目として、まず、学科の理念を理解するための「国際文化コミュニケーション概説」を配置する。また、1、2年次を通じて「英語リスニングとスピーキング」、「英語リーディングとライティング」を配置し、英語力の基礎を徹底して習得させる。また、「入門ゼミナール」から「卒論ゼミナール」まで各学年に「ゼミナール」を配置し、多様な学問テーマの中から学生が個々に興味と関心を深め、論理的・批判的思考力、問題解決能力、課題探求心、協働力、リーダーシップなどを身につけるようにする。「卒業論文」は学科での学修の集大成として位置づけ、教員間で協力しつつ指導にあたる。

(2) 言語コミュニケーション科目

文学部基盤科目における外国語学修の基礎の上に立ち、英語を中心に、ドイツ語・フランス語を含めた多言語・多文化間のコミュニケーション能力を向上させることを目的とする科目群である。高度な英語運用力の養成をめざす「資格検定英語」、「放送英語」など、言語としての英語の諸相を理解するための「英語学」、「英語文体論」、「高等英文法」に加え、ドイツ語科目、フランス語科目も配置されている。

(3) 国際文化科目

世界の多様な文化に関する知識・理解と研究能力の修得をめざす科目群である。地域文化の学修の入門としての「地域文化学入門」、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの各文化圏における風土、歴史や文化を学ぶための科目群、異文化理解や文化間交流に関する科目群、その他、科学と文化の関わり、児童文化なども含め、多様な講義科目群を開講する。さらに、海外への発信を視野に入れた新たな視点での日本文化研究をめざし、アニメーションや映画など多様な分野にわたる日本文化関係科目を配置する。

(4) 社会・キャリア・資格科目

社会における実践的なキャリア能力を修得するための科目群で、英語の教職（中学・高校）をめざす教員養成課程、外国語としての日本語を教授する教員を養成するためのプログラムのほか、企業で活躍する講師の指導のもとで働きかたや企業について学ぶ「キャリア形成デザイン」を配置する。

◎「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

本学科では、以下に掲げる能力や意欲を有する者を、学科に受け入れる学生像とする。

- (1) 高い英語の運用能力を有し、さらにそれを向上させる強い意欲を有する者。
- (2) 異なる文化を持つ世界の人々との意思疎通の能力および意欲を有する者。
- (3) 日本、欧米など世界の多様な文化について深く理解する能力と意欲、異文化間の交流に寄与する意思と表現能力を有する者。
- (4) 多様な学問領域にわたる課題を解決する総合的な学力と意欲を有する者。
- (5) 自ら問題を発見し解決していく探求心、創造力、協働力、統率力を有する者。
- (6) 海外での様々な文化背景と体験を有し、本学科に多様性をもたらし得る者。

◆◆第1部 国際文化コミュニケーション学科 卒業要件◆◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・単位修得してください。

各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・単位修得し、次のセメスタに進む際には、必要な単位が計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計124単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		12単位以上 「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位を修得すること。	
	留学支援科目	英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育		16単位以上 国際コミュニケーション科目：12単位以上 1年次に英語4科目4単位必修に加え、ドイツ語・フランス語・中国語から1カ国語4科目4単位を選択必修。2年次には、1年次に履修した2カ国語のうち、1カ国語4科目4単位を選択必修。以上の国際コミュニケーション科目の必修・選択必修(計12単位)を含み、全体で合計16単位以上修得すること。学期ごとの履修上限の範囲であれば、外国語を3カ国語以上学ぶことも可能。	
	文学部基礎専門科目			
	国際コミュニケーション科目			
	諸資格関連科目 キャリア教育			
専門科目	必修科目	基礎	38単位	専門科目合計74単位以上
	選択必修科目	言語コミュニケーション	36単位以上	
		国際文化		
		社会・キャリア・資格		
教職科目				
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計124単位以上	

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については127ページを必ず確認してください。

◆◆ 2021 年度第 1 部国際文化コミュニケーション学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分①	区分②	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目									
第1部 国際文化コミュニケーション学科	必修科目 38 単位		必修	LIG111	国際文化コミュニケーション概説 A	1	2		
			必修	LIG112	国際文化コミュニケーション概説 B	1	2		
			必修	ENG152	英語リスニングとスピーキング I A	1	2		
			必修	ENG153	英語リスニングとスピーキング I B	1	2		
			必修	ENG154	英語リーディングとライティング I A	1	2		
			必修	ENG155	英語リーディングとライティング I B	1	2		
			必修	ENG243	英語リスニングとスピーキング II A	2	2		
			必修	ENG244	英語リスニングとスピーキング II B	2	2		
			必修	ENG245	英語リーディングとライティング II A	2	2		
			必修	ENG246	英語リーディングとライティング II B	2	2		
			必修	SEM133	入門ゼミナール	1	2		
			必修	SEM240	ゼミナール I A	2	2		
			必修	SEM241	ゼミナール I B	2	2		
			必修	SEM341	ゼミナール II A	3	2		
			必修	SEM342	ゼミナール II B	3	2		
			必修	THE458	卒論ゼミナール A	4	2		
			必修	THE459	卒論ゼミナール B	4	2		
		必修	THE460	卒業論文	4	4			
		専門科目 74 単位以上 選択必修 36 単位以上	言語コミュニケーション	選択	ENG330	英語リスニングとスピーキング III A	3~4	2	
	選択			ENG331	英語リスニングとスピーキング III B	3~4	2		
	選択			ENG332	英語リーディングとライティング III A	3~4	2		
	選択			ENG333	英語リーディングとライティング III B	3~4	2		
	選択			ENL107	英語文体論 A	1~4	2		
	選択			ENL108	英語文体論 B	1~4	2		
	選択			ENL109	英語学 A	1~4	2		
	選択			ENL110	英語学 B	1~4	2		
	選択			ENL111	高等英文法 A	1~4	2		
	選択			ENL112	高等英文法 B	1~4	2		
	選択			ENG156	資格検定英語 A	1~4	2		
	選択			ENG157	資格検定英語 B	1~4	2		
	選択			ENG247	上級ビジネスコミュニケーション A	2~4	2		
	選択			ENG248	上級ビジネスコミュニケーション B	2~4	2		
	選択			ENG158	放送英語 A	1~4	2		
	選択			ENG159	放送英語 B	1~4	2		
	選択			ENG249	通訳練習 A	2~4	2		
	選択			ENG250	通訳練習 B	2~4	2		
	選択			FLE202	翻訳練習 A A	2~4	2		
	選択			FLE203	翻訳練習 A B	2~4	2		
選択	FLE204			翻訳練習 B A	2~4	2			
選択	FLE205			翻訳練習 B B	2~4	2			
選択	FLE206			翻訳練習 C A	2~4	2			
選択	FLE207			翻訳練習 C B	2~4	2			
選択	LIN113			言語論 A	1~4	2			
選択	LIN114			言語論 B	1~4	2			
選択	ENG251			英語で学ぶ異文化交流 I	2~4	2			
選択	ENG252			英語で学ぶ異文化交流 II	2~4	2			
選択	GER221			ドイツ語で学ぶ異文化交流 I	2~4	2			
選択	FRA219			フランス語で学ぶ異文化交流 I	2~4	2			
選択	GER309			ドイツ語で学ぶ異文化交流 II	3~4	2			
選択	FRA309	フランス語で学ぶ異文化交流 II	3~4	2					
選択	GER222	ドイツ語リーディング I	2~4	2					
選択	FRA220	フランス語リーディング I	2~4	2					
選択	GER310	ドイツ語リーディング II	3~4	2					
選択	FRA310	フランス語リーディング II	3~4	2					

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分①	区分②	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考
専門科目 74単位以上	選択必修 36単位以上	国際文化	選択	LIE107	アメリカ文化・文学研究A	1～4	2	
			選択	LIE108	アメリカ文化・文学研究B	1～4	2	
			選択	LIE109	イギリス文化・文学研究A	1～4	2	
			選択	LIE110	イギリス文化・文学研究B	1～4	2	
			選択	SCE203	サイエンス&カルチャーA	2～4	2	
			選択	SCE204	サイエンス&カルチャーB	2～4	2	
			選択	LIG113	国際文化理解A	1～4	2	
			選択	LIG114	国際文化理解B	1～4	2	
			選択	LIG202	異文化交流論ⅠA	2～4	2	
			選択	LIG203	異文化交流論ⅠB	2～4	2	
			選択	ARS122	地域文化学入門	1～4	2	
			選択	LIG301	異文化交流論ⅡA	3～4	2	
			選択	LIG302	異文化交流論ⅡB	3～4	2	
			選択	EUL105	ドイツ文化・文学研究A	1～4	2	
			選択	EUL106	ドイツ文化・文学研究B	1～4	2	
			選択	EUL107	フランス文化・文学研究A	1～4	2	
			選択	EUL108	フランス文化・文学研究B	1～4	2	
			選択	JLT145	日本文化表象ⅠA	1～4	2	
			選択	JLT146	日本文化表象ⅠB	1～4	2	
			選択	JLT237	日本文化表象ⅡA	2～4	2	
			選択	JLT238	日本文化表象ⅡB	2～4	2	
			選択	JLT147	ジャパニーズ・アニメーションA	1～4	2	
			選択	JLT148	ジャパニーズ・アニメーションB	1～4	2	
			選択	JLT149	ジャパニーズ・リテラチャーA	1～4	2	
			選択	JLT150	ジャパニーズ・リテラチャーB	1～4	2	
			選択	ARL211	映画表象論A	2～4	2	
			選択	ARL212	映画表象論B	2～4	2	
			選択	ARL213	美術表象論A	2～4	2	
		選択	ARL214	美術表象論B	2～4	2		
		選択	LIG115	児童文化論A	1～4	2		
		選択	LIG116	児童文化論B	1～4	2		
		社会・キャリア・資格	選択	CIV222	キャリア形成デザインⅠ	2	2	
			選択	CIV303	キャリア形成デザインⅡ	3	2	
			選択	LIN116	対照言語学	1～4	2	
			選択	JLE105	日本語教育論A	1～4	2	
			選択	JLE106	日本語教育論B	1～4	2	
			選択	JLE201	日本語教授法A	2～4	2	
			選択	JLE202	日本語教授法B	2～4	2	
			選択	JLE301	日本語教育実習	3～4	2	
			選択	JLE107	日本語教育文法	1～4	2	
			選択	JLN109	現代日本語概説	1～4	2	
			選択	JLN110	日本語史概説	1～4	2	
			選択	LIN115	認知と言語	1～4	2	
			選択	JLE108	日本語教育政策	1～4	2	
選択	JLE109		日本の言語行動	1～4	2			
選択	JLN111		日本語音声学	1～4	2			
選択	JLT151		文学と社会	1～4	2			
選択	JLE203	日本語教育実践指導A	2～4	2				
選択	JLE204	日本語教育実践指導B	2～4	2				
教職科目								
教職科目	選択	ESS204	英語科教育論Ⅰ	2	2	卒業単位に含めない科目		
	選択	ESS205	英語科教育論Ⅱ	2	2			
	選択	ESS310	英語科指導法Ⅰ	3	2			
	選択	ESS311	英語科指導法Ⅱ	3	2			
	選択	ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

◆◆科目履修上の注意◆◆

国際コミュニケーション科目

2年次に履修する国際コミュニケーション科目について、1年次秋学期に希望調査があります。

必修科目

- 卒業論文の履修登録は、第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下、なおかつ、「卒論ゼミナールA」または「卒論ゼミナールB」のいずれかの単位を修得している卒業見込みの学生に限ります。
- 「卒論ゼミナールA」と「卒論ゼミナールB」を同時に履修することはできません。
- 「卒論ゼミナールA」と「卒論ゼミナールB」の両方の単位が修得されない場合には、「卒業論文」の単位認定は行われません。
- 「卒論ゼミナール」、「卒業論文」の履修、単位修得の詳細については、学科で行う指導に従ってください。

第9セメスタ以降の「卒論ゼミナール」の履修について

第9セメスタ以降の学生で、「卒論ゼミナールA」と「卒論ゼミナールB」のいずれか一方を未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論ゼミナールA」を秋学期に、「卒論ゼミナールB」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合には、履修登録期間までに学科の教員に申し出、指示を仰いでください。

留学・単位認定について

本学科では、本学で実施している「海外留学プログラム」を推奨しています。交換留学・認定留学・協定校語学留学・短期語学セミナーなどがあり、単位認定も行っています。留学、単位認定については、学科で指導を行います。学科からのお知らせ、掲示に注意してください。

◆◆文学部第1部国際文化コミュニケーション学科 カリキュラムマップ◆◆

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	ディプロマポリシー				
基礎	春(第1セメスタ)	秋(第2セメスタ)	春(第3セメスタ)	秋(第4セメスタ)	春(第5セメスタ)	秋(第6セメスタ)	春(第7セメスタ)	秋(第8セメスタ)	<p>高度な英語運用能力を身につけ、多極化するグローバル社会の中で自ら考え行動し発信することができる。</p> <p>資料読解・分析、論理的思考力、表現力を身につけ、自ら設定した問題を解決していくことができる。</p>
	入門ゼミナール 国際文化コミュニケーション概論A 英語リスニングとスピーキングB 英語リーディングとライティングB 英語リーディングとライティングA	国際文化コミュニケーション概論B 英語リスニングとスピーキングA 英語リーディングとライティングA 英語リーディングとライティングB	ゼミナールIA 英語リスニングとスピーキングB 英語リーディングとライティングB	ゼミナールIB 英語リスニングとスピーキングA 英語リーディングとライティングA	ゼミナールIIA 英語リーディングとライティングB	ゼミナールIIB 英語リーディングとライティングA	卒業論文 卒論ゼミナールA 卒論ゼミナールB	卒業論文 卒論ゼミナールA 卒論ゼミナールB	
言語コミュニケーション	英語学A・B 言語論A・B 資格検定英語A・B 資格検定英語A・B 放送英語A・B	英語学A・B 言語論A・B 資格検定英語A・B 資格検定英語A・B 放送英語A・B	英語学A・B 言語論A・B 資格検定英語A・B 資格検定英語A・B 放送英語A・B	英語学A・B 言語論A・B 資格検定英語A・B 資格検定英語A・B 放送英語A・B	英語学A・B 言語論A・B 資格検定英語A・B 資格検定英語A・B 放送英語A・B	英語学A・B 言語論A・B 資格検定英語A・B 資格検定英語A・B 放送英語A・B	英語学A・B 言語論A・B 資格検定英語A・B 資格検定英語A・B 放送英語A・B	英語学A・B 言語論A・B 資格検定英語A・B 資格検定英語A・B 放送英語A・B	<p>英語のみならず、ドイツ語・フランス語・日本語などの多言語への理解、国際コミュニケーションを推進する意思と力を身につけている。</p>
	上級ビジネスコミュニケーションA・B 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流I ドイツ語で学ぶ異文化交流II ドイツ語リーディングI ドイツ語リーディングII ドイツ語リーディングIII	上級ビジネスコミュニケーションA・B 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流I ドイツ語で学ぶ異文化交流II ドイツ語リーディングI ドイツ語リーディングII ドイツ語リーディングIII	上級ビジネスコミュニケーションA・B 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流I ドイツ語で学ぶ異文化交流II ドイツ語リーディングI ドイツ語リーディングII ドイツ語リーディングIII	上級ビジネスコミュニケーションA・B 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流I ドイツ語で学ぶ異文化交流II ドイツ語リーディングI ドイツ語リーディングII ドイツ語リーディングIII	上級ビジネスコミュニケーションA・B 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流I ドイツ語で学ぶ異文化交流II ドイツ語リーディングI ドイツ語リーディングII ドイツ語リーディングIII	上級ビジネスコミュニケーションA・B 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流I ドイツ語で学ぶ異文化交流II ドイツ語リーディングI ドイツ語リーディングII ドイツ語リーディングIII	上級ビジネスコミュニケーションA・B 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流I ドイツ語で学ぶ異文化交流II ドイツ語リーディングI ドイツ語リーディングII ドイツ語リーディングIII	上級ビジネスコミュニケーションA・B 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流I ドイツ語で学ぶ異文化交流II ドイツ語リーディングI ドイツ語リーディングII ドイツ語リーディングIII	
国際文化	地域文化学入門 国際文化理解A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象IA・IB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B	地域文化学入門 国際文化理解A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象IA・IB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B	地域文化学入門 国際文化理解A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象IA・IB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B	地域文化学入門 国際文化理解A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象IA・IB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B	地域文化学入門 国際文化理解A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象IA・IB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B	地域文化学入門 国際文化理解A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象IA・IB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B	地域文化学入門 国際文化理解A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象IA・IB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B	地域文化学入門 国際文化理解A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象IA・IB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B	<p>自国の文化及び異文化についての深い理解と教養、複眼的な視点を持ち、フランスのとれた国際感覚を身につけている。</p>
	サイエンス&カルチャーA・B 映画表象論A・B 異文化交流論IA・IB 美術表象論A・B 日本文化表象IIA・IB	サイエンス&カルチャーA・B 映画表象論A・B 異文化交流論IA・IB 美術表象論A・B 日本文化表象IIA・IB	サイエンス&カルチャーA・B 映画表象論A・B 異文化交流論IA・IB 美術表象論A・B 日本文化表象IIA・IB	サイエンス&カルチャーA・B 映画表象論A・B 異文化交流論IA・IB 美術表象論A・B 日本文化表象IIA・IB	サイエンス&カルチャーA・B 映画表象論A・B 異文化交流論IA・IB 美術表象論A・B 日本文化表象IIA・IB	サイエンス&カルチャーA・B 映画表象論A・B 異文化交流論IA・IB 美術表象論A・B 日本文化表象IIA・IB	異文化交流論IIA・IIB	異文化交流論IIA・IIB	
社会・キャリア・資格	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語学 対照言語学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語学 対照言語学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語学 対照言語学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語学 対照言語学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語学 対照言語学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語学 対照言語学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語学 対照言語学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語学 対照言語学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会	<p>多様な環境の中で、自己を律し、他者と協働し、社会の発展に貢献することができる。</p>
	キャリア形成デザインI 日本語教育実践指導A・B	キャリア形成デザインI 日本語教育実践指導A・B	キャリア形成デザインI 日本語教育実践指導A・B	キャリア形成デザインI 日本語教育実践指導A・B	キャリア形成デザインI 日本語教育実践指導A・B	キャリア形成デザインI 日本語教育実践指導A・B	キャリア形成デザインII 日本語教育実践	キャリア形成デザインII 日本語教育実践	
教職科目	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	<p>教育実習I 教育実習II 教職実践演習(中高)</p>
	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	英語科教育論I 英語科教育論II	



教育課程及び履修に際しての注意

外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件について

外国人留学生に対して、日本理解の助けとなる科目が基盤教育と文学部基盤科目にそれぞれ開設されています。

〈第1部外国人留学生用科目一覧〉

	基盤教育		文学部基盤科目		
	推奨科目※	必修科目	選択必修科目	推奨科目※	語学科目
哲学科	日本事情Ⅰ A (2) 日本事情Ⅰ B (2) 日本事情Ⅱ A (2) 日本事情Ⅱ B (2) 日本事情Ⅲ A (2) 日本事情Ⅲ B (2) 日本の文化と社会 (2)	日本語Ⅰ A (1) 日本語Ⅰ B (1) 日本語Ⅱ A (1) 日本語Ⅱ B (1) 日本語Ⅲ A (1) 日本語Ⅲ B (1) 6単位必修	日本語と日本社会 A (2) 日本語と日本社会 B (2) ビジネス日本語と日本文化Ⅰ (2) ビジネス日本語と日本文化Ⅱ (2) 日本語アカデミックライティングⅠ (1) 日本語アカデミックライティングⅠ (1) 日本語アカデミックライティングⅡ (1) 日本語アカデミックライティングⅡ (1) 日本語アカデミックライティングⅢ (1) 応用日本語 (1) 2単位選択必修	伝統文化講座 (2)	1・2年次配当の英語・ドイツ語・フランス語の3ヶ国語より母語以外の1ヶ国語 8単位選択必修
東洋思想文化学科					1・2年次配当の英語・中国語から母語以外の1ヶ国語 8単位選択必修
日本文学文化学科					1年次配当の英語・ドイツ語・フランス語・中国語の4ヶ国語より母語以外の1ヶ国語 4単位選択必修
英米文学科					1年次配当の英語 4単位必修 2年次配当の英語 2単位選択必修
史学科					1年次配当の英語・ドイツ語・フランス語・中国語の4ヶ国語より母語以外の1ヶ国語 4単位選択必修
教育学科					1年次配当の英語・ドイツ語・フランス語・中国語の4ヶ国語より母語以外の1ヶ国語 4単位選択必修
国際文化コミュニケーション学科					1年次の英語 4単位必修、2年次の英語から2単位を選択必修 英語が母語の場合は1・2年次のドイツ語・フランス語・中国語より1ヶ国語 6単位選択必修

※履修を推奨している科目です。いずれも卒業要件の単位として認められますので、積極的に履修してください。



卒業要件については、各学科の卒業要件を確認してください。

教育課程及び履修に際しての注意

第1部 他学部他学科開放科目（専門開放科目）

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
文学部	東洋思想文化学科	CIB106	インド思想史A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB107	インド思想史B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB110	仏教思想概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB111	仏教思想概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES105	宗教学概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES106	宗教学概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB114	イスラーム概論	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	SOC106	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	SOC107	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES107	キリスト教概論	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT115	日本文学の歴史(上代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT116	日本文学の歴史(中古)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT117	日本文学の歴史(中世)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT118	日本文学の歴史(近世)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT119	日本文学の歴史(近代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT120	日本文学の歴史(現代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT212	万葉文化の世界	2～4	2	いずれか
文学部	日本文学文化学科	JLT213	平安朝文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT214	室町・戦国文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT215	江戸文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT216	近現代文化の諸問題	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT217	古典籍に親しむ	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA201	日本民俗学の諸問題	2～4	2	
文学部	史学科	HSG301	歴史学概論	3～4	2	
文学部	史学科	JPH203	日本史学特講A	2～4	2	
文学部	史学科	JPH204	日本史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	HAA203	東洋史学特講A	2～4	2	
文学部	史学科	HAA204	東洋史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	HEA203	西洋史学特講A	2～4	2	
文学部	史学科	HEA204	西洋史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	ARC201	考古学研究A	2～4	2	
文学部	史学科	ARC202	考古学研究B	2～4	2	
文学部	史学科	JPH105	古文書学ⅠA	1～4	2	
文学部	史学科	JPH106	古文書学ⅠB	1～4	2	
文学部	史学科	JPH107	古文書学ⅡA	1～4	2	
文学部	史学科	JPH108	古文書学ⅡB	1～4	2	
文学部	教育学科	JPH111	社会文化史(日本)	1～4	2	
文学部	教育学科	HEA105	社会文化史(西洋)	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU109	比較政策論	1～4	2	
文学部	教育学科	SOE103	比較社会論	1～4	2	
文学部	教育学科	HIT107	アメリカ思想史	1～4	2	
経済学部		FRA109	検定フランス語A	1～4	1	
経済学部		FRA110	検定フランス語B	1～4	1	
経済学部		GER207	検定ドイツ語A	2～4	1	
経済学部		GER208	検定ドイツ語B	2～4	1	
経済学部		GER209	時事ドイツ語A	2～4	1	
経済学部		GER210	時事ドイツ語B	2～4	1	
経済学部		FRA207	上級フランス語A	2～4	1	
経済学部		FRA208	上級フランス語B	2～4	1	
経済学部		CHI211	検定中国語A	2～4	1	
経済学部		CHI212	検定中国語B	2～4	1	
経済学部		CHI213	コミュニケーション中国語A	2～4	1	
経済学部		CHI214	コミュニケーション中国語B	2～4	1	
経済学部	経済学科	EDE203	経済哲学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EDE204	経済哲学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	PFP301	医療経済学A	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP302	医療経済学B	3～4	2	
経済学部	経済学科	ECP305	人口経済学A	3～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
経済学部	経済学科	ECP306	人口経済学B	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP307	政治経済学A	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP308	政治経済学B	3～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP202	日本経済論A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP203	日本経済論B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP312	ヨーロッパ経済論A	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP313	ヨーロッパ経済論B	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP105	海外経済研修Ⅰ	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP106	海外経済研修Ⅱ	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP107	海外経済研修Ⅲ	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECH301	西欧経済史A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECH302	西欧経済史B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	MOF305	国際金融論A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	MOF306	国際金融論B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP210	経済発展論A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP211	経済発展論B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	PFP311	国際公共経済A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	PFP312	国際公共経済B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECT401	上級国際経済学A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECT402	上級国際経済学B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	MOF204	アセット・マネジメントA	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	MOF205	アセット・マネジメントB	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EDE101	社会経済思想史A	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EDE102	社会経済思想史B	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP119	現代ビジネスの基礎	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS102	環境リテラシーA	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS103	環境リテラシーB	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	SPS101	健康科学	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS111	比較文化社会Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS112	比較文化社会Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS113	比較文化社会Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS114	比較文化社会Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS115	比較政策分析Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS116	比較政策分析Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS117	比較政策分析Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS118	比較政策分析Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP201	社会政策A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP202	社会政策B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP203	地域分析	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP218	政策デザイン	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP120	総合政策特講Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP121	総合政策特講Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP122	総合政策特講Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP123	総合政策特講Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP219	総合政策特講Ⅴ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP220	総合政策特講Ⅵ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP313	財政学	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP314	地方財政論	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP315	公共政策の経済学	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP316	公共選択	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	MOF308	地域金融論	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP124	社会的企業	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP125	非営利組織	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP222	現代の産業と企業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP204	公民連携論	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP205	行政システム	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS201	環境経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS202	環境経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS203	エネルギー経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS204	エネルギー経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP223	情報社会と企業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP224	情報社会と産業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP226	総合政策特講Ⅶ	2～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
経済学部	総合政策学科	ECP227	総合政策特講Ⅶ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP228	労働経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP229	労働経済学B	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN112	意思決定論	1～2	2	
経営学部	経営学科	MAN113	経営分析論	1～2	2	
経営学部	経営学科	MAN208	コーポレートガバナンス論	2	2	
経営学部	経営学科	MAN214	国際経営基礎論	2	2	
経営学部	経営学科	MOF206	経営財務論	2	2	
経営学部	経営学科	MAN312	国際経営論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN316	企業評価論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MOF309	投資決定論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN317	コンプライアンス経営論	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC303	ビジネス・ネゴシエーションA	1～4	2	
経営学部	経営学科	GBC304	ビジネス・ネゴシエーションB	1～4	2	
経営学部	経営学科	GBC305	ビジネス・ニュース英語A	1～4	2	
経営学部	経営学科	GBC306	ビジネス・ニュース英語B	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN119	海外企業実地研修Ⅰ	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN120	海外企業実地研修Ⅱ	1～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME205	サービス・マーケティング論	2	2	
経営学部	マーケティング学科	CME217	リレーションシップ・マーケティング	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME207	ファッション・マーケティング論	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME208	現代のファッション・マーケティング	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF101	金融論	1	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF102	金融システム論	1	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF104	ファイナンス論	1	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MAN121	海外経営研修	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	ACC211	経営監査論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	ACC212	会計監査論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF311	証券投資論	2～4	2	
法学部	法律学科	LIN105	語学研修A	1～4	2	
法学部	法律学科	LIN106	語学研修B	1～4	2	
法学部	法律学科	LAW108	海外法学研修	1～4	2	
法学部	法律学科	POL201	政治学原論A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL202	政治学原論B	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL107	法哲学A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL108	法哲学B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL109	法思想史A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL110	法思想史B	1～4	2	
法学部	企業法学科	CRL103	刑法Ⅰ(総論)A	1～4	2	
法学部	企業法学科	CRL104	刑法Ⅰ(総論)B	1～4	2	
法学部	企業法学科	INR201	International Politics A	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR202	International Politics B	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR203	Peace Studies A	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR204	Peace Studies B	2～4	2	
法学部	企業法学科	ILA203	International Law A	2～4	2	
法学部	企業法学科	ILA204	International Law B	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR303	International Relations A	3～4	2	
法学部	企業法学科	INR304	International Relations B	3～4	2	
社会学部	社会学科	SOC207	家族社会学	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC208	地域社会学	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC210	環境社会学	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOE202	教育社会学	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC213	国際社会学	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC320	Global Sociology	1～4	2	
社会学部	社会学科	GGR203	現在の風土と人間・社会	1～4	2	
社会学部	社会学科	GGR204	風土の変遷と人間・社会	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC215	犯罪社会学	1～4	2	
社会学部	社会学科	STS203	社会統計学Ⅰ	2～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	LIH116	情報学基礎論A	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	LIH117	情報学基礎論B	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	SOC117	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	SOC118	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	SOC124	社会情報学基礎論A(メディアと社会)	1～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
社会学部	メディアコミュニケーション学科	SOC125	社会情報学基礎論B(インターネットと社会)	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	SOP101	社会心理学概論A	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	SOP102	社会心理学概論B	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	CLI201	健康心理学	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	CLI202	健康社会心理学	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	SOP206	産業・組織心理学	1～4	2	
社会学部	国際社会学科	ARS209	日本社会文化論A	1～4	2	
社会学部	国際社会学科	ARS305	日本社会文化論B	1～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS210	地域観光論	2～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	PPF101	地域財政と観光	1～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS212	ペットツーリズム論	2～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS314	観光法制度論	3～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	PPF324	観光・環境経済学	3～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS225	セレモニー概論	2～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS326	特定複合観光施設の制度と税I	3～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS332	ホスピタリティ・デザイン論	3～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS347	エンターテインメント・ビジネス論	3～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	FAH105	観光と芸術I	1～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	FAH201	観光と芸術II	1～4	2	
総合情報学部	総合情報学科	HSS201	エクササイズ・トレーニングの技術とその指導	2	2	
総合情報学部	総合情報学科	HSS202	エクササイズ指導実習	2	1	
総合情報学部	総合情報学科	HSS301	スポーツパフォーマンス	3	2	
国際学部	国際地域学科	INR110	国際政治学I	1	2	
国際学部	国際地域学科	INR210	国際政治学II	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	INR305	国際政治学III	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	ECP135	農村地域開発論	1	2	
国際学部	国際地域学科	ECP239	開発経済論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	ECP241	アジア経済論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CUA117	Participatory Development	1	2	
国際学部	国際地域学科	POL218	Politics and Society in Japan	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	ECP341	Southeast Asian Studies	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	ECP340	Japan and the World Economy	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CUA116	文化人類学入門	1	2	
国際学部	国際地域学科	CUA206	宗教と社会	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	LIG204	比較芸術論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	ARS311	アフリカ地域研究	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	JLE110	Volunteers for Cultural Exchange	1	2	
国際学部	国際地域学科	HUG105	Introduction to Geography	1	2	
国際学部	国際地域学科	MAN145	Japanese Economy and Business	1	2	
国際学部	国際地域学科	SOE111	International Student Mobility	1	2	
国際学部	国際地域学科	SOC283	Sociology of Islam	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SOC284	Immigration and Cross-cultural Issues	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SOC287	World Cultures and Communities	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SOC286	NGO・NPO論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	PPF325	社会政策論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SWS407	福祉社会論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	HUG107	都市論	1	2	
国際学部	国際地域学科	TPA202	コミュニティ開発論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	TPA203	都市計画	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	TPA206	まちづくり論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	TPA303	都市住宅論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SWS140	An Introduction to Welfare Society	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SOC288	Community Studies	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	TPA204	Housing the Poor in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	TPA301	Urban and Regional Planning in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	INN301	インターネット・情報技術実習	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	MUD301	データベース概論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CEP101	国際インフラ論入門	1	2	
国際学部	国際地域学科	CEP201	アジアの都市と交通	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CEP301	交通まちづくりの計画と政策	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CEP302	国土計画・地域計画	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	EPS209	環境社会論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CEE201	環境管理適正技術論	2～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
国際学部	国際地域学科	DEV201	環境システム論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	ENE201	エネルギー・資源論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	NDD101	災害と復興	1	2	
国際学部	国際地域学科	NDD102	自然災害と防災	1	2	
国際学部	国際地域学科	EPS104	Introduction to Environmental Studies	1	2	
国際学部	国際地域学科	CEE101	Japanese Experiences on Environmental Management	1	2	
国際学部	国際地域学科	TPA201	Urban Development History of Tokyo	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CEP202	Cities and Transport in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	NDD201	Natural Disasters and Disaster Risk Management	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	DEV202	Global Water Problems	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	EPS302	Environmental Issues in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	INN501	Practice of Internet Technology	2～4	2	

教育課程及び履修に際しての注意

履修についての全学科共通注意事項（第2部）

基盤教育について

スポーツ・健康科目の授業は、白山キャンパスで開講されます。

文学部基盤科目

セット履修科目

教育課程表に「セット」とある科目は、通年履修を原則とします。

履修を希望する場合は、同一名称の科目Aと科目Bをセットで履修することを原則とします。

従って春学期科目Aを履修した場合は秋学期に同コースの科目Bを履修してください。

隔年開講科目

教育課程表に「隔年」とある科目は、隔年にて開講となります。

履修を希望する場合は、開講年度に注意してください。

第1部・第2部いずれかで開講する科目

教育課程表に「いずれか」とある科目は、第1部・第2部いずれかでの開講となります。

履修を希望する場合は、開講曜日時限を確認して履修してください。

第1部時間帯のみで開講する科目

教育課程表に「1部開講」とある場合は、第1部時間帯のみでの開講となります。履修を希望する場合は、第1部時間帯（1～5時限）の時間割を参照してください。

教職科目

教職科目は、各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）を超えて履修することができます。

他学部他学科開放科目

別（p.172）に定める他学部他学科開放科目を履修かつ修得した場合、その科目の単位数は、卒業単位として算入します。

所属する学科の教育課程表にある科目と同一名称の科目は履修できません。

自由科目

所属学科教育課程表にない科目で、なおかつ、前項の他学部他学科開放科目（専門開放科目）として提示されていない科目の履修を希望する場合は、履修する学部学科の配当学年に従い、担当教員の許可を得て、卒業単位にならない自由科目として履修することができます。ただし、以下の科目は履修できないので注意してください。

1. カリキュラム年度の異なる科目
2. 第1部開講の科目（第2部の教育課程表に掲載されていない科目）
3. 所属する学部学科の科目と同一名称の科目

文学部第2部基盤教育 教育課程表

◆◆基盤教育について◆◆

基盤教育の卒業要件は下記のとおり学科によって異なります。詳細は各学科教育課程ページ（卒業要件および教育課程表）を各自で確認してください。

基盤教育 卒業要件単位数（抜粋）

学科名	要件	必要単位数
東洋思想文化学科	「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位修得すること。	16単位以上
日本文学文化学科		文学部基盤科目と合わせて34単位以上
教育学科		16単位以上

区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 / 備考
基盤教育						
哲学・思想 2単位以上	選択	PHE135	哲学A	1～4	2	
	選択	PHE136	哲学B	1～4	2	
	選択	PHE137	哲学史A	1～4	2	
	選択	PHE138	哲学史B	1～4	2	
	選択	PHE139	倫理学A	1～4	2	
	選択	PHE140	倫理学B	1～4	2	
	選択	RES108	宗教学ⅠA	1～4	2	
	選択	RES109	宗教学ⅠB	1～4	2	
	選択	RES110	宗教学ⅡA	1～4	2	
	選択	RES111	宗教学ⅡB	1～4	2	
	選択	CIB127	東洋思想	1～4	2	
人文科学	選択	ASA108	芸術学A	1～4	2	
	選択	ASA109	芸術学B	1～4	2	
	選択	HSG122	歴史の諸問題A	1～4	2	
	選択	HSG123	歴史の諸問題B	1～4	2	
	選択	EUL103	西欧文学A	1～4	2	
	選択	EUL104	西欧文学B	1～4	2	
	選択	JLT130	現代日本文学A	1～4	2	
	選択	JLT131	現代日本文学B	1～4	2	
	選択	LIG106	アジアの文学	1～4	2	
	選択	LIG107	アジアの古典	1～4	2	
学問の基礎 社会科学	選択	ECT128	経済学A	1～4	2	
	選択	ECT129	経済学B	1～4	2	
	選択	LAW111	法学	1～4	2	
	選択	POL104	政治学A	1～4	2	
	選択	POL105	政治学B	1～4	2	
	選択	SOC171	社会学A	1～4	2	
	選択	SOC134	社会学B	1～4	2	
	選択	CUA109	人類学A	1～4	2	
	選択	CUA110	人類学B	1～4	2	
	選択	GGR124	地理学A	1～4	2	
自然科学	選択	GGR125	地理学B	1～4	2	
	選択	PSY107	心理学A	1～4	2	
	選択	PSY108	心理学B	1～4	2	
	選択	MAT103	自然の数理A	1～4	2	
	選択	MAT104	自然の数理B	1～4	2	
	選択	PHY105	生活と物理A	1～4	2	
	選択	PHY106	生活と物理B	1～4	2	
	選択	ENE103	エネルギーの科学A	1～4	2	
	選択	ENE104	エネルギーの科学B	1～4	2	
	選択	BSC105	物質の科学A	1～4	2	
選択	BSC106	物質の科学B	1～4	2		
選択	ENV103	環境の科学A	1～4	2		
選択	ENV104	環境の科学B	1～4	2		
選択	EAP105	地球の科学A	1～4	2		
選択	EAP106	地球の科学B	1～4	2		
選択	BAB105	生物学A	1～4	2		
選択	BAB106	生物学B	1～4	2		

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意/ 備考	
学問の基礎	選択	AST105	天文学A	1~4	2		
	選択	AST106	天文学B	1~4	2		
	選択	SCE103	自然科学概論A	1~4	2		
	選択	SCE104	自然科学概論B	1~4	2		
	選択	CAS105	自然誌A	1~4	2		
	選択	CAS106	自然誌B	1~4	2		
	選択	BAB107	生物学実験講義A	1~4	2		
	選択	BAB108	生物学実験講義B	1~4	2		
	選択	BSC107	化学実験講義A	1~4	2		
	選択	BSC108	化学実験講義B	1~4	2		
	選択	SOF103	数理・情報実習講義A	1~4	2		
	選択	SOF104	数理・情報実習講義B	1~4	2		
世界の伝統と文化	選択	ARS119	地域文化研究A	1~4	2		
	選択	ARS120	地域文化研究B	1~4	2		
	選択	JLT122	百人一首の文化史A	1~4	2		
	選択	JLT123	百人一首の文化史B	1~4	2		
	選択	JLT124	日本の昔話A	1~4	2		
	選択	JLT125	日本の昔話B	1~4	2		
	選択	JLT126	日本文学文化と風土A	1~4	2		
	選択	JLT127	日本文学文化と風土B	1~4	2		
	選択	JLT128	日本の詩歌A	1~4	2		
	選択	JLT129	日本の詩歌B	1~4	2		
	選択	HSG124	地域史A	1~4	2		
	選択	HSG125	地域史B	1~4	2		
	選択	IHR136	国際関係入門	1~4	2		
	選択	IHR135	異文化理解概論	1~4	2		
	選択	IHR122	留学のすすめ	1~4	2		
	選択	IHR123	海外研修I	1~4	2		
	国際人の形成	選択	IHR124	海外研修II	1~4	2	
		選択	IHR125	海外実習I	1~4	2	
選択		IHR126	海外実習II	1~4	2		
選択		IHR127	短期海外研修I	1~4	1		
選択		IHR128	短期海外研修II	1~4	1		
選択		IHR129	短期海外研修III	1~4	1		
選択		IHR130	短期海外研修IV	1~4	1		
選択		IHR131	短期海外実習I	1~4	1		
選択		IHR132	短期海外実習II	1~4	1		
選択		IHR133	短期海外実習III	1~4	1		
選択		IHR134	短期海外実習IV	1~4	1		
グローバル社会の実践		選択	ENG187	Business English Communication	1~4	2	
	選択	ENG185	テクニカルライティング	1~4	2		
	選択	ENG186	アカデミックライティング	1~4	2		
	選択	ENG139	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1~4	2		
	選択	ENG140	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1~4	2		
	選択	ENG141	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1~4	2		
	選択	ENG142	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1~4	2		
	選択	ENG143	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking	1~4	2		
語学	選択	ENG144	Pre-Study Abroad: Writing	1~4	1		
	選択	PUL107	日本国憲法	1~4	2		
	選択	THI106	情報化社会と人間	1~4	2		
	選択	CIV116	コンピュータ・リテラシーA	1~4	1		
	選択	CIV117	コンピュータ・リテラシーB	1~4	1		
	選択	CIV118	インターンシップ入門	1~4	2		
	選択	CIV119	社会貢献活動入門	1~4	2		
	選択	CIV216	公務員論	1~4	2		
	選択	ECD102	情報ネットワーク論	1~4	2		
	選択	PHE141	ロジカルシンキング入門	1~4	2		
	選択	PHE142	クリティカルシンキング入門	1~4	2		
	選択	CIV138	キャリアデザイン入門	1~4	2		
キャリア・市民形成 2単位以上	選択	CIV230	キャリアデザイン実践	2~4	2		
	選択	CIV305	キャリアデベロップメント	3~4	2		
	選択	CIV120	コミュニケーション& マナー入門	1~4	2		
	選択	CIV217	コミュニケーション& マナー実践	2~4	2		
	選択	CIV239	ファシリテーション概論	2~4	2		
	選択	HSS113	スポーツ健康科学実技A	1~4	1		
	選択	HSS114	スポーツ健康科学実技B	1~4	1		
	選択	HSS115	スポーツ健康科学講義I	1~4	2		
	選択	HSS116	スポーツ健康科学講義II A	1~4	2		
	選択	HSS117	スポーツ健康科学講義II B	1~4	2		
スポーツ科学 健康	選択	TYS113	全学総合A	1~4	2		
	選択	TYS114	全学総合B	1~4	2		
	選択	TYS115	全学総合C	1~4	2		
	選択	ITS132	全学総合F	1~4	2		
学際 総合	選択	LEAP101	LEAPプログラム	1~4	2	LEAPプログラム 詳細は221ページ 参照	

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意/ 備考
総合・学際	選択	ITS133	全学総合G	1～4	2	
	選択	ITS134	全学総合H	1～4	2	
	選択	ITS135	全学総合I	1～4	2	
	選択	ITS136	全学総合J	1～4	2	
	選択	ITS137	全学総合K	1～4	2	
	選択	ITS138	全学総合L	1～4	2	
	選択	ITS139	全学総合M	1～4	2	
	選択	TYS111	総合A	1～4	2	
	選択	TYS112	総合B	1～4	2	
	選択	ITS121	総合C	1～4	2	
	選択	ITS122	総合D	1～4	2	
	選択	ITS123	総合E	1～4	2	
	選択	ITS124	総合F	1～4	2	
	選択	ITS125	総合G	1～4	2	
	選択	ITS126	総合H	1～4	2	
	選択	ITS127	総合I	1～4	2	
	選択	ITS128	総合J	1～4	2	
	選択	ITS129	総合K	1～4	2	
選択	ITS130	総合L	1～4	2		
選択	ITS131	総合M	1～4	2		

文学部第2部文学部基盤科目 教育課程表

◆文学部基盤科目について◆

文学部基盤科目の卒業要件は学科によって異なります。詳細は各学科教育課程ページ（卒業要件、教育課程表）を各自で確認してください。

相互聴講制度による第1部提供科目について、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。東洋思想文化学科、日本文学文化学科、教育学科の専門科目の相互聴講制度による単位数も30単位に含みます。

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意/備考
文学部教育	TYS103	東洋大学・井上円了研究	1~4	2		
	CUA111	伝統文化講座	1~4	2		
文学部基礎専門科目	ASA110	インド・仏教の美術A	1~4	2	東洋思想文化学科は除く	いずれか
	ASA111	インド・仏教の美術B	1~4	2		
	CIB227	インド仏教史A	2~4	2		
	CIB228	インド仏教史B	2~4	2		
	LIN107	サンスクリット語I A	1~4	1		
	LIN108	サンスクリット語I B	1~4	1		
	CIB145	インド現代思想	1~4	2		
	CIB146	現代のインド	1~4	2		
	CIB237	中国仏教史A	2~4	2		
	CIB238	中国仏教史B	2~4	2		
	CIB147	中国学概論A	1	2		
	CIB148	中国学概論B	1	2		
	CIB309	中国哲学史A	3~4	2		
	CIB310	中国哲学史B	3~4	2		
	CHL307	中国文学史A	3~4	2		
	CHL308	中国文学史B	3~4	2		
	CHL309	中国現代文学史A	3~4	2		
	CHL310	中国現代文学史B	3~4	2		
	JLT329	日本漢学A	3~4	2		
	JLT330	日本漢学B	3~4	2		
	CIB243	海外文化研修I	1~4	2		
	CIB244	海外文化研修II	1~4	2		
	RES203	日本仏教史A	2~4	2	東洋思想文化学科、日本文学文化学科は除く	
	RES204	日本仏教史B	2~4	2		
	LIG108	比較文学I	1~2	2		
	LIG109	比較文学II	1~2	2		
	CHL205	世界の文学文化と日本II	1~4	2		
	FAH104	日本美術の世界	1~4	2	日本文学文化学科は除く	いずれか
	ARS121	韓国の文化と社会	1~4	2		
	LIE223	世界の文学文化と日本I	1~4	2		
LIE224	世界の文学文化と日本II	1~4	2			
CUA112	伝統行事を学ぶ	1~4	2	教育学科は除く		
JLT142	伝統芸能を学ぶ	1~4	2			
JLT236	日本の児童文学	2~4	2			
EDU128	生涯学習概論I	1~2	2			
SNE115	特別支援教育概論I	1~2	2			
EDP107	家族心理学	1~4	2			
EDU140	児童文化研究	1~4	2			
SNE117	特別支援教育概論II	1~4	2			
PSY109	心理学の研究と理論	1~4	2			
ケーション科目 国際コミュニケーション	英語	ENG188	英語I A A	1	1	
		ENG189	英語I A B	1	1	
		ENG190	英語I B A	1	1	
		ENG191	英語I B B	1	1	
		ENG271	英語II A A	2	1	
		ENG272	英語II A B	2	1	
		ENG273	英語II B A	2	1	
		ENG274	英語II B B	2	1	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意/備考	
国際コミュニケーション科目	ドイツ語	GER127	ドイツ語 I A A	1	1		
		GER128	ドイツ語 I A B	1	1		
		GER129	ドイツ語 I B A	1	1		
		GER130	ドイツ語 I B B	1	1		
		GER227	ドイツ語 II A A	2	1		
		GER228	ドイツ語 II A B	2	1		
		GER229	ドイツ語 II B A	2	1		
		GER230	ドイツ語 II B B	2	1		
	フランス語	FRA129	フランス語 I A A	1	1		
		FRA131	フランス語 I A B	1	1		
		FRA133	フランス語 I B A	1	1		
		FRA135	フランス語 I B B	1	1		
		FRA225	フランス語 II A A	2	1		
		FRA227	フランス語 II A B	2	1		
		FRA229	フランス語 II B A	2	1		
		FRA231	フランス語 II B B	2	1		
	中国語	CHI131	中国語 I A A	1	1		
		CHI132	中国語 I A B	1	1		
		CHI133	中国語 I B A	1	1		
		CHI134	中国語 I B B	1	1		
		CHI235	中国語 II A A	2	1		
		CHI236	中国語 II A B	2	1		
		CHI237	中国語 II B A	2	1		
		CHI238	中国語 II B B	2	1		
	諸資格関連科目	EDU132	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	教育学科は除く	相互聴講
		EDU208	生涯学習支援論Ⅰ	1～4	2		
		EDU209	生涯学習支援論Ⅱ	1～4	2		
		EDU206	社会教育経営論Ⅰ	1～4	2		
EDU207		社会教育経営論Ⅱ	1～4	2			
EDU133		女性問題と学習	1～4	2			
EDU136		グローバル化と学習	1～4	2			
EDU137		家庭教育論	1～4	2			
EDU138		視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)	1～4	2			
EDU210		社会教育実習	2～4	1			
EDU134		社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2			
EDU135		社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2			
EDU123		教育基礎論	1	2			
EDU124		教育制度論	1	2			
LIH123		図書館概論	1～2	2	相互聴講		
LIH127		図書館制度・経営論	1～4	2			
LIH132		図書館情報技術論	1～4	2			
LIH128		図書館サービス概論	1～2	2			
LIH124		情報サービス論	1～4	2			
LIH125		児童サービス論	1～4	2			
LIH214		情報サービス演習A	2～4	1			
LIH215		情報サービス演習B	2～4	1			
LIH129		図書館情報資源概論	1～4	2			
LIH131		情報資源組織論	1～4	2			
LIH216		情報資源組織演習A	2～4	1			
LIH217		情報資源組織演習B	2～4	1			
LIH130		図書館情報資源特論	1～4	2			
LIH126		図書・図書館史	1～4	2			
LIH135	学校経営と学校図書館	1～4	2				
LIH137	学校図書館メディアの構成	1～4	2				
LIH133	学習指導と学校図書館	1～4	2				
LIH134	読書と豊かな人間性	1～4	2				
LIH136	情報メディアの活用	1～4	2				
キャリア教育	CIV123	キャリア支援Ⅰ	1～4	2			
	CIV124	キャリア支援Ⅱ	1～4	2			
	CIV125	教員養成講座Ⅰ	1～4	2			
	CIV126	教員養成講座Ⅱ	1～4	2			
	THI107	情報処理演習A	1～4	1			
	THI108	情報処理演習B	1～4	1			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

教育課程及び履修に際しての注意

第2部 東洋思想文化学科

◆東洋思想文化の深い理解と、現代への確かな視点を◆

明治20年、哲学者井上円了は東洋大学の前身となる「哲学館」を創設した。明治維新後間もない当時の日本は、西洋文明に懸命に追いつこうとしていた。しかし円了は西洋化に踊らされる日本を憂い、日本人として東洋の精神を重んじるべきと考え、実践に基づいた哲学教育を行った。東洋思想文化学科は、このような創立者の教育精神を受け継ぐ学科である。

21世紀のいま、中国やインドを中心とするアジア世界は大きく変貌を遂げつつある。政治、経済、社会など、あらゆる分野でアジアの成長は著しく、またアジアの伝統思想や文化が、西洋社会には見られないある種の力を持って現代人に受け入れられつつある。本東洋思想文化学科は、このようなアジア社会の底流にある「東洋の智の心髄」である思想や文化を広く、そして深く理解し、その理解を基礎に現代社会において、自ら考え行動する人材を育てることを教育目標とする。本学科に入学した学生ならば、このような目標を見据えて学習に取り組んでもらいたい。

<東洋思想文化学科の教育内容>

東洋思想文化学科は中国、インドを中心にアジアの思想、文化を広く学ぶカリキュラムを設置している。漢文やサンスクリット語で記された文献を読み、そこにある思想、文化をじっくりと考える科目がある一方、今日の国際社会で有力な武器となる中国語やヒンディー語、あるいはアジアの文化事情についての授業も重視しており、古典をバックグラウンドとしながら現代にも即応できるようなカリキュラムを提供している。また、体験型の実技講義科目も本学科の特色である。

本学科の学生は、まず1年次において、必修外国語としての英語・中国語や一般的な教養科目を学習する。また、初年次教育として、「レポート・論文制作の技法」を、受講する。また、2年次に選択する4コースの学習内容の導入として概論的科目が、コース毎に用意されている。コース選択の判断材料として、また専門への入り口として、有効に学習してほしい。

2年次から、学生は本学科に設置されている4つのコース、すなわち「インド思想コース」「中国語・中国哲学文学コース」「仏教思想コース」「東洋芸術文化コース」のうち一つを選択し、所属する。これらのコースはそれ以降の学習の軸となり、また卒業論文とも深く関わるものである。1年次から十分に考えて選択してほしい。

2年次から3年次にかけては、コース共通の必修科目「東洋思想文化演習Ⅰ」(2年次)「東洋思想文化演習Ⅱ」(3年次)を履修するとともに、コース別必修科目や選択必修科目を合わせて履修する。これらの科目はコースごとに決められているので、詳しくは教育課程表を参照してほしい。4年次には、演習科目「卒論指導」を履修しながら卒業論文に取り組む。卒業論文は4年間の学習の集大成である。就職活動などと並行しての卒論作成はあわただしく、また苦労もあるが、論文が出来上がった時の達成感には格別のものがある。

本学科において以上のような4年間の学びで得た思想や文化の理解を通じ、アジア世界について深く考え、また国際社会において他文化と協調しながら、自らの人生を切り開いていく十分な力を養ってほしい。

◆東洋思想文化学科教育研究上の目的◆

1. 人材の養成に関する目的

本学の創立者井上円了は、東洋の哲学・思想の中に普遍的意義を見出し、これを教育によって広く当時の社会に普及しようとした。同時に、彼は単なる知識としてではなく、人々が生きるための知恵として活用しうる哲学—実践哲学を構想した。東洋思想文化学科では、このような創立者の精神を受け継ぎ、中国やインドを中心とする東洋の思想・文化を広く教授することで、人間や社会の本質を見据えるとともに、東洋に特有の価値観や思考方法に基づき、現代社会が

直面する諸問題に対し的確に対応できる人材の養成を目指す。また異文化や異なる価値観への深い理解を持ち、世界の人々と協調して未来を切り開こうとする姿勢に富む有為な人材の育成を目的とする。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
 - (1)「講義科目」「語学科目」等により東洋の思想と文化、ならびにそれを理解するのに役立つ語学、文学、哲学、宗教学等に関する豊富な知識を修得させる。
 - (2)「演習科目」「実技講義科目」「海外文化研修」等により、東洋に特有の価値観や思考方法を身につけさせる。
 - (3)多様な科目を通じて東洋思想・文化を総合的に学習することにより、自らが直面するさまざまな問題に対し独自の視点から分析と考察を行う能力を身につける。さらに自身の見解を論理的に表現し、それに基づいて実践することのできる能力を養成する。

◆第2部東洋思想文化学科（イブニングコース） 3つのポリシー◆

◎「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

本学科では、卒業に必要な単位を履修し、以下に掲げる能力を修得したと判断される者に対して学位を授与し卒業を認める。

1. 幅広い教養を有している。
2. 東洋のある特定の思想や宗教などについて、またその背景となる文化について、十分な知識を有している。
3. 自身が専門とする分野において、一次資料を正確に読解することが可能な語学力を有している。
4. 可能な限り正確な情報を独自に収集し、それに基づいて独自に分析と考察を行い、その結果を論理的かつ創造的に発信できる。

◎「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

東洋思想文化学科では、以下の方針のもとに教育課程を編成し、実施する。

1. 1年次に配当、または、1年次から履修できる科目は、スタディースキル（読み、書き、発信する能力）を身につけるための科目（「レポート・論文制作の技法」）のほか、2年次以降のコース選択に資する導入的な各コースの専門科目（「インド思想史 AB」「中国学概論 AB」「仏教思想概論 AB」「インド・仏教の美術」など）、ならびに基礎的な語学科目である。
2. 2年時以降、分野別により専門的に学べるように、学生は以下の4つのコースのいずれか一つに属して、それぞれに定められた課程表に基づいて科目群を履修する。
 - (a) インド思想コース：（仏教ではない）インド（または南アジア）の思想、歴史、文化を包括する多彩な科目群を設置する。特に必要となる語学科目は「サンスクリット語Ⅰ・Ⅱ AB」、「ヒンディー語 AB」である。
 - (b) 中国語・中国哲学文学コース：中国の哲学・文学・語学を三位一体のものとして学び、文献や資料に基づきながら、学生が中国文化についての総合的な見識を得られるよう、とりわけ中国語に関しては、検定試験の中級レベルに合格する語学力を身につけられるよう科目群を設置する。
 - (c) 仏教思想コース：諸地域に伝播したそれぞれの仏教とその文化を学べるように科目群を設置する。インドにおける仏教の成立から、アジア各地の仏教、そして現代日本の仏教にいたるまでを包括する科目群である。特に必要となる語学科目は、「仏教漢文 AB」「サンスクリット語Ⅰ・Ⅱ AB」「パーリ語 AB」「チベット語」となる。
 - (d) 東洋芸術文化コース：学生がインドや中国を中心にしたアジアに広がる美術・芸術と多様な文化を学べるよう科目群を設置する。他の3コースと共通の科目がインド、中国の歴史や思想・文学を学ぶ基礎的教養となり、それを基礎として東洋の芸術・文化を理解するための科目群である。
3. コース別に科目群を設置しているが、学生が他コースの科目をもある程度履修できるようにして、学生のニーズに対応する柔軟性を確保する。

4. 2年次と3年次の「東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ AB」、4年次の「卒論指導 AB」を通して学生の主体性、独自性を育て、学生生活の総決算としての「卒業論文」によって学科の教育目標の達成度を測る。

◎「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

東洋思想文化学科が求める学生は以下の素質をそなえていることが期待される。

1. 東洋の思想や文化に対して強い関心を持ち、異文化への関心や異なる価値観を理解しようとする意欲をそなえている。
2. 外国語を習得しようとする意欲を持つ。
3. 物事を判断・主張するにあたって、確かな根拠に基づくことの重要性和、論理的に説明することの必要性を理解している。

◆第2部 東洋思想文化学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を 修得すること。	
	留学支援科目	英語特別教育科目 日本語科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		16 単位以上 1 年次配当の英語・中国語 8 科目 8 単位必修	
インド思想コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修	14 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目 I	実技講義科目 講義科目	24 単位以上	
	選択必修科目 II	語学科目 講義科目	12 単位以上	
中国語・ 中国哲学文学コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 32 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目 I	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	
	選択必修科目 II	語学科目 講義科目 実技講義科目	6 単位以上	
仏教思想コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 22 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目 I	実技講義科目 講義科目	12 単位以上	
	選択必修科目 II	語学科目 講義科目	12 単位以上	
東洋芸術文化コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修	14 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目 I	実技講義科目 講義科目	24 単位以上	
	選択必修科目 II	語学科目 講義科目	12 単位以上	
教職科目			仏教思想コースのみ。卒業単位に含めない科目。	
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

◆◆ 2021 年度第 2 部東洋思想文化学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
東洋思想文化学科 インド思想コース								
専門科目								
専門科目 74単位以上	必修科目 14単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM127	レポート・論文制作の技法	1	2	
			必修	CIB225	東洋思想文化演習ⅠA	2	1	
			必修	CIB226	東洋思想文化演習ⅠB	2	1	
			必修	CIB307	東洋思想文化演習ⅡA	3	1	
			必修	CIB308	東洋思想文化演習ⅡB	3	1	
			必修	THE451	卒論指導A	4	1	
			必修	THE452	卒論指導B	4	1	
			必修	THE453	卒業論文	4	6	
	選択必修科目Ⅰ 24単位以上	講義科目	選択	CIB132	インド思想史A	1～4	2	相互聴講
			選択	CIB133	インド思想史B	1～4	2	
			選択	CIB134	インド文化概論A	1～4	2	
			選択	CIB135	インド文化概論B	1～4	2	
			選択	CIB136	仏教思想概論A	1～4	2	
			選択	CIB137	仏教思想概論B	1～4	2	
			選択	ASA110	インド・仏教の美術A	1～4	2	
		選択	ASA111	インド・仏教の美術B	1～4	2	いずれか	
		選択	CIB227	インド仏教史A	2～4	2		
		選択	CIB228	インド仏教史B	2～4	2		
		選択	CIB229	インド思想特講ⅠA	2～4	2		
		選択	CIB230	インド思想特講ⅠB	2～4	2		
		選択	CIB231	インド思想特講ⅡA	2～4	2		
		選択	CIB232	インド思想特講ⅡB	2～4	2		
	実技講義科目	選択	CIB138	写経	1～4	2		
		選択	CIB139	ヨーガ	1～4	2		
		選択	CIB140	坐禅	1～4	2		
		選択	CIB141	仏教の芸能	1～4	2		
		選択	ASA112	インド舞踊	1～4	2		
	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	語学科目	選択	CHI121	基礎中国語A	1	1	いずれか
			選択	CHI122	基礎中国語B	1	1	
			選択	CHI311	中国語学演習A	3～4	1	
			選択	CHI312	中国語学演習B	3～4	1	
			選択	LIN211	パーリ語A	2～4	1	1部開講
			選択	LIN212	パーリ語B	2～4	1	
			選択	LIN213	チベット語A	2～4	1	
選択			LIN214	チベット語B	2～4	1		
選択			CHI223	中級中国語A	2～4	1		
選択			CHI224	中級中国語B	2～4	1		
選択		CHI225	上級中国語A	2～4	1			
選択		CHI226	上級中国語B	2～4	1			
選択		LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1	1部開講		
選択		LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1			
選択		LIN109	ヒンディー語A	1～4	1			
選択		LIN110	ヒンディー語B	1～4	1			
選択		JLT143	仏教漢文A	1～4	1			
選択		JLT144	仏教漢文B	1～4	1			
選択		KOR107	韓国語A	1～4	1			
選択	KOR108	韓国語B	1～4	1				
選択	LIN215	サンスクリット語ⅡA	2～4	1				
選択	LIN216	サンスクリット語ⅡB	2～4	1				
講義科目	選択	RES112	宗教学概論A	1～4	2	いずれか		
	選択	RES113	宗教学概論B	1～4	2			
	選択	CIB142	東洋の身体論	1～4	2			
	選択	CIB143	近代化と東洋	1～4	2			
	選択	ARS121	韓国の文化と社会	1～4	2			
	選択	CHL205	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2			
	選択	LIG108	比較文学Ⅰ	1～4	2			
選択	LIG109	比較文学Ⅱ	1～4	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	JLT132	日本文学文化概説A	1～4	2	
			選択	JLT133	日本文学文化概説B	1～4	2	
			選択	PHE137	哲学概論A	1～4	2	
			選択	PHE138	哲学概論B	1～4	2	
			選択	RES114	キリスト教概論	1～4	2	1部開講
			選択	CIB144	イスラーム概論	1～4	2	
			選択	CIB145	インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択	CIB146	現代のインド	1～4	2	
			選択	SOC136	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択	SOC137	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択	ASA113	中国の美術A	1～4	2	相互聴講
			選択	ASA114	中国の美術B	1～4	2	
			選択	FAH104	日本美術の世界	1～4	2	いずれか
			選択	CIB233	仏教思想特講ⅠA	2～4	2	
			選択	CIB234	仏教思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB235	仏教思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB236	仏教思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	ASA207	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択	ASA208	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択	ASA209	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択	ASA210	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
			選択	HSG203	東西交渉史A	2～4	2	
			選択	HSG204	東西交渉史B	2～4	2	相互聴講
			選択	CIB237	中国仏教史A	2～4	2	
			選択	CIB238	中国仏教史B	2～4	2	いずれか
			選択	CIB239	韓国仏教史	2～4	2	
			選択	CIB240	チベット仏教史	2～4	2	相互聴講
			選択	RES203	日本仏教史A	2～4	2	
			選択	RES204	日本仏教史B	2～4	2	
			選択	HIT205	日本思想史概説A	2～4	2	
			選択	HIT206	日本思想史概説B	2～4	2	
			選択	RES205	宗教社会学A	2～4	2	
			選択	RES206	宗教社会学B	2～4	2	いずれか
			選択	CUA205	日本民俗学の諸問題	2～4	2	
			選択	CIB147	中国学概論A	1	2	相互聴講
			選択	CIB148	中国学概論B	1	2	
			選択	CIB151	中国史概説A	1～2	2	相互聴講
			選択	CIB152	中国史概説B	1～2	2	
			選択	CIB149	中国学研究法A	1	2	
			選択	CIB150	中国学研究法B	1	2	
			選択	CHL104	漢文訓読法	1	2	相互聴講
			選択	CIB311	中国哲学特講A	3～4	2	
選択	CIB312	中国哲学特講B	3～4	2				
選択	CHL311	中国文学特講A	3～4	2				
選択	CHL312	中国文学特講B	3～4	2				
選択	CIB309	中国哲学史A	3～4	2				
選択	CIB310	中国哲学史B	3～4	2				
選択	CHL307	中国文学史A	3～4	2				
選択	CHL308	中国文学史B	3～4	2				
選択	CHL309	中国現代文学史A	3～4	2				
選択	CHL310	中国現代文学史B	3～4	2	いずれか			
選択	JLT329	日本漢学A	3～4	2				
選択	JLT330	日本漢学B	3～4	2	相互聴講			
選択	CIB241	中国哲学講読A	2～4	1				
選択	CIB242	中国哲学講読B	2～4	1				
選択	CHL206	中国文学講読A	2～4	1				
選択	CHL207	中国文学講読B	2～4	1				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
東洋思想文化学科 中国語・中国哲学文学コース								
専門科目								
専門科目 74単位以上	必修科目 46単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM127	レポート・論文制作の技法	1	2	
			必修	CIB225	東洋思想文化演習ⅠA	2	1	
			必修	CIB226	東洋思想文化演習ⅠB	2	1	
			必修	CIB307	東洋思想文化演習ⅡA	3	1	
			必修	CIB308	東洋思想文化演習ⅡB	3	1	
			必修	THE451	卒論指導A	4	1	
			必修	THE452	卒論指導B	4	1	
		必修	THE453	卒業論文	4	6		
		コース別必修 32単位	必修	CHI121	基礎中国語A	1	1	
			必修	CHI122	基礎中国語B	1	1	
			必修	CIB241	中国哲学講読A	2～4	1	相互聴講
			必修	CIB242	中国哲学講読B	2～4	1	
			必修	CHL206	中国文学講読A	2～4	1	
			必修	CHL207	中国文学講読B	2～4	1	
	必修		CIB147	中国学概論A	1	2		
	必修		CIB148	中国学概論B	1	2		
	必修		CIB149	中国学研究法A	1	2		
	必修		CIB150	中国学研究法B	1	2		
	必修		CHL104	漢文訓読法	1	2		
	必修		CIB309	中国哲学史A	3～4	2		
	必修		CIB310	中国哲学史B	3～4	2		
	必修		CHL307	中国文学史A	3～4	2		
	必修		CHL308	中国文学史B	3～4	2		
	必修		CIB311	中国哲学特講A	3～4	2	相互聴講	
	必修		CIB312	中国哲学特講B	3～4	2		
	必修		CHL311	中国文学特講A	3～4	2		
	必修		CHL312	中国文学特講B	3～4	2		
	必修	CHI223	中級中国語A	2～4	1			
	選択必修科目Ⅰ 12単位以上	4単位以上 語学科目	選択	CHI224	中級中国語B	2～4	1	
			選択	CHI225	上級中国語A	2～4	1	
			選択	CHI226	上級中国語B	2～4	1	
			選択	CHI311	中国語学演習A	3～4	1	いずれか
			選択	CHI312	中国語学演習B	3～4	1	
			講義科目 8単位以上	選択	CIB151	中国史概説A	1～2	2
		選択		CIB152	中国史概説B	1～2	2	
		選択		CHL309	中国現代文学史A	3～4	2	いずれか
		選択		CHL310	中国現代文学史B	3～4	2	
		選択		JLT329	日本漢学A	3～4	2	相互聴講
		選択		JLT330	日本漢学B	3～4	2	
		選択必修科目Ⅱ 6単位以上	語学科目	選択	LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1
	選択			LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1	
	選択			LIN109	ヒンディー語A	1～4	1	
	選択			LIN110	ヒンディー語B	1～4	1	
	選択			JLT143	仏教漢文A	1～4	1	
	選択			JLT144	仏教漢文B	1～4	1	
	選択			KOR107	韓国語A	1～4	1	
選択	KOR108			韓国語B	1～4	1		
選択	LIN215			サンスクリット語ⅡA	2～4	1		
選択	LIN216			サンスクリット語ⅡB	2～4	1		
選択	LIN211			パーリ語A	2～4	1		
選択	LIN212			パーリ語B	2～4	1		
講義科目	選択		LIN213	チベット語A	2～4	1	いずれか	
	選択		LIN214	チベット語B	2～4	1		
	選択		RES112	宗教学概論A	1～4	2		
	選択		RES113	宗教学概論B	1～4	2		
	選択		CIB142	東洋の身体論	1～4	2		
	選択		CIB143	近代化と東洋	1～4	2		
選択	ARS121	韓国の文化と社会	1～4	2				
選択	CHL205	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2				

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講 … 第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講 … 第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74単位以上	講義科目	選択	LIG108	比較文学Ⅰ	1～4	2		
		選択	LIG109	比較文学Ⅱ	1～4	2		
		選択	JLT132	日本文学文化概説A	1～4	2		
		選択	JLT133	日本文学文化概説B	1～4	2		
		選択	PHE137	哲学概論A	1～4	2		
		選択	PHE138	哲学概論B	1～4	2		
		選択	CIB144	イスラーム概論	1～4	2	1部開講	
		選択	RES114	キリスト教概論	1～4	2		
		選択	SOC136	現代社会に生きる仏教A	1～4	2		
		選択	SOC137	現代社会に生きる仏教B	1～4	2		
		選択	CIB134	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講	
		選択	CIB135	インド文化概論B	1～4	2		
		選択	CIB132	インド思想史A	1～4	2		
		選択	CIB133	インド思想史B	1～4	2		
		選択	CIB136	仏教思想概論A	1～4	2		
		選択	CIB137	仏教思想概論B	1～4	2		
		選択	ASA110	インド・仏教の美術A	1～4	2		
		選択	ASA111	インド・仏教の美術B	1～4	2		
		選択	ASA113	中国の美術A	1～4	2		
		選択	ASA114	中国の美術B	1～4	2		
		選択	FAH104	日本美術の世界	1～4	2		
		選択	CIB145	インド現代思想	1～4	2		いずれか
		選択	CIB146	現代のインド	1～4	2		
		選択	HSG203	東西交渉史A	2～4	2		
		選択	HSG204	東西交渉史B	2～4	2		
		選択	CIB227	インド仏教史A	2～4	2	相互聴講	
		選択	CIB228	インド仏教史B	2～4	2		
		選択	CIB240	チベット仏教史	2～4	2		
		選択	CIB237	中国仏教史A	2～4	2		
		選択	CIB238	中国仏教史B	2～4	2		
		選択	CIB239	韓国仏教史	2～4	2	いずれか	
		選択	RES203	日本仏教史A	2～4	2	相互聴講	
		選択	RES204	日本仏教史B	2～4	2		
		選択	HIT205	日本思想史概説A	2～4	2		
		選択	HIT206	日本思想史概説B	2～4	2		
		選択	RES205	宗教社会学A	2～4	2		
		選択	RES206	宗教社会学B	2～4	2		
		選択	CUA205	日本民俗学の諸問題	2～4	2	いずれか	
		選択	CIB229	インド思想特講ⅠA	2～4	2		
		選択	CIB230	インド思想特講ⅠB	2～4	2		
		選択	CIB231	インド思想特講ⅡA	2～4	2		
		選択	CIB232	インド思想特講ⅡB	2～4	2		
		選択	CIB233	仏教思想特講ⅠA	2～4	2		
		選択	CIB234	仏教思想特講ⅠB	2～4	2		
		選択	CIB235	仏教思想特講ⅡA	2～4	2		
選択	CIB236	仏教思想特講ⅡB	2～4	2				
選択	ASA207	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2				
選択	ASA208	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2				
選択	ASA209	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2				
選択	ASA210	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2				
選択	CIB138	写経	1～4	2				
選択	CIB139	ヨーガ	1～4	2				
選択	CIB140	坐禅	1～4	2				
選択	CIB141	仏教の芸能	1～4	2				
選択	ASA112	インド舞踊	1～4	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考		
東洋思想文化学科 仏教思想コース									
専門科目									
卒業要件	必修科目 36単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM127	レポート・論文制作の技法	1	2		
			必修	CIB225	東洋思想文化演習ⅠA	2	1		
			必修	CIB226	東洋思想文化演習ⅠB	2	1		
			必修	CIB307	東洋思想文化演習ⅡA	3	1		
			必修	CIB308	東洋思想文化演習ⅡB	3	1		
			必修	THE451	卒論指導A	4	1		
			必修	THE452	卒論指導B	4	1		
			必修	THE453	卒業論文	4	6		
			コース別必修 22単位	必修	CIB136	仏教思想概論A	1～4	2	相互聴講
				必修	CIB137	仏教思想概論B	1～4	2	
				必修	CIB132	インド思想史A	1～4	2	
				必修	CIB133	インド思想史B	1～4	2	
				必修	CIB227	インド仏教史A	2～4	2	
				必修	CIB228	インド仏教史B	2～4	2	
		必修		CIB237	中国仏教史A	2～4	2		
		必修		CIB238	中国仏教史B	2～4	2		
		必修		RES203	日本仏教史A	2～4	2		
		必修		RES204	日本仏教史B	2～4	2		
		選択必修科目Ⅰ 12単位以上	講義科目	選択	CIB233	仏教思想特講ⅠA	2～4	2	いずれか
				選択	CIB234	仏教思想特講ⅠB	2～4	2	
				選択	CIB235	仏教思想特講ⅡA	2～4	2	
				選択	CIB236	仏教思想特講ⅡB	2～4	2	
				選択	HSG203	東西交渉史A	2～4	2	
				選択	HSG204	東西交渉史B	2～4	2	
			実技講義科目	選択	CIB138	写経	1～4	2	
				選択	CIB139	ヨーガ	1～4	2	
				選択	CIB140	坐禅	1～4	2	
	選択			CIB141	仏教の芸能	1～4	2		
	専門科目 74単位以上	語学科目	選択	CHI121	基礎中国語A	1	1	いずれか	
			選択	CHI122	基礎中国語B	1	1		
			選択	CHI311	中国語学演習A	3～4	1		
			選択	CHI312	中国語学演習B	3～4	1		
		選択必修科目Ⅱ 12単位以上	語学科目	選択	LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1	1部開講
				選択	LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1	
				選択	LIN109	ヒンディー語A	1～4	1	
				選択	LIN110	ヒンディー語B	1～4	1	
				選択	JLT143	仏教漢文A	1～4	1	
				選択	JLT144	仏教漢文B	1～4	1	
				選択	KOR107	韓国語A	1～4	1	
				選択	KOR108	韓国語B	1～4	1	
				選択	LIN215	サンスクリット語ⅡA	2～4	1	
				選択	LIN216	サンスクリット語ⅡB	2～4	1	
				選択	LIN211	パーリ語A	2～4	1	
				選択	LIN212	パーリ語B	2～4	1	
				選択	LIN213	チベット語A	2～4	1	
				選択	LIN214	チベット語B	2～4	1	
				選択	CHI223	中級中国語A	2～4	1	
選択				CHI224	中級中国語B	2～4	1		
選択		CHI225	上級中国語A	2～4	1				
選択		CHI226	上級中国語B	2～4	1				
講義科目		選択	RES112	宗教学概論A	1～4	2	1部開講		
		選択	RES113	宗教学概論B	1～4	2			
		選択	CIB142	東洋の身体論	1～4	2	いずれか		
		選択	CIB143	近代化と東洋	1～4	2			
		選択	ARS121	韓国の文化と社会	1～4	2			
	選択	CHL205	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2				
選択	LIG108	比較文学Ⅰ	1～4	2					

セット…セット履修科目、隔年開講…隔年開講科目、いずれか…第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講…第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講…第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	LIG109	比較文学Ⅱ	1～4	2	
			選択	JLT132	日本文学文化概説A	1～4	2	
			選択	JLT133	日本文学文化概説B	1～4	2	
			選択	PHE137	哲学概論A	1～4	2	
			選択	PHE138	哲学概論B	1～4	2	
			選択	CIB144	イスラーム概論	1～4	2	1部開講
			選択	RES114	キリスト教概論	1～4	2	
			選択	CIB145	インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択	CIB146	現代のインド	1～4	2	
			選択	SOC136	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択	SOC137	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択	CIB134	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講
			選択	CIB135	インド文化概論B	1～4	2	
			選択	ASA110	インド・仏教の美術A	1～4	2	
			選択	ASA111	インド・仏教の美術B	1～4	2	
			選択	ASA113	中国の美術A	1～4	2	
			選択	ASA114	中国の美術B	1～4	2	
			選択	FAH104	日本美術の世界	1～4	2	
			選択	CIB229	インド思想特講ⅠA	2～4	2	
			選択	CIB230	インド思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB231	インド思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB232	インド思想特講ⅡB	2～4	2	いずれか
			選択	ASA207	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択	ASA208	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択	ASA209	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択	ASA210	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
			選択	CIB239	韓国仏教史	2～4	2	
			選択	HIT205	日本思想史概説A	2～4	2	
			選択	HIT206	日本思想史概説B	2～4	2	
			選択	RES205	宗教社会学A	2～4	2	
			選択	RES206	宗教社会学B	2～4	2	
			選択	CUA205	日本民俗学の諸問題	2～4	2	いずれか
			選択	CIB241	中国哲学講読A	2～4	1	
			選択	CIB242	中国哲学講読B	2～4	1	相互聴講
			選択	CHL206	中国文学講読A	2～4	1	
			選択	CHL207	中国文学講読B	2～4	1	
			選択	CIB147	中国学概論A	1	2	
			選択	CIB148	中国学概論B	1	2	
			選択	CIB151	中国史概説A	1～2	2	
			選択	CIB152	中国史概説B	1～2	2	相互聴講
			選択	CIB149	中国学研究法A	1	2	
			選択	CIB150	中国学研究法B	1	2	
選択	CHL104	漢文訓読法	1	2	相互聴講			
選択	CIB311	中国哲学特講A	3～4	2				
選択	CIB312	中国哲学特講B	3～4	2				
選択	CHL311	中国文学特講A	3～4	2				
選択	CHL312	中国文学特講B	3～4	2				
選択	CIB309	中国哲学史A	3～4	2				
選択	CIB310	中国哲学史B	3～4	2				
選択	CHL307	中国文学史A	3～4	2				
選択	CHL308	中国文学史B	3～4	2				
選択	CHL309	中国現代文学史A	3～4	2				
選択	CHL310	中国現代文学史B	3～4	2	いずれか			
選択	JLT329	日本漢学A	3～4	2				
選択	JLT330	日本漢学B	3～4	2	相互聴講			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考			
教職科目										
教職科目	選択	GGR118	地誌学A	1～4	2	卒業単位に含めない科目				
	選択	GGR119	地誌学B	1～4	2					
	選択	GGR116	自然地理学A	1～4	2					
	選択	GGR117	自然地理学B	1～4	2					
	選択	GGR114	人文地理学A	1～4	2					
	選択	GGR115	人文地理学B	1～4	2					
	選択	ILA201	国際法A	2	2					
	選択	ILA20 2	国際法B	2	2					
	選択	POL201	政治学原論A	2	2					
	選択	POL202	政治学原論B	2	2					
	選択	ESS308	社会・地歴指導法Ⅰ	3	2					
	選択	ESS309	社会・地歴指導法Ⅱ	3	2					
	選択	ESS306	社会・公民指導法Ⅰ	3	2					
選択	ESS307	社会・公民指導法Ⅱ	3	2						
選択	ESS406	教職実践演習(中・高)	4	2						
東洋思想文化学科 東洋芸術文化コース										
専門科目										
専門科目 74単位以上	必修科目 14単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM127	レポート・論文制作の技法	1	2			
			必修	CIB225	東洋思想文化演習ⅠA	2	1			
			必修	CIB226	東洋思想文化演習ⅠB	2	1			
			必修	CIB307	東洋思想文化演習ⅡA	3	1			
			必修	CIB308	東洋思想文化演習ⅡB	3	1			
			必修	THE451	卒論指導A	4	1			
			必修	THE452	卒論指導B	4	1			
			必修	THE453	卒業論文	4	6			
	選択必修科目Ⅰ 24単位以上	講義科目	選択	CIB134	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講		
			選択	CIB135	インド文化概論B	1～4	2			
			選択	ASA110	インド・仏教の美術A	1～4	2			
			選択	ASA111	インド・仏教の美術B	1～4	2			
			選択	ASA113	中国の美術A	1～4	2			
			選択	ASA114	中国の美術B	1～4	2			
			選択	CIB132	インド思想史A	1～4	2			
			選択	CIB133	インド思想史B	1～4	2	相互聴講		
			選択	CIB136	仏教思想概論A	1～4	2			
			選択	CIB137	仏教思想概論B	1～4	2			
			選択必修科目Ⅱ 12単位以上	語学科目	選択	CIB309	中国哲学史A	3～4	2	相互聴講
					選択	CIB310	中国哲学史B	3～4	2	
					選択	CIB227	インド仏教史A	2～4	2	相互聴講
					選択	CIB228	インド仏教史B	2～4	2	
					選択	ASA207	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	いずれか
					選択	ASA208	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
					選択	ASA209	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
	選択	ASA210			東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	1部開講		
	選択	CIB138			写経	1～4	2			
	選択	CIB139			ヨーガ	1～4	2			
	選択	CIB140			坐禅	1～4	2			
	選択	CIB141			仏教の芸能	1～4	2			
	選択	ASA112			インド舞踊	1～4	2			
	選択	CHI121	基礎中国語A	1	1	いずれか				
	選択	CHI122	基礎中国語B	1	1					
選択	CHI311	中国語学演習A	3～4	1						
選択	CHI312	中国語学演習B	3～4	1						
選択	LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1	1部開講					
選択	LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1						
選択	LIN109	ヒンディー語A	1～4	1						
選択	LIN110	ヒンディー語B	1～4	1						
選択	JLT143	仏教漢文A	1～4	1						
選択	JLT144	仏教漢文B	1～4	1						
選択	KOR107	韓国語A	1～4	1						
選択	KOR108	韓国語B	1～4	1						

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74単位以上	語学科目	選択	LIN215	サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1	1部開講	
		選択	LIN216	サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1		
		選択	LIN211	パーリ語A	2～4	1		
		選択	LIN212	パーリ語B	2～4	1		
		選択	LIN213	チベット語A	2～4	1		
		選択	LIN214	チベット語B	2～4	1		
		選択	CHI223	中級中国語A	2～4	1		
		選択	CHI224	中級中国語B	2～4	1		
		選択	CHI225	上級中国語A	2～4	1		
		選択	CHI226	上級中国語B	2～4	1		
		講義科目	選択	RES112	宗教学概論A	1～4	2	1部開講
			選択	RES113	宗教学概論B	1～4	2	
			選択	CIB142	東洋の身体論	1～4	2	いずれか
			選択	CIB143	近代化と東洋	1～4	2	
			選択	ARS121	韓国の文化と社会	1～4	2	
			選択	CHL205	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2	
			選択	LIG108	比較文学Ⅰ	1～4	2	
			選択	LIG109	比較文学Ⅱ	1～4	2	
	選択		FAH104	日本文学文化概説A	1～4	2	1部開講	
	選択		JLT133	日本文学文化概説B	1～4	2		
	選択		PHE137	哲学概論A	1～4	2		
	選択		PHE138	哲学概論B	1～4	2		
	選択		CIB144	イスラーム概論	1～4	2		
	選択		RES114	キリスト教概論	1～4	2		
	選択		CIB145	インド現代思想	1～4	2	いずれか	
	選択		CIB146	現代のインド	1～4	2		
	選択		SOC136	現代社会に生きる仏教A	1～4	2		
	選択		SOC137	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	いずれか	
	選択		FAH104	日本美術の世界	1～4	2		
	選択		CIB229	インド思想特講Ⅰ A	2～4	2		
	選択		CIB230	インド思想特講Ⅰ B	2～4	2		
	選択		CIB231	インド思想特講Ⅱ A	2～4	2		
	選択		CIB232	インド思想特講Ⅱ B	2～4	2		
	選択		CIB240	チベット仏教史	2～4	2	相互聴講	
	選択		CIB233	仏教思想特講Ⅰ A	2～4	2	いずれか	
	選択		CIB234	仏教思想特講Ⅰ B	2～4	2		
	選択		CIB235	仏教思想特講Ⅱ A	2～4	2		
	選択		CIB236	仏教思想特講Ⅱ B	2～4	2	相互聴講	
	選択		HSG203	東西交渉史A	2～4	2		
	選択		HSG204	東西交渉史B	2～4	2		
	選択	CIB237	中国仏教史A	2～4	2			
	選択	CIB238	中国仏教史B	2～4	2			
	選択	CIB239	韓国仏教史	2～4	2			
	選択	RES203	日本仏教史A	2～4	2	相互聴講		
	選択	RES204	日本仏教史B	2～4	2			
	選択	HIT205	日本思想史概説A	2～4	2	いずれか		
	選択	HIT206	日本思想史概説B	2～4	2			
	選択	RES205	宗教社会学A	2～4	2			
選択	RES206	宗教社会学B	2～4	2				
選択	CUA205	日本民俗学の諸問題	2～4	2				
選択	CIB147	中国学概論A	1	2				
選択	CIB148	中国学概論B	1	2	相互聴講			
選択	CIB151	中国史概説A	1～2	2				
選択	CIB152	中国史概説B	1～2	2				
選択	CIB149	中国学研究法A	1	2				
選択	CIB150	中国学研究法B	1	2				
選択	CHL104	漢文訓読法	1	2				
選択	CIB311	中国哲学特講A	3～4	2	相互聴講			
選択	CIB312	中国哲学特講B	3～4	2				
選択	CHL311	中国文学特講A	3～4	2				
選択	CHL312	中国文学特講B	3～4	2				

セット…セット履修科目、隔年開講…隔年開講科目、いずれか…第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講…第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講…第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	CHL307	中国文学史A	3～4	2	いずれか
			選択	CHL308	中国文学史B	3～4	2	
			選択	CHL309	中国現代文学史A	3～4	2	
			選択	CHL310	中国現代文学史B	3～4	2	
			選択	JLT329	日本漢学A	3～4	2	相互聴講
			選択	JLT330	日本漢学B	3～4	2	
			選択	CIB241	中国哲学講読A	2～4	1	
			選択	CIB242	中国哲学講読B	2～4	1	
			選択	CHL206	中国文学講読A	2～4	1	
			選択	CHL207	中国文学講読B	2～4	1	

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講 … 第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講 … 第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

2021年度第2部東洋思想文化学科 教育課程表

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
文学部教育	東洋大学・井上仁了研究(2) 伝統文化講座(2)			
文学部基礎 専門科目	生涯学習概論Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 伝習行事を学ぶ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2) 伝習芸能を学ぶ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2) 英語ⅠAA(1) 英語ⅠAB(1) 英語ⅠBA(1) 英語ⅠBB(1)	特別支援教育概論Ⅰ(2) 家族心理学(2) 児童文化研究(2) 海外文化研修Ⅱ(2)		心理学の研究と理論(2)
英語	英語ⅠAA(1) 英語ⅠAB(1) 英語ⅠBA(1) 英語ⅠBB(1)	英語ⅡAA(1) 英語ⅡAB(1) 英語ⅡBA(1) 英語ⅡBB(1)		
ドイツ語	ドイツ語ⅠAA(1) ドイツ語ⅠAB(1) ドイツ語ⅠBA(1) ドイツ語ⅠBB(1)	ドイツ語ⅡAA(1) ドイツ語ⅡAB(1) ドイツ語ⅡBA(1) ドイツ語ⅡBB(1)		
フランス語	フランス語ⅠAA(1) フランス語ⅠAB(1) フランス語ⅠBA(1) フランス語ⅠBB(1)	フランス語ⅡAA(1) フランス語ⅡAB(1) フランス語ⅡBA(1) フランス語ⅡBB(1)		
中国語	中国語ⅠAA(1) 中国語ⅠAB(1) 中国語ⅠBA(1) 中国語ⅠBB(1)	中国語ⅡAA(1) 中国語ⅡAB(1) 中国語ⅡBA(1) 中国語ⅡBB(1)		
国際コミュニケーション科目	教育基礎論(2) 教育制度論(2)	社会教育実習(1)		
諸資格関連科目	社会教育実習Ⅰ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2) 生涯学習支援論Ⅱ(2)	社会教育経営論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2)	総務経理(簿記1,2)取得(2) 生涯学習概論Ⅰ(2) 社会教育実習Ⅱ(2)	生涯学習理論Ⅱ(2) 生涯学習支援論Ⅰ(2)
キャリア教育	図書概論(2) 情報サービスマン論(2) 児童サービスマン論(2)	図書概論(2) 図書情報資源特論(2) 図書情報資源概論(2) 情報サービスマン論(2) 情報資源組織演習A(1) 情報サービスマン演習B(1)	図書概論(2) 図書情報資源特論(2) 図書・図書館史(2) 情報資源組織演習A(1) 情報サービスマン演習B(1) 情報資源特論(2) 図書と職か人間性(2)	中国図書概論A(2) 中国図書特論B(2) 中国図書史A(2) 中国図書史B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)

文学部基礎課程科目 16単位以上

インド思想コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
各コース 共通必修 14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	東洋思想文化特講ⅠA(1) 東洋思想文化特講ⅠB(1) 卒業論文(6)
講義 必修 科目 24単位以上	インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) ヨーガ(2)	インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 坐禅(2)	仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2)	インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2)
実務経験 科目 24単位以上	写経(2) インド舞踊(2)			仏教の芸能(2)
語学科目	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1) チャベット語A(1) チャベット語B(1) 上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	中級中国語A(1) 中級中国語B(1)
専門科目 74単位以上	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)
講義科目 12単位以上	哲学概論A(2) 哲学概論B(2) イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) 比較文学Ⅰ(2) 中国学概論A(2) 中国学概論B(2) 中国学研究法A(2) 中国学研究法B(2) 漢文訓詁法(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) インド現代思想(2) 現代のインド(2) 現代の文化と社会(2) 比較文学Ⅱ(2) 私教思想特講ⅠA(2) 私教思想特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋学研究法A(2) 東洋学研究法B(2) 漢文訓詁法(2)	東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) 日本文学文化概論A(2) 日本文学文化概論B(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2) 私教思想特講ⅠA(2) 私教思想特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋学研究法A(2) 東洋学研究法B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) 宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 日本思想史概論A(2) 日本思想史概論B(2)
他学部他学科履修科目	中国史概論A(2) 中国史概論B(2)	中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)	中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)	中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2)
	科目は別表に記載			

中国語・中国哲学文学コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
各コース 共通必修 14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(6)
必修 科目	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中国立憲論A(1) 中国立憲論B(1)	中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1)	
コース別 必修 32単位	中国学概論A(2) 中国学概論B(2) 中国学研究法A(2) 中国学研究法B(2) 漢文訓詁法(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2)	中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2)	
選修 科目 12単位 以上	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	中級中国語A(1) 中級中国語B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
講義科目 8単位以上	中国史概説A(2) 中国史概説B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
専門科目 74 単位以上	サンスクリット語ⅠA(1)ヒンディー語A(1) サンスクリット語ⅠB(1)ヒンディー語B(1)	サンスクリット語ⅡA(1)パーリ語A(1) サンスクリット語ⅡB(1)パーリ語B(1)	サンスクリット語ⅠA(1)ヒンディー語A(1) サンスクリット語ⅠB(1)ヒンディー語B(1) サンスクリット語ⅡA(1)パーリ語A(1) サンスクリット語ⅡB(1)パーリ語B(1) 中級中国語A(1) 中級中国語B(1) 上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)
講義科目	哲学概論A(2) 宗教学概論B(2) イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) 仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) 近代化と東洋(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) 現代のインド(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2) 日本美術の世界(2) 韓国文化と社会(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) 東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) 現代のインド(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2) 日本美術の世界(2) 韓国文化と社会(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド思想概論A(2) インド思想概論B(2) 現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド思想概論A(2) インド思想概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2)
実技講義 科目 6単位以上	写経(2) インド舞踊(2)	写経(2) インド舞踊(2)	写経(2) インド舞踊(2)	坐禅(2)
他学部他学科開放科目 科目は別表に記載	人文地理学A(2) 人文地理学B(2)	地理学A(2) 地理学B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学概論A(2) 政治学原論B(2)	教職実務演習(中・高)(2) 社会・地歴指導法Ⅰ(2) 社会・地歴指導法Ⅱ(2) 社会・公民指導法Ⅰ(2) 社会・公民指導法Ⅱ(2)

仏教思想コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
各コース 共通必修 14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(6)
必修 科目	仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2)	インド思想史A(2) インド思想史B(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2)	日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2)
コース別 必修 22単位		中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2)	
選修 科目 12単位 以上	中級中国語A(1) 中級中国語B(1)	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
講義科目 8単位以上	中国史概説A(2) 中国史概説B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
専門科目 74 単位以上	サンスクリット語ⅠA(1)ヒンディー語A(1) サンスクリット語ⅠB(1)ヒンディー語B(1)	サンスクリット語ⅡA(1)パーリ語A(1) サンスクリット語ⅡB(1)パーリ語B(1)	サンスクリット語ⅠA(1)パーリ語A(1) サンスクリット語ⅠB(1)パーリ語B(1) 中級中国語A(1) 中級中国語B(1) 上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)
講義科目	哲学概論A(2) 宗教学概論B(2) イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) 仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) 近代化と東洋(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) 現代のインド(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2) 日本美術の世界(2) 韓国文化と社会(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) 東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) 現代のインド(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2) 日本美術の世界(2) 韓国文化と社会(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド思想概論A(2) インド思想概論B(2) 現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド思想概論A(2) インド思想概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2)
実技講義 科目 6単位以上	写経(2) インド舞踊(2)	写経(2) インド舞踊(2)	写経(2) インド舞踊(2)	坐禅(2)
他学部他学科開放科目 科目は別表に記載	人文地理学A(2) 人文地理学B(2)	地理学A(2) 地理学B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学概論A(2) 政治学原論B(2)	教職実務演習(中・高)(2) 社会・地歴指導法Ⅰ(2) 社会・地歴指導法Ⅱ(2) 社会・公民指導法Ⅰ(2) 社会・公民指導法Ⅱ(2)

東洋芸術文化コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 14単位	各コース レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒業指導A(1) 卒業指導B(1) 卒業論文(6)
	インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) 仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2)	インド・仏教の美術A(2) 中国の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術B(2)	インドの美術A(2) 中国の美術A(2) インドの美術B(2) 中国の美術B(2)	インド思想史A(2) インド思想史B(2)
選択必修科目Ⅰ 24単位以上		インド仏教史A(2) インド仏教史B(2)	東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2)	東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2)
実技講義 科目 24単位以上	写経(2) インド舞踊(2)	ヨーガ(2)	坐禅(2)	仏教の芸能(2)
専門科目 74単位以上	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中国語演習A(1) 中国語演習B(1)	中国語演習A(1) 中国語演習B(1)	中国語A(1) 中国語B(1)
	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1)	ヒンディー語A(1) ヒンディー語B(1)	仏教漢文A(1) 仏教漢文B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1)
選択必修科目Ⅱ 12単位以上	サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)	パーリ語A(1) パーリ語B(1)	チベット語A(1) チベット語B(1)	チベット語A(1) チベット語B(1)
	哲学概論A(2) 哲学概論B(2) イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2)	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) インド現代思想(2) 現代のインド(2) 日本美術の世界(2) 韓国の文化と社会(2)	東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) 日本文学文化概説A(2) 日本文学文化概説B(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)
講義科目	中国学概論A(2) 中国学概論B(2) 中国学研究法A(2) 中国学研究法B(2) 漢文訓読法(2)	インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) 仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2)	インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 東西交渉史A(2) 東西交渉史B(2) 韓国仏教史(2) 日本民俗学の諸問題(2) 宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2)	仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) チベット仏教史(2)
	中国史概説A(2) 中国史概説B(2)		中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2)	中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2) 中国文学史A(2) 中国文学史B(2)
他学部他学科開講科目		中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1)	中国文学講義A(1) 中国文学講義B(1)	

科目は別表に記載

◆◆東洋思想文化学科のコース分けについて◆◆

1. 各コースの概要とコース分けの年次

東洋思想文化学科には主たる学習内容別に4つのコースが設置されています。4コースの概要は以下の通りです。

コース名	概要
インド思想コース	古代から現代までのインドの思想・宗教を中心に学ぶコースであり、文献講読に必要なインド古典語のサンスクリット語や現代語のヒンディー語なども併せて学習する。
中国語・中国哲学文学コース	中国の古典から現代までの思想・文学あるいは文化事象を学ぶコースである。併せて文献講読に必要な漢文読解力や中国語の語学力を養成する。
仏教思想コース	インド、中国、日本を中心とした仏教の歴史的展開や思想内容を詳しく学ぶコースであり、仏教の理解に必要なサンスクリット語、パーリ語、チベット語、仏教漢文などの語学も学習する。
東洋芸術文化コース	インド、中国、日本などの美術を中心に建築、芸能、音楽などアジアの芸術、文化を総合的に学ぶコースである。併せてサンスクリット語、漢文、ヒンディー語などアジアの外国語も学習する。

1年次に開講される、各コースの概論科目を受講することを通して、2年次からのコース選択の参考としてください。**コース選択の希望聴取は12月に行います**ので、それまでに自分の進みたいコースを決めておいてください。2年次からは、自分の選択した各コースのカリキュラムにしたがって、コース別の専門科目の履修が本格的に始まります。ただし、希望者が各コースの学生定員を超過した場合は、1年次秋学期時点のGPAにもとづいて選考します。

2. コースに関連した履修上の注意

1年次に履修した専門科目について

1年次から履修できる専門科目のうち、選択した2年次からのコースの教育課程表に記載されていない科目は卒業単位になりません（自由科目として単位認定される）。

◆◆科目の履修上の注意◆◆

必修科目

卒業論文は必修であるため、1年次から計画を立て研究室等の指示に注意してください。

4年次の「卒業論文」の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限ります。**

原級した場合の卒論指導の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「卒論指導A」「卒論指導B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論指導A」を秋学期に、「卒論指導B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

実技講義科目および海外研修

科目によっては集中講義となる場合や第1部時間帯のみ開講する場合、また別途費用が必要となる場合があるので、「シラバス（講義要項）」等で十分に確認したうえで履修してください。

東洋思想文化学科第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

東洋思想文化学科第1部・第2部間でのみ相互聴講を認めます。

履修条件は、以下の通りです。

- (1) 第1部東洋思想文化学科提供科目群のうち、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 科目提供主体（第1部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法

第1部提供科目の履修を希望する場合は、第2部の科目と同様に履修登録をしてください。

- (6) 対象科目（第1部東洋思想文化学科提供科目群）

教育課程表「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目。

◆◆文学部第2部東洋思想文化学科 カリキュラムマップ◆◆

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ	第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ
入門							
サンスクリット語Ⅰ AB / ヒンディー語 AB 基礎中国語 AB / 漢文訓詁法 仏教漢文 AB		サンスクリット語Ⅱ AB パーリ語 AB / チベット語 AB 中級中国語 AB / 上級中国語 AB / 中国語学演習 AB 韓国語 AB / 日本語文法 AB / 日本語概説 AB					
中国史概説 AB 中国学概説 AB / インド思想史 AB / インド文化概説 AB 仏教思想概説 AB 中国の美術 AB		中国哲学史 A B / 中国文学史 A B / 中国現代文学史 A B / 日本漢学 A B / 中国哲学特講 A B / 中国文学特講 A B インド思想特講Ⅰ AB / インド思想特講Ⅱ AB 仏教思想特講Ⅰ A B / 仏教思想特講Ⅱ A B 東洋芸術文化特講Ⅰ A B / 東洋芸術文化特講Ⅱ A B					
宗教学概論 A B / 宗教学Ⅱ A B / 東洋思想 / アジアの文学 / アジアの古典 / キリスト教概論 / イスラーム概論 / 神道史 A B / 海外文化研修Ⅰ・Ⅱ / 古文書学Ⅰ AB / 心理学概論 AB / 日本美術の世界 / 書道史 / 書論 / 日本民俗学の諸問題 / 日本語史 AB / 古典籍に親しむ / 哲学概論 AB / 倫理学概論 AB / 日本文学の歴史(上代・中古・中世・近世・近代・現代)		中国哲学講読 A B / 中国文学講読 A B インド現代思想 / 現代のインド 仏教と社会福祉 / 現代に生きる仏教 インド・仏教の美術 A B / 世界の文学文化と日本Ⅲ 東洋の身体論 / 近代化と東洋 / 比較宗教 A B / 宗教学 A B / 総合Ⅵ A B / 韓国の文化と社会 / 比較文学Ⅰ・Ⅱ / 日本文学文化概説 AB					
中国学研究法 A B 書道Ⅰ AB レポート・論文制作の技法		卒業論文 ヨーガ / インド舞踊 写経 / 坐禅 / 仏教の芸能 書道Ⅱ AB / 書道Ⅲ AB 東洋思想文化演習Ⅰ AB 東洋思想文化演習Ⅱ AB 卒論指導 A B					

語学

東洋の思想と文化を理解するのに役立つ語学

知識

東洋の思想と文化に対する豊富な知識

理解

東洋に特有の価値観や思考法への理解

分析・考察・表現

独自の視点からの分析と考察
自分の見解を論理的に表現

教育課程及び履修に際しての注意

第2部 日本文学文化学科

◆◆日本を知ろう！ 日本人を知ろう！◆◆

日本文学文化学科は、新しい時代に適合した研究と教育を目標としている。学祖、井上円了は、明治前半期の西洋第一主義の風潮への反省として「東洋を本とし日本を主」とする哲学館・東洋大学を開設した。

しかし、それは単なる狭い東洋主義ではなく、「東洋の学を主とし、西洋の学を客とし、彼我、主客を合わせて研究する主義」の提唱であり、教育であった。この主張は現代でも光を失わないものである。

現代日本社会が今後ますます国際化していく状況の中で、いずれの国家・民族にとっても、それぞれの固有の文化（アイデンティティ）をいかに確立継承し、創造するかということは、これからの新しい世紀に必須の課題となるに違いない。日本及び日本人を正しく知るとともに、伝統的な学問・日本文化を正しく継承し、新たに世界から日本を見るという視点を導入した日本文学文化学科の教育内容は、国際化時代にふさわしいものと言える。

◇教育課程（カリキュラム）の特色

日本文学文化学科のカリキュラムには、基盤教育科目と文学部基盤科目、専門科目、それに開放科目がある。基盤教育科目は、各分野に応じて広く文化を学び、考察するものである。文学部基盤科目には、図書館司書・学校図書館司書教諭に関する科目が用意されており、各自の目的によって選択できるようになっている。

専門科目は1年次の「初年次ゼミナール」「実践基礎ゼミナール」と、1・2年次の「日本文学文化概説A・B」「日本語概説A・B」が必修科目であり、2年次以降の専門的なゼミナールと「卒業論文」への足がかりとなる。

選択必修科目には、専攻分野別のゼミナールや多彩な講義等多くの科目群が用意されている。各科目群の指定がなされているものもあるが、学年に応じて選択できる。科目群と指定単位数に注意して選択すること。

ゼミナールは「ゼミナールⅠA・B」「ゼミナールⅡA・B」「ゼミナールⅢA・B」と専門性を深めて展開し、4年次の「卒論指導A・B」「卒業論文」へと結実していくことになる。ゼミナールの目的は、みずから考え、みずから課題を発見することにある。

これらのゼミナール科目は、日本文学文化学科のカリキュラムの中心である。2年次の「ゼミナールⅠ」の選択から、「日本語学」「古典文学文化」「近現代文学文化」「比較文学文化」という4つの専攻分野が設置されているので、各自の学習計画に即して選択すること。なお「ゼミナールⅢ」については3年次履修の専攻分野から選択することが望ましい。

選択科目には、国語科、書道科各教員免許状取得のための科目（教職科目）が用意されている。各自の目的に応じて選択できる。

選択必修科目にかかわる専攻分野間は自由に横断的な学習ができるようになっているので、専門性を深めながら、日本文学文化を総合的、包括的に学習できる。いわばフレキシブルな履修システムであるから、各自がそれぞれの明確な学習目標に応じた科目を履修することにより、主体的で個性あふれるカリキュラムを作成することが可能である。

開放科目は、他学部・他学科の開放科目であり、日本文学文化学科では、各自の考えにより広範囲な学問分野の学習ができるようになっている。

◆◆日本文学文化学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の養成に関する目的

国際化していく現代社会において、アイデンティティを確立することは重要な課題である。

日本文学文化学科では、日本・日本人を知り、伝統的な学問・日本文化を継承すると同時に、世界から日本を見るという視点を導入することで、新しい時代を切り拓く人材の育成を目標としている。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
カリキュラムの中心となるゼミナール科目では「日本語学分野」「古典文学文化分野」「近現代文学文化分野」「比較文学文化分野」という4つの専攻分野を設置し、専門的な探究を行っている。選択必修科目では専攻分野間の横断的な学習が可能で、日本文学文化を総合的・包括的に視野に収めていく。
3. その他の教育研究上の目的
国語科・書道科各教員免許状の取得や、図書館司書・学校図書館司書教諭の資格を取得する。

◆第2部日本文学文化学科（イブニングコース） 3つのポリシー◆

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学科が求める学生像は、日本の文学作品や文化事象に広い興味を持つ人、日本語に対する高い意識を持つ人、歴史や社会と文学・文化との連環に深い関心を持つ人、世界の文学・文化と日本の文学・文化との比較に強い意欲を持つ人などである。あわせて、文系の学問に偏ることなく、次のような幅広い学力を有する多様で優秀な学生を求めている。

1. 日本古典文学と日本近現代文学の知識と読解力、それらの根幹となる日本語の理解と表現力。
2. 日本の文学・文化を国際的な視点から理解するために欠かすことができない外国語（英語）の基本的な運用力。
3. 日本や世界の歴史、政治、経済、慣習・風土などへの探究力と現代社会の諸問題への解決力。
4. 学術的な文章を作り上げるための論理的な思考力とその基となる様々な情報の収集・分析力。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、教育課程を通して、思考力と実践力を養い、日本語、日本文学、日本文化の専門的かつ総合的な知識と理解力を身に付けることを目指す。また、グローバルな現代社会の一員として活躍するための礎を築く。

1. 高い教養と豊かな創造力を養うため、「日本語学」「古典文学文化」「近現代文学文化」「比較文学文化」の4分野を設け、専門的かつ横断的な学習に取り組む。
2. 必要な知識と思考力を着実に獲得するため、1・2年次の基礎的、概説的な授業科目から、3・4年次の高度で専門的な授業科目へと、段階的かつ有機的に学習を進める。
3. 学問の探究をとおして総合的な力を身につけるため、1年次から4年次まで少人数のゼミナールに参加し、他者との協働をはじめとする多様な学びを実践する。
4. 各自の興味・関心を伸ばし、その可能性を引き出すため、多彩な内容の専門科目を置くほか、諸資格（中学校国語科教諭、高等学校国語科・書道科教諭、図書館司書、司書教諭、学芸員）の取得に関連する科目を設置している。
5. 各自の研究テーマに即した卒業論文の作成を必修とし、大学で培った知識、能力を応用しながら、研究の成果を主体的にまとめる。

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学科では、卒業に必要な単位を修得し、以下に掲げる能力を修得した者に対して卒業を認め学位を授与する。

1. 主体的に獲得した日本の文学・文化に関する知見と論理的な考察をもとに、他者との協働をとおして様々な課題を解決できる。
2. 日本語、日本の文学・文化についての確かな知識と、日本語表現の適切なあり方を習得し、専門的な視点から探究することができる。
3. 日本の文学・文化を多面的かつ総合的に検証し、新たな日本文化像を創造することができる。
4. 世界から見た日本の文学・文化のあり方を理解し、グローバルな文脈における豊かな可能性を見出すことができる。

◆◆ 4つの専攻分野について ◆◆

専攻分野	概要
日本語学分野	日本語の過去から現在までの姿や仕組みなどについて根幹となる理論を習得する。その上で、言語学一般の学習や他言語との比較も行いながら、総合的多角的に分析、考察する。あわせて、日本語に対して深く適切な理解をもとにした実証的な研究姿勢を養う。
古典文学文化分野	古代から近世に至る古典文学を実証的な観点から考察し、そこに表れた日本人の心や文化のかたちを、より深くより豊かに理解していく。そして、日本の文化遺産である古典文学の価値を正しく継承し、さらに次代へ伝えていくことを使命とする。
近現代文学文化分野	明治期から今日に至るさまざまな文学作品について、多種多様な方法論による分析と考察を試み、その文学の特質や作家の本質を究明する。その過程で、近現代文学文化の問題点や思想性を汲み取り、これからの日本文学や日本人の可能性を模索していく。
比較文学文化分野	比較文学文化の概念や理念を学ぶとともに、「世界から日本を見る」という視点で、日本を相対化する姿勢を確立する。そして、既成の学問の枠にとらわれることなく、多様な「日本文学文化論」を展開し、国際社会における日本文学文化の意義や可能性を探る。

◆◆ 第2部 日本文学文化学科 卒業要件 ◆◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学習の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類	必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際	34 単位以上	
	英語特別教育科目	「哲学・思想」から 2 単位以上、「キャリア・市民形成」から 2 単位以上を含み、修得すること。	
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		
専門科目	必修科目	18 単位	専門科目合計 74 単位以上
	選択必修科目 I	34 単位以上	
	選択必修科目 II	16 単位以上	
	選択科目		
教職科目		卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目			
卒業必要単位数合計		上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

◆◆ 2021 年度第 2 部日本文学文化学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考			
専門科目										
専門科目 74 単位以上	必修科目 18 単位	必修	FAH104	日本文学文化概説 A	1～2	2	相互聴講			
		必修	JLT133	日本文学文化概説 B	1～2	2				
		必修	JLN106	日本語概説 A	1～2	2				
		必修	JLN107	日本語概説 B	1～2	2				
		必修	SEM123	初年次ゼミナール	1	2				
		必修	SEM124	実践基礎ゼミナール	1	2				
		必修	THE445	卒論指導 A	4	1				
		必修	THE446	卒論指導 B	4	1				
		必修	THE447	卒業論文	4	4				
		選択必修科目 I 34 単位以上	選択	JLN207	日本語学ゼミナール I A	2	2	2 科目 4 単位 選択必修		
	選択		JLN208	日本語学ゼミナール I B	2	2				
	選択		JLT219	古典文学文化ゼミナール I A	2	2				
	選択		JLT220	古典文学文化ゼミナール I B	2	2				
	選択		JLT221	近現代文学文化ゼミナール I A	2	2				
	選択		JLT222	近現代文学文化ゼミナール I B	2	2				
	選択		JLT223	比較文学文化ゼミナール I A	2	2				
	選択		JLT224	比較文学文化ゼミナール I B	2	2				
	選択		JLN305	日本語学ゼミナール II A	3	2	2 科目 4 単位 選択必修			
	選択		JLN306	日本語学ゼミナール II B	3	2				
	選択		JLT317	古典文学文化ゼミナール II A	3	2				
	選択		JLT318	古典文学文化ゼミナール II B	3	2				
	選択		JLT319	近現代文学文化ゼミナール II A	3	2				
	選択		JLT320	近現代文学文化ゼミナール II B	3	2				
	選択		JLT321	比較文学文化ゼミナール II A	3	2				
	選択		JLT322	比較文学文化ゼミナール II B	3	2				
	選択		JLN403	日本語学ゼミナール III A	4	2	2 科目 4 単位 選択必修			
	選択		JLN404	日本語学ゼミナール III B	4	2				
	選択		JLT407	古典文学文化ゼミナール III A	4	2				
	選択		JLT408	古典文学文化ゼミナール III B	4	2				
	選択		JLT409	近現代文学文化ゼミナール III A	4	2				
	選択		JLT410	近現代文学文化ゼミナール III B	4	2				
	選択		JLT411	比較文学文化ゼミナール III A	4	2				
	選択		JLT412	比較文学文化ゼミナール III B	4	2				
				選択	JLN209	日本語史 A	2～4	2	2 科目 4 単位 以上選択 必修	
				選択	JLN210	日本語史 B	2～4	2		
				選択	JLN211	日本語文法 A	2～4	2		
				選択	JLN212	日本語文法 B	2～4	2		
				選択	JLT136	日本文学の歴史(上代)	1～3	2	3 科目 6 単位 以上選択 必修	相互聴講
				選択	JLT137	日本文学の歴史(中古)	1～3	2		
				選択	JLT138	日本文学の歴史(中世)	1～3	2		
				選択	JLT139	日本文学の歴史(近世)	1～3	2		
			選択	JLT140	日本文学の歴史(近代)	1～3	2			
			選択	JLT141	日本文学の歴史(現代)	1～3	2			
			選択	JLN307	日本語学研究 I	3～4	2	2 科目 4 単位 以上選択 必修	いずれか	
			選択	JLN308	日本語学研究 II	3～4	2			
		選択	JLT323	古典文学文化研究 I	3～4	2	相互聴講			
		選択	JLT324	古典文学文化研究 II	3～4	2				
		選択	JLT325	近現代文学文化研究 I	3～4	2				
		選択	JLT326	近現代文学文化研究 II	3～4	2				
		選択	JLT327	比較文学文化研究 I	3～4	2				
		選択	JLT328	比較文学文化研究 II	3～4	2				
		選択	JLT225	上代文学の探究	1～3	2	2 科目 4 単位 以上選択 必修	相互聴講		
		選択	JLT226	中古文学の探究	1～3	2				
		選択	JLT227	中世文学の探究	1～3	2				
		選択	JLT228	近世文学の探究	1～3	2				
		選択	JLT229	近現代文学の探究	1～3	2				

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目

1 部開講 … 第 1 部時間帯のみで開講する科目

相互聴講 … 第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目(詳細は 163 ページ参照)

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考	
専門科目 74 単位以上	選択必修科目 I 34 単位以上	選択	LIG108	比較文学 I	1～2	2	2 科目 4 単位 以上選択 必修	相互聴講
		選択	LIG109	比較文学 II	1～2	2		
		選択	LIE223	世界の文学文化と日本 I	1～4	2		
		選択	LIE224	世界の文学文化と日本 II	1～4	2		
		選択	CHL205	世界の文学文化と日本 III	1～4	2		
	選択必修科目 II 16 単位以上	選択	CUA112	伝統行事を学ぶ	1～4	2	いずれか	相互聴講
		選択	JLT142	伝統芸能を学ぶ	1～4	2		
		選択	JLN108	方言と文化	1～4	2		
		選択	FAH104	日本美術の世界	1～4	2		
		選択	ARL109	日本映画の世界	1～4	2		
		選択	ARL110	マンガ文化研究	1～4	2		
		選択	LIG110	アニメーション文化研究	1～4	2		
		選択	ARS121	韓国の文化と社会	1～4	2		
		選択	SOC135	日本の出版メディア	1～4	2		
		選択	CIB128	中国の古典(文学)	1～4	2		
		選択	CIB129	中国の古典(思想)	1～4	2		
		選択	CIB130	中国の古典(歴史)	1～4	2		
		選択	CIB131	中国の古典(哲学)	1～4	2		
		選択	JLT230	万葉文化の世界	2～4	2		
		選択	JLT231	平安朝文化の世界	2～4	2		
		選択	JLT232	室町・戦国文化の世界	2～4	2		
		選択	JLT233	江戸文化の世界	2～4	2		
		選択	JLT234	近現代文化の諸問題	2～4	2		
		選択	JLT235	古典籍に親しむ	2～4	2		
	選択	CUA205	日本民俗学の諸問題	2～4	2			
	選択	JLT236	日本の児童文学	2～4	2			
	選択科目	選択	RES203	日本仏教史 A	2～4	2	いずれか	相互聴講
		選択	RES204	日本仏教史 B	2～4	2		
		選択	ARL107	書道 I A	1	1		
		選択	ARL108	書道 I B	1	1		
		選択	ARL206	書道 II A	2～4	1		
		選択	ARL207	書道 II B	2～4	1		
		選択	ARL208	書道 III A	2～4	1		
		選択	ARL209	書道 III B	2～4	1		
選択		ARL111	書道史	1	2			
選択		ARL210	書論	2～4	2			
教職科目	選択	JLT134	教職国語(古典)	1～3	2	卒業単位に含めない 科目		
	選択	JLT135	教職国語(現代文)	1～3	2			
	選択	ESS231	国語科教育論 I	2	2			
	選択	ESS232	国語科教育論 II	2	2			
	選択	ESS316	国語科指導法 I	3	2			
	選択	ESS317	国語科指導法 II	3	2			
	選択	ESS318	書道科指導法 I	3	2			
選択	ESS319	書道科指導法 II	3	2				
選択	ESS406	教職実践演習(中・高)	4	2				

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講 … 第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講 … 第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目(詳細は163ページ参照)

2021年度第2部日本文学文化学科 教育課程表

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
文学部教育	東洋大学・井上巳了研究(2) 伝統文化講座(2)			
文学部基礎専門科目	特別支援教育概論Ⅰ(2) 生涯学習概論Ⅰ(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国語学史A(2) 中国語学史B(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国語学史A(2) 中国語学史B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2)
英語	中国学概論A(2) 中国学概論B(2)	インド仏教史A(2) インド仏教史B(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2)	
	サンズクリット語IA(1) サンズクリット語IB(1) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) インド・仏教の思想と理論(2)	インド現代思想(2) 現代のインド(2) 家族心理学(2)	海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2) 児童文化研究(2)
ドイツ語	英語IIA(1) 英語IAB(1) 英語IIB(1)	英語IIA(1) 英語IAB(1) 英語IIB(1)	英語IIA(1) 英語IAB(1) 英語IIB(1)	
	ドイツ語IIAA(1) ドイツ語IAB(1) ドイツ語IIB(1)	ドイツ語IIAA(1) ドイツ語IAB(1) ドイツ語IIB(1)	ドイツ語IIAA(1) ドイツ語IAB(1) ドイツ語IIB(1)	
フランス語	フランス語IIAA(1) フランス語IAB(1) フランス語IIB(1)	フランス語IIAA(1) フランス語IAB(1) フランス語IIB(1)	フランス語IIAA(1) フランス語IAB(1) フランス語IIB(1)	
	中国語IIAA(1) 中国語IAB(1) 中国語IIB(1)	中国語IIAA(1) 中国語IAB(1) 中国語IIB(1)	中国語IIAA(1) 中国語IAB(1) 中国語IIB(1)	
中国語	教育基礎論(2) 教育制度論(2)	社会教育概論Ⅰ(2) 社会教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習(1) 社会教育実習Ⅱ(2)	
	社会教育実習Ⅰ(2) 家庭教育論(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 図書概論(2) 情報サービス論(2) 児童サービス論(2)	社会教育実習Ⅲ(2) 社会教育実習Ⅳ(2) 社会教育実習Ⅴ(2) 社会教育実習Ⅵ(2) 図書情報資源概論(2) 図書・図書館情報学概論(2) 情報サービス演習A(1) 情報サービス演習B(1)	社会教育実習Ⅶ(2) 社会教育実習Ⅷ(2) 社会教育実習Ⅸ(2) 社会教育実習Ⅹ(2) 図書情報資源特論(2) 図書・図書館情報学特論(2) 情報サービス演習A(1) 情報サービス演習B(1)	生涯学習概論Ⅱ(2) 生涯学習支援論Ⅱ(2) 生涯学習支援論Ⅲ(2) 生涯学習支援論Ⅳ(2) 図書館制度・経営論(2) 図書館情報学概論(2) 図書情報技術論(2) 図書情報学概論(2) 図書情報学特論(2) 図書と豊かな人間性(2)
キャリア教育	キャリア支援Ⅰ(2) キャリア支援Ⅱ(2)	教員養成講座Ⅰ(2) 教員養成講座Ⅱ(2)	教員養成講座Ⅲ(2) 教員養成講座Ⅳ(2)	教員養成講座Ⅴ(1) 教員養成講座Ⅵ(1)

※基礎教育と合わせて34単位以上修得すること。

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 18単位	日本文学文化概説A(2) 日本文学文化概説B(2) 初年次ゼミナール(2) 実践基礎ゼミナール(2)	日本語概説A(2) 日本語概説B(2) 日本語学ゼミナールⅠA(2) 日本語学ゼミナールⅠB(2) 日本語学ゼミナールⅡA(2) 日本語学ゼミナールⅡB(2) 古風文学文化ゼミナールⅠA(2) 古風文学文化ゼミナールⅠB(2) 古風文学文化ゼミナールⅡA(2) 古風文学文化ゼミナールⅡB(2) 近現代文学文化ゼミナールⅠA(2) 近現代文学文化ゼミナールⅠB(2) 近現代文学文化ゼミナールⅡA(2) 近現代文学文化ゼミナールⅡB(2) 比較文学文化ゼミナールⅠA(2) 比較文学文化ゼミナールⅠB(2) 比較文学文化ゼミナールⅡA(2) 比較文学文化ゼミナールⅡB(2)	日本語学ゼミナールⅠA(2) 日本語学ゼミナールⅠB(2) 日本語学ゼミナールⅡA(2) 日本語学ゼミナールⅡB(2) 古風文学文化ゼミナールⅠA(2) 古風文学文化ゼミナールⅠB(2) 古風文学文化ゼミナールⅡA(2) 古風文学文化ゼミナールⅡB(2) 近現代文学文化ゼミナールⅠA(2) 近現代文学文化ゼミナールⅠB(2) 近現代文学文化ゼミナールⅡA(2) 近現代文学文化ゼミナールⅡB(2) 比較文学文化ゼミナールⅠA(2) 比較文学文化ゼミナールⅠB(2) 比較文学文化ゼミナールⅡA(2) 比較文学文化ゼミナールⅡB(2)	卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(4)
	選択必修 科目Ⅰ 34単位 以上	日本文学の歴史(上代)(2) 日本文学の歴史(近世)(2) 上代文学の探究(2) 近世文学の探究(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 3科目6単位以上選択必修 中世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 2科目4単位以上選択必修 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	2科目4単位以上選択必修 日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 3科目6単位以上選択必修 中世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 2科目4単位以上選択必修 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)
専門科目 74単位 以上	日本文学の歴史(上代)(2) 日本文学の歴史(近世)(2) 上代文学の探究(2) 近世文学の探究(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 3科目6単位以上選択必修 中世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 2科目4単位以上選択必修 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	2科目4単位以上選択必修 日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 3科目6単位以上選択必修 中世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 2科目4単位以上選択必修 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	
選択必修 科目Ⅱ 16単位 以上	伝説行幸名考(2) 日本映画研究(2) 中国の古典(文学)(2) アニメーション文化研究(2)	伝説行幸名考(2) マンガ文化研究(2) 中国の古典(歴史)(2) 万葉文化の世界(2) 江戸文化の世界(2) 日本民俗学の諸問題(2) 書道ⅠA(1) 書道ⅠB(1) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2)	方言と文化(2) 韓国の文化と社会(2) 中国の古典(思想)(2) 平安朝文化の世界(2) 近現代文化の諸問題(2) 日本の児童文学(2) 書道ⅠA(1) 書道ⅠB(1) 書道ⅡA(1) 書道ⅡB(1) 教職国語(現代文)(2)	日本美術の世界(2) 日本の出版メディア(2) 中国の古典(哲学)(2) 室町・戦国文化の世界(2) 古典籍に親しむ(2) 書論(2) 書道史(2)
選択科目	教職国語(古典)(2)	教職国語(現代文)(2)	教職国語(現代文)(2)	教職実践演習(中・高)(2)
教職科目	国語科教育論Ⅰ(2) 国語科教育論Ⅱ(2)	国語科教育論Ⅰ(2) 国語科教育論Ⅱ(2)	国語科教育論Ⅰ(2) 国語科教育論Ⅱ(2)	国語科指導法Ⅰ(2) 国語科指導法Ⅱ(2) 書道科指導法Ⅰ(2) 書道科指導法Ⅱ(2)
他学部他学科 開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載			

◆◆科目履修上の注意◆◆

必修科目

4年次の「卒業論文」の履修登録は、第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生を対象とします。

原級した場合の卒論指導の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「卒論指導 A」「卒論指導 B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論指導 A」を秋学期に、「卒論指導 B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

日本文学文化学科第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

日本文学文化学科第1部・第2部間でのみ相互聴講を認めます。

履修条件は、以下の通りです。

- (1) 第1部日本文学文化学科提供科目のうち、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 科目提供主体（第1部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位数に算入します。
- (5) 履修方法
第1部提供科目の履修を希望する場合は、第2部の科目と同様に履修登録をしてください。
- (6) 対象科目
教育課程表「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目です。

○第1部日本文学文化学科提供科目群

日本文学文化概説 A (2)	日本文学の歴史(現代) (2)	世界の文学文化と日本 I (2)
日本文学文化概説 B (2)	日本語学研究 I (2)	世界の文学文化と日本 II (2)
日本語概説 A (2)	古典文学文化研究 I (2)	世界の文学文化と日本 III (2)
日本語概説 B (2)	古典文学文化研究 II (2)	日本美術の世界(2)
日本語史 A (2)	近現代文学文化研究 I (2)	マンガ文化研究(2)
日本語史 B (2)	比較文学文化研究 I (2)	アニメーション文化研究(2)
日本語文法 A (2)	上代文学の探究(2)	中国の古典(文学) (2)
日本語文法 B (2)	中古文学の探究(2)	中国の古典(思想) (2)
日本文学の歴史(上代) (2)	中世文学の探究(2)	中国の古典(哲学) (2)
日本文学の歴史(中古) (2)	近世文学の探究(2)	中国の古典(歴史) (2)
日本文学の歴史(中世) (2)	近現代文学の探究(2)	日本民俗学の諸問題(2)
日本文学の歴史(近世) (2)	比較文学 I (2)	日本の児童文学(2)
日本文学の歴史(近代) (2)	比較文学 II (2)	

◆◆文学部 第2部 日本文学文化学科 カリキュラムマップ◆◆

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ	第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ
基礎1		基礎2		応用		完成	
初年次ゼミナール/実践基礎ゼミナール		日本語学ゼミナールⅠA・B/古典文学文化ゼミナールⅠA・B/近現代文学文化ゼミナールⅠA・B/比較文学文化ゼミナールⅠA・B		日本語学ゼミナールⅡA・B/古典文学文化ゼミナールⅡA・B/近現代文学文化ゼミナールⅡA・B/比較文学文化ゼミナールⅡA・B		日本語学ゼミナールⅢA・B/古典文学文化ゼミナールⅢA・B/近現代文学文化ゼミナールⅢA・B/比較文学文化ゼミナールⅢA・B	
日本語概説A・B/日本文学文化概説A・B/日本文学の歴史(中世)/日本文学の歴史(近世)/日本文学の歴史(近代)/日本文学の歴史(現代)		日本語学ゼミナールⅠA・B/古典文学文化ゼミナールⅠA・B/近現代文学文化ゼミナールⅠA・B/比較文学文化ゼミナールⅠA・B		日本語学ゼミナールⅡA・B/古典文学文化ゼミナールⅡA・B/近現代文学文化ゼミナールⅡA・B/比較文学文化ゼミナールⅡA・B		卒業論文/卒論指導A・B	
日本語専攻A・B/上代文学の探究/中世文学の探究/近世文学の探究/現代文学の探究/万葉文化の世界/平安朝文化の世界/戦国文化の世界/江戸文化の世界/近代文化の諸問題		日本語専攻A・B/上代文学の探究/中世文学の探究/近世文学の探究/現代文学の探究/万葉文化の世界/平安朝文化の世界/戦国文化の世界/江戸文化の世界/近代文化の諸問題		日本語専攻A・B/上代文学の探究/中世文学の探究/近世文学の探究/現代文学の探究/万葉文化の世界/平安朝文化の世界/戦国文化の世界/江戸文化の世界/近代文化の諸問題		卒業論文/卒論指導A・B	
伝籍技能を学ぶ/伝籍行事を学ぶ/方言と文化/日本美術の世界/日本映画の世界/マンガ文化研究/アニメーション文化研究/日本の出版メディア/韓国文化と社会/中国の古典(文学)/中国の古典(思想)/中国の古典(哲学)/中国の古典(歴史)/書道ⅠA・B/書道史		古典籍に親しむ/日本民俗学の諸問題/日本の児童文学/日本の仏教史A・B/書道ⅡA・B		古典籍に親しむ/日本民俗学の諸問題/日本の児童文学/日本の仏教史A・B/書道ⅡA・B		書道ⅡA・B/書論	
比較文学Ⅰ・Ⅱ		世界の文学文化と日本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		世界の文学文化と日本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		比較文学文化研究Ⅰ・Ⅱ	
		国語科教育論Ⅰ・Ⅱ/教職国語(古典)/教職国語(現代文)		国語科指導法Ⅰ・Ⅱ/書道科指導法Ⅰ・Ⅱ		教育実践演習(中・高)	
図書館概論/図書館サービス概論		図書館概論/図書館サービス概論		図書館概論/図書館サービス概論		図書館概論/図書館サービス概論	
情報サービス論/児童サービス論/図書/図書館史/図書館制度・経営論/図書館情報資源概論/図書館情報資源特論/図書館情報資源組織論/図書館情報技術学習指導と学校図書館/読書と豊かな人間性/学校図書館と情報メディアの活用/学校図書館メティアの構成		情報サービス演習A・B/情報資源組織演習A・B		情報サービス演習A・B/情報資源組織演習A・B		情報サービス演習A・B/情報資源組織演習A・B	

対応DP

DP1 思考・実践

多面的な思考力にもとづき、他者と協働して問題解決できる。

DP2 専門(知識・理解)

日本のことはやや文学文化を探究し、理解できる。

DP3 総合(知識・理解)

人文科学に関する総合的な知識を身につけ、運用できる。

DP4 国際・社会

グローバルな現代社会の一員として活躍できる。

教職科目

司資格関連科目※
(図書館司書/学校図書館司書教諭)

※文学部共通科目であるが、開講主体は日本文学文化学科

第2部 教育学科

◆◆明日のための教育学 ―ともに学び、ともに育つ―◆◆

教育学とは、人間が学び、生涯にわたって「よりよく生きる」ことを支える学問です。学校教育や特別支援教育、社会教育などの研究領域で、「人間にとって学びとは何か」「発達とは何か」「学びや発達をどう支えるか」など、さまざまな問いが立てられ、研究が進められています。

東洋大学文学部教育学科は、これまで「人間の発達」を生涯にわたるものとしてとらえ、人々の豊かな暮らしや住みよい社会の実現に貢献する学生を育ててきました。そして、現代社会が抱える諸問題の解決に他者と協働しながら創造的に取り組むことのできる21世紀のリーダーを送り出すため、充実した教育の実現を目指します。

◆◆教育学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の養成に関する目的
「生涯にわたる教育」の在り方を追究するなかで、「人間の発達」を総合的にとらえ、人間の発達と社会の発展に貢献できる21世紀のリーダーとなりうる人材の養成を目指す。
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
生涯にわたる人間の発達を総合的にとらえ、人間の発達と学習の支援に貢献できる能力を修得させる。そのために、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域からなるカリキュラムにもとづいた専門的な力量を身につけさせる。

◆◆第2部教育学科（イブニングコース）3つのポリシー◆◆

◎「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

教育学科（イブニングコース）では、生涯にわたる人間の発達を総合的にとらえ、人間の発達と学習の支援に貢献できる以下の能力を身につけた者に対して、卒業を認定し、学位を授与する。

1. 幅広い学問領域について基礎的な知識・技能を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明・活用できる。
2. 人間と社会の可変性を理解し、求められる教育の在り方を理論的、実践的に考察することができる。
3. 基本的な心理学的知識と研究方法について理解し、それらを多様な人々の理解と援助に役立てることができる。
4. 生涯にわたる学習に関する基礎的知識を修得し、地域で学ぶ学習者に対する支援ができる。
5. 学校教育の意義や教師の役割を理解し、学習者に対する適切な支援や多文化共生に向けた指導ができる。
6. 特別支援教育に関する基礎的知識を修得し、特別なニーズのある人の課題解決に役立てることができる。

◎「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

教育学科（イブニングコース）では、ディプロマ・ポリシーに基づき、次の方針でカリキュラムを編成する。

1. 大学におけるスタディ・スキルを身に付けられるように、初年次教育として、「大学生として学ぶ」と「教育学演習Ⅰ」を必修とする
2. 学生が主体的に学ぶ力量を育てるため、すべての学生に少人数教育の機会を保障し、2年次から4年次にわたって教育学演習を必修とする。
3. 教育という営みを総合的にとらえるため、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学

校教育」「特別支援教育」の5領域を設定し、各領域の理論的・実践的課題について、基礎的知識の獲得と発展的研究をおこなう。

- すべての学生に卒業論文執筆を課し、これをもって学士課程修了に十分な能力を獲得したかどうかの基準とする。

◎「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

教育学科(イブニングコース)では、学士課程教育を行うにあたり、次のような学生を受け入れることとする。

- 現代社会が直面する課題の解決に自ら取り組もうとする主体性と学習意欲をもつ学生。
- 人間と社会について深い洞察力を持ち、思考力と表現力に富む学生。
- 人間の成長・発達に深い関心を持ち、将来教え育てる実践を通して社会に貢献する意欲のある学生。

なお上記に加えて、教科の学習だけでなく、文化・芸術・スポーツ活動、社会的活動などへの参加経験があることが望ましい。

◆第2部 教育学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る(卒業する)には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学習の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計124単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16単位以上 「哲学・思想」から2単位以上、「キャリア・市民形成」から2単位以上を修得すること。	
	英語特別教育科目			
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		16単位以上 国際コミュニケーション科目1カ国語4単位以上を修得すること。	
専門科目	必修科目		32単位	専門科目合計74単位以上
	選択科目	教育と現代社会 心理学と発達臨床 社会教育 学校教育 特別支援教育	42単位以上	
教職科目			卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計124単位以上	

◆◆ 2021 年度第 2 部教育学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目							
専門科目 74 単位以上	必修科目 32 単位	必修	EDU127	教育学概論	1～2	2	セット
		必修	EDP105	教育心理学概論	1～2	2	
		必修	EDU128	生涯学習概論 I	1～2	2	
		必修	EDU129	教職論	1～2	2	
		必修	EDP106	生涯発達心理学	1～2	2	
		必修	SNE114	特別支援教育基礎論	1～2	2	
		必修	SEM125	大学生として学ぶ	1	2	
		必修	SEM126	教育学演習 I	1	2	
		必修	SEM228	教育学演習 II A	2	2	
		必修	SEM229	教育学演習 II B	2	2	
		必修	SEM327	教育学演習 III A	3	2	
		必修	SEM328	教育学演習 III B	3	2	
		必修	THE448	教育学卒論演習 A	4	1	
		必修	THE449	教育学卒論演習 B	4	1	
		必修	THE450	卒業論文	4	6	
専門科目 74 単位以上	選択科目 42 単位以上	選択	SOE107	教育の現代的課題	1～4	2	相互聴講
		選択	SOE204	教育とシチズンシップ	1～4	2	
		選択	JPH122	社会文化史(日本)	1～4	2	
		選択	HEA106	社会文化史(西洋)	1～4	2	
		選択	HUG104	文化地誌学	1～4	2	
		選択	EDU142	教育史	1～4	2	
		選択	EDU130	教育思想	1～4	2	
		選択	EDU131	比較政策論	1～4	2	
		選択	SOE108	学校教育社会学	1～4	2	
		選択	SOE109	比較社会論	1～4	2	
		選択	HIT108	アメリカ思想史	1～4	2	
		選択	SOE110	社会学	1～4	2	
		選択	ECO104	経済学	1～4	2	
		選択	ECO204	経済と教育	1～4	2	
		選択	PHE135	哲学概説	1～4	2	
		選択	PHE136	倫理学概説	1～4	2	
		選択	JPH123	日本史 A	1～4	2	
		選択	JPH124	日本史 B	1～4	2	
		選択	HSG122	外国史 A	1～4	2	
		選択	HSG123	外国史 B	1～4	2	
		選択	EDP107	家族心理学	1～4	2	
		選択	EDP210	教育相談の理論と方法	1～4	2	
		選択	PSY109	心理学の研究と理論	1～4	2	
		選択	CLI102	カウンセリングの理論と実際	1～4	2	
		選択	SNE116	発達障害児・者の心理	1～4	2	
		選択	EDU132	生涯学習概論 II	1～4	2	
		選択	EDU133	女性問題と学習	1～4	2	
		選択	EDU134	社会教育課題研究 I	1～4	2	
		選択	EDU135	社会教育課題研究 II	1～4	2	
		選択	EDU136	グローバル化と学習	1～4	2	
		選択	EDU137	家庭教育論	1～4	2	
		選択	EDU138	視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)	1～4	2	
		選択	EDU206	社会教育経営論 I	1～4	2	
		選択	EDU207	社会教育経営論 II	1～4	2	
		選択	EDU208	生涯学習支援論 I	1～4	2	
		選択	EDU209	生涯学習支援論 II	1～4	2	
		選択	EDU210	社会教育実習	2～4	1	
		選択	EDU307	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	1～4	2	
		選択	EDU140	児童文化研究	1～4	2	
		選択	ESS233	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1～4	2	
		選択	EDU141	教育課程論	1～4	2	
選択	SNE115	特別支援教育概論 I	1～4	2			
選択	SNE117	特別支援教育概論 II	1～4	2			
選択	SNE118	知的障害教育論	1～4	2			
選択	SNE119	肢体不自由教育論	1～4	2			

セット … A・B セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目
 1 部開講 … 第 1 部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講 … 第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
				教職科目			
教職科目		選択	POL201	政治学原論A	2～4	2	卒業単位に 含めない科目
		選択	POL202	政治学原論B	2～4	2	
		選択	ILA201	国際法A	2～4	2	
		選択	ILA202	国際法B	2～4	2	
		選択	CIL203	民法A	1～2	2	
		選択	CIL204	民法B	1～2	2	
		選択	GGR114	人文地理学A	1～2	2	
		選択	GGR115	人文地理学B	1～2	2	
		選択	GGR116	自然地理学A	1～2	2	
		選択	GGR117	自然地理学B	1～2	2	
		選択	GGR118	地誌学A	1～2	2	
		選択	GGR119	地誌学B	1～2	2	
		選択	ESS315	道德教育論	2～3	2	
		選択	ESS230	生徒指導論(進路指導論を含む)	1～2	2	
		選択	ESS406	教職実践演習(中・高)	4	2	
		選択	ESS407	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	
	選択	ESS408	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3		

セット・・・A・Bセット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

◆◆ 科目の履修上の注意 ◆◆

必修科目

4年次の卒業論文の履修登録は、第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限ります。

セット履修科目

教育課程表に「セット」とある科目は、同一名称の科目Aと科目Bをセットで履修することを原則とします。従って、春学期に科目Aを履修した場合は秋学期に同コースの科目Bを履修してください。

原級した場合の教育学卒論演習の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「教育学卒論演習A」「教育学卒論演習B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「教育学卒論演習A」を秋学期に、「教育学卒論演習B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

教職に関する科目の読替

下表の左欄の教育学科専門科目は、履修かつ修得した後、右欄の教職に関する科目に読み替えることができ、卒業単位としても認められます。

ただし、下表の右欄の教職に関する科目を履修かつ修得しても、左欄の教育学科専門科目に読み替えることはできません。また、卒業単位としても認められません。

教育学科の専門科目 (卒業単位に認められる)	単位数	読み替えとなる教職に関する科目 (卒業単位に認められない)	単位数
学校教育社会学	2	教育制度論	2
教育相談の理論と方法	2	教育相談	2

教育学科第1部・第2部相互聴講実施要領

以下の条件を満たす場合、第1部教育学科専門科目の履修を認めます。

- (1) 卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 第1部教育学科の教育課程表の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法
第1部開講科目の履修を希望する場合は、第2部の科目と同様に、履修登録をしてください。
- (6) 対象科目
教育課程表の「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目。

◆文学部第2部教育学科 カリキュラムマップ◆

	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		対応 DP
	春 (第1セメスタ)	秋 (第2セメスタ)	春 (第3セメスタ)	秋 (第4セメスタ)	春 (第5セメスタ)	秋 (第6セメスタ)	春 (第7セメスタ)	秋 (第8セメスタ)	
教育と現代社会	社会学, 経済学, 哲学概説, 倫理学概説, 教育学概説	日本史A, 日本史B, 外国史A, 外国史B	教育の現代的課題, 社会文化史(日本), 社会文化史(西洋), 比較政策論, アメリカ思想史, 教育思想, 教育史	経済と教育	教育とシチズンシップ				「教育と現代社会」の領域にかかわる専門的力の獲得
心理学と発達臨床	心理学の研究と理論	教育心理学概論, 生涯発達心理学	家族心理学, カウンセリングの理論と実際, 発達障害児・者の心理		教育相談の理論と方法				「心理学と発達臨床」の領域にかかわる専門的力の獲得
社会教育	生涯学習概論Ⅰ	生涯学習概論Ⅱ, 女性問題と学習, グローバル化と学習, 家庭教育論, 視覚教育(視覚メディア論を含む)	生涯学習支援論Ⅰ, 生涯学習支援論Ⅱ, 社会教育経営論Ⅰ, 社会教育経営論Ⅱ	社会教育実習					「社会教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
学校教育	教育学演習Ⅰ	教育学演習ⅠA	教育学演習ⅠB	教育学演習ⅡA	教育学演習ⅡB	教育学卒論演習A	教育学卒論演習B	卒業論文	「学校教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
特別支援教育	教職論	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む), 児童文化研究, 教育課程論	特別活動と総合的な学習の時間の指導法						「特別支援教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
教科科目		政治学原論A, 政治学原論B, 国際法A, 国際法B	道徳教育論	生徒指導論(進路指導論を含む)	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む) 教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(中・高)				
	人文地理学A, 人文地理学B, 民法A, 民法B, 地誌学A, 地誌学B, 自然地理学A, 自然地理学B								

教育課程及び履修に際しての注意

第2部 他学部他学科開放科目

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修方法
文学部	東洋思想文化学科	CIB132	インド思想史A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB133	インド思想史B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB136	仏教思想概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB137	仏教思想概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	SOC136	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	SOC137	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT136	日本文学の歴史(上代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT137	日本文学の歴史(中古)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT138	日本文学の歴史(中世)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT139	日本文学の歴史(近世)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT140	日本文学の歴史(近代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT141	日本文学の歴史(現代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT230	万葉文化の世界	2～4	2	いずれか
文学部	日本文学文化学科	JLT231	平安朝文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT232	室町・戦国文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT233	江戸文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT234	近現代文化の諸問題	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT235	古典籍に親しむ	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA205	日本民俗学の諸問題	2～4	2	
文学部	教育学科	JPH122	社会文化史(日本)	1～4	2	
文学部	教育学科	HEA106	社会文化史(西洋)	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU131	比較政策論	1～4	2	
文学部	教育学科	SOE109	比較社会論	1～4	2	
文学部	教育学科	HIT108	アメリカ思想史	1～4	2	
経済学部	経済学科	EDE205	経済哲学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EDE206	経済哲学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP126	海外経済研修Ⅰ	1～4	2	
経済学部	経済学科	ECP127	海外経済研修Ⅱ	1～4	2	
経済学部	経済学科	ECP128	海外経済研修Ⅲ	1～4	2	
経済学部	経済学科	ECP326	日本経済論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP327	日本経済論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP328	ヨーロッパ経済論A	1～4	2	
経済学部	経済学科	ECP329	ヨーロッパ経済論B	1～4	2	
経済学部	経済学科	EPS205	エネルギー経済学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EPS206	エネルギー経済学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP330	経済発展論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP331	経済発展論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	MOF313	国際金融論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	MOF314	国際金融論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP407	多国籍企業論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP408	多国籍企業論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP233	労働経済学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP234	労働経済学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	PFP317	地方財政論	3～4	2	
法学部	法律学科	LIN111	語学研修A	1～4	2	
法学部	法律学科	LIN112	語学研修B	1～4	2	
法学部	法律学科	LAW113	海外法学研修	1～4	2	
法学部	法律学科	CRL209	刑事政策A	2～4	2	
法学部	法律学科	CRL210	刑事政策B	2～4	2	
法学部	法律学科	POL213	政治学原論A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL214	政治学原論B	2～4	2	
法学部	法律学科	POL215	行政学A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL216	行政学B	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL207	雇用関係法A	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL208	雇用関係法B	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL209	労使関係法・労働市場法A	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL210	労使関係法・労働市場法B	2～4	2	
法学部	法律学科	ILA205	国際法A	2～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修方法
法学部	法律学科	ILA206	国際法B	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL203	英米法A	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL204	英米法B	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL205	フランス法	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL206	ドイツ法	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL113	法制史(日本)A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL114	法制史(日本)B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL115	法制史(西洋)A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL116	法制史(西洋)B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL119	法哲学A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL120	法哲学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC257	社会学史A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC258	社会学史B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC260	家族社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC261	家族社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC262	環境社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC263	環境社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC266	犯罪社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC267	犯罪社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	STS205	社会統計学	2～4	2	
社会学部	社会学科	SOC259	質的調査法	2～4	2	
社会学部	社会学科	HIT301	社会文化思想史A	1～4	2	
社会学部	社会学科	HIT302	社会文化思想史B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC264	宗教社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC265	宗教社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	LIH140	社会情報学基礎論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC142	社会情報学基礎論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC143	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC144	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	LIH138	情報学基礎論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	LIH139	情報学基礎論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC145	コミュニケーション論	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC146	情報倫理概論	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOP105	集合行動論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOP106	集合行動論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	CLI207	臨床心理学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	CLI208	臨床心理学B	1～4	2	
国際学部	国際地域学科	INR114	国際政治学I	1	2	
国際学部	国際地域学科	ECT145	マクロ経済学	1	2	
国際学部	国際地域学科	ECT146	ミクロ経済学	1	2	
国際学部	国際地域学科	CUA119	Participatory Development	1	2	
国際学部	国際地域学科	ECO214	経済地理学	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	HUG202	都市地理学	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	ECP243	アジア経済論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CUA118	文化人類学入門	1	2	
国際学部	国際地域学科	MAN147	Japanese Economy and Business	1	2	
国際学部	国際地域学科	ARS222	アジア地域研究	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	CUA207	宗教と社会	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SOC290	Sociology of Islam	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	LIG205	比較芸術論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SOC170	地域社会学	1	2	
国際学部	国際地域学科	HUG108	都市論	1	2	
国際学部	国際地域学科	TPA102	まちづくり論	1	2	
国際学部	国際地域学科	TPA207	コミュニティ開発論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	POL220	地方自治論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	SOC289	社会調査法	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	TPA208	都市計画	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	PFP327	社会政策論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	TPA305	都市住宅論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	HPH102	国際環境計画入門	1	2	
国際学部	国際地域学科	NDD103	自然災害と防災	1	2	
国際学部	国際地域学科	NDD104	災害と復興	1	2	
国際学部	国際地域学科	CEE203	環境管理適正技術論	2～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修方法
国際学部	国際地域学科	DEV203	環境システム論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	ENE202	エネルギー・資源論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	DEV204	Global Water Problems	2～4	2	
国際学部	国際地域学科	EPS303	Environmental Issues in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	GGR308	経済地理学	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	SWS231	社会政策論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	POL215	地方自治論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ABE303	まちづくり手法論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	SOC331	地域社会学Ⅰ	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ABE304	都市計画	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	INR119	国際政治学	1	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ECP241	アジア経済論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	PFP213	公共経済学	1～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ENE106	エネルギー・資源論	1	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	NDD204	災害と復興	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	DEV203	環境システム論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	DEV102	水資源と水環境	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	EPS302	Environmental Issues in Asia	2～4	2	

諸資格





諸資格について 図書館司書

◆資格◆

図書館司書とは、図書資料の貸し出しや返却業務、利用者の相談に応じるレファレンスサービスや読書案内、資料の収集・分類・目録作成などを行う専門職です。司書になるための資格は、大学で学部の卒業に必要な単位を修得して学士の学位を取得し、さらに司書に関する専門科目についての単位を修得することによって取得できます。本学で開講している科目と単位数および配当学年は次頁の表のとおりです。

就職先の図書館は、公共図書館、大学図書館、企業図書館などがあります。司書として就職するためには、当該自治体の採用試験を受けて図書館に配属される必要があります。公立図書館の場合、地方公共団体が実施する地方公務員採用試験を受験し、図書館への勤務を希望することになります。

◆修得に必要な科目と単位数◆

①修得に必要な科目について

本学において司書資格の取得を希望する者は、次頁の表に示す本学開講科目の必修科目と、選択科目の「**図書館情報資源特論**」と「**図書・図書館史**」を履修かつ修得しなければなりません。

②「情報サービス演習 A」「情報サービス演習 B」の履修について

- I. 「情報サービス演習 A・B」の履修には、前年度までに「図書館サービス概論」と「情報サービス論」を修得しておくか、履修年度に「図書館サービス概論」と「情報サービス論」を履修することが望ましいです。「情報サービス演習 A・B」は、「図書館サービス概論」と「情報サービス論」の内容を踏まえたうえで授業を行います。そのため、これらの科目が未履修だと、演習課題に取り組むことが困難で単位修得に支障をきたす可能性があります。履修時期については慎重に考えてください。
- II. 「**情報サービス演習 A**」と「**情報サービス演習 B**」は通年履修（同年度に A と B をセットで履修すること）を原則とします。

③「情報資源組織演習 A」「情報資源組織演習 B」の履修について

- I. 「情報資源組織演習 A・B」の履修には、前年度までに「図書館情報資源概論」と「情報資源組織論」を修得しておくか、履修年度に「図書館情報資源概論」と「情報資源組織論」を履修することが望ましいです。「情報資源組織演習 A・B」は、「図書館情報資源概論」と「情報資源組織論」の内容を踏まえたうえで授業を行います。そのため、これらの科目が未履修だと、演習課題に取り組むことが困難で単位修得に支障をきたす可能性があります。履修時期については慎重に考えてください。
- II. 「**情報資源組織演習 A**」と「**情報資源組織演習 B**」は通年履修（同年度に A と B をセットで履修すること）を原則とします。

◆◆ ガイダンスについて ◆◆

毎年4月初めに「図書館司書・学校図書館司書教諭ガイダンス」を開催して科目の履修方法などの説明を行います。履修希望者は履修希望初年度に必ず出席してください。

◆◆ 第1部・第2部間相互聴講制度について ◆◆

図書館司書資格の取得を希望する者は、以下の履修条件で第1部・第2部間相互聴講制度を活用することができます。

○第1部・第2部間相互聴講制度の履修条件

- ①卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- ②各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- ③履修かつ修得した単位は、文学部基盤科目として、卒業単位に算入します。
- ④履修方法

第1部の学生が、第2部開講科目の履修を希望する場合には第1部の科目と同様に履修登録をしてください。第2部の学生が、第1部開講科目の履修を希望する場合も同様に履修登録を必要とします。

「生涯学習概論Ⅰ」は、第1部・第2部間相互聴講制度は適用されません。

2021年度第1部・第2部入学生用

	法令上の科目	群	単位	本学開講科目	単位	配当学年
必修	生涯学習概論	甲	2	生涯学習概論Ⅰ	2	1～2
	図書館概論	甲	2	図書館概論	2	1～2
	図書館制度・経営論	甲	2	図書館制度・経営論	2	1～4
	図書館情報技術論	甲	2	図書館情報技術論	2	1～4
	図書館サービス概論	甲	2	図書館サービス概論	2	1～2
	情報サービス論	甲	2	情報サービス論	2	1～4
	児童サービス論	甲	2	児童サービス論	2	1～4
	情報サービス演習	甲	2	情報サービス演習A	1	2～4
				情報サービス演習B	1	2～4
	図書館情報資源概論	甲	2	図書館情報資源概論	2	1～4
	情報資源組織論	甲	2	情報資源組織論	2	1～4
	情報資源組織演習	甲	2	情報資源組織演習A	1	2～4
			情報資源組織演習B	1	2～4	
選択	図書館情報資源特論	乙	1	図書館情報資源特論	2	1～4
	図書・図書館史	乙	1	図書・図書館史	2	1～4
資格取得のための最低単位数			24		26	

※選択科目について

本学では、法令上の科目の乙群（選択科目）として「図書館情報資源特論」と「図書・図書館史」の2科目を開講しています。乙群（選択科目）からは2科目を修得することが必修となっています。そのため、本学では上記の表に記載するすべての科目を修得することが条件となりますので注意してください。



諸資格について 学校図書館司書教諭

◆◆ 資格および実務 ◆◆

「学校図書館法」に基づき学校図書館で専門的職務に従事する職員を「司書教諭」と称します。この資格を取得しようとする場合は、教職課程を履修し、教育職員免許状を取得することが前提となり、同時に文部科学省令に定められた司書教諭講習科目を履修して単位を修得すると、「学校図書館法施行規則」に規定される、司書教諭の資格が与えられます。

◆◆ 修得すべき科目と単位数 ◆◆

本学において司書教諭資格の取得を希望する者は、下記の表に示されている開講科目をすべて履修し、単位を修得すると同時に、教育職員免許状を取得しなければなりません。
※学校図書館には司書教諭のほかに司書（学校司書）として採用されることがありますが、この場合は図書館司書の資格が求められます。

2021 年度第 1 部・第 2 部入学生用

学校図書館司書教諭 講習規定における科目	単位	本学開講科目	単位	配当学年
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	1～4
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	1～4
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	1～4
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	1～4
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	1～4

◆◆ 申請資格 ◆◆

司書教諭の資格を取得するには、申請手続きが必要となります。不備がある場合には申請できませんので、以下の点に注意してください。

- ・ 司書教諭の資格に必要な単位（上記の全 5 科目 10 単位）を修得見込であること。
- ・ 3 年生は、62 単位以上を修得見込であること。
- ・ 4 年生は、教育職員免許状を取得見込または教育職員免許状取得者であること。

※ただし、申請年度の単位修得状況によっては、申請を取り下げます。

◆◆ 第 1 部・第 2 部間相互聴講制度について ◆◆

学校図書館司書教諭資格の取得を希望する者は、以下の履修条件で第 1 部・第 2 部間相互聴講制度を活用することができます。

○ 第 1 部・第 2 部間相互聴講制度の履修条件

- ①卒業までに 30 単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- ②各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24 単位）に算入します。
- ③履修かつ修得した単位は、文学部基盤科目として、卒業単位に算入します。
- ④履修方法

第 1 部の学生が、第 2 部開講科目の履修を希望する場合には第 1 部の科目と同様に履修登録をしてください。第 2 部の学生が、第 1 部開講科目の履修を希望する場合も同様に履修登録を必要とします。

◆申請手続きとスケジュール◆

申請の手続方法とスケジュール詳細については、文学部掲示板および ToyoNet-G のお知らせで配信しますので、各自確認をしてください。なお、「学校図書館司書教諭講習修了証書」は申請手続から約1年後に文部科学省から交付されます。

3年次に手続する場合 〈修了証書の発行は4年次3月〉	4年次に手続する場合 〈修了証書の発行は卒業から1年後〉	手続き内容
—	7月	教育職員免許状一括申請手続説明会
12月	12月	学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する掲示
—	12月(予定)	教育職員免許状一括申請手続
1月上旬	1月上旬	学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する書類配布
1月中旬	1月中旬	学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する書類提出
3月上旬	3月上旬	学校図書館司書教諭講習修了証書申請手数料納入・署名
4年次3月	卒業から1年後の3月	学校図書館司書教諭講習修了証書交付(本人宛郵送)

※文部科学省から「学校図書館司書教諭講習修了証書」が授与されても、教育職員免許状を取得し、「学校図書館司書教諭講習修了証書」と教育職員免許状の2つが揃った時点からその効力が生じるため、4年次の教育職員免許状取得のための手続を怠らないでください。

※学校図書館司書教諭としての採用を目指す者は「学校図書館司書教諭講習修了証書」の交付年に気をつけてください。

※不明点は教務課窓口にお問い合わせください。

◆申請手続きチェックリスト◆

各自で手続を行ったら、チェック欄にチェックを入れましょう。

手続内容	チェック
教育職員免許状一括申請手続説明会に参加する。	
学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する掲示を確認する。	
教育職員免許状一括申請手続を行う。	
学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する書類を受け取る。	
学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する書類を提出する。	
学校図書館司書教諭講習修了証書申請手数料納入・署名。	
学校図書館司書教諭講習修了証書の受取。	

諸資格について 博物館学芸員 〈第1部学生のみ対象〉

◆◆ 業務 ◆◆

博物館には狭義の博物館のほか、美術館、考古学・歴史関係史料館、郷土館、記念館、民芸館および科学博物館、動物園、水族館、科学館、天文館などが含まれます。これらは学校教育と並んで重要なものである社会教育のための機関であり、そこには専門職員として学芸員を置かなければならないことが法によって定められています（博物館法第4条第3項）。

学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的な事項をつかさどる、と定められています（博物館法第4条第4項）。

◆◆ 資格 ◆◆

学士の学位を有する者で大学において次の科目および単位を修得した者は、学芸員となる資格を有します。

◆◆ 修得すべき科目と単位数 ◆◆

博物館法第5条第1項第1号の規定による、大学において修得すべき博物館に関する科目および単位と、それに対応する本学開講科目および単位は次の表によります。

2021年度第1部入学生用

	法令上の科目	単位	本学開講科目	単位	学年	開講学科	備考
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ	2	1・2	教育学科	注)1を参照
	博物館概論	2	博物館概論	2	1・2	史学科	注)1を参照
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	2	史学科	注)1を参照
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	2	史学科	注)1を参照
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	3・4	史学科	
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	2～4	史学科	注)1を参照
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	1～4	史学科	
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	2～4	史学科	
	博物館実習	3	博物館実習ⅠA	1	3	史学科	注)2を参照
		博物館実習ⅠB	1	3	史学科	注)2を参照	
		博物館実習Ⅱ	1	4	史学科		
選択科目	文化史		伝統芸能を学ぶ	2	1～4	日本文学文化学科	
			伝統行事を学ぶ	2	1～4	日本文学文化学科	
			平安朝文化の世界	2	2～4	日本文学文化学科	
			室町・戦国文化の世界	2	2～4	日本文学文化学科	
			古典籍に親しむ	2	2～4	日本文学文化学科	
			古文書学ⅠA	2	1～4	史学科	
			古文書学ⅠB	2	1～4	史学科	
			古文書学ⅡA	2	1～4	史学科	
		古文書学ⅡB	2	1～4	史学科		
	美術史		日本美術の世界	2	1～4	日本文学文化学科	
	考古学		考古学研究A	2	2～4	史学科	
			考古学研究B	2	2～4	史学科	
	民俗学		日本民俗学の諸問題	2	2～4	日本文学文化学科	

注)1 「博物館実習ⅠA」「博物館実習ⅠB」の履修は、2年次までの必修科目(「博物館概論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館資料論」「生涯学習概論Ⅰ」)を全て修得していることを条件とします。

注)2 実習のコースは2種類に分かれる。1コースは民俗・書誌、3コースは考古学・一般である(2コースは休講)。

◆学芸員資格取得にかかわる必修科目の位置づけについて◆

学芸員資格のための必修科目は、博物館法施行規則（文部科学省令 24 号）にもとづき、本学学則で定められたものです。このうち、「博物館実習」は博物館法に認められた博物館において行われるもので、学内実習はそれを補充するためのものです。したがって、実習は博物館業務の現場において、学外博物館の協力のもとで行われることが必要条件となっています。いわば現任の学芸員に準ずるような作業を行うこととなります。したがって、受講生は実習を受ける以前に、博物館学芸員としての基本教育（「博物館概論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館資料論」）、学芸員の教育者としての基本教育（「博物館教育論」）、学芸員の社会教育者としての基本的教育（「生涯学習概論Ⅰ」）が行われていなければなりません。本学のカリキュラム構成もその原則を踏まえたものとなっています。

◆履修上の注意◆

- ①この資格を取得できるのは、**第1部の文学部・社会学部学生のみ**です。
- ②必修科目はすべて修得しなければなりません。
- ③「博物館実習ⅠA」「博物館実習ⅠB」の履修は、**2年次までの必修科目（「博物館概論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館資料論」「生涯学習概論Ⅰ」）を全て修得していること**を条件とします。
※「博物館経営論」および「博物館展示論」は**2年次配当科目**のため、履修の際は特に注意してください。
- ④選択科目は、**法令上の科目2科目以上から12単位以上**を修得しなければなりません。
- ⑤「博物館実習ⅠB」の履修登録は「博物館実習ⅠA」を修得していることが条件です。
- ⑥4年次に配当されている「博物館実習Ⅱ」の履修登録は、下記の条件を満たしていることが条件です。
 - 〈1〉：「博物館実習ⅠA」「博物館実習ⅠB」の単位を修得していること。
 - 〈2〉：「博物館教育論」の単位を修得していること、または「博物館実習Ⅱ」の履修年度に「博物館教育論」を履修していること。
- ⑦上級学年に配当されている科目は履修できません。
※「博物館実習Ⅱ」の履修を希望する場合は、実習料（10,000円）および学研災付帯賠償責任保険料を所定の期間に納入しなければなりません。一度納入した実習料等は、返金しないので特に注意してください。また、実習生への連絡は、**博物館実習室掲示板（白山キャンパス5号館地下1階5B11教室前）とToyoNet-G**で行います。

博物館実習スケジュール

月	3年生	4年生
4	博物館実習ⅠA履修許可者発表 履修登録 授業開始	博物館実習Ⅱ履修登録 実習料納入 授業開始
6		実習館決定
7～9	ガイダンス(第1回目)	館務実習
11～12	見学学習、ガイダンス(第2回目)	
1	次年度実習予定館内定	

※館務実習先は、原則として自己開拓し、約2週間行います。詳しくはガイダンス等で説明するので、必ず出席してください。



諸資格について 社会福祉主事

社会福祉主事は、福祉事務所の相談業務を担当する職員の資格ですが、下記の「社会福祉主事の資格に関する指定科目」のうちから「3科目以上を修得」した者に任用資格が認められています。しかし、地方公務員として採用されなければ、この資格を活かすことはできません。なお、この資格を基礎とし、実務経験を持てば、児童福祉司等に任用されます。また、民間福祉施設の職員採用条件として、社会福祉主事任用資格が求められることが多いです。

(1) 資格

大学において、社会福祉に関する科目を修めて卒業した者（社会福祉法第19条第1号）。

(2) 修得すべき科目

下記の社会福祉主事の資格に関する指定科目のうちから3科目以上を修得すること。

社会福祉主事の資格に関する指定科目における本学開講科目のうち、いずれか1科目修得することで、当該指定科目を修得したとみなされます。但し、]がついている科目はセットで履修・修得することで1科目としてみなされます。

社会福祉主事に関する科目〈第1部学生対象〉

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目	社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目	
社会福祉概論	社会福祉の原理と政策A] 社会福祉の原理と政策B]	行政法	行政法ⅠA] 行政法ⅠB] 行政法ⅡA] 行政法ⅡB]	
社会福祉事業史	社会福祉発達史] 欧米の社会福祉史]		経済学	経済学A] 経済学B] 経済学入門A] 経済学入門B] 国際公共経済A] 国際公共経済B] 経済学(マクロ)] 経済学(ミクロ)] 応用マクロ経済学] 応用ミクロ経済学] 経済原論A] 経済原論B] ミクロ経済学入門] マクロ経済学入門]
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職A] ソーシャルワークの基盤と専門職B] ソーシャルワークの理論と方法A] ソーシャルワークの理論と方法B] ソーシャルワークの理論と方法C] ソーシャルワークの理論と方法D]	社会政策		社会政策論] 社会政策A] 社会政策B]
社会福祉調査論	社会福祉調査の基礎] 社会調査法]			経済政策
社会保障論	社会保障論] 社会保障論A] 社会保障論B]	心理学		
公的扶助論	貧困に対する支援]			社会学
児童福祉論	児童・家庭福祉]	教育学		
身体障害者福祉論	障害者福祉]			倫理学
老人福祉論	高齢者福祉]	医学一般]		
医療社会事業論	医療ソーシャルワーク論]	介護概論]		
地域福祉論	地域福祉論] 地域福祉と包括的支援体制A] 地域福祉と包括的支援体制B]			
法学	法学A] 法学B]			
民法	民法A] 民法B] 民法Ⅰ(総則)A] 民法Ⅰ(総則)B] 民法Ⅱ(物権)A] 民法Ⅱ(物権)B] 民法Ⅲ(債権総論)A] 民法Ⅲ(債権総論)B] 民法Ⅳ(債権各論)A] 民法Ⅳ(債権各論)B] 民法Ⅴ(親族・相続)A] 民法Ⅴ(親族・相続)B]			

(注) 学科教育課程表および他学部他学科開放科目(専門開放科目)に掲載されていない本学開講科目は自由科目で履修してください。

社会福祉主事に関する科目（第2部学生対象）

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目
社会福祉概論	社会福祉学概論A 社会福祉学概論B
社会福祉援助技術論	社会とソーシャルワーク
社会福祉調査論	社会調査入門A 社会調査法
社会福祉行政論	福祉行政財と福祉計画
社会保障論	社会保障論
公的扶助論	公的扶助論
児童福祉論	児童福祉論
身体障害者福祉論	障害者福祉論
老人福祉論	高齢者福祉論
地域福祉論	地域福祉論
法学	法学 日本国憲法
民法	民法A 民法B 民法I(総則)A 民法I(総則)B 民法II(物権)A 民法II(物権)B 民法III(債権総論)A 民法III(債権総論)B 民法IV(債権各論)A 民法IV(債権各論)B 民法V(親族・相続)A 民法V(親族・相続)B

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目
行政法	行政法I A 行政法I B 行政法II A 行政法II B
経済学	経済学A 経済学B 経済学入門A 経済学入門B 経済原論A 経済原論B
社会政策	社会政策論 社会政策A 社会政策B
経済政策	経済政策A 経済政策B
心理学	心理学A 心理学B
社会学	社会学A 社会学B 社会学概論A 社会学概論B
教育学	教育基礎論 教育学概論
倫理学	倫理学A 倫理学B 倫理学概説A 倫理学概説B
医学一般	医学一般
介護概論	介護概論

(注) 学科教育課程表および他学部他学科開放科目に掲載されていない本学開講科目は自由科目として履修してください。



諸資格について

日本語教員養成プログラム

◆◆ 業務 ◆◆

このプログラムは、日本語を外国語として教授する専門家を養成するためのプログラムです。将来的な勤務の場としては、国内では日本語学校のほか、各種学校、公共団体、自治体、企業の日本語教育現場が想定されます。海外では、各地の大学や初・中等教育機関、外国語学校があります。さらに国際交流基金、JICA（国際協力機構）等の日本の公的機関が海外に派遣する日本語教師として活動する道もあります。

◆◆ 資格 ◆◆

日本語教育に関する国家資格の設置は、現在検討段階にあるとされています。本プログラムは、文化庁の現行の『日本語教員養成において必要とされる教育内容』ガイドラインに沿い、日本語の教授に際して必要となる知識、技能を修得させるべく組み立てられており、所定の単位を取得した学生に対し、卒業時に「東洋大学文学部日本語教員養成プログラム修了証」を授与します。この修了証は、就職を保証するものではありません。

◆◆ 履修上の注意 ◆◆

- ・このプログラムを履修できるのは、文学部第1部の学生のみです。
- ・プログラム修了のためには、必修科目9科目18単位を含む、16科目32単位以上を履修・修得しなければなりません。
- ・必修科目のない「言語と心理」の領域科目も、できるだけ履修するようにしてください。なお、推奨科目として指定された科目は、日本語教育能力検定試験の受験を考えている人や、日本語教師としての就職を考えている人にとって、学ぶべき内容を多く含んでおり、履修が望ましい科目です。
- ・プログラム修了のためには、「日本語教育実習」の単位取得が不可欠ですが、同科目の履修には、下記のとおり、条件が設定されています。条件をよく読み、予め修得しておくべき科目については、対象学科や学年配当に注意して、1年次から計画的に履修することが必要です。

◆◆ 教育実習条件 ◆◆

- ・「日本語教育実習」を履修するためには、必修科目のうち、「日本語教育論A」「日本語教育論B」「日本語教授法A」「日本語教授法B」「日本語教育文法」を、いずれもすでに修得済でなければなりません。
- ・また、実習参加にあたっては、実習費（10,000円）を所定期間に納入することが義務づけられます。さらに、学研災付賠償責任保険（保険料210円）への加入も必要となります。なお、実習費、保険料ともに、金額は変更になる可能性があります。

◆◆ 実習のスケジュール ◆◆

本プログラムでは、毎年度4月にガイダンスを実施します。日本語教育実習参加希望者は、実習年度の4月のガイダンスには特に留意し、掲示（文学部掲示板あるいは国際文化コミュニケーション学科掲示板）またはToyoNet（ACEあるいはG）を確認のうえ、必ず参加してください。

教育実習を行う場は、学内の国際教育センター、国内の日本語学校、海外の日本語教育機関のいずれかとなります。また、受け入れ先の事情などから教育実習参加人数を制限する場合があります。詳細は、ガイダンスにて説明します。

◆◆修得すべき科目と単位数◆◆

2021 年度第 1 部入学生用

領域	必修	推奨	科目名	単位数	領域	必修	推奨	科目名	単位数	
言語と教育	○		日本語教育論A	2	言語と社会	○		日本語教育政策	2	
	○		日本語教育論B	2		○		異文化交流論I A	2	
	○		日本語教授法A	2				異文化交流論I B	2	
	○		日本語教授法B	2			○		日本の言語行動	2
		○	日本語教育実践指導A	2					国際文化コミュニケーション概説A	2
		○	日本語教育実践指導B	2					国際文化コミュニケーション概説B	2
		○	日本語教育実習	2					多文化共生論A	2
			視聴覚教育	2					多文化共生論B	2
		コンピュータ・リテラシー	2					社会学A	2	
言語	○		日本語教育文法	2					社会学B	2
		○	現代日本語概説	2				教育基礎論	2	
		○	日本語史概説	2				生涯学習概論	2	
		○	対照言語学	2	社会・文化・地域	○		日本文化表象I A	2	
		○	日本語音声学	2				日本文化表象I B	2	
			言語論A	2			○		国際文化理解A	2
			言語論B	2					国際文化理解B	2
			ロジカルシンキング入門	2					文学と社会	2
		クリティカルシンキング入門	2					地域文化学入門	2	
		韓国の文化と社会	2					ジャパニーズ・アニメーションA	2	
			2					ジャパニーズ・アニメーションB	2	
言語と心理		○	認知と言語	2					日本史概説A	2
			心理学概論A	2					日本史概説B	2
			心理学概論B	2				人類学A	2	
			心理学A	2				人類学B	2	
			心理学B	2				国際関係入門	2	
								国際教育論A	2	
								国際教育論B	2	
								国際比較論A	2	
								国際比較論B	2	
					必要単位数合計		32 単位以上			



諸資格について

社会教育主事になるための資格及び「社会教育士(養成課程)」の呼称

◆◆定義と業務について◆◆

社会教育主事は都道府県及び市町村の教育委員会の事務局におかれる専門的職員で、社会教育をおこなう者に対する専門的技術的な指導と助言を与えることを職務とします。さらに、近年の社会的な要請に応え、学校を始めNPO法人や企業等の多様な主体と連携・協働した社会教育事業の企画・実施による地域住民の学習活動の支援を通じ、人づくりや地域づくりにおいて中核的な役割を果たすことが期待されています。また、2018年の文部科学省令改正により、2020年からは社会教育主事養成課程の修了者は、社会教育主事となる資格を有するのみならず、「社会教育士(養成課程)」と称することができることになりました。

◆◆資格について(社会教育法 第9条4より)◆◆

*本学の場合は、第三号(アンダーラインつき)に該当します。

社会教育法第九条の四

(以下の一号から四号のうちのどれかひとつを充足すれば資格が得られる)

- 一 大学に2年以上在学して62単位を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ、次に掲げる期間を通算した期間が3年以上になる者で、社会教育主事の講習を修了したもの
 - イ 社会教育主事補の職にあつた期間
 - ロ 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体における職で支所、学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものにあつた期間
 - ハ 官公署、学校、社会教育関係施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関する事業における業務であつて、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間(イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。)
- 二 教育職員の普通免許状を有し、かつ、5年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあつた者で、次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの
- 三 大学に2年以上在学して、62単位以上修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、第一号イからハまでに掲げる期間を通算した期間が1年以上になるもの
- 四 次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもので(第一号及び二号に掲げる者を除く。)で、社会教育に関する専門的事項について前三号に掲げる者に相当する教養と経験があると都道府県の教育委員会が認定したもの

◆◆社会教育主事になるためには◆◆

社会教育主事の資格を取得し、都道府県または市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令されることが必要です。資格を有する人が必ず社会教育主事として発令されるものではないので、社会教育主事採用方法等については、都道府県または市町村教育委員会に問い合わせてください。

◆◆社会教育士(養成課程)の呼称について◆◆

2020年度入学者より、社会教育主事養成課程の科目を全て履修したものは、「社会教育士(養成課程)」と名乗ることができ、履歴書等への記載が正式に認められます。これは大学での単位修得証明書があれば可能です。

◆◆第1部・第2部相互聴講制度について◆◆

社会教育主事になるための資格及び社会教育士（養成課程）の呼称を得ることを希望する者は、以下の履修条件で、第1部・第2部間相互聴講制度を活用することができます。

○第1部・第2部間相互聴講制度の履修条件

- ①卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- ②各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- ③履修かつ修得した単位は、文学部基盤科目として、卒業単位に算入されます。
- ④履修方法

第1部の学生が、第2部開講科目の履修を希望する場合には第1部の科目と同様に履修登録をしてください。第2部の学生が、第1部開講科目の履修を希望する場合も同様に履修登録を必要とします。

○社会教育実習条件

- ・「生涯学習概論Ⅰ」「生涯学習概論Ⅱ」を原則として履修済みであることを履修要件とします。
- ・実習参加にあたっては、実習費（10,000円）を所定期間に納入することが義務付けられます。さらに実習先への交通費の実費がかかることがあります。また実習先によっては、ボランティア保険への加入が必要になることがあります。

◆◆履修すべき科目と単位数◆◆

社会教育法の規定による、大学において修得すべき社会教育に関する科目（分野）および単位と、それに対応する本学開講科目および単位は下の表に掲げるものとし、各分野から合計24単位以上修得しなければなりません。

第1部・第2部「社会教育主事資格・社会教育士（養成課程）に関する科目」と単位数

2021年度第1部・第2部入学生用

省令により定められた科目	単位	本学開講科目	単位	学年	開講学部	備考	相互聴講
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	1～2	文学部基盤	教育学科は専門	× ^{注1}
		生涯学習概論Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		生涯学習支援論Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		社会教育経営論Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
社会教育特講	8	女性問題と学習	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		家庭教育論	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		グローバル化と学習	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		特別支援教育概論Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	×
		視聴覚教育 (視聴覚メディア論を含む)	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		児童文化研究	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	×
		伝統行事を学ぶ	2	1～4	文学部基盤	日本文学文化学科は専門	×
社会教育実習	1	博物館教育論	2	2～4	文学部基盤	史学科は専門	× ^{注2}
		社会教育実習	1	2～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
社会教育実習、社会教育演習、社会教育課題研究のうち1科目以上	3	社会教育課題研究Ⅰ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		社会教育課題研究Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
合計	24						

注) 1 「生涯学習概論Ⅰ」は第1部第2部相互聴講が認められていません。

注) 2 「博物館教育論」は第1部のみ開講です。

※各科目の履修については、所属学科の履修方法に従ってください。

教育職員免許状

東洋大学教職センター

本学の学祖井上円了は哲学館の創設にあたり「諸学の基礎は哲学にあり」の理念の下、「先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方で、論理的・体系的に深く考える人間」「社会の課題に自主的・主体的に取り組み、よき人間関係を築いていける人間」の育成をめざした。そして特に「教育家と宗教家」の養成に力を入れた。このように本学は創設以来、教員養成を重視し、この分野の伝統と実績を有する大学であり、多くの卒業生が教員として全国の学校で活躍している。

これから教職課程を履修し、教員免許状を取得して教員になろうと志す学生にはまずこのことをしっかりと自覚してほしい。

言うまでもなく、教員になるためには教員免許状の取得が必要である。免許状の取得に関する諸事項は教育職員免許法に定められており、本学もこれに基づいて教職課程教育を実施している。

教職課程に属する科目の多くは、各学科の卒業に必要な科目とは別に履修し単位を修得しなければならない。従って、教職課程を履修する学生は、他の学生よりも多くの科目を履修しなければならず、学修に費やす時間もそれだけ多くなる。1年次からの計画的な履修と学修が求められる。その詳細については、教職課程ガイダンスに参加して説明を聞くとともに、この「履修要覧」を熟読してほしい。教員になるためには、担当する教科に関する知識を豊富に持つことが必要になることは言うまでもない。しかしそれだけでは教員として十分とは言えない。教員は成長・発達の途上にある児童・生徒を指導し、ともに学ぶ存在である。教員の言動は、時として、子どもの将来を大きく左右することもある。その意味で教員というのは恐ろしい職業である。しかし同時に教員は子どもの成長を直接目にし、それを助け、ともに喜び合えるやりがいのある職業でもある。

ある教育学者が次のようなことを問うている。「あなた（教員）は何の権利があって他人の子どもを教育するなどという大それたことができるのか」。

この問いに答えることは簡単ではない。しかし「他人の子ども」を教育するという「大それたこと」を職業とすることを、子どもから、保護者から、そして社会から、許されるだけの準備を大学生活のなかでしておくことが、教員をめざす学生の最低限の義務である。

教員をめざす学生には、大学の授業で学ぶことはもちろん、サークル活動、ボランティア活動、趣味、アルバイトなど、さまざまな経験をしながら、自分自身を成長させることを期待したい。豊かな人間性を持った信頼に足る教員をめざしてほしい。

◆ ◆ 〈1〉 教育職員免許状について ◆ ◆

大学卒業後、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員になるためには教育職員免許状を取得しなければなりません。

各学科で取得できる教育職員免許状は次の表のとおりです。

学部学科(コース・専攻)		免許状の種類	小学校教諭 1 種免許状	中学校教諭 1 種免許状 (教科)	高等学校教諭 1 種免許状 (教科)
文	第 1 部	哲	/	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民
		東洋思想文化(仏教思想)		社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民
		日 本 文 学 文 化		国 語	国 語 ・ 書 道
		英 米 文		英 語	英 語
		史		社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民
		教育(人間発達)		社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民
		教育(初等教育)		小学校教諭1種免許状	特別支援学校教諭1種免許状
	国際文化コミュニケーション	/	英 語	英 語	
	第 2 部	東洋思想文化(仏教思想)	/	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民
		日 本 文 学 文 化	/	国 語	国 語 ・ 書 道
教 育		/	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	

◆ ◆ 〈2〉 教育職員免許状の取得条件について ◆ ◆

教育職員免許状を取得するためには、次頁の表にあるように基礎資格として「学士の学位を有すること」(卒業に必要な単位を修得すること)が要求されます。したがって、教育職員免許状取得のための単位は修得できたものの卒業ができなかったということにならないよう、4年間の履修計画を立ててください。本学では「教育職員免許法」及び同法施行規則に基づいて、教育職員免許状取得に必要な単位が修得できるよう科目を開設しています。

なお、特別支援学校教諭免許状を取得するためには小学校、中学校、高等学校または幼稚園のいずれかの免許状(基礎免許状)を取得した上に、さらに特別支援教育に関する科目の単位を修得することが必要となります。

- 近年、教員採用試験で中学校教諭・高等学校教諭両方の教育職員免許状を取得(見込)していることが採用試験受験の条件、または有利となる傾向があります。したがって、できる限り**中学校教諭・高等学校教諭両方の教育職員免許状を取得することが望ましい**と考えられます。
- 教育職員免許状を取得するのに必要な科目は、4年間で履修かつ修得できるように配置されているため、4年間の履修計画を入念に立て、1年次より必要な科目を履修かつ修得してください。
※**2年次ないし3年次から4年次終了(卒業)までに教育職員免許状を取得することは難しいので注意してください。**
- 第2部学生は授業時間数が少ないため、教育職員免許状の取得が第1部学生より難しいので注意してください。**

基礎資格と免許法における最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格	免許法における最低修得単位数							その他
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	特別支援教育に関する科目	免許法施行規則第66条の6に定める科目	
幼稚園教諭 1種免許状	学士の学位を有すること	16	10	4	7	14		8	
小学校教諭 1種免許状		30	10	10	7	2		8	介護等体験 (詳細はP.204)
中学校教諭 1種免許状		28	10	10	7	4		8	
高等学校教諭 1種免許状		24	10	8	5	12		8	
特別支援学校教諭 1種免許状	小学校、中学校、高等学校または幼稚園の免許状を有すること						26		

Check

上記の免許法における最低修得単位数と、本学における最低修得単位数は異なります。本学の学生は、本学における最低修得単位数を履修かつ修得しなければなりません。p.191～p.203 <表1> (学科等における「教科及び教職に関する科目」一覧表) 及び<表2> (本学における「免許法施行規則第66条の6に定める科目」一覧表) で確認してください。

◆ ◆ <3> 教職課程登録料について ◆ ◆

本学では、通学課程の学部学生及び大学院生が教職課程の履修を希望する場合、教職課程登録料が必要となります。所定の期日までに指定された方法で納入してください。

なお、登録料の区分、徴収対象、徴収額および有効期間は以下のとおりとなります。

	区分	徴収対象	徴収額	有効期間
教職課程登録料	在籍生登録料	東洋大学教職課程の履修を希望する通学課程の学部生及び大学院生	30,000 円	・ 学部生は、納入時から卒業年度の3月31日(秋学期卒業生を含む。ただし、春学期卒業生は9月30日)まで。 ・ 大学院生は、納入時から修了年度の3月31日(秋学期修了生を含む。ただし、春学期修了生は9月30日)まで。
	卒業生等登録料	東洋大学の卒業生及び大学院修了生(ただし、退学者及び除籍者を含む。)で、教職支援室の利用等(教職に関するセミナー等への参加を含む。)を希望する者	5,000 円 (ただし、秋学期からの場合は当該年度のみ2,500円とする。)	納入年度の3月31日まで。

※文学部第1部教育学科初等教育専攻の学生は、在籍生登録料の納入は必要ありません。

※再入学した学生のうち、在籍時に教職課程登録料を納入している場合は、再度の納入は必要ありません。

◆ ◆ <4> 教職科目の履修登録について ◆ ◆

教育職員免許状の取得のためには、卒業単位の充足のほかに、以下に定められた科目をそれぞれ履修し、単位を修得する必要があります。

- (1) 教科及び教科の指導法に関する科目 (<表1>参照)
- (2) 「教育の基礎的理解に関する科目」等 (<表1>参照)
- (3) 大学が独自に設定する科目 (<表1>参照)
- (4) 免許法施行規則第66条の6に定める科目 (<表2>参照)

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

哲学科（第1部）2021年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）							
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目							
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年				
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○日本思想史基礎概説A(2)	1	日本史	4単位	○日本思想史基礎概説A(2)	1	教科に関する専門的事項	4単位	○政治哲学概論(2)	1				
		○日本思想史基礎概説B(2)	1			○日本思想史基礎概説B(2)	1			○法哲学概論(2)	1				
		○西洋哲学史基礎概説A(2)	1			○西洋哲学史基礎概説B(2)	1			○社会学A(2)	1				
		○西洋哲学史基礎概説B(2)	1			○西洋哲学史基礎概説B(2)	1			○社会学B(2)	1				
		○古代中世哲学史概説A(2)	1			○古代中世哲学史概説A(2)	1			○社会学A(2)	1				
		○古代中世哲学史概説B(2)	1			○古代中世哲学史概説B(2)	1			○社会学B(2)	1				
		○近世近代哲学史概説A(2)	2			○近世近代哲学史概説A(2)	2			○社会学A(2)	1				
	○近世近代哲学史概説B(2)	2	○近世近代哲学史概説B(2)	2	○社会学B(2)	1									
	地理学（地誌を含む。）	8単位	○地理学A(2)	1	外国史	4単位	○人文地理学A(2)		1	人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2)	1		
			○地理学B(2)	1			○人文地理学B(2)		1			○人文地理学B(2)	1		
			○地誌学A(2)	1			○自然地理学A(2)		1			○自然地理学A(2)	1		
			○地誌学B(2)	1			○自然地理学B(2)		1			○自然地理学B(2)	1		
			○人文地理学A(2)	1			○地理学A(2)		1			○地理学A(2)	1		
			○人文地理学B(2)	1			○地理学B(2)		1			○地理学B(2)	1		
			○自然地理学A(2)	1			○地誌学A(2)		1			○地誌学A(2)	1		
○自然地理学B(2)	1	○地誌学B(2)	1	○地誌学B(2)	1										
「法学、政治学」	4単位	○政治哲学概論(2)	1	地誌	4単位	○地誌学A(2)	1	「法学（憲法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	4単位	○政治哲学概論(2)	1				
「社会学、経済学」	4単位	○社会学A(2)	1			○社会学A(2)	1			○社会学A(2)	1	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	4単位	○社会学A(2)	1
		○社会学B(2)	1			○社会学B(2)	1			○社会学B(2)	1			○社会学B(2)	1
「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○倫理学概論A(2)	3			各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位			○社会・地歴指導演法Ⅰ(2)	3	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	4単位	○倫理学概論A(2)	3
		○倫理学概論B(2)	3	○社会・地歴指導演法Ⅱ(2)	3			○倫理学概論B(2)	3						
		○哲学概論A(2)	3	○社会学A(2)	1			○哲学概論A(2)	3						
		○哲学概論B(2)	3	○社会学B(2)	1			○哲学概論B(2)	3						
		○宗教哲学特講A(2)	3	○社会学A(2)	1			○宗教哲学特講A(2)	3						
		○宗教哲学特講B(2)	3	○社会学B(2)	1			○宗教哲学特講B(2)	3						
		○心の哲学特講A(2)	3	○心の哲学特講A(2)	3			○心の哲学特講A(2)	3						
○心の哲学特講B(2)	3	○心の哲学特講B(2)	3	○心の哲学特講B(2)	3										
○論理学概論A(2)	1	○論理学概論A(2)	1	○論理学概論A(2)	1										
○論理学概論B(2)	1	○論理学概論B(2)	1	○論理学概論B(2)	1										
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○社会・地歴指導演法Ⅰ(2)	3	小計	36単位	①	小計	24単位	①	小計	24単位	①			
		○社会・地歴指導演法Ⅱ(2)	3												
		○社会・公民指導演法Ⅰ(2)	3												
		○社会・公民指導演法Ⅱ(2)	3												

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導演法(2)	1			○特別活動と総合的な学習の時間の指導演法(2)	1			○特別活動と総合的な学習の時間の指導演法(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導演法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3	道徳、総合的な学習の時間等の指導演法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3	道徳、総合的な学習の時間等の指導演法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3
		○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2
		○教育相談(2)	2			○教育相談(2)	2			○教育相談(2)	2
		○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)	4			△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4			△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
教育実践に関する科目	7単位	○教職実践演習（中・高）(2)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			○教職実践演習（中・高）(2)	4			○教職実践演習（中・高）(2)	4
小計	29単位	②	小計	25単位	②	小計	25単位	②			

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-	③		小計	-	③		小計	-	③	

合計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2	合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
----	------	--------------------------	----	------	--------------------------	----	------	--------------------------

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〔表1〕学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

東洋思想文化学科（第1部）仏教思想コース 2021年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
日本史・外国史	8単位	○日本思想概説A(2)	2	日本史	4単位	○日本思想概説A(2)	2	「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	4単位	○政治学原論A(2)	2
		○日本思想概説B(2)	2			○日本思想概説B(2)	2			○政治学原論B(2)	2
		○東西交渉史A(2)	2			○東西交渉史A(2)	2			○国際法ⅠA(2)	2
		○東西交渉史B(2)	2			○東西交渉史B(2)	2			○国際法ⅠB(2)	2
		○インド仏教史A(2)	2			○インド仏教史A(2)	2			○現代社会に生きる仏教A(2)	1
		○インド仏教史B(2)	2			○インド仏教史B(2)	2			○現代社会に生きる仏教B(2)	1
		○中国仏教史A(2)	2			○中国仏教史A(2)	2			○宗教学概論A(2)	1
		○中国仏教史B(2)	2			○中国仏教史B(2)	2			○宗教学概論B(2)	1
		○チベット仏教史(2)	2			○チベット仏教史(2)	2			○仏教思想概論A(2)	1
		○中国史概説A(2)	1			○中国史概説A(2)	1			○仏教思想概論B(2)	1
○中国史概説B(2)	1	○中国史概説B(2)	1	○インド思想特講ⅠA(2)	2						
地理学（地誌を含む）	8単位	○地理学A(2)	1	外国史	4単位	○人文地理学A(2)	2	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	4単位	○現代社会に生きる仏教A(2)	1
		○地理学B(2)	1			○人文地理学B(2)	2			○現代社会に生きる仏教B(2)	1
		○地誌学A(2)	1			○自然地理学A(2)	2			○宗教学概論A(2)	1
		○地誌学B(2)	1			○自然地理学B(2)	2			○宗教学概論B(2)	1
		○人文地理学A(2)	2			○地理学A(2)	1			○仏教思想特講ⅠA(2)	2
		○人文地理学B(2)	2			○地理学B(2)	1			○インド思想特講ⅠA(2)	2
		○自然地理学A(2)	2			○地誌学A(2)	1			○仏教思想特講ⅡA(2)	2
		○自然地理学B(2)	2			○地誌学B(2)	1			○インド思想史A(2)	1
		○政治学原論A(2)	2			○政治学原論A(2)	2			○インド思想史B(2)	1
		○政治学原論B(2)	2			○政治学原論B(2)	2			○中国哲学史A(2)	3
「法学、政治学」	4単位	○国際法ⅠA(2)	2	人文地理学・自然地理学	8単位	○自然地理学A(2)	2	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	4単位	○現代社会に生きる仏教A(2)	1
		○国際法ⅠB(2)	2			○自然地理学B(2)	2			○現代社会に生きる仏教B(2)	1
		○宗教学概論A(2)	1			○地理学A(2)	1			○宗教学概論A(2)	1
		○宗教学概論B(2)	1			○地理学B(2)	1			○宗教学概論B(2)	1
「社会学、経済学」	4単位	○現代社会に生きる仏教A(2)	1	地誌学	4単位	○地誌学A(2)	1	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	4単位	○現代社会に生きる仏教A(2)	1
		○現代社会に生きる仏教B(2)	1			○地誌学B(2)	1			○現代社会に生きる仏教B(2)	1
		○宗教学概論A(2)	1			○社会・地歴指導法Ⅰ(2)	3			○宗教学概論A(2)	1
		○宗教学概論B(2)	1			○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3			○宗教学概論B(2)	1
「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○仏教思想概論A(2)	1	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	4単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2)	3	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	4単位	○宗教学概論A(2)	1
		○仏教思想概論B(2)	1			○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3			○宗教学概論B(2)	1
		○インド思想特講ⅠA(2)	2			○社会・公民指導法Ⅰ(2)	3			○仏教思想特講ⅠA(2)	2
		○インド思想特講ⅠB(2)	2			○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3			○仏教思想特講ⅠB(2)	2
		○インド思想特講ⅡA(2)	2			○社会・公民指導法Ⅰ(2)	3			○インド思想特講ⅡA(2)	2
		○インド思想特講ⅡB(2)	2			○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3			○インド思想特講ⅡB(2)	2
		○インド思想史A(2)	1			○社会・地歴指導法Ⅰ(2)	3			○インド思想史A(2)	1
		○インド思想史B(2)	1			○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3			○インド思想史B(2)	1
		○中国哲学史A(2)	3			○社会・公民指導法Ⅰ(2)	3			○中国哲学史A(2)	3
		○中国哲学史B(2)	3			○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3			○中国哲学史B(2)	3
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	8単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2)	3	小計	24単位	①		小計	24単位	①	
		○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3								
		○社会・公民指導法Ⅰ(2)	3								
		○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3								
小計	36単位	①		小計	24単位	①		小計	24単位	①	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	3	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2
		○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2			○教育相談(2)	2			○教育相談(2)	2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			○教職実践演習（中・高）(2)	4			○教職実践演習（中・高）(2)	4
小計	29単位	②	小計	25単位	②	小計	25単位	②			

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-	③		小計	-	道徳教育論(2)	3	小計	-	道徳教育論(2)	3

合計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	
----	------	--------------------------	--	----	------	--------------------------	--	----	------	--------------------------	--

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

日本文学文化学科（第1部）2021年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）											
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目											
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年								
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4単位	○日本語概説A(2)	1	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4単位	○日本語概説A(2)	1	書道（書写を中心とする。）	6単位	○書道ⅠA(1)	1								
		○日本語概説B(2)	1			○日本語概説B(2)	1			○書道ⅠB(1)	1								
		日本語学研究Ⅰ(2)	3			日本語学研究Ⅰ(2)	3			○書道ⅡA(1)	2								
		日本語史A(2)	2			日本語史A(2)	2			○書道ⅡB(1)	2								
		日本語史B(2)	2			日本語史B(2)	2			○書道ⅢA(1)	3								
		日本語文法A(2)	2			日本語文法A(2)	2			○書道ⅢB(1)	3								
		日本語文法B(2)	2			日本語文法B(2)	2			○書道史(2)	1								
国文学（国文学史を含む。）	4単位	○日本文学文化概説A(2)	1	国文学（国文学史を含む。）	4単位	○日本文学文化概説A(2)	1	「国文学、漢文学」	4単位	○日本文学文化概説A(2)	1								
		○日本文学文化概説B(2)	1			○日本文学文化概説B(2)	1			○日本文学文化概説B(2)	1								
		日本文学の歴史（上代）(2)	1			日本文学の歴史（上代）(2)	1			日本文学の歴史（上代）(2)	1								
		日本文学の歴史（中古）(2)	1			日本文学の歴史（中古）(2)	1			日本文学の歴史（中古）(2)	1								
		日本文学の歴史（中世）(2)	1			日本文学の歴史（中世）(2)	1			日本文学の歴史（中世）(2)	1								
		日本文学の歴史（近世）(2)	1			日本文学の歴史（近世）(2)	1			日本文学の歴史（近世）(2)	1								
		日本文学の歴史（近代）(2)	1			日本文学の歴史（近代）(2)	1			日本文学の歴史（近代）(2)	1								
		日本文学の歴史（現代）(2)	1			日本文学の歴史（現代）(2)	1			日本文学の歴史（現代）(2)	1								
		上代文学の探究(2)	1			上代文学の探究(2)	1			上代文学の探究(2)	1								
		中古文学の探究(2)	1			中古文学の探究(2)	1			中古文学の探究(2)	1								
		中世文学の探究(2)	1			中世文学の探究(2)	1			中世文学の探究(2)	1								
		近世文学の探究(2)	1			近世文学の探究(2)	1			近世文学の探究(2)	1								
		近現代文学の探究(2)	1			近現代文学の探究(2)	1			近現代文学の探究(2)	1								
		古典文学文化研究Ⅰ(2)	3			古典文学文化研究Ⅰ(2)	3			古典文学文化研究Ⅰ(2)	3								
古典文学文化研究Ⅱ(2)	3	古典文学文化研究Ⅱ(2)	3	古典文学文化研究Ⅱ(2)	3														
近現代文学文化研究Ⅰ(2)	3	近現代文学文化研究Ⅰ(2)	3	近現代文学文化研究Ⅰ(2)	3														
漢文学	4単位	△中国の古典（文学）(2)	1	漢文学	4単位	△中国の古典（文学）(2)	1			△中国の古典（文学）(2)	1								
		△中国の古典（思想）(2)	1			△中国の古典（思想）(2)	1			中国の古典（思想）(2)	1								
		△中国の古典（哲学）(2)	1			△中国の古典（哲学）(2)	1			中国の古典（哲学）(2)	1								
		△中国の古典（歴史）(2)	1			△中国の古典（歴史）(2)	1			中国の古典（歴史）(2)	1								
書道（書写を中心とする。）	2単位	○書道ⅠA(1)	1																
		○書道ⅠB(1)	1									各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○国語科教育論Ⅰ(2)	2	○書道科指導法Ⅰ(2)	3		
		書道ⅡA(1)	2											○国語科教育論Ⅱ(2)	2			○書道科指導法Ⅱ(2)	3
		書道ⅡB(1)	2											○国語科指導法Ⅰ(2)	3				
		書道ⅢA(1)	3											○国語科指導法Ⅱ(2)	3				
書道ⅢB(1)	3																		
小計	28単位	①	小計	24単位	①	小計	24単位	①											

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	3	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	3
		○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	2
		○教育相談(2)	2			○教育相談(2)	2			○教育相談(2)	2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
小計	29単位	②	小計	25単位	②	小計	25単位	②			

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-	③		小計	-	③		小計	-	③	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

英米文学科（第1部）2021年度入学生用

（注）下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 （注）下表の「本学開講科目」の採択科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
英語学	4単位	○英語学概論A(2)	1
		○英語学概論B(2)	1
		英文法概説A(2)	1
		英文法概説B(2)	1
		英語史A(2)	1
		英語史B(2)	1
		英語音声学演習A(2)	1
		英語音声学演習B(2)	1
英語文学	4単位	○英語文学A(2)	3
		○英語文学B(2)	3
		イギリス古典文学A(2)	3
		イギリス古典文学B(2)	3
英語コミュニケーション	8単位	○英会話 I A(2)	1
		○英会話 I B(2)	1
		△ライティングA(2) △ライティングB(2)	2単位選択必修 3
		△英語講読演習A(2) △英語講読演習B(2)	2単位選択必修 1
異文化理解	4単位	○英語圏の社会と文化 I A(2)	1
		○英語圏の社会と文化 II A(2)	2
		英語圏の社会と文化 I B(2)	1
		英語圏の社会と文化 II B(2)	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○英語科教育論 I(2)	2
		○英語科教育論 II(2)	2
		○英語科指導法 I(2)	3
		○英語科指導法 II(2)	3
小計	28単位	①	

(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
英語学	4単位	○英語学概論A(2)	1
		○英語学概論B(2)	1
		英文法概説A(2)	1
		英文法概説B(2)	1
		英語史A(2)	1
		英語史B(2)	1
		英語音声学演習A(2)	1
		英語音声学演習B(2)	1
英語文学	4単位	○英語文学A(2)	3
		○英語文学B(2)	3
		イギリス古典文学A(2)	3
		イギリス古典文学B(2)	3
英語コミュニケーション	8単位	○英会話 I A(2)	1
		○英会話 I B(2)	1
		△ライティングA(2) △ライティングB(2)	2単位選択必修 3
		△英語講読演習A(2) △英語講読演習B(2)	2単位選択必修 1
異文化理解	4単位	○英語圏の社会と文化 I A(2)	1
		○英語圏の社会と文化 II A(2)	2
		英語圏の社会と文化 I B(2)	1
		英語圏の社会と文化 II B(2)	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	英語科教育論 I(2)	2
		英語科教育論 II(2)	2
		○英語科指導法 I(2)	3
		○英語科指導法 II(2)	3
小計	24単位	①	

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1
		○道徳教育論(2)	3
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2
		○教育相談(2)	2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習 I（事前・事後指導を含む。）(5)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4
小計	29単位	②	

(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1
		○道徳教育論(2)	3
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2
		○教育相談(2)	2
教育実践に関する科目	5単位	△教育実習 I（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4
		△教育実習 II（事前・事後指導を含む。）(3)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4
小計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）			
③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-	③	

(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3
小計	-	③	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2
----	------	-------------------------

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2
----	------	-------------------------

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

史学科（第1部）2021年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注2) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）						
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目						
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年			
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○日本史A(2)	1	日本史	4単位	○日本史A	1	教科に関する専門的事項	4単位	○政治学原論A(2)	2			
		○日本史B(2)	1			○日本史B	1							
		○外国史A(2)	1			○日本史概説A	1							
		○外国史B(2)	1			○日本史概説B	1							
		○日本史概説A(2)	1			○外国史A	1							
	地理学（地誌を含む。）	8単位	○日本史概説B(2)	1	外国史	4単位	○外国史B					1	○政治学原論B(2)	2
			○東洋史概説A(2)	1			○東洋史概説A					1		
			○東洋史概説B(2)	1			○東洋史概説B					1		
			○西洋史概説A(2)	1			○西洋史概説A					1		
			○西洋史概説B(2)	1			○西洋史概説B					1		
	「法学、政治学」	4単位	○地理学A(2)	1	人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2)					1	○国際法I A(2)	2
			○地理学B(2)	1			○人文地理学B(2)					1		
			○地誌学A(2)	1			○自然地理学A(2)					1		
			○地誌学B(2)	1			○自然地理学B(2)					1		
			○人文地理学A(2)	1			○地理学A(2)					1		
「社会学、経済学」	4単位	○政治学原論A(2)	2	地誌	4単位	○地誌学A(2)	1	○国際法I B(2)	2					
		○政治学原論B(2)	2			○地誌学B(2)	1							
		○世界経済史特講A(2)	2			○社会・地歴指導法I(2)	3							
		○世界経済史特講B(2)	2			○社会・地歴指導法II(2)	3							
		○日本経済史特講A(2)	2											
「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○日本経済史特講B(2)	2	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位			○社会・公民指導法I(2)	3					
		○東西思想史特講A(2)	2											
		○東西思想史特講B(2)	2											
		○東洋宗教史特講A(2)	2											
		○東洋宗教史特講B(2)	2											
		○西洋宗教史特講A(2)	2											
		○西洋宗教史特講B(2)	2											
		○日本宗教史演習A(1)	2											
		○日本宗教史演習B(1)	2											
		○西洋思想史演習A(1)	2											
○西洋思想史演習B(1)	2													
小計	36単位	①	小計	24単位	①	小計	24単位	①						

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1				
		○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1				
		○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2				
		○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○教育課程総論(2)	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○道徳教育論(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3				
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1			○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2				
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3			○教育相談(2)	2				
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2			○教育実践I（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4				
教育実践に関する科目	7単位	○教育相談(2)	2	教育実践に関する科目	5単位	○教育実践II（事前・事後指導を含む。）(3)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実践II（事前・事後指導を含む。）(3)	4
		○教育実践I（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4			○教職実践演習（中・高）(2)	4				
		○教職実践演習（中・高）(2)	4								
小計	29単位	②	小計	25単位	②	小計	25単位	②			

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-	③		小計	-	道徳教育論(2)	3	小計	-	道徳教育論(2)	3
合計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

(4) 特別支援学校教諭一種免許状			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2単位	○特別支援教育概論Ⅰ(2)	1
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○知的障害児・者の心理と臨床(2)	1
		○肢体不自由児・者の教育臨床(2)	2
		○病弱児の病理と臨床(2)	2
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○知的障害教育課程論(2)	2
		○病弱児の指導法(2)	1
		△肢体不自由教育課程論(2)	2
		△肢体不自由児の指導法(2)	2
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○知的障害教育総論(2)	1
		○肢体不自由教育総論(2)	1
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○視覚障害教育総論(2)	1
		○聴覚障害教育総論(2)	1
		○特別支援教育概論Ⅱ(2)	1
		○発達障害児・者の心理(2)	1
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	4単位	○特別支援学校教育実習Ⅰ(事前指導を含む)(2)※1	4
		○特別支援学校教育実習Ⅱ(事後指導を含む)(2)※1	4
計	30単位		

※1 「特別支援学校教育実習Ⅰ(事前指導を含む)／Ⅱ(事後指導を含む)」は同年度でともに履修し、単位を修得しなければならない。詳細はp.206を参照すること。

〈表1〉 学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

教育学科 初等教育専攻（第1部） 2021年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

小学校教諭一種免許状				
① 教科及び教科の指導法に関する科目				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	
教科に関する専門的事項	14単位	国語（書写を含む。）	△初等科国語(2)	2
		社会	△初等科社会(2)	2
		算数	△初等科算数(2)	2
		理科	△初等科理科(2)	2
		生活	△初等科生活(2)	2
		音楽	△初等科音楽(2)	2
		図画工作	△初等科図画工作(2)	2
		家庭	△初等科家庭(2)	2
		体育	△初等科体育(2)	2
		外国語	△初等科英語(2)	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	2単位	国語（書写を含む。）	○初等教科教育法（国語）(2)	2
		社会	○初等教科教育法（社会）(2)	2
		算数	○初等教科教育法（算数）(2)	2
		理科	○初等教科教育法（理科）(2)	2
		生活	○初等教科教育法（生活）(2)	2
		音楽	○初等教科教育法（音楽）(2)	2
		図画工作	○初等教科教育法（図画工作）(2)	2
		家庭	○初等教科教育法（家庭）(2)	2
		体育	○初等教科教育法（体育）(2)	2
		外国語	○初等教科教育法（英語）(2)	2
小 計	34単位	①		

小学校教諭一種免許状			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2
		○教職論(2)	1・2
		○学校教育社会学(2)	1～4
		○教育心理学概論(2)	1・2
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2
		○教育課程論(2)	1～4
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	1～4
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1～4
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1～4
		教育評価論(2)	1～4
		授業論(2)	1～4
		○生徒指導・進路指導論(2)	1～4
教育実践に関する科目	7単位	○初等教育実習（事前・事後指導を含む）(5)	4
		○教職実践演習（小学校）(2)	4
小 計	29単位	②	

合 計	63単位	①、②の合計で63単位を修得すること。※1
-----	------	-----------------------

※1 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

国際文化コミュニケーション学科（第1部）2021年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	英語学	○英語学A(2)	1	英語学	4単位	○英語学A(2)	1
		○英語学B(2)	1			○英語学B(2)	1
		言語論A(2)	1			言語論A(2)	1
言語論B(2)		1	言語論B(2)			1	
英語文体論A(2)		1	英語文体論A(2)			1	
英語文体論B(2)		1	英語文体論B(2)			1	
高等英文法A(2)		1	高等英文法A(2)			1	
高等英文法B(2)	1	高等英文法B(2)	1				
英語文学	6単位	○アメリカ文化・文学研究A(2)	1	英語文学	6単位	○アメリカ文化・文学研究A(2)	1
		○イギリス文化・文学研究A(2)	1			○イギリス文化・文学研究A(2)	1
		△アメリカ文化・文学研究B(2)	1			△アメリカ文化・文学研究B(2)	1
		△イギリス文化・文学研究B(2)	1			△イギリス文化・文学研究B(2)	1
英語コミュニケーション	6単位	○英語リーディングとライティングⅠA(2)	1	英語コミュニケーション	6単位	○英語リーディングとライティングⅠA(2)	1
		○英語リーディングとライティングⅡA(2)	2			○英語リーディングとライティングⅡA(2)	2
		○英語リスニングとスピーキングⅡB(2)	3			○英語リスニングとスピーキングⅡB(2)	3
		英語リーディングとライティングⅠB(2)	1			英語リーディングとライティングⅠB(2)	1
		英語リーディングとライティングⅡB(2)	2			英語リーディングとライティングⅡB(2)	2
		英語リスニングとスピーキングⅢA(2)	3			英語リスニングとスピーキングⅢA(2)	3
		Global Communication AA(1)	2			Global Communication AA(1)	2
		Global Communication AB(1)	2			Global Communication AB(1)	2
		Speech Communication A(1)	3			Speech Communication A(1)	3
		Speech Communication B(1)	3			Speech Communication B(1)	3
異文化理解	4単位	○英語で学ぶ異文化交流Ⅰ(2)	2	異文化理解	4単位	○英語で学ぶ異文化交流Ⅰ(2)	2
		○英語で学ぶ異文化交流Ⅱ(2)	2			○英語で学ぶ異文化交流Ⅱ(2)	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○英語科教育論Ⅰ(2)	2	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	英語科教育論Ⅰ(2)	2
		○英語科教育論Ⅱ(2)	2			英語科教育論Ⅱ(2)	2
		○英語科指導法Ⅰ(2)	3			○英語科指導法Ⅰ(2)	3
		○英語科指導法Ⅱ(2)	3			○英語科指導法Ⅱ(2)	3
小計	28単位	①		小計	24単位	①	

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	3	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3			○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2			○教育相談(2)	2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3)	4
小計	29単位	②		小計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3
小計	-	③		小計	-	③	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2	
----	------	-------------------------	--	----	------	-------------------------	--

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

東洋思想文化学科（第2部）仏教思想コース 2021年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、△学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）						
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目						
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年			
教科に関する専門的事項	8単位	日本史・外国史	○日本思想史概説A(2)	2	教科に関する専門的事項	4単位	日本史	○日本思想史概説A(2)	2	教科に関する専門的事項	4単位	「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	○政治学原論A(2)	2
			○日本思想史概説B(2)	2				○日本思想史概説B(2)	2				○政治学原論B(2)	2
			○東西交渉史A(2)	2				○東西交渉史A(2)	2				○国際法A(2)	2
			○東西交渉史B(2)	2				○東西交渉史B(2)	2				○国際法B(2)	2
			インド仏教史A(2)	2				インド仏教史A(2)	2				○現代社会に生きる仏教A(2)	1
			インド仏教史B(2)	2				インド仏教史B(2)	2				○現代社会に生きる仏教B(2)	1
			中国仏教史A(2)	2				中国仏教史A(2)	2				○宗教学概論A(2)	1
			中国仏教史B(2)	2				中国仏教史B(2)	2				○宗教学概論B(2)	1
			チベット仏教史(2)	2				チベット仏教史(2)	2				仏教思想概論A(2)	1
			中国史概説A(2)	1				中国史概説A(2)	1				仏教思想概論B(2)	1
			中国史概説B(2)	1				中国史概説B(2)	1				インド思想特講ⅠA(2)	2
			○地理学A(2)	1				○人文地理学A(2)	1				インド思想特講ⅠA(2)	2
			○地理学B(2)	1				○人文地理学B(2)	1				仏教思想特講ⅡA(2)	2
			○地誌学A(2)	1				○自然地理学A(2)	1				インド思想史A(2)	1
			○地誌学B(2)	1				○自然地理学B(2)	1				インド思想史B(2)	1
	○政治学原論A(2)	2		○地誌学A(2)	1		中国哲学史A(2)	3						
	○政治学原論B(2)	2		○地誌学B(2)	1		中国哲学史B(2)	3						
	○国際法A(2)	2					○社会・地歴指導演法Ⅰ(2)	3						
	○国際法B(2)	2					○社会・地歴指導演法Ⅱ(2)	3						
	○現代社会に生きる仏教A(2)	1					○社会・公民指導演法Ⅰ(2)	3						
	○現代社会に生きる仏教B(2)	1					○社会・公民指導演法Ⅱ(2)	3						
	○宗教学概論A(2)	1												
	○宗教学概論B(2)	1												
	○宗教思想概論A(2)	1												
	○宗教思想概論B(2)	1												
	○インド思想特講ⅠA(2)	2												
	○インド思想特講ⅠA(2)	2												
	○仏教思想特講ⅡA(2)	2												
	○インド思想史A(2)	1												
	○インド思想史B(2)	1												
	○中国哲学史A(2)	3												
	○中国哲学史B(2)	3												
	○社会・地歴指導演法Ⅰ(2)	3												
	○社会・地歴指導演法Ⅱ(2)	3												
	○社会・公民指導演法Ⅰ(2)	3												
	○社会・公民指導演法Ⅱ(2)	3												
小計	36単位	①		小計	24単位	①		小計	24単位	①				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位			各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位			各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位					

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）					
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等					
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1		
		○教職概論(2)	1				○教職概論(2)			1		○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1				○教育制度論(2)			1		○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2				○教育心理学(2)			2		○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1				○特別支援教育基礎論(2)			1		○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1				○教育課程総論(2)			1		○教育課程総論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	2・3	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1		
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	2・3				○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)			2・3			
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	1・2				○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)			1・2			
		○教育相談(2)	1・2				○教育相談(2)			1・2			
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4		
		○教職実践演習（中・高）(2)	4				△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3)			4			
							○教職実践演習（中・高）(2)			4			
小計	29単位	②		小計	25単位	②		小計	25単位	②			

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-	③		小計	-	③		小計	-	③	
合計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2	

※1（注意）高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉 学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

日本文学文化学科（第2部）2021年度入学生用

（注）下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 （注）下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）					
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目					
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4単位	○日本語概説A(2)	1	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4単位	○日本語概説A(2)	1	書道（書写を中心とする。）	6単位	○書道ⅠA(1)	1		
		○日本語概説B(2)	1			○日本語概説B(2)	1			○書道ⅠB(1)	1		
		○日本語学研究Ⅰ(2)	3			○日本語学研究Ⅰ(2)	3			○書道ⅡA(1)	2		
		○日本語学研究Ⅱ(2)	2			○日本語学研究Ⅱ(2)	2			○書道ⅡB(1)	2		
		○日本語史A(2)	2			○日本語史A(2)	2			○書道ⅢA(1)	3		
		○日本語史B(2)	2			○日本語史B(2)	2			○書道ⅢB(1)	3		
		○日本語文法A(2)	2			○日本語文法A(2)	2			○書道史	2単位		
		○日本語文法B(2)	2			○日本語文法B(2)	2			「書論、鑑賞」	2単位		
		○日本語文化A(2)	1			○日本語文化A(2)	1			[国文学、漢文学]	4単位	○日本文学文化概説A(2)	1
		○日本語文化B(2)	1			○日本語文化概説B(2)	1					○日本文学文化概説B(2)	1
○日本文学の歴史（上代）(2)	1	○日本文学の歴史（上代）(2)	1	○日本文学の歴史（上代）(2)	1								
○日本文学の歴史（中古）(2)	1	○日本文学の歴史（中古）(2)	1	○日本文学の歴史（中古）(2)	1								
○日本文学の歴史（中世）(2)	1	○日本文学の歴史（中世）(2)	1	○日本文学の歴史（中世）(2)	1								
○日本文学の歴史（近世）(2)	1	○日本文学の歴史（近世）(2)	1	○日本文学の歴史（近世）(2)	1								
○日本文学の歴史（近代）(2)	1	○日本文学の歴史（近代）(2)	1	○日本文学の歴史（近代）(2)	1								
○日本文学の歴史（現代）(2)	1	○日本文学の歴史（現代）(2)	1	○日本文学の歴史（現代）(2)	1								
○上代文学の探究(2)	1	○上代文学の探究(2)	1	○上代文学の探究(2)	1								
○中古文学の探究(2)	1	○中古文学の探究(2)	1	○中古文学の探究(2)	1								
○中世文学の探究(2)	1	○中世文学の探究(2)	1	○中世文学の探究(2)	1								
○近世文学の探究(2)	1	○近世文学の探究(2)	1	○近世文学の探究(2)	1								
○近現代文学の探究(2)	1	○近現代文学の探究(2)	1	○近現代文学の探究(2)	1								
○古典文学文化研究Ⅰ(2)	3	○古典文学文化研究Ⅰ(2)	3	○古典文学文化研究Ⅰ(2)	3								
○古典文学文化研究Ⅱ(2)	3	○古典文学文化研究Ⅱ(2)	3	○古典文学文化研究Ⅱ(2)	3								
○近現代文学文化研究Ⅰ(2)	3	○近現代文学文化研究Ⅰ(2)	3	○近現代文学文化研究Ⅱ(2)	3								
△中国の古典（文学）(2)	1	△中国の古典（文学）(2)	1	○中国の古典（文学）(2)	1								
△中国の古典（思想）(2)	1	△中国の古典（思想）(2)	1	○中国の古典（思想）(2)	1								
△中国の古典（哲学）(2)	1	△中国の古典（哲学）(2)	1	○中国の古典（哲学）(2)	1								
△中国の古典（歴史）(2)	1	△中国の古典（歴史）(2)	1	○中国の古典（歴史）(2)	1								
○書道ⅠA(1)	1							○書道科指導法Ⅰ(2)	3				
○書道ⅠB(1)	1							○書道科指導法Ⅱ(2)	3				
○書道ⅡA(1)	2												
○書道ⅡB(1)	2												
○書道ⅢA(1)	3												
○書道ⅢB(1)	3												
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○国語科教育論Ⅰ(2)	2	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○国語科教育論Ⅰ(2)	2						
		○国語科教育論Ⅱ(2)	2			○国語科教育論Ⅱ(2)	2						
		○国語科指導法Ⅰ(2)	3			○国語科指導法Ⅰ(2)	3						
		○国語科指導法Ⅱ(2)	3			○国語科指導法Ⅱ(2)	3						
小計	28単位	①	小計	24単位	①	小計	24単位	①					

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1			○教育課程総論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	2・3	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	2・3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	2・3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	2・3
		○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2
		○教育相談(2)	1・2			○教育相談(2)	1・2			○教育相談(2)	1・2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
小計	29単位	②	小計	25単位	②	小計	25単位	②			

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4
小計	—	③		小計	—	③		小計	—	③	

合計				合計				合計			
最低修得単位数	①、②、③の合計	①、②、③の合計	修得すること	最低修得単位数	①、②、③の合計	①、②、③の合計	修得すること	最低修得単位数	①、②、③の合計	①、②、③の合計	修得すること
59単位	※2	59単位	修得すること	59単位	※2	59単位	修得すること	59単位	※2	59単位	修得すること

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉 学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

教育学科（第2部）2021年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）								
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目								
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年					
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○日本史A(2)	1	日本史	4単位	○日本史A(2)	1	教科に関する専門的事項	4単位							
		○日本史B(2)	1			○日本史B(2)	1									
		○社会文化史（日本）(2)	1			○社会文化史（日本）(2)	1									
		○外国史A(2)	1			○外国史A(2)	1									
		○外国史B(2)	1			○外国史B(2)	1									
		○社会文化史（西洋）(2)	1			○社会文化史（西洋）(2)	1									
	地理学（地誌を含む。）	8単位	○アメリカ思想史(2)	1	外国史	4単位	○アメリカ思想史(2)					1	人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2)	1
			○地理学A(2)	1			○人文地理学B(2)					1				
			○地理学B(2)	1			○自然地理学A(2)					1				
			○地誌学A(2)	1			○自然地理学B(2)					1				
			○地誌学B(2)	1			○自然地理学(2)					1				
			○文化地誌学(2)	1			○地理学B(2)					1				
「法律学、政治学」	4単位	○人文地理学A(2)	1	地誌	4単位	○人文地理学A(2)	1	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	4単位	○政治学原論A(2)	2					
		○人文地理学B(2)	1			○政治学原論B(2)	2									
		○自然地理学A(2)	1			○比較政策論(2)	1									
		○自然地理学B(2)	1			○国際法A(2)	2									
		○文化地誌学(2)	1			○国際法B(2)	2									
		○地誌学A(2)	1			○民法A(2)	1									
「社会学、経済学」	4単位	○地誌学B(2)	1	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○地誌学B(2)	1	「社会学、経済学（国際経済学を含む。）」	4単位	○知的財産法A(2)	2					
		○自然地理学(2)	1			○社会学(2)	1									
		○政治学原論A(2)	2			○社会学(2)	1									
		○政治学原論B(2)	2			○経済学(2)	1									
		○比較政策論(2)	1			○比較社会学(2)	1									
		○国際法A(2)	2			○経済と教育(2)	1									
「哲学、倫理学、宗教学」	2単位	○国際法B(2)	2	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○国際法B(2)	2	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	4単位	○経済と教育(2)	1					
		○民法A(2)	1			○教育の現代的課題(2)	1									
		○民法B(2)	1			△哲学概説(2)	1									
		○知的財産法A(2)	2			△倫理学概説(2)	1									
		○社会学(2)	1			○教育とシチズンシップ(2)	1									
		○経済学(2)	1			○哲学概説(2)	1									
小計	30単位	○比較社会学(2)	1	小計	24単位	○比較社会学(2)	1	小計	24単位	○倫理学概説(2)	1					
		○経済と教育(2)	1			○社会学(2)	1									
		○教育の現代的課題(2)	1			○経済学(2)	1									
		△哲学概説(2)	1			○比較社会学(2)	1									
小計	8単位	△倫理学概説(2)	1	小計	4単位	△倫理学概説(2)	1	小計	4単位	○国際社会学(2)	1					
		○教育とシチズンシップ(2)	1			○心理学の研究と理論(2)	1									
		○社会・地歴指導法Ⅰ(2)	3			○生涯発達心理学(2)	1									
		○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3			○社会・公民指導法Ⅰ(2)	3									
小計	30単位	○社会・公民指導法Ⅰ(2)	3	小計	24単位	○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3	小計	24単位	○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3					
		○社会・地歴指導法Ⅰ(2)	3			○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3									
		○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3													
		○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3													

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2
		○教職論(2)	1・2			○教職論(2)	1・2			○教職論(2)	1・2
		○学校教育社会学(2)	1~4			○学校教育社会学(2)	1~4			○学校教育社会学(2)	1~4
		○教育心理学概論(2)	1・2			○教育心理学概論(2)	1・2			○教育心理学概論(2)	1・2
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2			○特別支援教育基礎論(2)	1・2			○特別支援教育基礎論(2)	1・2
		○教育課程論(2)	1~4			○教育課程論(2)	1~4			○教育課程論(2)	1~4
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	2・3	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2			○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2
		○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2			○教育相談の理論と方法(2)	1~4			○教育相談の理論と方法(2)	1~4
		○教育相談の理論と方法(2)	1~4			△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4			△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
		○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
教育実践に関する科目	7単位	○教職実践演習（中・高）(2)	4	教育実践に関する科目	5単位	○教職実践演習（中・高）(2)	4	教育実践に関する科目	5単位	○教職実践演習（中・高）(2)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			○教職実践演習（中・高）(2)	4				
小計	29単位			小計	25単位			小計	25単位		

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-			小計	-	道徳教育論(2)	2・3	小計	-	道徳教育論(2)	2・3
合計	59単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2		合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表2〉「免許法施行規則第66条の6に定める科目」

下記の表にしたがい、「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のそれぞれの分野で2単位以上を修得しなければなりません。

学部	免許法施行規則第66条の6に定める科目区分	必要単位数	本学での開講科目		
文	第1部	日本国憲法	2単位 日本国憲法(2)		
		体育	2単位 スポーツ健康科学実技ⅠA(1) スポーツ健康科学実技ⅠB(1) スポーツ健康科学実技ⅡA(1) スポーツ健康科学実技ⅡB(1) スポーツ健康科学実技ⅢA(1) スポーツ健康科学実技ⅢB(1) スポーツ健康科学講義Ⅰ(2) スポーツ健康科学講義ⅡA(2) スポーツ健康科学講義ⅡB(2) ※上記科目のうち、2単位選択必修 ただし、スポーツ健康科学実技ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢBから必ず1単位を修得すること。		
		外国語コミュニケーション	2単位	学科名	科目名
				哲	英語ⅠA A(1)・英語ⅠA B(1)・ドイツ語ⅠA A(1)・ドイツ語ⅠA B(1)・フランス語ⅠA A(1)・フランス語ⅠA B(1)のうち1ヶ国語2科目選択必修
				東洋思想文化(仏教思想)	英語ⅠA A(1)・英語ⅠA B(1)・ドイツ語ⅠA A(1)・ドイツ語ⅠA B(1)・フランス語ⅠA A(1)・フランス語ⅠA B(1)・中国語ⅠA A(1)・中国語ⅠA B(1)のうち1ヶ国語2科目選択必修
				日本文学文化	英語ⅠA A(1)・英語ⅠA B(1)・ドイツ語ⅠA A(1)・ドイツ語ⅠA B(1)・フランス語ⅠA A(1)・フランス語ⅠA B(1)・中国語ⅠA A(1)・中国語ⅠA B(1)のうち1ヶ国語2科目選択必修
				英米文	英語ⅠA A(1)・英語ⅠA B(1)または英語ⅠB A(1)・英語ⅠB B(1)のうち2科目選択必修
				史	英語ⅠA A(1)・英語ⅠA B(1)または英語ⅠB A(1)・英語ⅠB B(1)のうち2科目選択必修
	教育(人間・初等)	英語ⅠA A(1)・英語ⅠA B(1)または英語ⅠB A(1)・英語ⅠB B(1)のうち2科目選択必修			
	国際文化コミュニケーション	Oral Communication A A(1) Oral Communication A B(1) Oral Communication B A(1) Oral Communication B B(1) のうち2単位選択必修			
	情報機器の操作	2単位 コンピュータ・リテラシー(2) 情報処理演習A(1) 情報処理演習B(1)のうち2単位選択必修			
	第2部	日本国憲法	2単位 日本国憲法(2)		
		体育	2単位 スポーツ健康科学実技A(1) スポーツ健康科学実技B(1) スポーツ健康科学講義Ⅰ(2) スポーツ健康科学講義ⅡA(2) スポーツ健康科学講義ⅡB(2) ※上記科目のうち、2単位選択必修 ただし、スポーツ健康科学実技A Bから必ず1単位を修得すること。		
		外国語コミュニケーション	2単位 英語ⅠA A(1)・英語ⅠA B(1) 英語ⅠB A(1)・英語ⅠB B(1) ドイツ語ⅠA A(1)・ドイツ語ⅠA B(1) ドイツ語ⅠB A(1)・ドイツ語ⅠB B(1) フランス語ⅠA A(1)・フランス語ⅠA B(1) フランス語ⅠB A(1)・フランス語ⅠB B(1) 中国語ⅠA A(1)・中国語ⅠA B(1) 中国語ⅠB A(1)・中国語ⅠB B(1) ※2単位選択必修		
情報機器の操作		2単位 コンピュータ・リテラシーA(1) コンピュータ・リテラシーB(1) 情報処理演習A(1) 情報処理演習B(1) ※上記科目のうち、2単位選択必修			

◆ ◆ 〈5〉 介護等体験について ◆ ◆

小・中学校の免許取得希望者は、教職に必要な科目の修得、卒業要件の充足の他に、3年次に特別支援学校で2日間と社会福祉施設で5日間の計7日間、高齢者や障害者に対する介護、介助、交流等の体験を行い、受入先に体験を行った証明をいただく必要があります。

この体験を行うには、大学をとおして申し込みをしなければなりません。概要は以下のとおりです。

(1) 参加条件

以下の条件を全て満たさなければ、介護等体験に参加することはできません。

- ① 介護等体験に積極的に参加する意欲があること。
- ② 全2回の説明会に出席し、必要な書類を提出すること。
- ③ 実施年度の4月に大学の健康診断を受診し、異常なしと診断され、心身ともに健康であること。
- ④ 麻疹（はしか）の抗体検査・予防接種を行い、免疫があると認められていること。
- ⑤ 母体保護のため、体験開始日が妊娠中もしくは出産から8週間以内でないこと。
- ⑥ 介護等体験料（含む保険料）を所定の期日までに納入していること。
- ⑦ 指定された体験日程で介護等体験に参加できること。
- ⑧ その他、必要な手続きのすべてを完了していること。

(2) 体験日程・体験先

受入先の都合を考慮したうえ、東京都教育委員会および東京都社会福祉協議会が、希望者各人の日程と受入先を調整・決定します。個人的な事情や要望（サークル、アルバイト、海外留学、就職活動、仕事等）による**日程・受入先の指定や変更（また、このことに関する個人交渉）・辞退は一切できない**ので、参加を希望する者はこの点を了承し、自分の都合を調整したうえで体験に臨んでください。

① 日程

授業期間だけではなく、**夏季・冬季休暇期間・土・日・祝日を含む日程**で行います。

② 体験先

いずれも東京都に所在する学校・施設で行います。体験希望者が多いため、現住所に近い場所で行えるとは限りません。

<特別支援学校>

視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。）に対して、小中学校等に準ずる教育を行うとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする学校。在籍する児童生徒等に対する教育を行うほか、障害により教育上特別な支援を必要とする小中学校等の児童生徒等の教育に関し、必要な助言又は援助を行います。

<社会福祉施設>

- ・ 高齢者にかかわる施設
- ・ 児童福祉・障害児にかかわる施設
- ・ 障害者（身体、知的、精神障害者）にかかわる施設
- ・ 生活保護にかかわる施設

(3) 内容

- ・ 学校、施設の利用者の介護・介助（入浴・排泄等含む）
- ・ 学校、施設の利用者との交流（話し相手）、学習活動の指導・援助
- ・ 学校、施設が実施する行事（学園祭・バザー・遠足・サークル活動等）の補助
- ・ 学校、施設の掃除、洗濯等の作業

特別支援学校事例…授業参観、作業学習補助、学校行事補助等（プール実習・マラソン大会等）
社会福祉施設事例…車椅子補助、点字の勉強、送迎バスへの添乗、サークル活動の補助等

◆ ◆ 〈6〉 教育実習について ◆ ◆

教育実習は、大学で学んだ教育理論や技術をもとに、教育実習校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）での実習を通じて、教育の意味や学校教育の全領域について学習するものです。「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」（3週間以上実習対象者）、「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」（2週間実習対象者）、「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」、「特別支援学校教育実習Ⅰ（事前指導を含む）」、「特別支援学校教育実習Ⅱ（事後指導を含む）」は、4年次に履修します。4月から事前指導が行われ、ほとんどの学生が、5月頃から実際に学校現場に赴き、小学校教諭の免許状取得の場合には4週間、中学校教諭の免許状取得の場合には3週間、高等学校教諭・特別支援学校教諭の免許状取得の場合には2週間の教育実習を行います。教育実習終了後、教育実習事後指導として、学生の実習体験発表、実習感想文の提出、アンケート調査などによって、教育実習の成果を振り返り、教員として必要な資質能力が培えたかどうかを確認します。教育実習は勤務という形態で行われるので、実習期間中に就職活動をするような時間的・精神的余裕は全くありません。教職という仕事の重要性を認識し、実習期間中は就職活動などは中止し、実習に専念してください。

（1）「教育実習（事前・事後指導を含む）」の履修条件

◇ 「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」の履修条件（第1部教育学科初等教育専攻以外）

履修条件を満たしているか、各自確認してください。

- ① 3年次終了の時点で、卒業に必要な単位数を第1部学生で**100単位以上**、第2部学生で**90単位以上**を修得していること。
- ② 3年次終了の時点で、次の2つの条件をともに満たしていること。

(i) 下表の各学科の条件を満たしていること。

- A：哲学科・東洋思想文化学科仏教思想コース（第1部・第2部）・史学科
- B：日本文学文化学科（第1部・第2部）
- C：英米文学科・国際文化コミュニケーション学科
- D：第1部教育学科人間発達専攻
- E：第2部教育学科

A	「教育基礎論」「教職概論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育基礎論」「教育課程総論」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導論（進路指導論を含む）」「教育相談」 上記11科目のうち6科目以上の単位を修得済みであること。
B	「教育基礎論」「教職概論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育基礎論」「教育課程総論」「国語科教育論Ⅰ」「国語科教育論Ⅱ」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導論（進路指導論を含む）」「教育相談」 上記13科目のうち7科目以上の単位を修得済みであること。
C	「教育基礎論」「教職概論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育基礎論」「教育課程総論」「英語科教育論Ⅰ」「英語科教育論Ⅱ」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導論（進路指導論を含む）」「教育相談」 上記13科目のうち7科目以上の単位を修得済みであること。
D	「教育学概論」「教職論」「学校教育社会学」「教育心理学概論」「特別支援教育基礎論」「教育課程論」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導・進路指導論」「教育相談の理論と方法」 上記11科目のうち7科目以上の単位を修得済みであること。
E	「教育学概論」「教職論」「学校教育社会学」「教育心理学概論」「特別支援教育基礎論」「教育課程論」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導論（進路指導論を含む）」「教育相談の理論と方法」 上記11科目のうち7科目以上の単位を修得済みであること。

(ii) 実習予定の「教科の指導法Ⅰ」「教科の指導法Ⅱ」を修得済みであること。

※教育実習での実習教科（地理歴史・公民）が実習校の都合で、自分が修得した「教科の指導法」と対応しない場合がある。その場合には教職支援課窓口で相談すること。

- ③ 4年次において、卒業に必要な科目（単位）および教育職員免許状を取得するために必要な科目（単位）を修得し終える見込みのある者。

◇「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」の履修条件（第1部教育学科初等教育専攻のみ）

- ① 3年次終了の時点で、卒業に必要な単位数を **100 単位以上修得していること。**
 ② 3年次終了の時点で、下表の（i）（ii）（iii）の条件をすべて満たしていること。

(i)	「教育学概論」「教職論」「学校教育社会学」「教育心理学概論」「特別支援教育基礎論」「教育課程論」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)」「生徒指導・進路指導論」「教育相談の理論と方法」 の 11 科目のうち 7 科目以上の単位を修得済みであること。
(ii)	「初等教科教育法(国語)」「初等教科教育法(社会)」「初等教科教育法(算数)」「初等教科教育法(理科)」「初等教科教育法(生活)」「初等教科教育法(家庭)」「初等教科教育法(音楽)」「初等教科教育法(図画工作)」「初等教科教育法(体育)」「初等教科教育法(英語)」 の 10 科目のうち 6 科目以上の単位を修得済みであること。
(iii)	「初等科国語」「初等科社会」「初等科算数」「初等科理科」「初等科生活」「初等科家庭」「初等科音楽」「初等科図画工作」「初等科体育」「初等科英語」 の 10 科目のうち 4 科目以上の単位を修得済みであること。

◇「特別支援学校教育実習Ⅰ（事前指導を含む）」、「特別支援学校教育実習Ⅱ（事後指導を含む）」の履修条件

- ① 特別支援学校教諭免許状を取得するために必要な基礎資格を満たしていること、もしくは当該年度に基礎資格を満たす見込みがあること。
 ② 「特別支援教育概論Ⅰ」を含み、特別支援学校教諭免許状を取得するために必要な科目を 10 科目以上修得していること。
 ③ ①、②を満たした上で、「特別支援学校教育実習Ⅰ（事前指導を含む）」／Ⅱ（事後指導を含む）」を同一年度で履修すること。

(2) 参加条件

以下の条件を全て満たさなければ、教育実習に参加することはできません。

- ① 教壇に立って授業を行うために必要な学力を有すること。
- ② 実習校の教員の指導のもとに、教育実習生としてふさわしい行動のとれる人物であること。
- ③ 本学の規則に反し、または学生の本分に反する行為を行い、処分を受けたことがないこと。
- ④ 次の a b c を含む大学及び関係諸機関との手続きを不備なく行っていること。
 - a. 実習前年度の9月までに、実習受入の内諾を受け大学に文書で通知がきていること、または実習の申請に必要な手続きを完了させていること。
 - b. 大学指定の誓約書に署名・捺印のうえ所定の期日までに提出していること。
 - c. 教育実習料（含む保険料）を所定の期日までに納入していること。
- ⑤ 教職パスポートを所定の期日までに提出をし、中間点検において確認印を受けていること。
- ⑥ 教育実習実施年度の4月に大学の健康診断を受診し、心身ともに健康であること。
- ⑦ 麻疹（はしか）の抗体検査・予防接種を行い、免疫があると認められていること。
- ⑧ 母体保護のため、実習開始日が妊娠中もしくは出産から8週間以内でないこと。
- ⑨ 実習校が所在する各都道府県教育委員会に、特別な定めがある場合は、それを満たしていること。

なお、特別支援学校の教育実習については、「特別支援学校教育実習生登録票」を提出していること（提出期限は「教育実習生登録票」の提出期間に準ずる）。

(3) 教育実習校について

<中学校・高等学校>

教育実習を希望する学生は、3年次に「教科の指導法Ⅰ」「教科の指導法Ⅱ」を履修、単位修得するとともに、教育実習事務手続説明会に必ず出席し、予定校確保（以下、内諾）の方法等について確認のうえ、各自が責任をもって実習校を開拓してください。

その後、東京都公立学校での教育実習希望者は、「教育実習希望調書」を提出してください。なお、正式受入決定は12月上旬となります。地方校（都内私立高校を含む）での教育実習希望者は、「教育実習受入内諾書」の記載をお願いした予定校から大学あてに回答が到着しているか、確認を行ってください。各手続きの期限は教育実習事務手続説明会でお伝えします。

また4年次に「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」または「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」の履修登録をし、教育実習直前説明会に必ず出席してください。

<小学校>

◇往還型教育実習について

第1部教育学科初等教育専攻では、4年次の教育実習に向けて、4年間を通じて学校教育現場を体験する往還型教育実習を採用しています。これは、教師としての実践的指導力と高度の専門性を兼ね備えた小学校教員を養成するための基軸となるものです。具体的には、1年次に何回か学校を訪問することから始まり、2年次以降で「初等教育実践研究A」「初等教育実践研究B」を履修し、4年次に「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」を履修します。

◇初等教育実習について

4年次に実施する教育実習に参加するには、3年次に行なわれる教育実習事務手続説明会に必ず出席し、予定校確保（以下、内諾）の方法等について確認のうえ、東京都公立学校での希望者は、「教育実習希望調書」を、地方校（都内私立校を含む）での教育実習希望者は「教育実習受入内諾書」を提出すること。また、教育実習校を、往還型教育実習以外の実習校で希望する場合は、内諾を取得する前（2年秋学期末）に学科専攻長の教員に相談してください。なお、東京都公立学校については正式受入決定が12月上旬となります。

また、4年次に「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」を履修登録し、教育実習直前説明会に必ず参加してください。

<特別支援学校> ※特別支援学校教諭免許状取得希望者のみ

特別支援学校教育実習を行う学校は、原則として東京都立の特別支援学校とし、大学が一括して東京都教育委員会に申請するので個人で開拓する必要はありません。特別支援学校教諭免許状の取得を希望する学生は、3年次教育実習事務手続説明会で指示された提出期間内に「特別支援学校教育実習登録票」を提出してください。未提出者は、申請の関係上、単位を修得していても特別支援学校の教育実習に参加できません。また、4年次の夏頃に特別支援学校教育実習説明会を行うので、必ず出席してください（詳細は教職課程掲示板に掲示します）。実習は9月～12月の間に2週間行われます。

◆ ◆ 〈7〉 教職実践演習について ◆ ◆

4年次の秋学期に必修科目として「教職実践演習」を履修して単位修得することが必要とされています。この科目は、教職に関する4年間の「学びの軌跡の集大成」と言えるものであり、学生が身に付けたものが教員として最小限必要な資質・能力の基礎として有機的に統合されたかを確認することを目的としています。しかし、この確認は4年次秋学期になってはじめて行うのではなく、1年次から継続的により返し、自らの教職への意思や適性を問いつづけるなかで達成されるものです。

したがって、教員をめざす学生は1年次から積極的・意欲的に教職課程の学びを継続し、学修の成果と課題を記録しておくことが求められます。本学では「教職パスポート」を用意してその一助としています。「教職パスポート」を活用して、4年間の学修の流れを継続的・系統的に、目に見えるかたちで記録していくことが求められます。「教職パスポート」を管理し活用していることは「教職実践演習」の履修条件のひとつとなるので、学生は大切に保管し活用してください。

なお、2年次終了時点で「教職パスポート」の中間点検を行い、必要に応じて指導・助言を行います。教職への適性が疑われる場合には進路の変更を促すこともありえます。

しっかりとした自覚をもって学修に取り組んでください。

◆ ◆ 〈8〉 教育職員免許状一括申請について ◆ ◆

教育職員免許状に必要な単位を修得または修得見込の学生は、教員免許状の取得が見込まれる年度に教育職員免許状の申請手続きをする必要があります。教育職員免許状の発行は東京都教育委員会が行いますが、卒業時に教育職員免許状を受領するための申請手続きは、通常、大学を通して行います（以下、一括申請）。

これらの手続きを怠った場合は、卒業時に教育職員免許状が授与されなくなるので注意してください。

◎個人申請について

大学で教育職員免許状の一括申請手続きを行わなかった場合でも、教育職員免許状に必要な単位を修得していれば、卒業後に個人で教育職員免許状を申請すること（個人申請）が可能です。ただし、個人申請を行う場合、免許状が授与される時期が卒業後（数ヵ月後）となる可能性がありますので注意してください。

個人で申請する際は、住民票をおいている都道府県の教育委員会へ各自で問い合わせてください。

◆ ◆ 〈9〉 教育職員免許状取得までの流れ ◆ ◆

月	内容	特記事項	免許種別
▶▶ 1年 ◀◀			
11月	教職課程説明会の掲示		小・中・高・特支
12月	教職課程説明会	参加必須	小・中・高・特支
秋学期	教職課程登録料納入（190 ページ参照）	納入必須	中・高・特支



▶▶ 2年 ◀◀			
11月	介護等体験第1回説明会の掲示		小・中
	教職パスポート中間点検説明会の掲示		小・中・高・特支
12月	教職パスポート中間点検説明会	参加必須	小・中・高・特支
	介護等体験第1回説明会 [体験概要、申込前の注意事項、今後の手続の説明、参加仮登録]	参加必須	小・中
1月	次年度教育実習事務手続説明会の掲示<注1>		小・中・高・特支
	教職パスポートの中間点検提出	締切厳守	小・中・高・特支
	介護等体験第2回説明会の掲示		小・中



▶▶ 3年 ◀◀			
3月~ 4月初旬	教育実習事務手続説明会 [次年度教育実習予定校確保（内諾）について、特別支援学校教育実習登録票の配布<注1>]	参加必須	小・中・高・特支
	介護等体験第2回説明会 [体験上の注意、申込方法の説明、申込と体験に必要な書類の配布]	参加必須	小・中
	介護等体験申込受付 [申込書類の提出及び体験費用の納入]	締切厳守	小・中
4月中旬	取得希望免許状及び内諾予定校の登録、教育実習登録票（コピー）の提出	締切厳守	小・中・高・特支
	特別支援学校教育実習登録票の提出	締切厳守	特支
	教育実習の履修条件を満たすための科目登録		小・中・高・特支
4月以降	教育実習校への内諾依頼（各自で次年度実習の依頼に行くこと）		中・高
	教育実習校への内諾依頼（各自次年度実習の依頼に行くこと。住 還型教育実習の実習校以外を希望する場合は学科教員に要相談）		小
7月上旬	介護等体験要項・受入連絡票配布 [体験日時および必要事項の確認]		小・中
7月以降	介護等体験準備及び体験（要項、受入連絡票を熟読の上、体験に 臨むこと）	参加必須	小・中
	介護等体験証明書受取（体験終了後）		小・中
	介護等体験日誌の提出（体験終了後2週間以内）	締切厳守	小・中
	教育実習受入内諾書の確認（地方校）		小・中・高
9月上旬	教育実習希望調書の提出（東京都公立学校）	締切厳守	小・中・高
12月	教育実習校の発表（東京都公立学校）（東京都公立学校での実習希 望者は掲示にて確認）		小・中・高
1月下旬	次年度教育実習直前説明会の掲示<注1>		小・中・高・特支





月	内容	特記事項	免許種別
▶▶ 4年 ◀◀			
3月～ 4月初旬	教育実習直前説明会 [実習直前の心構え、実習上の注意事項、実習校持参書類の配布 特別支援学校教育実習振込用紙の配布<注1> 教育実習参加条件充足者発表	参加必須	小・中・高・特支 小・中・高
4月中旬	教育実習料振込	締切厳守	中・高
	特別支援学校教育実習料振込<注1>	締切厳守	特支
5月上旬	教育実習承諾書確認 [打合せ日、実習期間、教科等最終確認]		小・中・高
5月中旬	訪問指導校を掲示にて発表		小・中・高
5月以降	教育実習<注2>	参加必須	小・中・高
6月上旬	教育職員免許状一括申請説明会の掲示		小・中・高・特支
7月上旬	特別支援学校教育実習説明会 [実習校及び訪問指導教員の発表、実習上の心構え、注意事項、実 習校持参書類配布、所定書類の提出 (印鑑を持参すること)]	参加必須	特支
	教育職員免許状一括申請説明会 [申請免許状の申込]	参加必須	小・中・高・特支
7月中旬	訪問指導教員及び実習決定校への挨拶		特支
9～11月	特別支援学校教育実習<注2>	参加必須	特支
実習終了後 1ヵ月以内	教育実習日誌の提出	締切厳守	小・中・高・特支
12月上旬	免許状記載内容の最終確認、東京都教育委員会に提出する書類の 署名・捺印、申請料の納入	締切厳守	小・中・高・特支
3月中旬	教育職員免許状取得決定者発表		小・中・高・特支
卒業式当日	教育職員免許状授与 (交付) <注3>	参加必須	小・中・高・特支

<注1>特別支援学校教諭1種免許状希望者で、すでに基礎免許状を取得しており、教育実習説明会および教育実習直前説明会(中・高)に出席する必要のない学生は、事前に指示を受けてください。

<注2>教育実習の実習時期は各実習校によって異なるので、承諾書等で必ず各自確認してください。

<注3>科目等履修生に教育職員免許状を授与(交付)する日程は、別途教職課程掲示板に掲示します。

※説明会を欠席したり、手続きを怠ると、教育実習・介護等体験に参加できなくなるので、教職課程掲示板および履修要覧をよく確認してください。

また、教育実習の内諾後のキャンセル・介護等体験の申し込み後のキャンセルや、一度納入した教職課程登録料、介護等体験実習料、教育実習料の返金は一切できないので注意してください。

※上表のスケジュールはあくまでも予定であり、時期が前後する場合があります。必ず教職課程掲示板を確認してください。

また、このスケジュールはモデルケースとなりますが、実習時期や教育職員免許状取得時期が遅れる場合は、事前に相談してください。

◆◆ 〈10〉 教職課程を履修する学生への連絡・伝達について ◆◆

教職に関する事項（各種説明会・手続き・発表・呼び出し等）は、すべて教職課程掲示板でお知らせします。登校時には必ず **1102 番教室（1号館1階）** 横もしくは **6B12 番教室（6号館地下1階）** 前の掲示を確認してください。（ToyoNet-G のお知らせでも確認することができますが、全ての掲示を Web 上で確認できるわけではありません。）

教職課程に関する窓口取り扱いは**教職支援課（5号館1階）** で受け付けます。なお電話による問合せは一切受け付けません。直接窓口で問合せください。

◆◆ 〈11〉 教員採用に関する支援について ◆◆

- (1) 教職支援室（3号館1階）
 - ・採用試験対策講座
 - ・個別相談・模擬面接・模擬授業・場面指導・模擬試験関連情報提供
 - ・専門スタッフによる教育職員への就職指導
 - ※各講座の開催・申込時期等については教職支援室前の掲示板を確認してください。
- (2) 教職資料室（3号館1階）
 - ・教科書・参考書・学習指導案等の閲覧および貸し出し
 - ※開室時間は教職支援室に準じます。

◆◆ 〈12〉 教員採用試験について ◆◆

教育職員免許状を取得した者が教員になるためには、教員採用試験に合格する必要があります。出願期間・受験条件・試験日程・試験方法は教育委員会・学校によって異なります。教員採用試験の実施要綱の取り寄せと応募は各自で行ってください。

- (1) 公立学校の教員採用

公立学校の教員になるためには、各都道府県・指定都市教育委員会が実施する採用試験に合格し、採用候補者の名簿に登録される必要があります。名簿の中からその年度の欠員状況、教員組織の状況などを考慮して選定され、採用が決定します。
- (2) 私立学校の教員採用

各都県の私学協会等が実施する「私立学校教員適性検査」を基に採用を行う場合と、公募制による採用があります。

「私立学校教員適性検査」は採用試験ではなく、適性検査を受けた受検者の氏名と評価等が記載された名簿を基にして、教員の採用を行っていくものです。ただし、検査を実施する都県にある私立学校全てが「私立学校教員適性検査」の結果を基に教員採用を行っているとは限りません。

◆◆ 〈13〉 教員免許更新制について ◆◆

教員免許状には、免許状授与のための所要資格を得て（※）から10年後の年度末までの有効期間が付きます。免許状の有効期間を更新するためには、2年間で30時間の免許状更新講習を受講・修了することが必要で、有効期間を更新した場合、次の有効期間は前の有効期間から10年後の年度末になります。

免許状更新制の導入は、教員として必要な知識技能が日々変化するため、その時々で必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけてもらうことを目的としています。教職を目指す学生の皆さんは、取得する教員免許状に有効期間が付されることを知っておく必要があります。

※「所要資格を得て」… 免許状の授与に必要な学位と単位を満たすこと。

◆◆ 〈14〉 長期間大学へ通学することができない場合について ◆◆

在学中に休学および留学等で長期間大学へ通学することができない場合は、教育実習、介護等体験等の実施時期や教育職員免許状の取得時期が通常の学生より1～2年遅くなるため、必ず事前に相談してください。

◆ ◆ 〈15〉 編入生・転入生の教育職員免許状取得について ◆ ◆

教育職員免許状取得を希望する場合は、以下のことに留意のうえ、事前に相談に来てください。

- (1) 単位認定・時間割編成によっては卒業時までには教育職員免許状が取得できない場合があります。
- (2) 編・転入前の大学等で取得した教職科目等についてすべての科目を認定できるとは限りません。
- (3) 卒業単位に算入されない教職科目を個別で認定する場合は、卒業に必要な科目の認定単位数が減少する場合がありますので注意してください。
- (4) 個別指導を受ける際は、編・転入前の大学等で該当教科の「学力に関する証明書」を入手し、指導を受けてください。

◆ ◆ 〈16〉 科目等履修生制度について ◆ ◆

将来、教員を目指す学生で、学部卒業までに教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得できなかった場合や、すでに教育職員免許状を取得していて、卒業後、新たに別教科の教育職員免許状を取得したい場合は、科目等履修生として必要な単位を修得し教育職員免許状を取得することができます。募集要件・履修できる科目等について、必ず当該年度の各募集要項を確認のうえ出願してください。なお、本学で取得可能な教育職員免許状に必要な科目がすべて科目等履修生に開講しているとは限らないので注意してください。概要は、以下のとおりです。

科目等履修生に関するスケジュール（詳細は当該年度の募集要項で確認してください）

1月下旬～2月上旬	科目等履修生募集要項ダウンロード開始
	▼
2月上旬～	履修科目の相談（教務課）
	▼
3月上旬～中旬	出願
	▼
3月下旬	試験・合格発表
	▼
4月上旬	就学手続

※募集要項は東洋大学 Web サイトで確認できます。

出願にあたっての履修科目については、事前に相談してください。

※介護等体験のみの履修はできません。

国際交流・国際教育プログラム

国際交流・国際教育プログラムの内容や募集に関する情報は、国際教育センター Web サイトで確認してください。

URL:<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/>





TGL プログラムは、東洋大学生が国内外で活躍できるグローバル人材となるために、「異文化環境における英語運用表現能力」、「多文化共生社会における価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」の3要素を強化することを目的としています。これらの目的に沿って、「Gold」「Silver」「Bronze」のランクごとに7つの認定要件を定め、各要件を満たした学生を Toyo Global Leader として認定します。

◆認定要件◆

下記のとおり、ランクごとに認定要件が設定されています。

認定要件	TGL Gold	TGL Silver	TGL Bronze
(1) 英語能力 (TOEIC® L&R)	730 点	590 点	—
(2) 外国語による授業科目の修得	40 単位	20 単位	10 単位
(3) 外国語による卒業論文等執筆	必須	—	—
(4) 海外留学・インターンシップ	必須	どちらかを 必須	—
(5) 海外アクティビティ	必須		—
(6) 東洋グローバルリーダー(TGL)キャンプ	必須(運営)	必須(参加)	必須(参加)
(7) Toyo Global(TG)ポイント	30 ポイント	20 ポイント	10 ポイント

◆認定要件について◆

(1) 英語能力

英語資格試験のスコアにより認定します。TOEIC® L&R（公開テストおよびIPテスト）のほか、TOEFL iBT®、TOEFL ITP®、IELTS™ のスコアを TOEIC® L&R スコアに換算します。なお、スコアは在学中に受験したものに限りします。

(2) 外国語による授業科目の修得

語学科目や開講言語が外国語の授業科目および英語特別教育科目の修得単位数を加算していきます。また、海外留学や海外インターンシップ等により認定された科目の単位数も加算できます。さらに、卒業論文等を外国語で執筆した場合、卒業論文の科目の単位数も加算します。

(3) 外国語による卒業論文等執筆

下記 a.b.c. のいずれかに当てはまる論文等を執筆し、a.b. については、指導教員の確認書と共に提出することで認定されます。

- 言語を問わず執筆した卒業論文等の英文要旨もしくは英語で執筆した卒業論文等
- 授業内で各言語（日本語を除く）により作成し提出された論文等
※外国人留学生については日本語（ネイティブ言語以外）での執筆も認める。
- 国際教育センターで設定したテーマに基づいた英語の課題論文

(4) 海外留学・インターンシップ

海外での活動が連続で3週間（現地入国から出国までが21日間）以上^(*)の留学やインターンシップを対象とします。大学で開催しているプログラムのほか、学外機関が主催するプログラムも活動内容等により対象となります。なお、単位認定の有無は問いません。

※海外での活動が4週間（28日間）以上であれば〔(5) 海外アクティビティ〕の要件と合わせて達成となります。

- (5) 海外アクティビティ
上記(4)に該当しない、海外での活動が連続で1週間（現地入国から出国までが7日間）以上の留学、研修、インターンシップ、ボランティア等の活動を対象とします。大学で開催しているプログラムのほか、学外機関が主催するプログラムも活動内容等により対象となります。なお、単位認定の有無は問いません。
- (6) 東洋グローバルリーダー（TGL）キャンプ
本学で実施する「東洋グローバルリーダー（TGL）キャンプ」への参加（または運営チームとしての参加）により認められます。
- (7) Toyo Global(TG) ポイント
国内外の国際交流活動（海外留学、インターンシップ、ボランティア、国際シンポジウム等）および課外語学講座等への参加がポイントの対象となります。ポイントは各活動期間に応じて付与します。

◆ TGL プログラムの仕組み ◆

一度の取り組みで複数の認定要件に当てはまる場合があります。

<例>

東洋グローバルリーダー（TGL）キャンプに参加した。

認定要件	結果
(6) 東洋グローバルリーダー（TGL）キャンプ	⇒ 認定（参加）
(7)Toyo Global（TG）ポイント	⇒ 1ポイント付与（半日のプログラム） 2ポイント付与（1日のプログラム）

<例>

交換留学で1年間海外渡航（TOEFL ITP[®] 550点を保有）。

留学先で英語による専門科目5科目を修得、東洋大学で5科目×2単位=10単位が認定された。
また、留学中1週間のボランティア活動に従事し、「短期海外実習Ⅰ」（1単位）が認定された。

認定要件	結果
(1) 英語能力	⇒ 認定（TOEIC [®] L&R 730点に換算）
(2) 外国語による授業科目の修得	⇒ 11単位加算
(4) 海外留学・インターンシップ	⇒ 要件クリア
(5) 海外アクティビティ	⇒ 要件クリア
(7)Toyo Global（TG）ポイント	⇒ 35ポイント付与

プログラムの詳細は ToyoNet-ACE「TOYO GLOBAL DIAMONDS(国際交流情報)」
コース内、「東洋グローバルリーダー（TGL）プログラム」を確認してください。
https://www.ace.toyo.ac.jp/ct/course_1324577



・ TGL プログラム問い合わせ先
国際部〔国際教育センター〕（白山キャンパス 8号館 1階）
Tel：03-3945-8536
Email：ml-tgl@toyo.jp



◆海外留学・研修プログラムの概要◆

本学では、休学することなく参加できる海外留学・研修プログラムを豊富に用意しています。

プログラム名	① 交換留学	② 認定留学	③ 協定校語学留学	④ 語学セミナー	⑤ 海外インターンシップ・ボランティア	⑥ 国連ユースボランティア・ワシントンセンター	⑦ Diversity Voyage
留学形態	学部留学* ¹		語学留学* ²		—	—	—
期間	1 学期または 1 年* ³		3～6 ヶ月	3～4 週間	2～6 週間	3～5 ヶ月	約 10 日間
出発時期	第Ⅰ期：2～3 月 第Ⅱ期：8～9 月	留学先大学により異なる	春学期：2～5 月 秋学期：8～10 月	夏季および 春季休暇中		8～9 月	夏季および 春季休暇中
語学条件	あり		なし		あり		なし
単位	単位認定申請可* ⁴				履修登録対象* ⁵	単位認定申請可* ⁴	履修登録対象* ⁵
東洋大学留学奨学金(給付型)	あり			なし			
東洋大学海外留学促進奨学金(給付型)	トップ大学型 グローバルリーダー型	アクティブ型	チャレンジ型	アクティブ型	なし		

プログラムの内容等は変更になる場合があります。

*1 学部留学

現地で正規課程の科目を履修及び修得することを目的とする留学

*2 語学留学

海外の大学附属の語学学校で語学を集中的に学ぶ留学

*3 1 年

留学先機関によって学期制度や学期の日程が異なるため、トータルで1年間の留学期間を指す言葉として使用しています。

*4 単位認定申請可

留学先大学等で修得した単位に関し、本学開講科目の単位として認定を申請できます。

*5 履修登録対象

該当する本学の開講科目を履修登録できます。

◆各種海外留学・研修プログラムの詳細◆

① 交換留学

本学が学生交換協定を締結している協定校あるいは海外学生交換コンソーシアム (ISEP・UMAP 等) に加盟する大学へ、1 学期間または 1 年間留学するプログラムです。留学先の大学では正規課程の科目を履修及び修得することを目的とします。東洋大学を休学することなく留学できます。原則、留学先大学の授業料は免除となり、留学期間に応じて奨学金が給付されます。

② 認定留学

本学協定校の他、学位授与権のある大学へ 1 学期間または 1 年間留学するプログラムで、留学先の大学では正規課程の科目を履修及び修得することを目的とします。国や地域は問いません。東洋大学を休学することなく留学できます。原則、留学先の授業料は自己負担となりますが、留学期間に応じて奨学金が給付されます。

大学への出願・入学手続きは原則各自で行うため、留学に先立って自ら十分な情報を収集し、綿密な計画を立てることが重要です。

③ 協定校語学留学

本学の海外協定校附属の語学学校へ、3 ヶ月から 6 ヶ月間留学するプログラムです。語学力の向上

を目的とし、語学を学びながら様々なアクティビティやホームステイ等を通じた異文化体験をします。原則留学先の授業料は自己負担となりますが、条件を満たした場合奨学金が給付されます。また、東洋大学を休学することなく留学できます。

④ 語学セミナー

夏季および春季休暇を利用した短期語学研修プログラムです。語学研修、アクティビティ、ホームステイ等を通じた語学力の向上と異文化理解を目的としています。

⑤ 海外インターンシップ・ボランティア

グローバル企業で活躍するために必要となる英語力・異文化理解力・社会人マナーなどの社会人基礎力を育成し、世界に羽ばたく学生を育てることを目的としたプログラムです。夏季および春季休暇を利用し、2～6週間研修を行います。語学力の向上に加え、各国の経済状況や文化風習の違いを“働く”という社会生活を通じて体験し、今後の学生生活とキャリア形成に生かすことができます。

⑥ 国連ユースボランティア (UNYV)・ワシントンセンター (TWC)

・国連ユースボランティア (UNYV)

国連ボランティア計画 (UNV) のコーディネートの下、開発途上国の国連事務所や政府機関でユースボランティアとして、約5ヶ月間働く長期インターンシップです。現地国連スタッフと共に広報活動やフィールドワーク等の業務に携わりながら、高度なキャリア意識やリーダーシップを養うプログラムです。本プログラムは2021年度派遣にて終了予定です。

・ワシントンセンター (TWC)

アメリカの首都であるワシントン DC 周辺の公的機関、NPO、企業などで15週間の就労体験と夜間に行われる授業を通じ国際的感覚を身につけ、将来のグローバルリーダーを育てるプログラムです。

⑦ Diversity Voyage

一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GiFT) が行う、夏季および春季休暇を利用した短期間の海外研修です。海外で現地学生等と英語でコミュニケーションを取りながら共創・協働することで、語学力のみならず「多様性適応力」を育みます。

○各プログラムの詳細は大学 HP を確認してください。
国際交流「海外留学を希望する方へ」
<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/>



海外留学・研修プログラム向け 給付型奨学金

東洋大学では、多くの学生が海外留学・研修プログラムに参加できるよう、充実した奨学金を用意しています。(プログラムや語学スコアに応じ7～300万円を給付)

- －東洋大学留学奨学金
- －東洋大学海外留学促進奨学金

その他、民間団体などによる奨学金もあります。
各奨学金の要件や金額は変更になる可能性があります。

詳細や最新情報は国際教育センターホームページで確認してください。
<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/scholarship/>



◆単位認定・履修登録について◆

①交換留学 ②認定留学 ③協定校語学留学

留学期間中に修得した単位は留学終了後、所属学科の教育課程表に照らし、科目の履修内容・条件等に適合した場合は、卒業単位（上限 48 単位、卒業論文は除く）に認定されます。詳細は各学科の留学担当の教員に確認してください。

Column

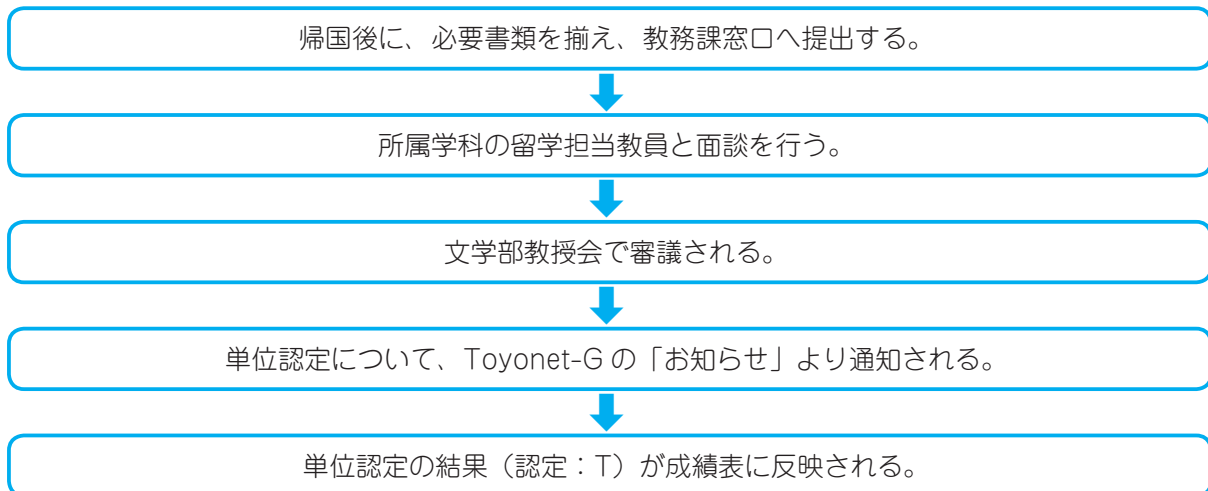
～在籍中に単位認定できる上限単位数について～

各種様々な単位認定制度がありますが、在籍中に単位認定できる単位数は、学則第 43 条および第 44 条において、合計 60 単位が上限と定められています。

この合計 60 単位には、以下の制度が対象となります。

- ①交換留学 ②認定留学 ③協定校語学留学 ④語学セミナー
- ⑤英語単位認定 ⑥簿記原理単位認定 ⑦経営統計単位認定
- ⑧東洋大学・龍谷大学相互学生交流プログラム
- ⑨東洋大学・文京学院大学相互単位互換制度
- ⑩東京外国語大学単位互換制度 ⑪放送大学単位互換制度
- ⑫休学中の留学による単位認定

<単位認定までの流れ>



<単位認定申請時の必要書類>

- ①単位認定願
- ②留学先大学発行の成績証明書
- ③シラバス等留学先大学発行の科目・時間・単位数の説明書
- ④教科書、ノート等授業内容が分かる資料

<教務課での事前相談について>



交換留学、認定留学および協定校語学留学に出願する学生は、留学終了（帰国）後に最短で卒業および諸資格取得を可能にするため、不明な点がある場合は必ず留学出願前に教務課窓口で相談してください。

また、帰国後の手続き等についての詳細は、ToyoNet-G の「学生へのお知らせ」で配信されますので、各自必ず確認し、不明点がある場合は教務課窓口で相談してください。

④ 語学セミナー

語学セミナーに参加し、条件を充たすことにより、下表の国際コミュニケーション科目の中から1科目単位を認定します。

<手続き方法>

定められた期間内に「文学部語学セミナー単位認定希望科目申請書」を教務課窓口へ提出してください。

単位認定が承認され次第、学内掲示および ToyoNet-G にてお知らせします。

<単位認定対象科目>

単位認定可能科目		哲	東洋思想文化 (1部・2部)	日本文学文化 (1部・2部)	英米文	史	教 育 (1部・2部)	国際文化コミュ ニケーション
春季語学セミナー 参加者認定科目	夏季語学セミナー 参加者認定科目							
英語 I AA	英語 I AB	○	○	○	○	○	○	-
英語 I BA	英語 I BB	○	○	○	○	○	○	-
英語 II AA	英語 II AB	○	○	○	○	○	○	-
英語 II BA	英語 II BB	○	○	○	○	○	○	-
中国語 I AA	中国語 I AB	○	○	○	○	○	○	○
中国語 I BA	中国語 I BB	○	○	○	○	○	○	○
中国語 II AA	中国語 II AB	○	○	○	○	○	○	○
中国語 II BA	中国語 II BB	○	○	○	○	○	○	○
フランス語 I AA	フランス語 I AB	○	○	○	○	○	○	○
フランス語 I BA	フランス語 I BB	○	○	○	○	○	○	○
フランス語 II AA	フランス語 II AB	○	○	○	○	○	○	○
フランス語 II BA	フランス語 II BB	○	○	○	○	○	○	○
Oral Communication AA	Oral Communication AB	-	-	-	-	-	-	○
Oral Communication BA	Oral Communication BB	-	-	-	-	-	-	○
Global Communication AA	Global Communication AB	-	-	-	-	-	-	○
Global Communication BA	Global Communication BB	-	-	-	-	-	-	○

⑤ 海外インターンシップ・ボランティア

本プログラムは、基盤教育科目「海外研修」「短期海外研修」「海外実習」「短期海外実習」の履修登録対象プログラムです。履修には事前の申請が必要ですので、申込後の案内にしたがって手続きを行ってください。

⑥ 国連ユースボランティア・ワシントンセンター

詳細は、所属学部教務課窓口へお問い合わせください。

⑦ Diversity Voyage

本プログラムは、基盤教育科目「短期海外研修」の履修登録対象プログラムです。履修には事前の申請が必要ですので、申込後の案内にしたがって手続きを行ってください。

- ・ 海外留学・研修プログラムについての問い合わせ先
国際部〔国際教育センター〕(8号館1階)
E-mail : mlryugaku@toyo.jp TEL : 03-3945-8172
- ・ 学籍・履修・単位についての問い合わせ先
教務課窓口 (6号館1階)

本学を休学して外国の大学等へ留学した場合の単位認定について

本学を休学して外国の大学等に留学した場合、留学先で修得した単位を本学の単位として認定することができます。単位認定を希望する場合は、事前に所定の手続きを行う必要があります。

◆◆ 単位認定の対象となる機関 ◆◆

学位授与権を持つ大学（学部生徒のみ2年制大学及び附属語学学校を含む。以下同じ）および附属学校。

◆◆ 留学期間 ◆◆

休学期間を超えない範囲とする。

※原則として連続する2セメスタ（1年間）を超えて休学することはできません。

◆◆ 必要な手続 ◆◆

休学手続きを行う前に、国際教育センターへ留学機関等に関する届出を行う必要があります。手続きの詳細については、本学ホームページを参照してください。

<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/kyugaku-ryugaku/>





国際教育プログラム

英語特別教育科目 LEAPプログラム

LEAP (Learning English for Academic Purposes) プログラムは将来海外留学を目指す学生や、英語力を高めたいと希望する学生を対象とした学術英語プログラムです。留学に必要な IELTS™ のスコアアップに加えて、大学レベルの授業を英語で受けるのに対応できるだけの学習スキルの習得も目指します。LEAP の授業は英語で行われるため、内容を理解し、課題などをこなしていくためには基礎的な英語力が必要となります。修得した単位は卒業単位として認められます (グローバル・イノベーション学科除く)。

LEAP は、英語力に応じて IELTS I、IELTS II、PSA の 3 段階に分かれています。

IELTS I (中級): IELTS™ を受験したことがない学生 (TOEFL ITP® 400-470 点程度未満) に推奨

IELTS II (上級): IELTS™ 4.5 点程度の学生が対象 (白山キャンパスでのみ開講)

PSA (留学準備コース): IELTS™ 5.0 点程度以上の学生が対象 (白山キャンパスでのみ開講)

※上記の基準スコアは受講者数やスコア分布により変動する場合があります。

※川越・板倉・赤羽台キャンパスにおいては、IELTS I が週 2 コマ用意されており、受講希望者がクラス上限人数 30 名を上回らない限りは、上記のようなスコア制限はありません。但し、推奨スコアを取得している場合は、IELTS II または PSA 科目の履修が可能です。IELTS II、PSA 科目は白山キャンパスで開講されます。開講時間は白山の時間割ですので、注意してください。

IELTS I と IELTS II には次の 2 つの科目が用意されています。1 科目のみ、または両方履修することができます。

LS 科目 (週 2 回・2 単位) … **Listening と Speaking** に特化した科目

RW 科目 (週 2 回・2 単位) … **Reading と Writing** に特化した科目

PSA は次の 2 科目から成ります。

Pre-Study Abroad : Listening / Speaking (**PSA L/S**) … 留学してからの受講スキルを学習。(週 2 回・2 単位)

Pre-Study Abroad : Writing (**PSA W**) … 英語で論文を書くための基礎を学習。(週 1 回・1 単位)

<申込・お問合せ>

プログラムの詳細は Toyonet-ACE 「LEAP」コースをご確認下さい。

(春学期履修の案内は前年 11 月頃、秋学期履修の案内は 5 ~ 6 月頃配信予定)

・ LEAP プログラムについての問い合わせ先

LEAP オフィス (白山キャンパス 8 号館 2 階)

Tel : 03-3945-7341

Email : mlleapoffice@toyo.jp



他にも国際部 [国際教育センター] では、外国語資格試験の団体受験や受験料補助、全キャンパスにて英会話講座、語学試験対策講座及びランゲージセンターによる英語ライティング指導を実施しています。各プログラムの詳細は ToyoNet-ACE 「TOYO GLOBAL DIAMOMDS (国際交流情報)」コースをご確認下さい。

・ 外国語資格試験、ランゲージセンター、課外英語講座についての問い合わせ先

国際部 [国際教育センター] (白山キャンパス 8 号館 1 階)

Tel : 03-3945-8172

Email : ml_lc_global@toyo.jp





外部検定試験による単位認定制度

外部団体の試験を受験し所定の成績を収めた者に対し、基準に従って単位認定を行います。
認定基準

	レベル	A	B	C	D
	認定単位数	2単位まで	4単位まで	6単位まで	8単位まで
英語	実用英語技能検定	2級 (2143~)	準1級 (~2467)	準1級 (2468~)	1級
	TOEIC® (L&R)	668~	785~	866~	945~
	TOEFL ITP®	487~	533~	563~	587~
	TOEFL iBT®	57~	72~	84~	95~
	IELTS™	4.5~	5.5~	6.5~	7.0~
ドイツ語	レベル	A	B	C	
	認定単位数	2単位まで	4単位まで	6単位まで	
	ドイツ語技能検定試験	4級	3級	2級以上	
フランス語	ゲーテ・インスティテュートドイツ語検定試験	A1	A2	B1以上	
	レベル	A	B	C	
	認定単位数	2単位まで	4単位まで	6単位まで	
	実用フランス語技能検定	4級	3級・準2級	2級以上	
DELF/DALF (フランス国民教育省)	A1	A2	B1以上		
TCF (フランス国民教育省)	100~	200~	300~		
中国語	レベル	A	B	C	
	認定単位数	3単位まで	6単位まで	8単位まで	
	中国語検定	4級	3級	2級	
HSK (筆記)	3級 (180~)	4級 (180~)	5級 (180~)		

認定対象科目

	科目名	単位数	A	B	C	D
英語	英語Ⅱ A A	1	○	○	○	○
	英語Ⅱ A B	1	○	○	○	○
	英語Ⅱ B A	1	○	○	○	○
	英語Ⅱ B B	1	○	○	○	○
	検定英語A	2		○	○	○
	検定英語B	2		○	○	○
	Practical Writing A	2		○	○	○
	Practical Writing B	2		○	○	○
	英会話Ⅱ A ※1	2		○	○	○
	英会話Ⅱ B ※1	2		○	○	○
	Business English A	1			○	○
	Business English B	1			○	○
	Media English A	1			○	○
	Media English B	1			○	○
	Global Communication AA ※2	1	○	○	○	○
	Global Communication BA ※2	1	○	○	○	○
	英語リスニングとスピーキングⅡ A ※2	2	○	○	○	○
	資格検定英語A ※2	2	○	○	○	○
	Global Communication AB ※2	1		○	○	○
	Global Communication BB ※2	1		○	○	○
	英語リーディングとライティングⅡ B ※2	2		○	○	○
	英語リスニングとスピーキングⅡ B ※2	2		○	○	○
	資格検定英語B ※2	2		○	○	○
	Speech Communication A ※2	1			○	○
	Speech Communication B ※2	1			○	○
	英語リーディングとライティングⅢ A ※2	2			○	○
	英語リーディングとライティングⅢ B ※2	2			○	○
	英語リスニングとスピーキングⅢ A ※2	2			○	○
	放送英語A ※2	2			○	○
	放送英語B ※2	2			○	○
ドイツ語	ドイツ語Ⅰ A B	1	○	○	○	
	ドイツ語Ⅰ B B	1	○	○	○	
	ドイツ語Ⅱ A B	1		○	○	
	ドイツ語Ⅱ B B	1		○	○	
	ドイツ語講読と文化B	1			○	
	ドイツ語コミュニケーションと文化B	1			○	
フランス語	フランス語Ⅰ A B	1	○	○	○	
	フランス語Ⅰ B B	1	○	○	○	
	フランス語Ⅱ A B	1		○	○	
	フランス語Ⅱ B B	1		○	○	
	フランス語講読と文化B	1			○	
	フランス語コミュニケーションと文化B	1			○	
中国語	中国語Ⅰ A A	1	○	○	○	
	中国語Ⅰ B A	1	○	○	○	
	基礎中国語A ※3	1	○	○	○	
	中国語Ⅰ A B	1		○	○	
	中国語Ⅰ B B	1		○	○	
	基礎中国語B ※3	1		○	○	
	中国語Ⅱ A A	1			○	
	中国語Ⅱ A B	1			○	
	中国語Ⅱ B A	1			○	
	中国語Ⅱ B B	1			○	

※1…英米文学科専門科目
 ※2…国際文化コミュニケーション学科科目
 ※3…東洋思想文化学科専門科目

手続きの流れ

＜英語＞

1. 【前年度1月ごろ】
該当するスコアまたは級の取得者は、単位認定を希望する前年度に所属学科共同研究室へ申請書類を提出する。
2. 【履修登録期間】
認定を希望する科目以外を履修登録をする。認定希望科目も履修上限単位数に含まれるので、履修単位数に注意すること。
3. 【授業実施最終週まで】
申請した科目が履修科目として追加登録されていることを確認する。
4. 【成績発表時】
認定された科目に「S」評価が付与されているか確認する。

＜ドイツ語・フランス語＞

1. 【履修登録期間】
認定を希望する科目を履修登録期間に履修登録する。または、事前登録科目として登録されていることを確認する。事前登録科目は学科ごとに異なりますので「履修登録のしおり」等で確認すること。
2. 【1月ごろ】
該当するスコアまたは級の取得者は所属学科共同研究室へ申請書類を提出する。
3. 【成績発表時】
認定された科目に「S」評価が付与されているか確認する。

＜中国語＞

1. 【履修登録期間】
認定を希望する科目を履修登録期間に履修登録する。または、事前登録科目として登録されていることを確認する。事前登録科目は学科ごとに異なりますので「履修登録のしおり」等で確認すること。
2. 【4月ごろ・9月ごろ】
該当するスコアまたは級の取得者は所属学科共同研究室へ申請書類を提出する。
3. 【成績発表時】
認定された科目に「S」評価が付与されているか確認する。

申請・認定上の注意

- (1) 具体的な申請時期、申請書類提出方法などについては、すべて各学科掲示板等の指示に従ってください。
- (2) 使用するスコアまたは級は、大学在籍中に取得したものを有効とします。ただし、中国語は入学前2年間に取得したのも有効とします。
- (3) 申請は複数回できますが、2回目以降はレベルが上がらない限り認められません。2回目以降の申請で認められる単位数は、「新たに申請するレベルの認定単位数 - 旧レベルの認定単位数」です。(例：AレベルからBレベルになった場合、「4単位-2単位」であり、追加の認定単位数は2単位になります)
ただし、隔年開講等のため当該年度に開講されていない場合には、上記によらず、別途申請時に申し出てください。
- (4) 認定対象科目は所属学科の教育課程表に記載されているものに限ります。
- (5) 単位認定年次に配当学年に達していない上位学年の科目は申請できません。
- (6) 東洋思想文化学科学生が中国語の認定を申請する場合には、中国語Ⅰ AA・Ⅰ AB・Ⅰ BA・Ⅰ BB、基礎中国語 A・B は1年次にのみ、中国語Ⅱ AA・Ⅱ AB・Ⅱ BA・Ⅱ BB は2年次にのみ申請でき、配当学年を終了しての申請は認められません。ただし、留学等やむを得ない事情によって配当学年での申請ができない場合は、翌年の申請を認めます。
- (7) 一度単位修得した科目について認定を受けることはできません。
- (8) 在学期間を通して語学検定試験の成績により認定できる単位の上限は以下のとおりです。
 - ・英語 8単位まで
 - ・ドイツ語・フランス語 1カ国語につき6単位まで
 - ・中国語 8単位まで
 - ・全語学を合わせて合計14単位まで
- (9) 留学、語学研修などと合わせて、在学中に認定を受けられる単位数の上限は60単位までです。

文学研究科先行履修について

先行履修とは、東洋大学大学院文学研究科博士前期課程で開講される授業科目を学部在学中に履修することのできる制度です。

先行履修の要件

先行履修を希望する場合は下記の要件を全て満たす必要があります。

- ①文学部3年次及び4年次在籍学生で、本学大学院文学研究科への進学を希望する者。
- ②先行履修希望時の成績が大学院の前年度の学内推薦基準を満たす者。
- ③卒業論文を提出する意思のある者。
- ④履修希望科目の担当者と学科長もしくは卒業論文指導教員の許可を受けた者。

履修について

履修登録について詳細は履修登録期間にToyoNet-Gにてお知らせしますので、所定の手続に則って履修登録を行ってください。

科目及び単位の取り扱い・注意事項

- ・大学院生の履修者がいない科目は履修出来ません。
- ・先行履修を希望する場合、その単位数の合計と各学期履修単位の合計が、文学部の「各学期履修上限単位数」を超えることはできません。また、先行履修で修得した授業科目の単位数は、**学部の卒業要件単位に含まれません**。
- ・先行履修した授業科目は、試験等の結果に基づいて、大学院生と同一の基準で成績評価されます。
- ・本制度により修得した単位について、大学院進学後に単位認定をしなかった場合には、当該科目を再度履修することができます。この場合、成績はあらためて評価されます。
- ・4年次に開講される「特別研究」科目については卒業要件単位数に算入されるため、同一科目を先行履修することはできません。

履修単位数の上限

本制度で履修できる単位数は **10単位以内**です。

単位認定

- ・本制度により修得した単位は、文学研究科博士前期課程に進学した後、最初のセメスタにおける履修登録期間に申請することにより、文学研究科委員会の議を経て、修了要件の単位として認定されます。
- ・カリキュラムの改廃等の理由により修了要件の単位とならないことがあります。

東洋大学と東京外国語大学の単位互換制度について

東洋大学では語学科目を中心とした多様な学習機会を拡充することを目的として、2018年度より、東京外国語大学との間において単位互換協定を締結しました。これに伴い、東京外国語大学の授業の一部を履修することが可能になりました。

ここでは、東京外国語大学の科目を履修するにあたっての条件、履修方法などを規定しています。詳細は、東京外国語大学の履修要覧・シラバスを参照するとともに、所属学部教務担当課までお問合せください。

●● 関連 URL <https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx> ●●

◆履修申請要領等◆

対象学生

学部2年次以上（ただし、原則、卒業予定の学期の履修はできません。）

履修可能単位数

学期の履修単位数の制限内かつ、卒業までに東洋大学以外の大学等で取得可能な単位数上限は60単位（入学前の単位認定も含む）。

学籍の取扱い

東京外国語大学では「特別聴講学生」として在籍することになります。

開講キャンパス

東京外国語大学府中キャンパス（所在地：〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1）

履修可能科目

所属学部教務担当課で確認してください。ただし、都合によって履修可能科目が変更になることがあります。また、本学と東京外国語大学双方の曜日時限が重複する科目や移動時間も含めて授業開始時刻に間に合わない科目を履修することはできません。

履修手続

- ①「特別聴講学生願書」を所属学部教務担当課窓口で受け取り、所定の期間内に所属学部教務担当課窓口へ提出してください。
- ②提出された「特別聴講学生願書」をもとに、東京外国語大学が受講の可否を決定します。
- ③第1回目の講義に出席し、東京外国語大学の授業担当教員へ東洋大学の学生であり、聴講申請手続き中である旨、申し出てください。
- ④受講の正式な可否については、ToyoNet-Gにてお知らせを配信しますので、確認のうえ、受講可の学生は東京外国語大学で所定の手続を行ってください。

試験

東京外国語大学の制度によります。追・再試験は原則行いません。

単位認定

東京外国語大学からの成績到着後、当該科目の単位の認定を希望する場合は、所属学部教務担当課窓口まで、「単位認定申請書」を提出してください。単位認定の可否については、教授会での審議を経て決定されます。申請が認められる場合は「T」評価として認定します。

※「T」はGPA制度の対象にはなりません。



東京外国語大学入構時には本学の「学生証」を必ず携帯し、東洋大学の学生であることを示すこと。その他、東京外国語大学の学則に従い、規律ある行動をとること。

学則

学則（学籍および単位認定に関する事項の抜粋）

2021年4月1日現在
最新の学則および別表はホームページを確認してください。

第3章 修学等

第1節 修業年限

（在学年限）

第20条 卒業に必要な単位を修得するために在学できる年数（以下「在学年数」という。）は、通算して8年を限度とする。この場合において、休学年数は在学年数に算入しない。

2 再入学又は編入学をした者の在学年数は、前項の在学年数から再入学又は編入学までの通常の在学の年数を控除した年数とする。

第4章 入学、退学、休学、除籍等

第1節 入学、留学等

（入学の時期）

第24条 入学期は、学期の初日から30日以内とする。

（入学資格）

第25条 学部第1年次に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- （1）高等学校を卒業した者
- （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- （3）外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- （4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- （5）文部科学大臣が指定した者
- （6）大学入学資格検定（平成17年1月31日規程廃止）に合格した者
- （7）高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- （8）その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものの

（入学の志願及び選考）

第26条 入学志願者は、所定の書式による入学願書を提出し、別表第1に定める入学検定料を納入し、かつ、選考試験を受けなければならない。

（入学の手続）

第27条 入学を許可された者は、入学金を納入し、所定の書式により誓約書を提出しなければならない。

（保証人）

第28条 保証人は、父、母又はその他の成人者で独立の生計を営む者でなければならない。

2 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負う。

3 学生は、保証人を変更し、又はその氏名若しくは居住地に変更があったときは、速やかに変更届を提出しなければならない。

（学生証）

第29条 入学手続を終えた者には、学生証を交付する。

（編入学）

第30条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者が本学に編入学を希望するときは、選考のうえ、編入学を許可することができる。

- （1）短期大学を卒業した者
- （2）大学を卒業した者
- （3）高等専門学校を卒業した者
- （4）専修学校の専門課程（文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

2 編入学に関する規程は、別に定める。

（転入学）

第31条 学長は、他の大学の学生が、その大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、選考のうえ、転入学を認めることができる。

2 転入学に関する規程は、別に定める。

（転部・転科）

第32条 学長は、学生が学部の他の部へ、又は他の学部及び学科又は専攻へ転部及び転科を願い出たときは、選考のうえ、これを許可することができる。

2 転部・転科に関する規程は、別に定める。

(留学)

第 33 条 学長は、学生が外国の大学で学修することを願い出たときは、教授会の意見を聴いて留学を許可することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、在学年数に算入する。

(二重学籍の禁止)

第 34 条 学生は、他の学部学科又は他の大学と併せて在学することはできない。ただし、本学と本学の協定大学の間で実施されるダブル・ディグリー・プログラム及びジョイント・ディグリー・プログラムへの参加者には適用しない。

第 2 節 休学、退学、転学及び除籍

(休学)

第 35 条 引続き 3 カ月以上修学できない学生が休学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

2 休学は、連続する 2 学期限りとする。ただし、特別の事情がある場合は、学長は教授会の意見を聴いて、2 学期を超える期間の休学を許可することができる。

3 休学の期間は、通算して 8 学期を超えることはできない。

4 願いにより休学した者が、休学の期間が満了した場合又は休学期間中に休学の理由が消滅した場合において、復学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(退学)

第 36 条 学生が理由を明確にして退学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

2 願いにより退学した者が、再入学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(転学)

第 37 条 学生が転学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(除籍)

第 38 条 次に掲げる各号のいずれかに該当する者は、所定の手続を経て、除籍する。

(1) 授業料その他の学費を所定の期日までに納入しない者

(2) 第 20 条に規定する在学年数を超えた者

(3) 第 35 条第 2 項に規定する休学期間を超えた者

(4) 新入生で指定された期限までに履修登録を行わないこと、その他本学において修学の

意思がないと認められる者

(5) 外国人留学生で出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格の入国査証の発給が拒否された者

2 学生は、除籍されることにより、学生の身分を失う。

3 第 1 項の規定（第 2 号及び第 3 号に掲げる者を除く。）により除籍された者が、再入学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

第 5 章 教育課程及び履修方法

(他の大学の授業科目の履修)

第 43 条 教育上有益と認めるときは、他の大学との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目の単位については、学長は教授会の意見を聴いて、60 単位を限度に卒業所要単位として認めることができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 43 条の 2 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。

2 前項により認めることができる単位数は、前条により本学において修得したものと認める単位数と合わせて、60 単位を超えないものとする。

(留学の場合の準用)

第 44 条 第 43 条第 2 項の規定は、学生が外国の大学に留学する場合について準用する。

第 8 章 賞罰及び奨学

(懲戒)

第 57 条 学長は、本学の学則その他の規程に反し、又は学生の本分に反する行為があった学生に対し、教授会の意見を聴いて、行為の軽重と教育上の必要とを考慮して、譴責、停学又は退学の処分をすることができる。

2 退学処分は、次の各号のいずれかに該当する者以外には、これを行うことはできない。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由なくして出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

東洋大学文学部規程

2021年4月1日現在

別表および最新の学部規程はホームページを確認してください。

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学学則（以下「学則」という。）に基づき、文学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 文学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 文学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科又は専攻の卒業の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 文学部は、学則第39条第1項第1号から第5号に基づき、各学科又は専攻の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。

(卒業に必要な単位等)

第5条 文学部は、学則第52条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位等を、別表第4のとおり定める。

(履修上限単位数)

第6条 文学部は、学則第42条第3項に基づき、各学科又は専攻の卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を、24単位とする。

(教育職員その他資格)

第7条 学則第45条に基づき、文学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育職員となる資格
- (2) 博物館学芸員となる資格（第1部学生のみ）
- (3) 社会教育士（養成課程）となる資格
- (4) 図書館司書となる資格
- (5) 社会福祉主事となる資格
- (6) 学校図書館司書教諭となる資格

2 前項第1号の資格において、文学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科及び専攻等		免許状の種類及び教科		
		小学校教諭1種免許状	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
第1部	哲学科	/	社会	地理歴史・公民
	東洋思想文化学科 (仏教思想コース)		社会	地理歴史・公民
	日本文学文化学科		国語	国語・書道
	英米文学科		英語	英語
	史学科		社会	地理歴史・公民
	教育学科人間発達専攻		社会	地理歴史・公民
	教育学科初等教育専攻		特別支援学校教諭1種免許状	
	国際文化コミュニケーション学科		小学校教諭1種免許状	/
第2部	東洋思想文化学科 (仏教思想コース)	/	英語	英語
	日本文学文化学科		社会	地理歴史・公民
	教育学科		国語	国語・書道
			社会	地理歴史・公民

(資格取得のための授業科目及び単位数)

第8条 学則第45条第2項に基づき、文学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 教育職員の資格 別表第5に掲げる授業科目の単位を修得
- (2) 博物館学芸員の資格 別表第6に掲げる授業科目の単位を修得
- (3) 社会教育士(養成課程)の資格 別表第7に掲げる授業科目の単位を修得
- (4) 図書館司書の資格 別表第8に掲げる授業科目の単位を修得
- (5) 社会福祉主事の資格 別表第9に掲げる授業科目の単位を修得
- (6) 学校図書館司書教諭の資格 別表第10に掲げる授業科目の単位を修得

(改正)

第9条 この規程の改正は、学長が文学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附則(略)

2021年3月 印刷
2021年4月 発行

編集 発行 **東洋大学文学部**

<https://www.toyo.ac.jp/academics/faculty/lit>
〒112-8606 東京都文京区白山5丁目28番20号

2021年度入学生 履修要覧 文学部

学籍番号

【諸注意】

- この「履修要覧」は、2021年度入学生に適用されるものであり、2020年度以前の入学生には適用されません。
- この「履修要覧」は、卒業時まで使用します。再配付しませんので、大切に使用してください。講義内容に関しては、「シラバス（講義要項）」に掲載されています。
- 記載内容の変更等については、掲示・Webシステムにてお知らせいたします。